

新病院整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

萩前・一本木遺跡 I

— 第3分冊 —

2017年3月

高松市教育委員会

插 表 目 次

表 1	土器觀察表 (1).....	1	表 23	土器觀察表 (23).....	23
表 2	土器觀察表 (2).....	2	表 24	土器觀察表 (24).....	24
表 3	土器觀察表 (3).....	3	表 25	土器觀察表 (25).....	25
表 4	土器觀察表 (4).....	4	表 26	土器觀察表 (26).....	26
表 5	土器觀察表 (5).....	5	表 27	土器觀察表 (27).....	27
表 6	土器觀察表 (6).....	6	表 28	土器觀察表 (28).....	28
表 7	土器觀察表 (7).....	7	表 29	土器觀察表 (29).....	29
表 8	土器觀察表 (8).....	8	表 30	土器觀察表 (30).....	30
表 9	土器觀察表 (9).....	9	表 31	土器觀察表 (31).....	31
表 10	土器觀察表 (10).....	10	表 32	土器觀察表 (32).....	32
表 11	土器觀察表 (11).....	11	表 33	土器觀察表 (33).....	33
表 12	土器觀察表 (12).....	12	表 34	土器觀察表 (34).....	34
表 13	土器觀察表 (13).....	13	表 35	土器觀察表 (35).....	35
表 14	土器觀察表 (14).....	14	表 36	土器觀察表 (36).....	36
表 15	土器觀察表 (15).....	15	表 37	土器觀察表 (37).....	37
表 16	土器觀察表 (16).....	16	表 38	土器觀察表 (38).....	38
表 17	土器觀察表 (17).....	17	表 39	土器觀察表 (39).....	39
表 18	土器觀察表 (18).....	18	表 40	土器觀察表 (40).....	40
表 19	土器觀察表 (19).....	19	表 41	土製品觀察表.....	41
表 20	土器觀察表 (20).....	20	表 42	玉類觀察表.....	42
表 21	土器觀察表 (21).....	21	表 43	石器・石製品觀察表.....	43
表 22	土器觀察表 (22).....	22	表 44	金屬製品・鉄製品觀察表.....	44

図版目次(1)

- 図版 1 (1) 第 3～6 調査区 全景(北東から)
(2) 第 3～6 調査区 全景(南西から)
- 図版 2 (1) 第 3・4 調査区 全景(北東から)
(2) 第 6・7 調査区 作業風景(北西から)
(3) 第 7 調査区 全景(北東から)
- 図版 3 (1) 第 8・9 調査区 全景(北東から)
(2) 第 11 調査区 全景(南西から)
- 図版 4 (1) 第 10 調査区 西半全景(南西から)
(2) 第 10 調査区 東半全景(東から)
- 図版 5 (1) 第 12 調査区 全景(南から)
(2) 第 13 調査区 全景(東から)
- 図版 6 (1) 第 20 調査区 全景(東から)
(2) 第 21 調査区 全景(北から)
(3) 第 22 調査区 全景(北から)
- 図版 7 (1) 第 23 調査区 全景(北から)
(2) 第 24 調査区 全景(北から)
(3) 9-SD205 全景(南から)
- 図版 8 (1) 第 42 調査区 全景(南から)
(2) 第 43 調査区 全景(南から)
(3) 第 44 調査区 全景(南から)
(4) 第 45 調査区 全景(南から)
- 図版 9 (1) 7- 竪穴 5 (北西から)
(2) 42- 竪穴 5 (南西から)
(3) 6- 竪穴 8 (南東から)
(4) 6- 竪穴 8 遺物出土状況(南から)
(5) 6- 竪穴 8 カマド完掘状況(南から)
(6) 6- 竪穴 7 (南から)
(7) 6- 竪穴 7 カマド遺物出土状況(南から)
(8) 6- 竪穴 7 カマド完掘状況(南から)
- 図版 10 (1) 23- 竪穴 8 (南東から)
(2) 8- 竪穴 1 (南から)
(3) 8- 竪穴 1 遺物出土状況(南から)
(4) 8- 竪穴 1 カマド完掘状況(南から)
(5) 8- 竪穴 4 (東から)
(6) 8- 竪穴 4 カマド遺物出土状況(南から)
(7) 8- 竪穴 4 カマド完掘状況(南から)
(8) 8- 竪穴 4 遺物出土状況(西から)
- 図版 11 (1) 3- 竪穴 55・竪穴 35 (南西から)
(2) 3- 竪穴 55 カマド遺物出土状況(南から)
(3) 6- 竪穴 6 (南から)
(4) 23- 竪穴 6 (南から)
(5) 6- 竪穴 6 カマド完掘状況(南から)
(6) 23- 竪穴 6 SK3 遺物出土状況(南から)
(7) 21- 竪穴 10 (東から)
(8) 6- 竪穴 1 (東から)
- 図版 12 (1) 10- 竪穴 90 (西から)
(2) 10- 竪穴 90 カマド完掘状況(南から)
(3) 3- 竪穴 45 (南東から)
(4) 3- 竪穴 45 カマド遺物出土状況(南から)
(5) 3- 竪穴 45 遺物出土状況(北西から)
(6) 3- 竪穴 45 遺物出土状況(南西から)
(7) 6- 竪穴 2 (南から)
(8) 6- 竪穴 2 カマド完掘状況(南から)
- 図版 13 (1) 10- 竪穴 110 (東から)
(2) 10- 竪穴 110 カマド遺物出土状況(南から)
(3) 10- 竪穴 110 北西部遺物出土状況(北から)
(4) 45- 竪穴 5 (南から)
(5) 10- 竪穴 201 (南から)
(6) 10- 竪穴 201 カマド完掘状況(南から)
(7) 6- 竪穴 9 (南東から)
(8) 6- 竪穴 9 カマド完掘状況(南から)
- 図版 14 (1) 7- 竪穴 7 (北東から)
(2) 24- 竪穴 7 (南東から)
(3) 7- 竪穴 7 カマド完掘状況(南から)
(4) 8- 竪穴 2 (南から)
(5) 8- 竪穴 2 カマド断面(南から)
(6) 21- 竪穴 20 (南から)
(7) 21- 竪穴 20 カマド完掘状況(南から)
- 図版 15 (1) 5- 竪穴 30 (南から)
(2) 22- 竪穴 7 (西から)
(3) 5- 竪穴 30 カマド遺物出土状況(南から)
(4) 10- 竪穴 310 掘方(南から)
(5) 10- 竪穴 310 カマド遺物出土状況(南から)
(6) 4- 竪穴 99 (東から)
(7) 10-SK2 (東から)
- 図版 16 (1) 3- 竪穴 108 (南東から)
(2) 3- 竪穴 108 カマド完掘状況(南東から)
(3) 22- 竪穴 6 (南から)
(4) 4- 竪穴 30 (南西から)
(5) 4- 竪穴 18 (南西から)
(6) 21- 竪穴 18 (南東から)
(7) 3- 竪穴 35 (南東から)
(8) 21- 竪穴 18 カマド完掘状況(南から)
- 図版 17 (1) 5- 竪穴 1 (南西から)
(2) 5- 竪穴 1 カマド完掘状況(南から)
(3) 6- 竪穴 3・40 (南東から)
(4) 6- 竪穴 3 カマド完掘状況(南から)
(5) 3- 竪穴 110・4- 竪穴 122 (南から)
(6) 3- 竪穴 34 (南東から)
(7) 21- 竪穴 8 (南東から)
(8) 21- 竪穴 8 カマド完掘状況(南東から)
- 図版 18 (1) 10- 竪穴 210 第 1 生活面(南から)

図版目次(2)

- (2) 10- 竪穴 210 第2生活面(南から)
(3) 10- 竪穴 210 第1カマド完掘状況(南から)
(4) 10- 竪穴 210 第2カマド完掘状況(南から)
(5) 10- 竪穴 210 須恵器杯蓋(210)出土状況(北から)
(6) 3- 竪穴 40(東から)
(7) 3- 竪穴 40 カマド完掘状況(南から)
(8) 23- 竪穴 5(南東から)
(9) 5-SP51 土師器甕(204)出土状況(東から)
- 図版 19 (1) 10- 竪穴 301(南から)
(2) 10- 竪穴 301 カマド完掘状況(南から)
(3) 10- 竪穴 301 鉄鎌(T17)出土状況(南から)
(4) 4- 竪穴 91(南から)
(5) 10- 竪穴 50・30(南東から)
(6) 10- 竪穴 50 カマド完掘状況(南東から)
(7) 10- 竪穴 50 須恵器台付壺(255)出土状況(北から)
(8) 10- 竪穴 50 北東隅遺物出土状況(北から)
- 図版 20 (1) 10- 竪穴 60(北から)
(2) 10- 竪穴 60 カマド完掘状況(南から)
(3) 5- 竪穴 35(南東から)
(4) 24- 竪穴 1(南から)
(5) 10- 竪穴 1(南東から)
(6) 10- 竪穴 1 カマド断面(東から)
(7) 21- 竪穴 2(南から)
(8) 21- 竪穴 2 カマド完掘状況(南から)
- 図版 21 (1) 3- 竪穴 50(南西から)
(2) 3- 竪穴 50 カマド調査時状況(南から)
(3) 22- 竪穴 1(南から)
(4) 22- 竪穴 1 カマド完掘状況(南から)
(5) 5- 掘立 1(南東から)
(6) 5- 掘立 1(南東から)
(7) 22- 掘立 1(北西から)
(8) 22- 掘立 1(北西から)
- 図版 22 (1) 6- 掘立 1(南西から)
(2) 6- 掘立 1(東から)
(3) 9- 掘立 1(南東から)
(4) 9- 掘立 2(東から)
(5) 7- 掘立 1(北から)
(6) 7- 掘立 2(北東から)
(7) 10- 掘立 2(北西から)
(8) 10- 掘立 1(北から)
- 図版 23 (1) 4- 掘立 1(西から)
(2) 4- 掘立 1 SP33 断面(北西から)
(3) 4- 掘立 1 SP34 断面(南から)
(4) 4- 掘立 1 SP41 断面(南西から)
(5) 4- 掘立 1 SP42 断面(西から)
(6) 4- 掘立 1 SP81 断面(北から)
- (7) 4- 掘立 1 SP39 断面(北から)
(8) 4- 掘立 1 SP36 断面(北東から)
- 図版 24 (1) 4- 掘立 1 SP37 断面(東から)
(2) 4- 掘立 1 SP38 断面(北から)
(3) 10- 掘立 3(北西から)
(4) 12- 掘立 1(東から)
(5) 12- 掘立 2(東から)
(6) 3- 柵列 1(北東から)
(7) 11- 柵列 1(東から)
(8) 5- 柵列 1 断面(南から)
- 図版 25 (1) 4-SD3 断面(東から)
(2) 3-SD1 断面(東から)
(3) 4-SD3 遺物出土状況(南から)
(4) 4-SD3 遺物出土状況(南から)
(5) 3・4-SD23 断面(南西から)
(6) 5-SD49 断面(南東から)
(7) 5-SD52 断面(北西から)
(8) 7-SD1 断面(東から)
- 図版 26 (1) 6-SD11 a 断面(南東から)
(2) 23-SD11 d 断面(西から)
(3) 8-SD5 ①断面(南西から)
(4) 9-SD5 ②断面(南西から)
(5) 8-SD3 ①断面(北東から)
(6) 8-SD6 a 断面(南から)
(7) 8-SD6 c 断面(南から)
(8) 8-SD6 d 断面(北から)
- 図版 27 (1) 8-SD7 断面(東から)
(2) 8-SD7 遺物出土状況(西から)
(3) 9-SD6 a 断面(北から)
(4) 9-SD6 c 断面(北から)
(5) 9-SD6 全景(南東から)
(6) 9-SD200 a 断面(南から)
(7) 9-SD200 b 断面(南から)
(8) 9-SD110 b 断面(南から)
- 図版 28 (1) 9-SD115 断面(北から)
(2) 9-SD216 断面(南から)
(3) 9-SD222 断面(西から)
(4) 9-SD117 b 断面(南西から)
(5) 9-SD117 c 断面(南から)
(6) 9-SD117 d 断面(南から)
(7) 9-SD117 全景(北から)
(8) 9-SD117 遺物出土状況(東から)
- 図版 29 (1) 11-SD7 b 断面(西から)
(2) 11-SD7 c 断面(東から)
(3) 45-SD4 断面(西から)
(4) 10-SD202 断面(北から)

図版目次(3)

- (5) 10-SD216 断面(東から)
(6) 11-SD12 c断面(南から)
(7) 11-SD9 b断面(南西から)
(8) 11-SD8 a断面(北西から)
- 図版 30 (1) 12-SD22 断面(北から)
(2) 12-SD25 断面(北から)
(3) 12-SD26 完掘状況(南から)
(4) 12-SD26 b断面(北から)
(5) 9-SD205 a断面(南から)
(6) 9-SD205 b断面(南から)
(7) 9-SD205 c断面(南から)
(8) 9-SD205 d断面(南から)
- 図版 31 (1) 9-SD205 e断面(南から)
(2) 9-SD205 f断面(南から)
(3) 9-SD205 完掘状況(南から)
(4) 11-SD2 断面(南から)
(5) 11-SD1 断面(南から)
(6) 11-SD3 断面(南から)
(7) 11-SD4 断面(南から)
(8) 13-SD1 断面(東から)
- 図版 32 (1) 13-SD2 a断面(東から)
(2) 13-SD2 b断面(東から)
(3) 13-SD3 a断面(東から)
(4) 13-SD3 b断面(東から)
(5) 3-SK3 断面(西から)
(6) 3-SK28 断面(南から)
(7) 3-SK102 断面(南西から)
(8) 3-SK29 断面(西から)
- 図版 33 (1) 3-SK101 断面(南から)
(2) 3-SK106・107 断面(西から)
(3) 3-SK37 断面(西から)
(4) 4-SK100 断面(西から)
(5) 21-SK19 断面(南東から)
(6) 4-SK25 断面(西から)
(7) 4-SK102 断面(西から)
(8) 4-SK105 断面(南から)
- 図版 34 (1) 21-SK1 断面(北から)
(2) 4-SK107 断面(西から)
(3) 4-SK50 断面(南から)
(4) 4-SK120 断面(西から)
(5) 21-SK7 断面(西から)
(6) 5-SK11 断面(南から)
(7) 4-SK2 断面(北から)
(8) 4-SK2 遺物出土状況(南から)
- 図版 35 (1) 5-SK67 断面(南西から)
(2) 5-SK68 断面(西から)
- (3) 5-SK53 断面(東から)
(4) 22-SK2 断面(北西から)
(5) 6-SK12 断面(南東から)
(6) 6-SK15 断面(南から)
(7) 6-SK45 断面(南東から)
(8) 6-SK39 断面(南東から)
- 図版 36 (1) 6-SK14 断面(北西から)
(2) 6-SK10 断面(東から)
(3) 6-SK18 断面(南から)
(4) 24-SK5 断面(南西から)
(5) 24-SK6 断面(南から)
(6) 6-SK24 断面(南から)
(7) 6-SK29 断面(南から)
(8) 23-SK1 断面(西から)
- 図版 37 (1) 24-SK25 断面(西から)
(2) 24-SK13 断面(西から)
(3) 24-SK14 断面(南から)
(4) 24-SK2 断面(西から)
(5) 6-SK46 断面(北東から)
(6) 24-SK8 断面(東から)
(7) 24-SK11 断面(北西から)
(8) 6-SK13 断面(東から)
- 図版 38 (1) 24-SK10 断面(西から)
(2) 7-SK6 断面(南東から)
(3) 7-SK28 断面(東から)
(4) 7-SK33 断面(北から)
(5) 7-SK48 断面(東から)
(6) 7-SK13 断面(東から)
(7) 8-SK8 断面(西から)
(8) 8-SK16 断面(東から)
- 図版 39 (1) 9-SK1 断面(南から)
(2) 9-SK2 断面(南から)
(3) 9-SK4 断面(西から)
(4) 9-SK40 断面(南西から)
(5) 43-SK2 断面(東から)
(6) 9-SK5 断面(北東から)
(7) 9-SK106 断面(南から)
(8) 9-SK202 断面(東から)
- 図版 40 (1) 9-SK207 断面(西から)
(2) 9-SK219 断面(西から)
(3) 10-SK3 断面(東から)
(4) 10-SK55 断面(北から)
(5) 10-SK10 断面(南東から)
(6) 10-SK31 断面(北から)
(7) 10-SK57 断面(北西から)
(8) 10-SK52 断面(南から)

図版目次(4)

- 図版 41 (1) 10-SK58 断面 (南から)
(2) 10-SK106 断面 (東から)
(3) 10-SK111 a 断面 (西から)
(4) 10-SK124 b 断面 (南から)
(5) 10-SK112 断面 (南から)
(6) 10-SK112 断面 (西から)
(7) 10-SK128 断面 (南から)
(8) 10-SK207 全景 (南から)
- 図版 42 (1) 10-SK207 断面 (西から)
(2) 10-SK132 断面 (北西から)
(3) 10-SK208 断面 (北から)
(4) 10-SK311 断面 (北東から)
(5) 10-SK312 断面 (東から)
(6) 11-SK6 断面 (東から)
(7) 11-SK11 断面 (南から)
(8) 11-SK29 断面 (南東から)
- 図版 43 (1) 11-SK30 断面 (南から)
(2) 11-SK15 断面 (南から)
(3) 11-SK31 断面 (東から)
(4) 12-SK8 断面 (東から)
(5) 12-SK42 断面 (南東から)
(6) 12-SK1 断面 (南から)
(7) 12-SK2 断面 (東から)
(8) 13-SK6 断面 (西から)
- 図版 44 (1) 13-SK4 断面 (北西から)
(2) 13-SK4 全景 (南から)
(3) 13-SK12 断面 (南から)
(4) 13-SK12 遺物出土状況 (南から)
(5) 20-SK7 断面 (南から)
(6) 20-SK10 断面 (南から)
(7) 9-SK7 断面 (南西から)
(8) 9-SX126 断面 (南東から)
- 図版 45 (1) 第 14 調査区 全景 1 回目 (南西から)
(2) 第 14 調査区 全景 2 回目 (北西から)
- 図版 46 (1) 第 14 調査区 全景 3 回目 (北西から)
(2) 第 27 調査区 全景 (北から)
- 図版 47 (1) 第 27 調査区 南半全景 (北から)
(2) 14- 竪穴 1 (南西から)
(3) 14- 竪穴 1 カマド完掘状況 (南西から)
(4) 14- 竪穴 2 (南西から)
(5) 14- 竪穴 2 カマド完掘状況 (南から)
- 図版 48 (1) 14- 竪穴 4 (東から)
(2) 14- 竪穴 4 カマド完掘状況 (南から)
(3) 14- 竪穴 5 (南から)
(4) 14- 竪穴 5 カマド完掘状況 (南から)
(5) 14- 竪穴 12 (南東から)
- (6) 14- 竪穴 12 カマド完掘状況 (南から)
(7) 14- 竪穴 15 (南東から)
(8) 14- 竪穴 15 カマド完掘状況 (南から)
- 図版 49 (1) 14- 竪穴 16 (南東から)
(2) 14- 竪穴 16 カマド完掘状況 (南から)
(3) 14- 竪穴 18 (南から)
(4) 14- 竪穴 18 カマド完掘状況 (南東から)
(5) 14- 竪穴 19 (南から)
(6) 14- 竪穴 19 カマド完掘状況 (南から)
(7) 14- 竪穴 20 (南西から)
(8) 14- 竪穴 22 (南から)
- 図版 50 (1) 14- 竪穴 21 (南東から)
(2) 14- 竪穴 21 カマド完掘状況 (南から)
(3) 14- 竪穴 23 (南東から)
(4) 14- 竪穴 23 カマド完掘状況 (南から)
(5) 14- 竪穴 24 (南東から)
(6) 14- 竪穴 10 (南から)
(7) 14- 竪穴 26 (南西から)
(8) 14- 竪穴 25・26・28・29・31 (北東から)
- 図版 51 (1) 14- 竪穴 29 (南東から)
(2) 14- 竪穴 29 カマド完掘状況 (南から)
(3) 14- 竪穴 30 (南から)
(4) 14- 竪穴 30 カマド遺物出土状況 (南から)
(5) 14- 竪穴 32 (南から)
(6) 14- 竪穴 40 (南西から)
(7) 27- 竪穴 1 (南東から)
(8) 27- 竪穴 1 カマド完掘状況 (南から)
- 図版 52 (1) 27- 竪穴 2 (南東から)
(2) 27- 竪穴 2 カマド遺物出土状況 (南から)
(3) 27- 竪穴 3 (南から)
(4) 27- 竪穴 3 カマド完掘状況 (南から)
(5) 27- 竪穴 130 (北東から)
(6) 27- 竪穴 140 (北東から)
(7) 14- 掘立 1 (南東から)
(8) 14- 掘立 10 (南東から)
- 図版 53 (1) 14- 掘立 3 (西から)
(2) 14- 掘立 6 (東から)
(3) 14- 掘立 7 (東から)
(4) 27- 掘立 16 (南から)
(5) 14- 掘立 2 (西から)
- 図版 54 (1) 27- 掘立 1 断面 (南から)
(2) 14- 掘立 11 SP418 遺物出土状況 (東から)
(3) 14- 掘立 14 SP383 断面 (南から)
(4) 14- 掘立 9 SP291 断面 (東から)
(5) 14- 掘立 9 SP292 断面 (東から)
(6) 14- 掘立 9 SP293 断面 (東から)

図版目次(5)

- (7) 14-掘立9 SP289 断面(西から)
(8) 14-掘立9 SP295 断面(西から)
(9) 14-掘立9 SP294 断面(西から)
- 図版 55 (1) 14-SD1 c 断面(東から)
(2) 14-SD2 a 断面(東から)
(3) 14-SD1・2 b 断面(南から)
(4) 14-SD3 断面(東から)
(5) 14-SD46 断面(東から)
(6) 14-SD53 断面(東から)
(7) 14-SD60 a 断面(西から)
(8) 14-SD60 b 断面(西から)
- 図版 56 (1) 14-SD39 a 断面(西から)
(2) 14-SD39 b 断面(西から)
(3) 14-SD39 全景(東から)
(4) 27-SD139 全景(東から)
(5) 14-SD29 断面(東から)
(6) 14-SD70 a 断面(西から)
(7) 14-SD70 b 断面(西から)
(8) 14-SD70 c 断面(西から)
- 図版 57 (1) 14-SD70 d 断面(西から)
(2) 14-SD70 e 断面(北から)
(3) 14-SD70 f 断面(南から)
(4) 14-SD70 g 断面(南から)
(5) 14-SD70 (南西から)
- 図版 58 (1) 14-SD380 a 断面(南から)
(2) 27-SD12 断面(西から)
(3) 27-SD12 遺物出土状況(東から)
(4) 14-SK55 断面(北西から)
(5) 14-SK5 断面(南から)
(6) 14-SK22 断面(東から)
(7) 14-SK24 断面(南から)
(8) 14-SK52 断面(南から)
- 図版 59 (1) 14-SK54 断面(南西から)
(2) 14-SK57 断面(西から)
(3) 14-SK77 断面(北から)
(4) 14-SK80 断面(東から)
(5) 14-SK84 断面(西から)
(6) 14-SK98 断面(東から)
(7) 14-SK155 断面(西から)
(8) 14-SK160 断面(東から)
- 図版 60 (1) 14-SK176 断面(東から)
(2) 14-SK180 断面(北西から)
(3) 14-SK234 断面(南から)
(4) 14-SK238 断面(南西から)
(5) 14-SK229 断面(南から)
(6) 14-SK235 断面(北から)
- (7) 14-SK260 断面(北東から)
(8) 14-SK272 断面(南西から)
- 図版 61 (1) 14-SK275 断面(南東から)
(2) 14-SK278 断面(南東から)
(3) 14-SK284・285 断面(東から)
(4) 14-SK286 断面(西から)
(5) 14-SK319 断面(西から)
(6) 14-SK288 断面(東から)
(7) 14-SK322 断面(南から)
(8) 14-SK324 断面(西から)
- 図版 62 (1) 14-SK325 断面(南から)
(2) 14-SK378 断面(南から)
(3) 14-SK399 断面(南東から)
(4) 14-SK401 断面(南から)
(5) 14-SK404 断面(西から)
(6) 14-SK406 断面(南から)
(7) 14-SK407 断面(西から)
(8) 14-SK410 断面(西から)
- 図版 63 (1) 第28調査区 全景(南から)
(2) 28-竪穴4・30(南から)
(3) 28-竪穴4 カマド完掘状況(西から)
- 図版 64 (1) 第29調査区 東半全景(東から)
(2) 第29調査区 西半全景(東から)
(3) 第36調査区 全景(東から)
(4) 第47調査区 全景(西から)
- 図版 65 (1) 第30調査区 全景(北東から)
(2) 第30調査区 追加全景(北から)
(3) 第31調査区 全景(北から)
- 図版 66 (1) 第34調査区 全景(南から)
(2) 第32調査区 西半全景(西から)
(3) 第32調査区 東半全景(北東から)
- 図版 67 (1) 第35調査区 全景(北東から)
(2) 第33調査区 全景(東から)
(3) 第37調査区 全景(北から)
- 図版 68 (1) 第38調査区 全景(東から)
(2) 第40調査区 全景(南東から)
(3) 第46調査区 全景(南西から)
- 図版 69 (1) 第39調査区 全景(北から)
(2) 第41調査区 全景(南から)
- 図版 70 (1) 28-竪穴1(南から)
(2) 28-竪穴30 カマド完掘状況(南から)
(3) 28-竪穴3(南から)
(4) 28-竪穴3 カマド完掘状況(南から)
(5) 28-竪穴6(南から)
(6) 29-竪穴50(北から)
(7) 29-竪穴20(東から)

図版目次(6)

- (8) 29- 竪穴 20 カマド完掘状況(北から)
- 図版 71 (1) 29- 竪穴 30 (西から)
(2) 46- 竪穴 35 (南西から)
(3) 46- 竪穴 12 (南から)
(4) 46- 竪穴 1 (南から)
(5) 46- 竪穴 5 (北から)
(6) 41- 竪穴 3・4 (南から)
(7) 36- 竪穴 12 (南西から)
(8) 29- 竪穴 45 遺物出土状況(北から)
- 図版 72 (1) 29- 竪穴 80 (北西から)
(2) 29- 竪穴 80 西側カマド完掘状況(南から)
(3) 29- 竪穴 80 遺物出土状況(南から)
(4) 29- 竪穴 80 東側カマド完掘状況(南から)
(5) 41- 竪穴 1 断面(西から)
- 図版 73 (1) 30-SD2 断面(北から)
(2) 30-SD7 断面(南西から)
(3) 30-SD6 断面(北から)
(4) 29-SD35 断面(東から)
(5) 29-SD64 断面(東から)
(6) 29-SD10 断面(南から)
(7) 31-SD1 断面(東から)
(8) 32-SD20 断面(北から)
- 図版 74 (1) 32-SD20 遺物出土状況(南から)
(2) 36-SD10 断面(南から)
(3) 33-SD1・2 断面(北東から)
(4) 41-SD1 断面(西から)
(5) 41-SD1 (東から)
(6) 39-SD1 断面(西から)
(7) 28-SD22 断面(東から)
(8) 32-SD1 断面(南から)
- 図版 75 (1) 32-SD10 断面(北から)
(2) 34-SD2 断面(南から)
(3) 36-SD1 断面(南から)
(4) 36-SD2 a 断面(西から)
(5) 36-SD2 b 断面(西から)
(6) 36-SD2 c 断面(西から)
(7) 36-SD4 断面(南から)
(8) 36-SD3 断面(南から)
- 図版 76 (1) 36-SD5 断面(南から)
(2) 36-SD6 断面(南から)
(3) 36-SD7 断面(南から)
(4) 36-SD8 断面(南から)
(5) 36-SD9 断面(南から)
(6) 36-SD11 断面(南から)
(7) 38-SD1 断面(南西から)
(8) 38-SD2 断面(南西から)
- 図版 77 (1) 38-SD3 断面(南から)
(2) 41-SD2 断面(東から)
(3) 46-SD3・4 断面(南東から)
(4) 47-SD1 断面(南から)
(5) 28-SK5 断面(南から)
(6) 29-SK1 断面(北から)
(7) 29-SK11 断面(北から)
(8) 29-SK12 断面(南から)
- 図版 78 (1) 29-SK14 断面(南から)
(2) 29-SK15 断面(南から)
(3) 29-SK16 断面(北から)
(4) 29-SK17 断面(東から)
(5) 29-SK18 断面(南から)
(6) 29-SK19 断面(南から)
(7) 29-SK21 断面(東から)
(8) 29-SK19 遺物出土状況(南から)
- 図版 79 (1) 29-SK33 断面(南から)
(2) 29-SK36 断面(南から)
(3) 29-SK51 断面(南から)
(4) 29-SK58 断面(南から)
(5) 29-SK65 断面(南から)
(6) 29-SK66 断面(南西から)
(7) 30-SK5 断面(北から)
(8) 32-SK2 断面(南東から)
- 図版 80 (1) 32-SK3 断面(南から)
(2) 32-SK12 断面(東から)
(3) 32-SK13 断面(南西から)
(4) 32-SK15 断面(東から)
(5) 34-SK4 断面(南から)
(6) 34-SK5 断面(西から)
(7) 37-SK1 断面(西から)
(8) 37-SK2 断面(東から)
- 図版 81 (1) 39-SK2 断面(東から)
(2) 46-SK6 断面(西から)
(3) 46-SK10 断面(南から)
(4) 第1回現地説明会
(5) 第2回現地説明会
(6) 第3回現地説明会
(7) 親子文化財教室の様子
(8) 現地説明会における遺物の公開風景
- 図版 82 (1) 第9調査区 噴礫確認状況(東から)
(2) 第5調査区 噴礫確認状況(西から)
(3) 第7調査区 噴礫確認状況(西から)

図 版 目 次 (7)

- 図版 83 出土遺物集合
- 図版 84 竪穴建物 出土遺物 (～T K 208 型式)
- 図版 85 竪穴建物 出土遺物 (T K 23～T K 10 型式)
- 図版 86 竪穴建物 出土遺物 (T K 10～T K 209 型式)
- 図版 87 石器・石製品・紡錘車
- 図版 88 玉類・土錘・鉄滓他・鉄製品
- 図版 89 7- 竪穴 5・6- 竪穴 1 出土遺物
- 図版 90 6- 竪穴 8 出土遺物
- 図版 91 6- 竪穴 7 出土遺物
- 図版 92 3- 竪穴 55・3-SK23 出土遺物
- 図版 93 4- 竪穴 30・3- 竪穴 50 出土遺物
- 図版 94 4-SK2・3- 竪穴 35・5- 竪穴 45・4- 竪穴 1 出土遺物
- 図版 95 4- 竪穴 20・3- 竪穴 40・4- 竪穴 99 出土遺物
- 図版 96 3- 竪穴 45 出土遺物
- 図版 97 3- 竪穴 45 出土遺物
- 図版 98 3- 竪穴 108 出土遺物
- 図版 99 6- 竪穴 2・7- 竪穴 3・23- 竪穴 5・21- 竪穴 20・21- 竪穴 2 出土遺物
- 図版 100 6- 竪穴 3 出土遺物
- 図版 101 4- 掘立 1・3- 竪穴 110・5- 竪穴 1・3- 竪穴 40 出土遺物
- 図版 102 6- 竪穴 9・7- 竪穴 7・6- 竪穴 6・22- 竪穴 1 出土遺物
- 図版 103 3-SD1 出土遺物
- 図版 104 7- 掘立 1・24-SK2・24-SK5・45-SD1・45-SD4 他 出土遺物
- 図版 105 8- 竪穴 1 出土遺物
- 図版 106 8- 竪穴 4 出土遺物
- 図版 107 8- 竪穴 2・8-SD7・9-SX126・9-SD117・9-SD3 出土遺物
- 図版 108 10-SP204・10- 竪穴 60・10- 竪穴 50・10- 竪穴 90・10- 竪穴 301 出土遺物
- 図版 109 10- 竪穴 110 出土遺物
- 図版 110 10- 竪穴 110・10- 竪穴 310 出土遺物
- 図版 111 10- 竪穴 210・10- 竪穴 201 他 出土遺物
- 図版 112 11-SX5・11-SD7・遺構外・13-SK12 出土遺物
- 図版 113 14- 竪穴 1・14- 竪穴 4 出土遺物
- 図版 114 14- 竪穴 4 出土遺物
- 図版 115 14- 竪穴 22 出土遺物
- 図版 116 14- 竪穴 25・14- 竪穴 40・14-SK469・14- 竪穴 28 出土遺物
- 図版 117 27- 竪穴 1・14- 竪穴 5・14- 竪穴 21・14- 竪穴 2 出土遺物
- 図版 118 14- 竪穴 30 出土遺物
- 図版 119 27- 竪穴 2・14- 竪穴 29・14- 竪穴 18 出土遺物
- 図版 120 14- 竪穴 23・14- 竪穴 20・14- 竪穴 26・14- 竪穴 16・14- 竪穴 15・27- 竪穴 3 出土遺物
- 図版 121 14- 竪穴 12・14- 掘立 14・14- 掘立 11 出土遺物
- 図版 122 14-SD70 出土遺物
- 図版 123 14-SD70・27-SD12・14-SK165 出土遺物
- 図版 124 28- 竪穴 1・28- 竪穴 30・28-SK5・28- 竪穴 3 出土遺物
- 図版 125 29- 竪穴 45・29- 竪穴 80 出土遺物
- 図版 126 29-SK19 出土遺物
- 図版 127 29-SX60・29-SD64・29-SD62・29-SK12・41- 竪穴 3・30-SD7 出土遺物
- 図版 128 杯蓋他 出土遺物
- 図版 129 36-SD10・9-SD205・32-SD20 出土遺物
- 図版 130 9-SD205 出土遺物
- 図版 131 32-SD20 出土遺物
- 図版 132 36-SD10・33-SD2・34-SX3 他 出土遺物
- 図版 133 古代以降の出土遺物
- 図版 134 遺構外 出土遺物
- 図版 135 遺構外 出土遺物

觀察表



6- 豎穴 8 出土遺物

表1 土器観察表(1)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
84 89	1	11	1	7・42-堅穴5 床面直上	須恵器 杯蓋	① a イ	12.2 — 4.8	口縁部と天井部の境は突線状の強い稜が巡り、内端部は段を有す。 【外】回転削り、回転へら削り(R) 【内】回転削り	【外】N6/灰 【内】2.5Y6/1黄灰 精良:2mm以下の細粒 堅緻	口 1/2	
84	1	11	2	7・42-堅穴5 埋土	須恵器 杯蓋	① a イ	(11.4) — [3.4]	口縁部と天井部の境は段が巡り、外方に屈曲し内端部に斜面を有す。 【外】回転削り 【内】回転削り	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 普:3mm以下の細粒 堅緻	口 1/8	
84	1	11	3	7・42-堅穴5 SP1	須恵器 杯蓋 (口縁)	① a イ	— — [3.2]	口縁部と天井部の境は強い稜が巡り、内端部は凹斜面を有す。 【外】回転削り 【内】回転削り	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	
84	1	11	4	7・42-堅穴5 床面直上	須恵器 杯身 (口縁)		(11.2) — [2.8]	立ち上がりは直立し、受部境に溝をなす。内端部は凹斜面を持つ。 【外】回転削り 【内】回転削り	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:3mm以下の細粒 良	口 1/8	
84	1	11	5	7・42-堅穴5 埋土	須恵器 杯身	① b イ	(10.2) — 4.7	立ち上がりは内傾した後屈曲し、内端部は斜面を有す。蓋重ね焼き痕あり。自然袖付着のため、回転へら削り痕不明。 【外】回転削り、自然袖付着 【内】回転削り	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 精良:2mm以下の細粒 良	口 1/8	
84 89	1	11	6	7・42-堅穴5 埋土	須恵器 無蓋高杯		14.4 (10.2) 12.0	杯部は碗形で深く、体部と口縁との境に強い稜が巡り、櫛描波状文(8条1束1本)が巡る。基部の太い脚部を貼り付けハの字状に開き、裾端部は有稜幅広端面を持つ。 【外】回転削り、回転へら削り(L)、4方向台形スリ 【内】回転削り	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 普:3mm以下の細粒 良好	完存	
84 89	1	11	7	7・42-堅穴5 SK2	土師器 杯	B d	11.8 (4.0) 5.3	体部は碗形を呈す。口縁部は内湾し、端部は丸く収める。 【外】削り、板削り、一部化粧土 【内】削り	【外】5YR6/6橙 【内】5YR6/8橙 粗:6mm以下の石英・長石 良	口 1/2	
84 89	1	11	8	7・42-堅穴5 床面直上	土師器 直口壺		(10.1) — [9.8]	口縁部は長く直線的に外傾し、端部は丸く収める。体部は扁球形か。内面は接合痕明瞭。 【外】板削り 【内】板削り後削り、指頭圧痕	【外】5YR7/4ブイ橙 【内】2.5YR6/6橙 精良:0.1~0.3mmの長石・石英 良好	頸 2/3	
84 89	1	11	9	7・42-堅穴5 SK2	土師器 甕	b	14.7 — [17.3]	口頭部は屈曲・直線的に外傾し、端部b。 【外】削り、板削り 【内】削り、板削り	【外】10YR6/3ブイ黄橙 【内】10YR6/4ブイ黄橙 普:4mm以下の石英・長石 良	口 1/2	
84	1	11	10	7・42-堅穴5 床面直上	土師器 甕	A2 c2	(13.0) — [6.7]	口頭部は屈曲・外反し、端部c2。 【外】削り 【内】削り、削り	【外】5YR5/4ブイ赤褐 【内】5YR5/3ブイ赤褐 粗:3mm以下の石英・長石 良	口 1/2	
89	1	13	11	6-堅穴1 床面直上	須恵器 甕		18.3 — [13.2]	口縁部は欠損。頸部は直立気味に立ち上がった後大きく外反する。頸部に2条突帯により文様帯が2段に区切られ、櫛描波状文が1条ずつ配される。 【外】回転削り、平行文削り 【内】回転削り、指頭圧痕、体部:当て具痕削り消し	【外】5PB4/1暗青灰 【内】5PB5/1青灰 精良:4mm以下の細粒・赤色粒 良	頸 1/1	
1	13	12	6-堅穴1 埋土	土師器 甕	C IV b	15.0 — [6.3]	口頭部は屈曲・外傾し、端部b。 【外】削り、削り 【内】削り、板削り	【外】2.5YR5/6明赤褐 【内】2.5YR5/6明赤褐 普:2mm以下の石英・長石 良	口 1/8		
1	13	13	6-堅穴1 床面直上	土師器 甕 (口縁)	A2 d1	(18.8) — [5.4]	口頭部が屈曲・外傾し、端部d1。 【外】削り 【内】削り、板削り	【外】7.5YR7/3ブイ橙 【内】7.5YR6/3ブイ褐 普:2.5mm以下の石英・長石・金雲母 良	口 1/3		
1	13	14	6-堅穴1 埋土	土師器 甕 (口縁)	D V e1	16.0 — [8.0]	頸部は屈曲し、口縁中位で折り曲げ口縁全体を内湾させる。体部にへら記号「 」。端部e1 【外】口縁部削り、体部上半部削り 【内】口縁部削り、指頭圧痕	【外】5YR5/4ブイ赤褐 【内】5YR5/3ブイ赤褐 普:1mm以下の長石・黒色粒・金雲母 良	口 1/2		
90	1	15	15	6・23-堅穴8 床面直上	須恵器 杯身	① a イ	10.9 3.3 5.0	立ち上がりはやや直立し、内端部は凹斜面を有す。底部は深い丸底。 【外】回転削り、回転へら削り(R)、蓋重ね焼き痕 【内】回転削り	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	完存	
90	1	15	16	6・23-堅穴8 床面直上	須恵器 杯身	① a ア	11.6~ 12.0 — 5.3	立ち上がりは直立し、端部はほぼ接地する端面を有す。底部は深い丸底。 【外】回転削り、回転へら削り(R) 【内】回転削り	【外】N5/灰 【内】N5/灰 普:3mm以下の細粒 良	完存	
90	1	15	17	6・23-堅穴8 床面直上	須恵器 杯身	② a オ	10.8 — 5.0	立ち上がりはほぼ直立し、端部は丸くおさめる。底部は深い丸底。 【外】回転削り、回転へら削り(L) 【内】回転削り、静止削り	【外】N5/灰 【内】N7/灰白 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	完存	
90	1	15	18	6・23-堅穴8 床面直上	須恵器 杯身	① b ウ	11.0 — 5.1	立ち上がりは内傾した後直立し、内端部は幅広の凹斜面を有す。受底部に蓋重ね焼き痕あり。底部は丸底。 【外】回転削り、回転へら削り(L) 【内】回転削り	【外】5Y7/1灰白 【内】10YR7/1灰白 粗:8mm以下の細粒・黒色粒 良	完存	
90	1	15	19	6・23-堅穴8 床面直上	須恵器 杯身	① b イ	11.0 — 5.4	立ち上がりはやや内傾し、内端部は斜面を有す。底部は深い丸底で繊維状圧痕が残る。 【外】回転削り、回転へら削り(L)、底部へら切り未調整 【内】回転削り、静止削り	【外】2.5Y7/1灰白 【内】N7/灰白 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	完存	

表2 土器観察表(2)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
		1	15	20	6・23-堅穴8埋土	須恵器杯身	(11.4) [4.0]	立ち上がりは屈曲して直立し、内端部は凹斜面を有す。受部は長く水平にのびる。受け部に重ね焼きの焼きムラあり。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:1mm以下の細粒、黒色粒 良	口 1/8 以下	
		1	15	21	6・23-堅穴8貼床内	須恵器杯蓋(口縁)	(12.6) — [3.2]	口縁部と天井部の境に強い稜が走り、端部は外方に屈曲し凹斜面を有す。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8	
104		1	15	22	6・23-堅穴8SK2	製塩土器(口縁)	— — [2.6]	立ち上がりは内傾し、内端部は凹斜面を持つ。 【外】テ 【内】テ	【外】10Y6/1灰 【内】7.5YR7/4=7イ橙 普:2mm以下の長石 不良	細片	
		1	15	23	6・23-堅穴8埋土	土師質土器皿	8.2 6.8 1.4	口縁は短く外傾する。 【外】回転テ, 回転テ切り 【内】回転テ	【外】10YR8/2灰白 【内】2.5Y8/2灰白 普:3mm以下の石英・長石・赤色粒 不良	口 1/2	
		1	15	24	6・23-堅穴8埋土	土師質土器皿	(7.7) (6.0) 1.0	口縁は短く外傾する。 【外】回転テ, 回転テ切り 【内】回転テ	【外】5YR7/6橙 【内】5YR7/6橙 普:2mm以下のクワ礫 不良	口 3/8	
		1	15	25	6・23-堅穴8埋土	土師質土器甕(口縁)	— — [5.5]	口縁部は内面の屈曲が強く外面は湾曲する。 【外】テ 【内】板テ	【外】10YR2/1黒 【内】10YR4/1褐灰 粗:3mm以下の石英・長石・赤色粒・金雲母 不良	口 1/8 以下	
		1	15	26	6・23-堅穴8埋土	土師質土器甕(口縁)	(21.8) — [7.0]	口縁上端部を摘み上げ、端面はくぼむ。 【外】テ 【内】コテ, 板テ	【外】7.5YR8/4浅黄橙 【内】10YR8/4浅黄橙 粗:3mm以下の長石・赤色粒・金雲母 不良	口 1/8	
85 91		1	18	27	6-堅穴7埋土	須恵器杯身	④ a イ 11.0 6.4 5.1	立ち上がりは内傾し、内端部は斜面を有す。底部は角丸平底。 【外】回転テ, 回転テ削り(R) 【内】回転テ	【外】10YR6/1褐灰 【内】10YR7/1灰白 普:4mm以下の細粒・黒色粒 やや不良	受 1/2	
85		1	18	28	6-堅穴7周壁溝	須恵器杯身	① b イ (10.2) — [3.2]	立ち上がりは内傾し、内端部は斜面を有す。受部上面に蓋の融着痕あり。 【外】回転テ, 回転テ削り(-) 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】10R5/2灰赤 精良:1mm以下の細粒 良	口 1/6	
85 91		1	18	29	6-堅穴7床面直上	須恵器有蓋高杯(杯部)	A 10.5 — [5.1]	立ち上がりは内傾し、内端部は段を持つ。 【外】回転テ, 回転テ削り(L), 3方向台形 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 普:3mm以下の細粒・黒色粒 良好	口 3/4	
85 91		1	18	30	6-堅穴7SP3・カマド	須恵器有蓋高杯	B 11.8 8.8~9.2 7.9~8.9	立ち上がりはやや内傾し、内端部は凹面を持つ。脚部は短脚で、脚柱部と裾部の境で屈曲、裾端部は有稜角端面を持つ。受部上面に一部灰がかり。歪あり。 【外】回転テ, 回転テ目, 3方向円形 【内】回転テ	【外】N5/灰 【内】N5/灰 粗:1mm以下の細粒 良好	口 3/8 底部 ほぼ 完存	
85 91		1	18	31	6-堅穴7床面直上	須恵器有蓋高杯	A 10.4 8.5 8.7	立ち上がりは内傾し、内端部は幅広な斜面を持つ。脚部はハの字状に開き、裾端部は下方に曲げて丸く収め線縁が走る。 【外】回転テ, 回転テ削り(R), 3方向台形 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:3mm以下の細粒・黒色粒 良好	口 1/3 底部 完存	
85 91		1	18	32	6-堅穴7埋土	土師器甕	A1 II — — [9.6]	頸部は緩やかに屈曲し、体部は球形を呈する。底部外面はドーナツ状の濃いススが付着。 【外】体部テ 【内】テ後→板テ	【外】10YR4/3=7イ黄褐 【内】10YR5/4=7イ黄褐 粗:4mm以下の石英・長石・金雲母・赤色粒 不良	頸 1/4	
85		1	18	33	6-堅穴7カマド内他	土師器甕(口縁)	A2 a (15.2) — [5.0]	口頸部は湾曲・外反する。端部a。 【外】テ 【内】テ	【外】5YR6/6橙 【内】7.5YR6/6橙 粗:3mm以下の石英・長石 良	口 1/5	
85 91		1	18	34	6-堅穴7カマド周辺他	土師器鍋	鍋A 19.7 7.5 13.8	平底で肩の張らない短胴形を呈する。口頸部は屈曲・外傾し端部は丸く収める。やや厚手で粗雑な作りである。 【外】コテ, 板テ 【内】テ, 板テ	【外】10YR8/6黄橙 【内】5YR7/8橙 粗:2mm以下の石英・長石・クワ礫 良	口 1/2	
85 91		1	18	35	6-堅穴7埋土	土師器甕	A2 IV b 17.0 — [9.6]	口頸部は屈曲・外反し、端部b。 【外】テ 【内】テ, 体部観察難	【外】7.5YR6/4=7イ橙 【内】7.5YR6/4=7イ橙 粗:3mm以下の石英・長石・赤色粒・金雲母 不良	口 1/2	
91		1	18	36	6-堅穴7カマド	土師器甕(体~底部)	(16.3) (8.2) [24.1]	甕転用甕。口縁部は残存しない。体部は長胴形を呈し、底部の蒸気孔は単孔筒抜け。 【外】テ, 煤付着 【内】板テ	【外】7.5YR5/6明褐 【内】7.5YR5/6明褐 普:4mm以下の石英・長石・赤色粒 良	体~ 底部 完存	
105		1	21	37	8-堅穴1床面直上	須恵器杯蓋	① a イ 11.9 — 4.5	口縁部と天井部の境は突線が走り、内端部は段を有す。天井部は丸い。 【外】回転テ, 回転テ削り(R) 【内】回転テ, 当て具痕	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 堅緻	完存	
105		1	21	38	8-堅穴1床面直上	須恵器杯身	① a イ (10.6) 2 [5.6]	立ち上がりはやや内傾し、内端部は凹斜面を有す。底部は深い丸底。 【外】回転テ, 回転テ削り(L) 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 3/4	

表3 土器観察表(3)

単位:cm (推定値)[残存値]【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 胎土 焼成	残存率	備考
105	1	21	39	8-堅穴1 床面直上	須恵器 杯身	① a イ	10.0 - 4.7	立ち上がりは内傾し、内端部は斜面を有す。底部は角丸丸底。 [外]回転テ, 回転ヘラ削り(L), 2次被熱 [内]回転テ, 静止テ	[外]10YR7/4-ブイ黄橙 [内]N6/灰 粗:2mm以下の細粒・クワ礫 不良	ほぼ 完存	
105	1	21	40	8-堅穴1 SK6	土師器 甕	A1 III c1	11.0 - 12.4	口頸部は緩やかに屈曲・外傾し、端部c1。体部は球形丸底。底部外面にドーナツ状の濃いスス付着。底部中央にドーナツ状の濃いススが付着した支脚痕跡。 [外]口縁部ヨコテ, 体部下半ヨコテ [内]口縁部ヨコテ, 体部テ・指頭圧痕	[外]2.5YR6/6明黄褐 [内]7.5YR6/4-ブイ橙 普:0.5~1.5mm石英・長石 良	ほぼ 完存	
105	1	21	41	8-堅穴1 SK6	土師器 鍋	鍋A	(20.0) - [8.2]	肩が張らず口頸部は緩やかに湾曲・外反する。端部は先細りしている。 [外]ハ [内]観察難	[外]7.5YR5/6明褐 [内]7.5YR5/6明褐 粗:1~3.5mmの石英・長石・クワ礫 不良	口 1/2	
105	1	21	42	8-堅穴1 カマド	土師器 甕 (体部)	A2 V'	(15.0) 5.0 [27.5]	口縁部は残存しない。体部は長胴形を呈し、底部は狭い平坦面を持つ。底部中央にドーナツ状のススが付着した底部支脚痕跡あり。 [外]テ, ナメケ [内]板テ, 指頭圧痕	[外]5YR5/6明赤褐 [内]7.5YR5/6明褐 普:0.5~3mmの石英・長石・クワ礫・ 金雲母 良	体 1/1	
105	1	21	43	8-堅穴1 カマド	土師器 甕 (口・体 部)	A V d1	(25.7) 【25.0】	口縁部は直口し、端部d1。把手貼付痕あり。外面の底部付近は被熱し、表面が剥離している。 [外]ヨコテ, テハケ [内]板テ, テ	[外]7.5YR6/6橙 [内]10YR5/3-ブイ黄褐 粗:0.5~2mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/8	
106	1	25	44	8-堅穴4 貼床内	須恵器 杯蓋	④ b イ	(11.4) - [4.3]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は斜面を有す。 [外]回転テ, 回転ヘラ削り(-) [内]回転テ	[外]5PB5/1青灰 [内]5PB5/1青灰 普:4mm以下の細粒 良	口 1/8	
106	1	25	45	8-堅穴4 埋土	須恵器 杯蓋	④ c イ	(11.6) - [4.8]	口縁部と天井部の境は弱い凹線が巡り、内端部は斜面を有す。 [外]回転テ, 回転ヘラ削り(L) [内]回転テ	[外]N5/灰 [内]5PB5/1青灰 普:2mm以下の細粒 良	口 1/4	
106	1	25	46	8-堅穴4 埋土	須恵器 杯身	②	(10.8) - [4.1]	立ち上がりはやや内傾し、端部は丸くおさめる。 [外]回転テ, 回転ヘラ削り(-) [内]回転テ	[外]N5/灰 [内]5PB5/1青灰 精良:1mm以下の細粒 良	受 1/5	
106	1	25	47	8-堅穴4 埋土	須恵器 杯身	②	(11.7) - [3.7]	立ち上がりはやや内傾し、内端部は幅広の凹斜面を有す。 [外]回転テ, 回転ヘラ削り(-) [内]回転テ	[外]N5/灰 [内]N6/灰 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	受 1/8	
106	1	25	48	8-堅穴4 床面直上	須恵器 杯身	① b イ	10.8 3.8 4.7	立ち上がりはやや内傾し、内端部は凹線を有す。底部は深い丸底。 [外]回転テ, 回転ヘラ削り(L) [内]回転テ, 静止テ	[外]5GY6/1オリーブ灰 [内]N6/灰 普:3mm以下の細粒・黒色粒 良	口 7/8	8-SD7出土 遺物と遺 構間接合
106	1	25	49	8-堅穴4 床面直上	須恵器 杯身	① a エ	11.1 - 5.2	立ち上がりはほぼ直立し、内端部は凹線が巡る。底部は丸底。 [外]回転テ, 回転ヘラ削り(R) [内]回転テ, 静止テ	[外]5PB6/1青灰 [内]5PB6/1青灰 普:3mm以下の細粒 良	完存	
106	1	25	50	8-堅穴4 埋土	須恵器 杯身	③ ー	(12.0) - [4.9]	立ち上がりは内傾し、内端部は面を有す。 [外]回転テ, 回転ヘラ削り(R) [内]回転テ, 静止テ	[外]10Y6/1灰 [内]N7/灰白 精良:1mm以下の黒色粒・細粒 良	受 1/3	
106	1	25	51	8-堅穴4 床面直上	須恵器 広口壺		14.8 - [20.6]	体部は球形を呈する。口頸部は屈曲・外反し、端部は上方に狭み上げ外端面をもつ。口縁部へ記号「//」あり。 [外]回転テ, 平行文クワ [内]回転テ, テ消し	[外]10Y7/1灰白 [内]5Y7/1灰白 普:0.5~2mmの細粒・赤色粒 不良	ほぼ 完存	
106	1	25	52	8-堅穴4 床面直上	土師器 手捏土器		8.2~9.0 5.6 5.2	粗製品。底部は、丸みをおびた平底で、体部は外傾気味に立ち上がる。内面に朱?付着。 [外]板状押圧, 煤付着 [内]指頭圧痕	[外]10YR6/6明黄褐 [内]10YR5/6黄褐 粗:0.5~4mmの石英・長石 良	完存	
106	1	25	53	8-堅穴4 床面直上	土師器 甕	A3 II a	(19.6) - [18.4]	口頸部は屈曲・直立気味に立ち上がり、端部は丸く収める。体部は長胴形か? [外]口縁部ヨコテ, 体部上半テハ, 下半板テ [内]口縁部ヨコテ, 体部板テ	[外]7.5YR7/4-ブイ橙 [内]7.5YR6/6橙 普:1~3mmの石英・長石 良	口 1/4	
106	1	25	54	8-堅穴4 カマド	土師器 鍋	鍋A	(20.1) - 14.1	丸底で肩の張らない短胴形を呈する。口頸部は緩やかに湾曲・外反する。端部は先細りしている。 [外]口縁部ヨコテ, 体部テハ [内]口縁部ヨコテ→ハ, 体部板テ	[外]5YR6/6橙 [内]5YR5/6明赤褐 粗:0.5~3mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/8	
106	1	25	55	8-堅穴4 カマド	土師器 甕	B	14.3 - [14.2]	粗製品。器壁厚く、歪あり。調整難。端部は端面をもつ。 [外]ヨコテ, 板テ [内]ヨコテ, 板テ	[外]7.5YR6/6橙 [内]10YR7/4-ブイ黄橙 粗:0.5~2mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/8 以下	
92	1	28	56	3-堅穴55・ 21-堅穴10 床面直上	須恵器 杯蓋	② b エ	12.7~ 12.9 - 4.8	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は凹線が巡る。 [外]回転テ, 回転ヘラ削り(R) [内]回転テ	[外]N5/灰 [内]N5/灰 普:4mm以下の細粒・黒色粒 良	完存	
92	1	28	57	3-堅穴55・ 21-堅穴10 カマド 付近	須恵器 杯身	③ b イ	(11.7) - [5.6]	立ち上がりは内傾し、内端部は斜面を有す。受部境に溝をなす。底部は深い丸底。 [外]回転テ, 回転ヘラ削り(L) [内]回転テ	[外]N6/灰 [内]N7/灰白 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/3 受 1/1	
	1	28	58	3-堅穴55・ 21-堅穴10 カマド 上層	須恵器 杯身		(11.0) - [3.0]	立ち上がりは内傾し、内端部は斜面を有す。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]N6/灰 [内]N6/灰 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/4	

表4 土器観察表(4)

単位:cm (推定値)[残存値]【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径底径器高	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 胎土 焼成	残存率	備考
92	1	28	59	3-堅穴55・21-堅穴10 カマド	土師器 甕	A2 III c1	16.5 — [16.0]	口頸部はくの字状に強く屈曲・外傾し、端部c1。体部は球形か。 [外]口縁部ヨコテ、体部上半ナメケ [内]口縁部ヨコテ→ハ、テ	[外]2.5YR6/8橙 [内]2.5YR6/8橙 粗:1~6mmの石英・長石 良	ほぼ完全	
	1	28	60	3-堅穴55・21-堅穴10 カマド	土師器 甕(口頸)	e2	13.4 — [8.2]	頸部は屈曲し、口縁部は短く外傾する。端部e2。体部上半が張る球形胴か。 [外]ヨコテ、ヨコケ [内]ヨコテ、板テ	[外]7.5YR4/2灰褐 [内]10YR3/1黒褐 粗:1~3mmの石英・長石 不良	口 1/2	
	1	28	61	3-堅穴55・21-堅穴10 南半埋土	須恵器 杯蓋	b イ	(14.8) — [4.4]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は段を有す。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]N4/灰 [内]N7/灰白 精良:3mm以下の細粒 良	口 1/8	3-堅穴82 で取上げ
	1	28	62	3-堅穴55・21-堅穴10 南半埋土	須恵器 杯身		(10.4) — [2.9]	立ち上がりは内傾し、端部は先細りしている。 [外]回転テ、体部外面に焼きムラあり [内]回転テ	[外]N7/灰白 [内]N7/灰白 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	3-SK20で 取上げ
92	1	28	63	3-堅穴55・21-堅穴10 南半埋土	須恵器 杯身	④ c イ	10.5 — 4.4	立ち上がりは内傾し、内端部は斜面を有す。 [外]回転テ、回転ヘラ削り(R) [内]回転テ、静止テ	[外]5Y7/1灰白 [内]5Y7/1灰白 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 不良	ほぼ 完存	3-SK20で 取上げ
92	1	28	64	3-堅穴55・21-堅穴10 南半埋土	須恵器 杯身		(13.0) — [4.9]	立ち上がりは内湾気味に内傾し、内端部は斜面を有す。体部に沈線が2条巡る。受部に杯蓋重ね焼きによる焼きムラあり。 [外]回転テ、回転ヘラ削り(R) [内]回転テ	[外]5PB6/1青灰 [内]N5/灰 精良:1mm以下の細粒 良	口 1/7	3-堅穴82 で取上げ
92	1	28	65	3-堅穴55・21-堅穴10 南半埋土	須恵器 有蓋高杯	A	(10.1) 8.4 8.9	立ち上がりは内傾し、内端部は凹線が巡る。脚部はハの字状に開き、裾端部は有稜角端面を持つ。歪みあり。 [外]回転テ、回転ヘラ削り(L)、回転タ目、3方向台形カシ [内]回転テ	[外]5PB6/1青灰 [内]5PB6/1青灰 普:1~4mmの細粒 良好	口 5/12 脚 3/4	3-堅穴82 で取上げ
	1	28	66	3-堅穴55・21-堅穴10 南半埋土	須恵器 有蓋高杯(杯部)	A	(10.8) — [4.2]	立ち上がりは屈曲気味に内傾し、内端部は斜面を持つ。杯底部に、カシ穿孔時の刻みあり。 [外]回転テ、回転ヘラ削り(L) [内]回転テ	[外]N7/灰白 [内]N7/灰白 精良:0.5~1mmの細粒・黒色粒 良	受 1/5	3-堅穴82 で取上げ
	1	28	67	3-堅穴55・21-堅穴10 南半埋土	須恵器 高杯(脚部)	A	— 8.4 [5.7]	脚部はハの字状に開き、裾端部は下方に曲げて丸くおさめる。 [外]回転テ、回転ヘラ削り(R)、3方向台形カシ [内]回転テ	[外]7.5Y7/1灰白 [内]5Y7/1灰白 粗:1~4mmの細粒・赤色粒 良	脚 1/7	3-SK20で 取上げ
92	1	28	68	3-堅穴55・21-堅穴10 南半埋土	須恵器 甕		(21.6) — [9.4]	口頸部は直立気味に立ち上がった後屈曲してさらに外方に開く。端部外面に突線を貼り付け、端面となす。 [外]回転テ、平行文タタ [内]回転テ、当て具痕→半刈テ	[外]N5/灰 [内]N7/灰白 普:1~5mmの細粒 良	口 1/3	3-堅穴82 で取上げ
94	1	29	69	4-堅穴1 床面直上	須恵器 有蓋高杯(杯~脚柱)	①	(11.0) — [7.4]	立ち上がりは内傾し、内端部は凹斜面を持つ。受部に重ね焼きの痕跡あり。 [外]回転テ、回転ヘラ削り(L)、推定3方向円形カシを穿孔 [内]回転テ	[外]N6/灰 [内]N7/灰白 精良:1~2mmの細粒 良好	口 1/2	
102	1	30	70	6・23-堅穴6 SK3	須恵器 杯蓋	② b ウ	12.3 — 4.0	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は凹斜面を有す。 [外]回転テ、回転ヘラ削り(L) [内]回転テ	[外]N6/灰 [内]N6/灰 粗:3mm以下の細粒・黒色粒・白色粘土 良	口 1/2	
	1	30	71	6・23-堅穴6 SK3	土師器 杯	B c	(13.7) — [4.0]	体部は碗形を呈す。口縁部は内湾し、端部は内傾する面を持つ。 [外]丁寧なテ [内]テ	[外]2.5YR5/6明赤褐 [内]7.5YR5/4赤褐 精良:0.1~1mmの石英・長石・赤色粒 良	口 1/3	
102	1	30	72	6・23-堅穴6 SK3	土師器 甕(体部)	A1 V	(9.4) 6.6 [13.1]	体部上半と下半のみの残存で接合不可。体部は球形。器壁は薄い。被熱により摩擦著しい。 [外]観察難、被熱 [内]テ、指頭圧痕	[外]5YR5/4赤褐 [内]5YR5/4赤褐 粗:0.5~2mmの石英・長石・金雲母 不良	底 1/1	
99	1	33	73	6-堅穴2 埋土	須恵器 杯蓋	② b イ	(12.8) — 4.8	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は幅狭の凹面を有す。 [外]回転テ、回転ヘラ削り(R) [内]回転テ、静止テ	[外]N6/灰 [内]N6/灰 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/6	
99	1	33	74	6-堅穴2 埋土	須恵器 杯蓋	④ c ウ	(12.3) — [4.5]	口縁部と天井部の境は凹線が巡り、内端部は斜面を有す。 [外]回転テ、回転ヘラ削り(L) [内]回転テ	[外]N6/灰 [内]7.5Y5/1灰 普:4mm以下の細粒 良	口 1/3	301(3- SD1・4- SD3)と接 合
99	1	33	75	6-堅穴2 埋土	須恵器 杯蓋	a イ	(12.0) — 4.7	口縁部と天井部の境は強い稜が巡り、内端部は斜面を有しなでにより丸みをおびる。 [外]回転テ、回転ヘラ削り(L) [内]回転テ	[外]N6/灰 [内]N7/灰白 精良:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/4	
128	1	33	76	6-堅穴2 埋土	須恵器 有蓋高杯蓋(天井)		(4.0) (1.0) [2.7]	つまみは径が大きく中央が窪む。 [外]回転テ、回転ヘラ削り(L) [内]回転テ	[外]N7/灰白 [内]N6/灰 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	つま み のみ	
99	1	33	77	6-堅穴2 埋土	土師器 甕(口縁・把手)	A II c2	(29.0) — [22.0]	口縁部は直口し端部近くで外傾。端部c2。把手は牛角状を呈し、断面楕円形。把手接合法は差込み技法。 [外]粗いハ後細いハ、指頭圧痕 [内]ヨコケ、板テ	[外]7.5YR7/6橙 [内]10YR8/3浅黄橙 普:1.5mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/10	

表5 土器観察表(5)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図 版 番 号	分 冊	挿 図 番 号	遺 物 番 号	遺 構 層 位	種 別 器 種 (部 位)	分 類	口 径 底 径 器 高	形 態 の 特 徴 手 法 の 特 徴【外】【内】	色 調【外】【内】 胎 土 焼 成	残 存 率	備 考
107	1	35	78	8-堅穴2 床面直上	須恵器 杯蓋	③ c ウ	12.0 — 4.5	口縁部と天井部の境は凹線が巡り、内端部は幅広い 斜面を有す。天井部はくぼむ。 【外】回転け、回転へり削り(L) 【内】回転け	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 粗:3mm以下の細粒・黒色粒 良	口 2/3	
107	1	35	79	8-堅穴2 床面直上	須恵器 杯身		— — 【4.2】	立ち上がりは屈曲気味に内傾し、内端部は凹斜面を 有す。 【外】回転け、回転へり削り(-) 【内】回転け	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:1.5mm以下の細粒 良	口 1/8 以下	
107	1	35	80	8-堅穴2 埋土	須恵器 杯身		(12.8) — 【3.7】	立ち上がりは内傾し、内端部は丸くおさめる。 【外】回転け 【内】回転け	【外】10YR7/2=ブイ黄橙 【内】10YR8/2灰白 普:2mm以下の細粒・黒色粒 不良	口 1/8	
108	1	36	81	10-堅穴90 埋土	土師器 甕 (口頸)	F III d2	(27.0) — 【9.1】	口頸部はくの字状に屈曲し、端部d2。 【外】口縁部ヨコテ、体部上半丁寧なハ 【内】口縁部ヨコテ、体部ヨコテ	【外】10YR6/3=ブイ黄橙 【内】10YR6/2灰黄褐 精良:1~4mmの石英・長石・クワ礫・ 金雲母 良好	口 1/8 以下	布留系
	1	36	82	10-堅穴90 埋土	製塩土器 (口縁)		— — 【2.9】	口縁部は直口し、端部は丸くおさめる。 【外】タテ 【内】テ	【外】7.5YR7/6橙 【内】10YR8/3浅黄橙 精良:0.1~0.5mmの石英・長石・クワ 礫 不良	細片	備讃V式
86 96	1	42	83	3-堅穴45 床面直上	須恵器 杯蓋	④ b エ	(11.8) — 【4.9】	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は凹線 が巡る。天井部は高く丸い。 【外】回転け、回転へり削り(R)、頂部へり切り未調整 【内】回転け	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 普:2.5mm以下の細粒・黒色粒 良	口 2/3	
	1	42	84	3-堅穴45 埋土	須恵器 杯蓋	⑤ d オ	(15.2) — 【3.5】	口縁部と天井部の境は丸くなだらかで、端部は丸く おさめる。 【外】回転け、回転へり削り(R) 【内】回転け、静止テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:1.5mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	
	1	42	85	3-堅穴45 埋土	須恵器 杯蓋	⑤ d エ	(14.0) — 4.1	口縁部と天井部の境は丸くなだらかで、内端部は凹 線が巡る。 【外】回転け、回転へり削り(R)、頂部へり切り未調整 【内】回転け、当て具痕	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8	
	1	42	86	3-堅穴45 埋土	須恵器 蓋?	d ウ	(15.0) — 【4.2】	口縁部と天井部の境は丸くなだらかで、端部は外方 に屈曲し凹斜面を有す。 【外】回転け、回転へり削り(R) 【内】回転け	【外】N5/灰 【内】N6/灰 普:1mm以下の細粒 良	口 1/8 以下	
86 96	1	42	87	3-堅穴45 床面直上	須恵器 杯身	② a エ	(11.0) — 5.5	立ち上がりは内傾し、内端部に凹線が巡る。底部は 深く丸底。 【外】回転け、回転へり削り(R) 【内】回転け、静止テ	【外】N5/灰 【内】N5/灰 普: 良	完存	
86 96	1	42	88	3-堅穴45 床面直上	須恵器 杯身	② b オ	11.3 6.9 3.9	立ち上がりは内傾し、端部は丸くおさめる。底部は 浅い平底。受部に蓋重ね焼痕あり。折込技法。 【外】回転け、回転へり削り(R) 【内】回転け、静止テ	【外】N5/灰 【内】N7/灰白 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	完存	
96	1	42	89	3-堅穴45 床面直上	須恵器 高杯 (杯部)		(14.0) — 【4.1】	口縁部と体部の境は弱い稜が巡り、外端部をつまみ 出し、内傾する面を持つ。長脚高杯か。 【外】回転け、回転へり削り(R) 【内】回転け、静止テ	【外】10YR7/2=ブイ黄橙 【内】10YR7/2=ブイ黄橙 精良:0.5~1mmの黒色粒 不良	口 1/6	200『雄山 古墳群』雄 山6号墳類例 あり
	1	42	90	3-堅穴45 床面直上	須恵器 瓶or壺 (口縁)		(7.2) — 【5.0】	口縁部は外傾し、端部は丸く収める。 【外】回転け 【内】回転け	【外】2.5Y6/1黄灰 【内】2.5Y6/1黄灰 普:0.5~1mmの細粒・黒色粒 良好	口 1/3	
	1	42	91	3-堅穴45 埋土	須恵器 有蓋高杯蓋 (つまみ)		3.1 0.8 【1.6】	つまみは小さく、扁平で中央が窪む。 【外】回転け 【内】回転け	【外】5Y7/1灰白 【内】10YR7/1灰白 粗:0.2~1mmの細粒 良好	つま み 1/2	
86 96	1	42	92	3-堅穴45 床面直上	須恵器 短頸壺		7.4~7.6 — 7.0	口縁部は短く内傾し、端部は丸くおさめる。 体部は扁球形を呈し、底部は丸底。 【外】回転け、回転へり削り(R) 【内】回転け	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:1~4mmの細粒 良	ほぼ 完存	
86 96	1	42	93	3-堅穴45 床面直上・ 周壁溝	須恵器 短頸壺 (体部)		(9.2) — 【8.9】	口縁部は欠損。体部上位に最大径となり、底部はや や尖底。底部に粘土目の付着(1ケ)・剥離痕(2 ケ)。 【外】回転け、回転へり削り 【内】回転け、指頭圧痕、ヨコテ?	【外】5PB6/1青灰 【内】5PB6/1青灰 普:1~3mmの細粒 良	頸 1/4 底 1/1	
86 96	1	42	94	3-堅穴45 床面直上	須恵器 広口壺		10.6 — 14.0	体部は肩が張らず丸底の球形を呈す。口縁は外傾 し、端部は先細りしている。 【外】回転け、回転へり削り(R) 【内】回転け、工具テ	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 普:1~2.5mmの細粒・黒色粒 やや不良	口 1/2 体 1/1	
86 96	1	42	95	3-堅穴45 床面直上	須恵器 広口壺		12.9 — 17.8	体部上位が最大径となり、やや尖底気味の球形を呈 す。口縁は外傾し、端部は内傾する幅広い面を持 つ。 【外】回転け、回転へり削り(R)、テ 【内】回転け、指頭圧痕	【外】7.5Y7/1灰白 【内】N7/灰白 普:1~4mmの細粒 良	口 2/3 体 1/1	
86 96	1	42	96	3-堅穴45 床面直上	須恵器 広口壺		14~14.7 — 21.0	体部は球形丸底である。口縁部は外反し、端部は丸 く肥厚する。 【外】回転け、平行文タテ→回転へり削り (R) 【内】回転け	【外】7.5Y7/1灰白 【内】7.5Y7/1灰白 普:1~4mmの細粒・黒色粒 良	完存	

表6 土器観察表(6)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
86 97	1	42	97	3-堅穴45 床面直上	土師器 甕 (口頸)		(13.0) — [8.4]	口縁部はくの字状に屈曲し、端部は丸く収める。 [外]ヨコテ [内]ヨコテ	[外]7.5YR7/3-7イ橙 [内]7.5YR8/4浅黄橙 普:0.5~1.5mm石英・長石・クワ礫 良	口 1/8 以下	97・98・ 99は出土 位置も同 じで、胎土 等も類似 している ので、同一 個体の可 能性あり。
86 97	1	42	98	3-堅穴45 床面直上	土師器 甕 (体部)	把手 エ	2.9 2.1 [6.0]	把手は細い棒状を呈し、断面円形。 [外]指頭圧痕 [内]観察難	[外]10YR8/4浅黄橙 [内]7.5YR8/4浅黄橙 普:0.5~2mmの石英・長石・クワ礫 良	把手 ~ 体 部	
86 97	1	42	99	3-堅穴45 埋土	土師器 甕 (把手)	把手 エ	2.3 1.7 [3.0]	把手は短い角状を呈し、断面はほぼ円形。 [外]テ [内]テ	[外]7.5YR7/4-7イ橙 [内]7.5YR7/4-7イ橙 普:0.5~1mmの石英・長石・クワ礫・ 金雲母 良	把手 のみ	
	1	42	100	3-堅穴45 床面直上	土師器 甕 (口縁)	c1	— — [6.7]	口縁部は直口し、端部c1。 [外]ヨコテ,テ [内]観察難	[外]2.5YR5/6明赤褐 [内]5YR6/4-7イ橙 粗:1~4mmの石英・長石 良	口 1/8 以下	
	1	42	101	3-堅穴45 埋土	土師器 甕 (把手)	把手 イ	3.4 2.4 [4.1]	把手は尖端で上方への反りが強い牛角状を呈し、断 面半円形。 [外]テ [内]テ	[外]5YR5/6明赤褐 [内]5YR5/6明赤褐 粗:1~4mmの石英・長石 良	把手 のみ	
	1	42	102	3-堅穴45 床面直上	土師器 壺 (口縁)		(18.2) — [5.1]	口縁は直線的に外傾し、端部は先細りしている。 [外]テ [内]テ	[外]10YR8/3浅黄橙 [内]7.5YR7/6橙 粗:1~3mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/4	
86	1	42	103	3-堅穴45 床面直上	土師器 壺 (底部)		— 8.5 [8.2]	底部は平底。 [外]板テ [内]観察難	[外]10YR8/4浅黄橙 [内]7.5YR7/6橙 普:1~3mmの石英・長石・クワ礫 良	底 1/1	
	1	42	104	3-堅穴45 貼床内	土師器 甕 (口頸)	a	(10.0) — [3.7]	口縁部は短く外反し、端部a。粗製品。 [外]指頭圧痕 [内]指頭圧痕	[外]7.5YR5/3-7イ褐 [内]5Y2/1黒 粗:1~3mmの石英・長石・クワ礫 不良	口 1/6	
86 97	1	42	105	3-堅穴45 カマド・周 壁溝	土師器 甕 (口頸)	A2 V' c1	16.7 — [6.3]	口頸部はくの字状に屈曲し、端部c1。頸部にヘリ記号 「 」あり。 [外]ヨコテ,ヨコテ [内]ヨコテ,指頭圧痕	[外]10YR6/4-7イ黄橙 [内]7.5YR5/4-7イ褐 粗:1~5mmの石英・長石・クワ礫・金 雲母 良	口 1/2	
86 97	1	42	106	3-堅穴45 カマド焚口 付近	土師器 甕 (口頸)	F III d1	(20.9) — [5.5]	頸部はくの字状に屈曲し、端部d1。 [外]口縁部ヨコテ,体部上半ヨコテ [内]口縁部粗いヨコテ,テ	[外]5YR6/3-7イ橙 [内]5YR5/3-7イ赤褐 普:1~5mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/4	
86 97	1	42	107	3-堅穴45 カマド	土師器 甕	A2 V' d1	(19.0) — [13.5]	口頸部は湾曲・外傾し、端部b。 [外]観察難 [内]指頭圧痕,観察難	[外]5YR5/6明赤褐 [内]5YR5/6明赤褐 粗:1~5mmの石英・長石 不良	口 1/3	
86 97	1	42	108	3-堅穴45 カマド	土師器 甕 (口頸)	A2 V d1	17.0 — [11.4]	口頸部は屈曲・直線的に外傾し、端部d1。 [外]ヨコテ,ハ [内]ヨコテ,テ	[外]10YR6/4-7イ黄橙 [内]10YR5/2灰黄褐 普:1~5mmの石英・長石・金雲母 良	口 1/2	
86 97	1	43	109	3-堅穴45 床面直上	土師器 甕	B IV b	(17.0) — [28.8]	口頸部は屈曲・直線的に立ち上がり、端部b。体部 は倒卵形を呈する。 [外]板テ,体部下半ス酸化 [内]指テ	[外]10YR7/2-7イ黄橙 [内]10YR7/3-7イ黄橙 粗:0.5~4mmの石英・長石 不良	口 1/2 以上	
86 97	1	43	110	3-堅穴45 床面直上	土師器 甕	A3 II b	19.0~ 20.0 — (30.1)	口頸部は湾曲・大きく外反する。端部は丸く収め、 内端部がわずかにくぼむ。体部は倒卵形を呈す。 外面ハのストロークは短い。 [外]口縁部ヨコテ,体部板テ→テ [内]口縁部ヨコテ,体部削り→板テ,ハ	[外]5YR5/6明赤褐 [内]5YR6/6橙 粗:1~4mmの石英・長石・クワ礫 良	口 5/6	
86 97	1	43	111	3-堅穴45 床面直上	土師器 壺	C	16.0 — 28.9	口縁部は直線的に外傾し、端部は丸く収める。体部 は球形に近く、底部は丸底か? [外]テ,ハ [内]テ	[外]10YR8/3浅黄橙 [内]10YR8/4浅黄橙 粗:1~3mmの石英・長石 良	ほぼ 完 存	
85 109	1	48	112	10-堅穴110 床面直上	須恵器 杯蓋	③ b ウ	(13.7) — 4.4	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は幅広 の凹斜面を有す。 [外]回転テ,回転ハ削り(R),頂部ハ切り未調整 [内]回転テ,静止テ	[外]N6/灰 [内]N7/灰白 精良:1mm以下の黒色粒 良	口 1/3	
85 109	1	48	113	10-堅穴110 床面直上	須恵器 杯蓋	③ b イ	14.1 — 4.6	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は斜面 を有す。 [外]回転テ,回転ハ削り(R) [内]回転テ,静止テ	[外]5PB7/1明青灰 [内]N6/灰 精良:3mm以下の細粒・黒色粒 良	口 3/4	
85 109	1	48	114	10-堅穴110 埋土	須恵器 杯蓋	③ b ウ	(13.7) — 4.6	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、端部は外方に 屈曲して凹斜面を有す。 [外]回転テ,回転ハ削り(L) [内]回転テ	[外]N5/灰 [内]N5/灰 粗:2mm以下の細粒 良	口 1/4	
85 128	1	48	115	10-堅穴110 埋土	須恵器 杯蓋	② b エ	(14.0) — 4.0	口縁部と天井部の境は強い稜が巡り、内端部は沈線 が巡る。天井部はくぼむ。 [外]回転テ,回転ハ削り(R) [内]回転テ	[外]2.5Y6/1黄灰 [内]2.5Y6/1黄灰 粗:4mm以下の細粒・黒色粒・白色粘 土 良	口 1/8 以下	
85 109	1	48	116	10-堅穴110 埋土	須恵器 有蓋高杯蓋	d オ	(14.4) — [4.4]	口縁部と天井部の境は屈曲し、端部は丸くおさめ る。 [外]回転テ,回転ハ削り(R) [内]回転テ	[外]10YR7/2-7イ黄橙 [内]10YR7/1灰白 普:1~3mmの細粒・黒色粒 不良	口 1/4	

表7 土器観察表(7)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
85109	1	48	117	10-堅穴110 床面直上	須恵器 杯身	③ b オ	11.2 — 5.1	立ち上がりは内傾し、端部は丸くおさめる。底部は丸底。受部境に溝をなす。立ち上がりに線鋸歯文(?)を刻む。内面に炭化物の付着あり。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(L) 【内】回転テ、静止テ	【外】5PB4/1暗青灰 【内】5PB4/1暗青灰 粗:3mm以下の細粒 良	完存	
85109	1	48	118	10-堅穴110 床面直上	須恵器 杯身	③ c オ	12.1 — 5.1	立ち上がりは内傾し、端部は丸くおさめる。底部は丸底。受部境に溝をなす。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(L) 【内】回転テ、当て具痕、静止テ	【外】N5/灰 【内】N5/灰 粗:3mm以下の細粒・赤色粒 良	口 5/6	
85109	1	48	119	10-堅穴110 貼床内	須恵器 杯身	③	(11.9) — [5.1]	立ち上がりは内湾気味に内傾し、端部は丸くおさめる。底部は角消し丸底。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(L) 【内】回転テ	【外】2.5Y5/1黄灰 【内】10YR5/1褐灰 粗:3mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/5	
85109	1	48	120	10-堅穴110 床面直上	須恵器 杯身	③ b オ	(13.6) — 5.8	立ち上がりはやや内傾し、端部は丸くおさめる。底部は丸底。受部境に溝をなし、水平面を有す。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ	【外】5PB5/1青灰 【内】7.5YR5/2灰褐 粗:1.5mm以下の細粒・赤色粒 良	受 5/8	
85109	1	48	121	10-堅穴110 貼床内	須恵器 杯身	③ a オ	(13.4) — [5.2]	立ち上がりはほぼ直立し、端部は丸くおさめる。受部に蓋重ね焼き痕あり。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ	【外】10YR7/1灰白 【内】10YR7/1灰白 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/7	
85110	1	48	122	10-堅穴110 カマド	土師器 甕	A3 V c1	18.2 — [23.7]	口頭部は屈曲・やや内湾し、端部c1。体部は倒卵形か。 【外】口縁部ヨコテ、体部上半ナメ 【内】口縁部ヨコテ、体部上半テ、下半板テ	【外】7.5YR6/6橙 【内】7.5YR6/6橙 普:2mm以下の石英・長石・赤色粒・角閃石・金雲母 良	口 1/1	
85109	1	48	123	10-堅穴110 埋土	土師器 甕(口頭)	A3 IV b	(28.6) — [7.3]	口頭部は湾曲・外傾し、端部は面をもつ。 【外】テハテ 【内】板テ	【外】10YR6/3=ブイ黄橙 【内】10YR6/3=ブイ黄橙 普:1~4mmの石英・長石 良	口 1/8 以下	
85109	1	48	124	10-堅穴110 カマド	土師器 甕(口頭)	A2 a	(14.0) — [4.9]	口頭部は湾曲・外反する。端部a。 【外】観察難 【内】観察難	【外】2.5YR5/6明赤褐 【内】2.5YR5/6明赤褐 普:0.1~7mmの石英・長石 不良	口 1/3	
85109	1	48	125	10-堅穴110 床面直上	土師器 甕(口頭)	A2 V c2	(15.4) — [8.3]	口頭部は屈曲・内湾する。端部c2。 【外】ヨコテ、テハテ 【内】ヨコテ	【外】10YR6/4=ブイ黄橙 【内】10YR5/4=ブイ黄褐 普:1~3mmの石英・長石・クワ礫・金雲母 良	口 1/2	
85109	1	48	126	10-堅穴110 床面直上	土師器 甕(口頭)	A2 IV d1	19.2 — [7.3]	口頭部はくの字状に屈曲・内湾し、端部d1。 【外】ヨコテ、ハケ目 【内】ヨコテ、板テ	【外】2.5YR5/6明赤褐 【内】5YR6/6橙 普:1~4mmの石英・長石・クワ礫・金雲母 良	口 1/3	
85110	1	48	127	10-堅穴110 床面直上	土師器 甕	A2 IV c2	(14.8) — 17.5	口頭部は屈曲・外反する。端部c2。体部は球形丸底。 【外】口縁部ヨコテ・体部テハテ、1/2被熱 【内】口縁部ヨコテ、体部板テ、底部コケ、体部上半薄いコケ	【外】5YR6/8橙 【内】10YR6/4=ブイ黄橙 普:1~4mmの石英・長石・クワ礫 良好	口 2/3	
85109	1	48	128	10-堅穴110 床面直上	土師器 甕(口頭・底)	A1 V	(10.4) — [6.9] [4.2]	口頭部は緩やかに屈曲・外傾し、端部b。体部は球形丸底。摩滅著しい。 【外】ヨコテ・観察難 【内】ヨコテ・テ	【外】7.5YR5/6明赤褐 【内】7.5YR6/8橙 粗:1~4mmの石英・長石・クワ礫 不良	口 1/3	
111	1	50	129	10-堅穴201 床面直上	須恵器 杯身	① a オ	10.6 — 4.8	立ち上がりはほぼ直立し、端部は丸くおさめる。底部は深い丸底。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ	【外】2.5Y7/1灰白 【内】5Y7/1灰白 精良:2mm以下の細粒 良	完存	
111	1	50	130	10-堅穴201 カマド掘方	須恵器 杯身		(11.4) — [4.8]	立ち上がりは内湾気味に立ち上がり、内端部は凹斜面を有す。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ	【外】2.5Y6/1黄灰 【内】5Y6/1灰 精良:1.5mm以下の細粒 良	受 1/4	
111	1	50	131	10-堅穴201 埋土	須恵器 杯身(口~体部)		(10.4) — [3.4]	立ち上がりはやや内傾し、端部は丸くおさめる。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(-) 【内】回転テ	【外】10YR5/1褐灰 【内】2.5Y5/1黄灰 普:1mm以下の細粒・金雲母 良	受 1/6	
111	1	50	132	10-堅穴201 埋土	須恵器 杯身	① b イ	(11.0) — [4.8]	立ち上がりは内傾し、内端部は凹斜面を有す。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(-) 【内】回転テ	【外】N5/灰 【内】N6/灰 精良:1mm以下の細粒 良	口 1/3	
111	1	50	133	10-堅穴201 床面直上	須恵器 杯身	① a オ	(12.4) — [5.0]	立ち上がりはほぼ直立し、端部は丸くおさめる。蓋重ね焼き痕あり。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(-) 【内】回転テ	【外】2.5Y7/1灰白 【内】2.5Y7/1灰白 普:1mm以下の黒色粒 堅緻	口 1/3	
111	1	50	134	10-堅穴201 埋土	須恵器 甕(口縁)		(21.0) — [4.8]	口頭部は外反し、端部は上下わずかに肥厚し、端部は稜付端面をもつ。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】2.5Y7/3浅黄 【内】2.5Y7/4浅黄 粗:0.5mm以下の細粒・黒色粒 不良	口 1/6	
111	1	50	135	10-堅穴201 埋土	土師器 甕(口頭)	A2 a	(15.8) — [7.1]	口頭部は屈曲・外傾し、端部は先細りしている。 【外】観察難 【内】観察難	【外】5YR4/8赤褐 【内】5YR4/6赤褐 粗:0.5~3mmの石英・長石・赤色粒 良	口 1/8 以下	

表 8 土器観察表 (8)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径底径器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
111	1	50	136	10-堅穴201埋土	土師器 甌 (口縁)	c1	(25.0) — [5.0]	口縁部は直口し, 端部c1。 [外]ヨコテ [内]ヨコテ	[外]5YR4/6赤褐 [内]5YR5/4=7'赤褐 粗:0.5~3mmの石英・長石 良	口 1/8 以下	
111	1	50	137	10-堅穴201埋土	土師器 甌 (口縁・把手)	c1	— — [3.2] [7.1]	口縁部は直口し, 端部c1。把手は牛角状を呈し, 断面は楕円形。 [外]テ, 指頭圧痕 [内]テ	[外]5YR5/6明赤褐 [内]5YR5/6明赤褐 普:0.5mm以下の石英・長石・金雲母 良	口 1/8 以下	
1	52	138	4-堅穴20カマド	須恵器 杯蓋	bウ	(11.5) — [5.2]	口縁部と天井部の境は稜が巡り, 内端部は幅広の斜面を有す。天井部は丸い。 [外]回転テ, 回転ヘラ削り(R) [内]回転テ	[外]N7/灰白 [内]2.5Y7/1灰白 精良:2mm以下の細粒 やや不良	口 1/4		
95	1	52	4-堅穴20床面直上	須恵器 杯蓋	② cエ	(14.2) — [5.4]	口縁部と天井部の境は2段の凹線が巡り, 内端部にも凹線が巡る。 [外]回転テ, 回転ヘラ削り(L) [内]回転テ	[外]N6/灰 [内]2.5Y6/1黄灰 普:2mm以下の細粒・黒色粒・白色粘土 普	口 1/3		
1	52	140	4-堅穴20埋土	須恵器 杯蓋	③ cウ	(14.3) — [3.9]	口縁部と天井部の境は凹線が巡り, 内端部は幅広の凹斜面を有す。 [外]回転テ, 回転ヘラ削り(R) [内]回転テ	[外]5Y7/1灰白 [内]N8/灰白 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下		
1	52	141	4-堅穴20埋土	須恵器 杯蓋	bウ	(14.4) — [3.7]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り, 内端部は幅広の斜面を有す。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]N5/灰 [内]N7/灰白 普:1mm以下の細粒 良	口 1/6		
95	1	52	4-堅穴20SP71	須恵器 杯蓋	③ bイ	12.2~ 13.5 — 4.7	口縁部と天井部の境は稜が巡り, 内端部は凹面を有す。自然袖付着, 粘土目の付着剥離痕(3か所) [外]回転テ, 回転ヘラ削り(R) [内]回転テ	[外]N6/灰 [内]N7/灰白 粗:3mm以下の細粒・黒色粒 良	完存		
95	1	52	4-堅穴20床面直上	須恵器 杯身	④ aウ	11.8 — 4.8	立ち上がりは内傾し, 端部は先細りの斜面を有す。浅い丸底。 [外]回転テ, 回転ヘラ削り(L) [内]回転テ	[外]N7/灰白 [内]2.5Y7/1灰白 普:1mm以下の細粒・クサリ礫 やや不良	口 1/2		
1	52	144	4-堅穴20埋土	須恵器 杯身	dオ	(12.1) — [3.1]	立ち上がりは短く湾曲し, 端部は先細りしている。受部境に溝をなす。 [外]回転テ [内]回転工具テ	[外]2.5YR5/2灰赤 [内]2.5YR5/1赤灰 精良:1mm以下の細粒 良	口 1/3		
95	1	52	4-堅穴20床面直上	須恵器 高台付椀 (底部)		— 7.4 [3.2]	ハの字状に開く短脚。足高の高台で, ハの字状に開く。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]N6/灰 [内]N6/灰 精良:1~3mmの細粒 良好	脚完 存		
95	1	52	4-堅穴20床面直上	土師器 杯	B d	12~12.2 2.1 6.3	体部は楕形を呈す。口縁部は直口し, 端部は先細りしている。内外面化粧土を施しているが, 内面底部は剥離している。 [外]ヨコテ, 強い板テ, 化粧土 [内]ヨコテ, 板テ, 口縁部の一部に化粧土が残り, 他は剥離	[外]10YR6/4=7'イ黄橙 [内]10YR7/4=7'イ黄橙 やや粗:1~2mmの石英・長石・クサリ礫 良	完存		
95	1	52	4-堅穴20床面直上	土師器 杯	B d	10.4 3.0 5.7	体部は楕形を呈す。口縁部は直口し, 端部は先細りしている。外面は剥離し, 口縁部内外面にススが附着している。 [外]口縁部被熱スス, 全体的に剥離 [内]ヨコテ, 板テ, 化粧土, 口縁部スス附着	[外]10YR7/4=7'イ黄橙 [内]10YR7/4=7'イ黄橙 やや粗:0.5mm~2mmの石英・長石・クサリ礫 不良	口 1/2		
1	52	148	4-堅穴20カマド	土師器 鉢? (口縁)		— — [7.7]	口縁部は内湾気味に立ち上がり, 端部は丸く収める。注口か。 [外]指頭圧痕 [内]ヨコテ	[外]7.5YR5/3=7'イ褐 [内]7.5YR5/4=7'イ褐 普:1~3mmの石英・長石 良	口 1/8 以下		
95	1	52	4-堅穴20SP70	土師器 甌 (口~体部)	A III f	(30.8) — [25.2]	口縁部は直立気味に立ち上がり, 端部f。把手は尖端で上方への反りが強い牛角状を呈し, 断面楕円形。 [外]体部テ, 把手部板テ [内]テ(工具2種), 板テ	[外]10YR5/3=7'イ黄褐 [内]10YR6/3=7'イ黄橙 普:1~5mmの石英・長石 良	口 1/4		
102	1	54	6・23-堅穴9カマド	須恵器 杯蓋	④ bウ	(11.8) — 4.0	口縁部と天井部の境は弱い稜線が巡り, 内端部は幅広の斜面を有す。 [外]回転テ, 回転ヘラ削り(L) [内]回転テ	[外]N7/灰白 [内]N7/灰白 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/4		
102	1	54	6・23-堅穴9埋土	須恵器 杯蓋	③ cイ	12.1 — 3.9	口縁部と天井部の境は凹線が巡り, 内端部は凹斜面を有す。 [外]回転テ, 回転ヘラ削り(L), 頂部ヘラ切り未調整 [内]回転テ	[外]N4/灰 [内]N5/灰 普:3mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/3		
1	54	152	6・23-堅穴9埋土	須恵器 杯蓋 (口縁)	dイ	— — [3.4]	口縁部と天井部の境は屈曲し, 内端部は凹斜面を有す。 [外]回転テ, 回転ヘラ削り(-) [内]回転テ	[外]N6/灰 [内]N6/灰 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下		
1	54	153	6・23-堅穴9埋土	須恵器 杯身		(12.4) — [3.5]	立ち上がりは内傾し, 内端部は幅広の凹斜面を有す。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]N4/灰 [内]N4/灰 精良:1mm以下の細粒 良	口 1/7		
1	56	154	7・24-堅穴76-堅穴4埋土	須恵器 杯蓋 (口縁)	bウ	— — [2.9]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り, 端部は外方に屈曲し凹斜面を有す。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]5Y7/1灰白 [内]5Y7/1灰白 普:1.5mm以下の細粒 不良	口 1/12		

表9 土器観察表(9)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径底径器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
1	56	155	7・24-堅穴7 6-堅穴4 埋土	須恵器 杯身		(11.5) — [3.6]	立ち上がりはやや外傾し、内端部は幅広い凹斜面を有す。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(-) 【内】回転テ	【外】10YR5/1褐灰 【内】10YR6/1褐灰 精良:1mm以下の細粒 良	口 1/12		
1	56	156	7・24-堅穴7 6-堅穴4 埋土	須恵器 杯身		(10.6) — [3.5]	立ち上がりは内湾気味に立ち上がり、内端部は凹斜面を有す。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(-) 【内】回転テ	【外】5PB6/1青灰 【内】5B4/1暗青灰 普:2mm以下の細粒 良	口 1/7		
102	1	56	7・24-堅穴7 6-堅穴4 埋土	須恵器 杯身	④ c ウ	11.2 8.2 4.0	立ち上がりは外湾気味に立ち上がり、内端部は幅広い凹斜面を有す。底部は浅く平底。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(R)、頂部ヘラ切り未調整 【内】回転テ	【外】5Y5/1灰 【内】5Y5/1灰 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/3		
102	1	56	7・24-堅穴7 6-堅穴4 床面直上	土師器 甕 (口頸)	A2 b	(17.7) — [5.7]	口頸部は屈曲・大きく外反し、端部b。 【外】ヨコテ、テ 【内】ヨコテ、テ	【外】7.5YR6/4-7黄橙 【内】10YR5/3-7黄褐 普:1~2mmの石英・長石 不良	口 1/6		
102	1	56	7・24-堅穴7 6-堅穴4 床面直上	土師器 甕 (口頸)	A2 b	(17.6) — [7.8]	口頸部は屈曲・大きく外反し、端部b。 【外】テ 【内】板テ	【外】5YR6/6橙 【内】5YR6/6橙 粗:2~4mmの石英・長石・クワ礫 不良	口 1/4		
102	1	56	7・24-堅穴7 6-堅穴4 床面直上	土師器 甕 (口頸)	A3 b	(20.3) — [9.9]	口頸部は湾曲・外反する。端部b。 【外】観察難 【内】観察難	【外】7.5YR7/6橙 【内】7.5YR7/6橙 粗:1~4mmの石英・長石 不良	口 1/8		
99	1	58	21-堅穴20 4-SK54 3-堅穴34 埋土	須恵器 杯蓋	④ b ウ	(13.9) (11.4) [5.1]	口縁部と天井部の境は弱い稜が走り、端部は外方に強く屈曲し、幅広い凹斜面を有す。天井部は低く平坦。焼き歪みあり。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:3mm以下の細粒 良	口 1/4		
1	60	162	4-堅穴99・ 22-堅穴7・ 5-堅穴30 埋土	須恵器 杯蓋	b イ	— — [2.8]	口縁部と天井部の境は弱い稜が走り、内端部は斜面を有す。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N4/灰 【内】N5/灰 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/12		
95	1	60	4-堅穴99・ 22-堅穴7・ 5-堅穴30 カマド	土師器 甕	A3 II a	(18.6) — [22.0]	口頸部は屈曲・外傾し、端部a。体部は倒卵形か。 【外】クテテ 【内】板テ→ヨコテ	【外】7.5YR6/6橙 【内】2.5YR4/6赤褐 粗:2~5mmの石英・長石 良	口完 存		
1	62	164	10-堅穴310 カマド	土師器 鉢 (口縁)		— — [7.3]	口縁部は内湾気味に立ち上がり、端部は内傾する面を持つ。器壁は厚い。 【外】板テ 【内】板テ	【外】10YR6/4-7黄橙 【内】10YR6/4-7黄橙 普:0.5~2mmの石英・長石 良	口 1/8 以下		
110	1	62	10-堅穴310 カマド	土師器 甕	A II d1	(22.8) (7.0) 25.2	底部から体部にかけて緩やかに立ち上がり、口縁は直口する。端部d1。底部の蒸気孔は単孔の筒抜けタイプ。把手は短い角状を呈し、断面は楕円形。 【外】テ、クテテ 【内】ヨコテ、板テ	【外】7.5YR6/6橙 【内】7.5YR7/6橙 粗:1~4mmの石英・長石 良	口 2/3		
110	1	62	10-堅穴310 SX2	土師器 直口壺		(10.2) — [15.1]	体部は球形を呈する。口縁は直線的に外傾し、端部は丸く収める。 【外】観察難 【内】観察難	【外】5YR7/6橙 【内】5YR7/6橙 精良:0.5~2mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/2		
111	1	62	10-堅穴310 SX2	須恵器 (天井)		— — [1.2]	天井部は丸い。天井部にテ記号「 」あり。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(L) 【内】回転テ	【外】2.5GY7/1明オリーブ灰 【内】2.5GY7/1明オリーブ灰 普:2mm以下の細粒・黒色粒 不良	細片		
110	1	62	10-堅穴310 SX2	須恵器 広口壺		(13.8) — [21.9]	体部は球形を呈する。口頸部は外反し、端部は上方に擴み上げ肥厚する。 【外】回転テ、平行文テ、回転テ目 【内】回転テ、あて具痕後テ消し	【外】7.5Y7/1灰白 【内】N7/灰白 精良:1~2.5mmの細粒 良	頸 1/1		
128	1	67	3-堅穴108 SP114	須恵器 杯蓋	③ b ウ	(13.6) — [4.7]	口縁部と天井部の境は稜が走り、内端部は凹斜面を有す。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ、静止テ	【外】N5/灰 【内】N5/灰 精良:2mm以下の細粒 良	口 1/4		
85 98	1	67	3-堅穴108 床面直上	須恵器 杯身	③ b オ	(11.5) — [4.5]	立ち上がりはやや短く内傾し、内端部は丸くおさめる。受部境に溝をなす。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(L)、頂部ヘラ切り未調整 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/3		
85 98	1	67	3-堅穴108 床面直上	須恵器 杯身	④ c オ	9.7 — 4.0	立ち上がりは内傾し、端部は丸くおさめる。底部は丸底。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ、静止テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 粗:8mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/4		
85 98	1	67	3-堅穴108 床面直上	須恵器 杯身	③ b オ	12.0 — 5.5	立ち上がりは内傾し、端部は丸くおさめる。受部境に溝をなす。底部は丸底。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(L) 【内】回転テ	【外】N8/灰白 【内】N8/灰白 粗:4mm以下の細粒・黒色粒 不良	完存		
85 98	1	67	3-堅穴108 カマド	須恵器 杯身	④ c オ	8.7~ 10.0 — 5.1	立ち上がりはやや内傾し、端部は丸くおさめる。底部は深い丸底。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 精良:3mm以下の細粒・黒色粒 良	完存		
85 98	1	67	3-堅穴108 床面直上	須恵器 杯身	③ b オ	(12.4) — 5.6	立ち上がりは内傾し、端部は丸くおさめる。受部境に溝をなす。底部は丸底。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(L) 【内】回転テ	【外】7.5YR7/2明褐灰 【内】7.5YR8/4浅黄橙 精良:2mm以下の細粒・クワ礫 不良	口 1/3		

表 10 土器観察表 (10)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径底径器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
85 98	1	67	175	3-竪穴108 床面直上	須恵器 杯身	③ b オ	11.2 — 5.3	立ち上がりはやや内傾し端部は丸くおさめる。受 部境に溝をなす。底部は深い丸底。 【外】回転けず, 回転へず削り(R) 【内】回転けず	【外】10YR8/3浅黄橙 【内】10YR8/2灰白 精良:2mm以下の細粒・黒色粒 不良	□ 3/4	
128	1	67	176	3-竪穴108 埋土	須恵器 杯蓋	③	12.9 — 3.6	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り,内端部は幅広 の凹斜面を有す。天井部は低く平坦。 【外】回転けず, 回転へず削り(L) 【内】回転けず	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	□ 1/6	
85	1	67	177	3-竪穴108 埋土	須恵器 杯身 (口縁)	⑤ d オ	(12.2) — [2.6]	立ち上がりは短く湾曲し,端部は先細りしている。 受端部は丸く仕上げる。 【外】回転けず 【内】回転けず	【外】7.5Y6/1灰 【内】7.5Y6/1灰 普:3mm以下の細粒 良	□ 1/8	
85 98	1	67	178	3-竪穴108 埋土	須恵器 高杯 (脚部)	B	— (7.8) [3.8]	脚部は截頭円錐形を呈する短脚で,裾端部は内側に 肥厚する。 【外】回転けず, 回転か目, 推定4方向円形スジ 【内】回転けず	【外】N5/灰 【内】N8/灰白 精良:1~2mmの細粒・黒色粒 良	脚 1/2	
85 98	1	67	179	3-竪穴108 カマド	土師器 甕	B V a	(15.8) — [19.9]	口縁部は直立気味に立ち上がり,やや内湾する。端 部a。体部上半は張らない。 【外】口縁部ヨコテ, 体部上半板テ, 下半テハ 【内】口縁部ヨコテ, 体部板テ, 指頭圧痕	【外】10YR6/4=7イ黄橙 【内】10YR5/4=7イ黄褐 粗:0.1~1mmの石英・長石・黒色 粒・クワ礫・金雲母 良	□ 5/8	
85 98	1	67	180	3-竪穴108 カマド	土師器 甕	A1 V d1	16.6 — [25.7]	口頸部はくの字状に屈曲・やや内湾し,端部d1。 【外】口縁部ヨコテ, 体部上半板テ 【内】口縁部ヨコテ, 体部上半指頭圧痕, 下半テ・板 テ	【外】2.5YR5/6明赤褐 【内】5YR5/4=7イ赤褐 粗:1~3mmの石英・長石・クワ礫 良	□ 1/1	
85 98	1	67	181	3-竪穴108 床面直上	土師器 甕	E IV b	(14.2) — [8.1]	口縁部が直立気味に立ち上がる。端部b。 【外】テハ 【内】板テ	【外】7.5YR5/3=7イ褐 【内】10YR4/1褐灰 粗:1~5mmの石英・長石 不良	□ 2/3	
85	1	67	182	3-竪穴108 貼床	土師器 甕 (口縁)	A2 e2	(17.5) — [5.1]	口頸部がくの字状に屈曲・内湾気味に立ち上がり, 端部e2。 【外】ヨコテ 【内】ヨコテ	【外】2.5YR5/6明赤褐 【内】5YR4/4=7イ赤褐 粗:1~4mmの石英・長石 不良	□ 1/8 以下	
85	1	67	183	3-竪穴108 貼床	土師器 甕 (口頸)	A2 V a	(16.0) — [10.5]	口頸部は湾曲・外反する。端部a。 【外】ヨコテ, 板テ 【内】ヨコテ, テ	【外】7.5YR6/4=7イ橙 【内】5YR6/6橙 普:1~2mmの石英・長石・クワ礫 良	□ 1/4	
85 98	1	67	184	3-竪穴108 床面直上	製塩土器 (口頸)		13.8 — [11.3]	口縁部は直立し,端部はやや先細りしている。 【外】貝殻条痕 【内】テ	【外】5YR5/4=7イ赤褐 【内】5YR6/6橙 粗:1~3mmの石英・長石・クワ礫 不良	□ 5/8	備讃VI式
93	1	70	185	4-竪穴30・ 22-竪穴6 床面直上	須恵器 杯蓋	③ c イ	(13.0) — 4.8	口縁部と天井部の境は凹線が巡り,内端部は凹斜面 を有す。天井部は丸みをおびる。 【外】回転けず, 回転へず削り(R) 【内】回転けず	【外】7.5Y5/1灰 【内】N6/灰 普:4mm以下の細粒 良	□ 1/3	
93	1	70	186	4-竪穴30・ 22-竪穴6 床面直上	須恵器 杯蓋	④ c ウ	(12.2) — 4.3	口縁部と天井部の境は凹線が巡り,端部は外方に屈 曲して凹斜面を有す。 【外】回転けず, 回転へず削り(L) 【内】回転けず	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 普:3mm以下の細粒 良	□ 1/4	
128	1	70	187	4-竪穴30・ 22-竪穴6 埋土	須恵器 杯蓋	b イ	— [3.8]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り,内端部は幅広 の凹斜面を有す。 【外】回転けず, 回転へず削り(-) 【内】回転けず	【外】5YR6/1褐灰 【内】5PB5/1青灰 精良:1mm以下の細粒 良	□ 1/8 以下	
128	1	70	188	4-竪穴30・ 22-竪穴6 埋土	須恵器 杯蓋	④ c ウ	(14.0) — 3.2	口縁部と天井部の境は凹線が巡り,内端部は幅広の 凹斜面を有す。 【外】回転けず, 回転へず削り(L) 【内】回転けず	【外】N5/灰 【内】N7/灰白 粗:3mm以下の細粒・黒色粒 良	□ 1/6	
128	1	70	189	4-竪穴30・ 22-竪穴6 埋土	須恵器 杯蓋	④ b ウ	— [4.4]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り,端部は外方に 屈曲して凹斜面を有す。 【外】回転けず, 回転へず削り(L) 【内】回転けず	【外】5Y7/1灰白 【内】5Y6/1灰 普:2mm以下の細粒 不良	□ 1/8 以下	
93	1	70	190	4-竪穴30・ 22-竪穴6 床面直上	須恵器 杯身	③ b オ	(11.2) — 5.2	立ち上がりは内傾し,端部は丸くおさめる。受け部 に重ね焼き痕あり。 【外】回転けず, 回転へず削り(L), 頂部へず切り未調整 【内】回転けず	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 粗:2.5mm以下の細粒・黒色粒 良	□ 1/3	
93	1	70	191	4-竪穴30・ 22-竪穴6 床面直上	須恵器 有蓋高杯蓋		(11.9) 3.5 5.5	口縁部と天井部の境は凹線が巡り,内端部は幅広 の凹斜面を持つ。天井部中央からずれた位置に扁 平なつまみを貼付ける。 【外】回転けず, 回転へず削り(R) 【内】回転けず	【外】2.5Y6/1黄灰 【内】2.5Y6/1黄灰 普:0.5~2mmの細粒 良	□ 2/3	
93	1	70	192	4-竪穴30・ 22-竪穴6 埋土	須恵器 有蓋高杯 (杯部)	B	(11.2) — [5.6]	立ち上がりは内傾し,端部は丸く収める。杯部は浅 い。脚柱部に円形スジを穿孔する。 【外】回転けず, 回転へず削り(L), 3or4方向円形スジ 【内】回転けず	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 精良:0.5~2mmの細粒・黒色粒 良	□ 1/2	
93	1	70	193	4-竪穴30・ 22-竪穴6 床面直上	須恵器 甕 (口頸)		(18.2) — [9.8]	口頸部は外反し,端部は肥厚し,有稜角端部をも つ。頸部外面に「へ」のへず記号あり。 【外】回転けず, 平行文スジ 【内】回転けず, 当て具痕	【外】5Y7/1灰白 【内】7.5Y7/1灰白 普:1~3mmの細粒・クワ礫 良	□ 1/4	
93	1	70	194	4-竪穴30・ 22-竪穴6 埋土	土師器 高杯 (杯~脚 柱)	B1	13.6 — [10.2]	碗形高杯。杯部はやや浅く,端部は丸く収める。接 合技法ウ。 【外】テ, 板テ, 化粧土 【内】テ, 脚柱部削り, 化粧土	【外】7.5YR7/6橙 【内】7.5YR6/4=7イ橙 粗:1~2mmの石英・長石・クワ礫 良	□ 1/2	

表 11 土器観察表 (11)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
93	1	70	195	4-堅穴30・ 22-堅穴6 カマド	土師器 甕 (口頸)	F V e1	17.9 — [6.6]	口頸部は屈曲・外傾し、端部e2。 【外】ヨコテ 【内】ヨコテ, 指頭圧痕	【外】7.5YR7/4-ブイ橙 【内】7.5YR6/3-ブイ褐 普:0.5~3mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/2	
94	1	73	196	21-堅穴18 3-堅穴35 4-堅穴18 埋土	須恵器 杯蓋	② b ウ	(13.2) — [4.4]	口縁部と天井部の境は稜が巡り、内端部は幅広の斜面を有す。 【外】回転テ, 回転ヘリ削り(R), 火捺 【内】回転テ	【外】10YR5/1褐灰 【内】10YR6/1褐灰 粗:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/6	
	1	73	197	21-堅穴18 3-堅穴35 4-堅穴18 埋土	須恵器 杯蓋 (口縁)	⑤ d オ	(13.6) — [2.5]	口縁部と天井部の境は屈曲し、端部は丸くおさめる。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】10YR7/2-ブイ黄橙 【内】10YR7/2-ブイ黄橙 普:1mm以下の細粒 不良	口 1/6	
94	1	73	198	21-堅穴18 3-堅穴35 4-堅穴18 埋土	須恵器 杯身	② b オ	10.3 4.8 4.3	立ち上がりは内傾し、端部は丸くおさめる。受部に杯蓋重ね焼き痕あり。 【外】回転テ, 回転ヘリ削り(R) 【内】回転テ	【外】N7/灰白 【内】N5/灰 普:6mm以下の細粒 良	受 1/2	
	1	73	199	21-堅穴18 3-堅穴35 4-堅穴18 埋土	須恵器 杯身	⑤ d オ	(12.0) — [2.9]	立ち上がりは短く湾曲し、端部は丸くおさめる。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】2.5Y8/2灰白 【内】2.5Y8/2灰白 普:1.5mm以下の細粒 不良	口 1/4	
	1	73	200	21-堅穴18 3-堅穴35 4-堅穴18 埋土	土師器 杯	B c	(11.5) — [4.0]	体部は碗形を呈す。口縁部は内湾し、端部は内傾する面を持つ。 【外】丁寧なテ 【内】丁寧なテ, 放射状ヘリカキ	【外】10YR4/1褐灰 【内】7.5YR4/1褐灰 精良:0.5~2mmの石英・長石・クワ礫 不良	口 1/5	
	1	73	201	21-堅穴18 3-堅穴35 4-堅穴18 埋土	土師器 甕 (口頸)	A2 III c1	(13.8) — [5.9]	頸部は屈曲し、口縁部は短く外傾する。端部c1。体部上半が張る球形胴か。 【外】観察難 【内】ヨコテ, ヨコテ	【外】5YR4/3-ブイ赤褐 【内】5YR5/3-ブイ赤褐 粗:0.5~2mmの石英・長石・クワ礫・ 黒色粒 不良	1/8 以下	
	1	73	202	21-堅穴18 3-堅穴35 4-堅穴18 埋土	土師器 瓶 (把手)	把手 イ	3.3 2.3 [6.0]	把手は先端で上方への反りが強い牛角状を呈し、断面楕円形。 【外】板テ, ハ 【内】指頭圧痕	【外】5YR6/8橙 【内】5YR6/8橙 粗:1~4mmの石英・長石・クワ礫 良	把手 のみ	
	1	73	203	21-堅穴18 3-堅穴35 4-堅穴18 埋土	土師器 瓶 (把手)	把手 ウ	4.6 1.7 [4.5]	把手は舌状、断面は上面が平坦な半円形。 【外】板テ, テ 【内】板テ, テ	【外】7.5YR6/6橙 【内】7.5YR6/6橙 粗:0.5~1.5mmの石英・長石・クワ礫 良	把手 のみ	
99	1	74	204	23-堅穴5 SP51	土師器 甕	A1 III c2	10.5 5.0 12.0	口頸部は湾曲・外反し、端部c2。体部は下位に最大径をもつ。底部下位にドーナツ状の濃いススが付着。 【外】口縁部ヨコテ, 体部テウ・ヨコテ, 2次被熱 【内】口縁部ヨコテ, 体部上半ヨコテ	【外】2.5YR7/6橙 【内】2.5YR6/6橙 粗:1~4mmの石英・長石・クワ礫 不良	完存	
99	1	74	205	23-堅穴5 床面直上	土師器 瓶 (口縁)	A I b	(28.0) — [12.1]	口縁部は直口する。端部b。 【外】ナメテ・ヨコテ 【内】削り→ヨコテ	【外】5YR6/6橙 【内】5YR6/4-ブイ橙 粗:1~2mmの石英・長石・金雲母・ク ワ礫 不良	口 1/4	
101	1	75	206	5-堅穴1・ 23-堅穴10 床面直上	須恵器 杯身	⑤ d オ	12.6~ 13.1 5.2 4.4	立ち上がりは短く湾曲し、端部は先細りしている。受端部は丸く仕上げる。底部はやや平坦。焼き歪あり。底部外面に4ヶ所粘土塊(目)の貼付痕あり。自然袖付着。 【外】回転テ, 回転ヘリ削り(R) 【内】回転テ	【外】2.5Y5/1黄灰 【内】2.5Y6/1黄灰 精良:1mm以下の細粒 良	口 3/4	
101	1	75	207	5-堅穴1・ 23-堅穴10 床面直上	須恵器 杯身	④ a オ	12.1 3.3 4.7	立ち上がりは短く内傾し、端部は丸くおさめる。底部は丸底。 【外】回転テ, 回転ヘリ削り(R), 頂部ヘリ切り未調整 【内】回転テ, 静止テ	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 精良:3mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/2	
	1	75	208	5-堅穴1・ 23-堅穴10 埋土	須恵器 杯身 (口縁)		(12.2) — [2.2]	立ち上がりは短く内傾し、端部は丸くおさめる。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 精良:3mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/6	
	1	75	209	5-堅穴1・ 23-堅穴10 カマド	土師器 甕 (口縁)	E IV b	(12.6) — [4.4]	口縁部は直立する。端部は丸く収める。 【外】ヨコテ, 板テ 【内】ヨコテ, 板テ	【外】5YR6/6橙 【内】5YR6/6橙 粗:1~3mmの石英・長石・クワ礫 不良	口 1/8	
111	1	80	210	10-堅穴210 床面直上	須恵器 杯蓋	⑤ d オ	(14.0) — 4.3	口縁部と天井部の境は丸くならかで、端部は丸くおさめる。 【外】回転テ, 回転ヘリ削り(R) 【内】回転テ	【外】5YR5/3-ブイ赤褐 【内】5YR5/4-ブイ赤褐 普:2mm以下の細粒 不良	ほぼ 完存	
111	1	80	211	10-堅穴210 埋土	須恵器 杯身		(13.0) — [3.5]	立ち上がりは短く内傾し、端部は先細りしている。 【外】回転テ, 回転ヘリ削り(R) 【内】回転テ	【外】5Y7/1灰白 【内】N6/灰 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/5	
111	1	80	212	10-堅穴210 埋土	須恵器 杯身		(10.2) — [3.9]	立ち上がりは短く湾曲して直立し、端部は先細りしている。 【外】回転テ, 回転ヘリ削り(R) 【内】回転工具テ	【外】7.5YR5/1褐灰 【内】N6/灰 【断】赤褐 精良:1mm以下の細粒 良	口 1/8 以下	
111	1	80	213	10-堅穴210 SP6	製塩土器		(16.0) — [9.8]	体部上位で最大径をもち、口縁部は直立し、端部は面をもつ。 【外】未調整 【内】未調整	【外】5YR7/8橙 【内】5YR7/6橙 普:1~5mmの石英・長石・クワ礫 不良	口 1/4	備讃VI式

表 12 土器観察表 (12)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
128	1	83	214	3-堅穴40 床面直上	須恵器 杯蓋	a イ	(11.2) — [3.5]	口縁部と天井部の境は強い稜が巡り、内端部は段を有す。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N5/灰 【内】N6/灰 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/4	
101	1	83	215	3-堅穴40 カマド	須恵器 杯身	⑤ d オ	12.2 6.7 3.6	立ち上がりは短く湾曲し、端部は先細りしている。受端部は丸く仕上げる。底部はやや平坦。 【外】回転テ、回転テ削り(R) 【内】回転テ、静止テ	【外】N7/灰白 【内】2.5Y8/2灰白 普:2mm以下の細粒・黒色粒 やや不良	口 3/4	
95	1	83	216	3-堅穴40 床面直上	須恵器 鉢 (口縁)		(11.2) — [11.3]	口縁部は直立気味に外傾した後、端部付近でやや内湾する。端部は内傾する凹面を持つ。 【外】回転テ、自然袖付着 【内】回転テ	【外】5Y6/1灰 【内】5Y6/1灰 普:0.5~1mmの細粒・黒色粒 良好	口 1/4	
95	1	83	217	3-堅穴40 埋土	土師器 甕 (体部)	A3 IV	14.4 — [23.7]	口縁部は残存しない。体部は長胴形を呈し、底部は丸底。 【外】板テ 【内】板テ、指頭圧痕	【外】7.5YR7/4=7イ橙 【内】7.5YR5/1褐灰 粗:1~2mmの石英・長石・クワ礫・金 雲母 良	頸 1/2	
86 100	1	87	218	6-堅穴3 埋土	須恵器 杯蓋	⑤ d オ	13.9 — 4.0	口縁部と天井部の境は屈曲し、端部は丸くおさめる。 【外】回転テ、回転テ削り(R)、頂部テ切り未調整、黒斑 【内】回転テ	【外】5Y8/2灰白 【内】5Y7/1灰白 粗:3mm以下の細粒 不良	口 1/5	
86	1	87	219	6-堅穴3 埋土	須恵器 杯蓋	⑤ d オ	— — [3.5]	口縁部と天井部の境はわずかに屈曲し、端部は丸くおさめる。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】5Y6/1灰 【内】N6/灰 普:1mm以下の細粒 良	口 1/12	
86 100	1	87	220	6-堅穴3 埋土	須恵器 杯身	⑤ d オ	(10.8) (6.1) 3.8	立ち上がりは短く湾曲し、端部は先細りしている。受端部は丸く仕上げる。底部はやや平坦。 【外】回転テ、回転テ削り(L) 【内】回転テ、静止テ	【外】2.5Y6/1黄灰 【内】2.5Y6/1黄灰 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/4	
86 100	1	87	221	6-堅穴3 埋土	須恵器 杯身	⑤ d オ	11.1 — 3.4	立ち上がりは短く湾曲し、端部は先細りしている。受端部は丸く仕上げる。底部はやや平坦。 【外】回転テ、回転テ削り(-)、底部テ切り未調整 【内】回転テ	【外】5Y6/1灰 【内】5Y6/1灰 粗:4mm以下の細粒 良	口 2/3	
86 100	1	87	222	6-堅穴3 埋土	須恵器 杯身	⑤ d オ	12.6 — 4.3	立ち上がりは短く湾曲し、受端部は丸く仕上げる。底部はやや平坦。折り曲げ技法。 【外】回転テ、回転テ削り(R) 【内】回転テ	【外】2.5Y8/1灰白 【内】2.5Y8/1灰白 粗:3mm以下の細粒 不良	口 3/4	
86	1	87	223	6-堅穴3 埋土	須恵器 杯身	⑤	(13.0) — [3.3]	立ち上がりは短く湾曲しながら内傾し、端部は先細りしている。受部境は溝をなし、受端部は丸くおさめる。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 精良:4mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8	
86	1	87	224	6-堅穴3 カマド	須恵器 杯身	⑤ d オ	(14.1) — [3.0]	立ち上がりは短く湾曲し、端部は先細りしている。受端部は丸く仕上げる。 【外】回転テ、回転テ削り(-) 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:0.5mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/10	
86	1	87	225	6-堅穴3 埋土	土師器 杯身		— — [2.3]	杯身の受部の細片である。焼成不良で、須恵器の焼き損じと考えられる。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】7.5YR7/8黄橙 【内】7.5YR7/8黄橙 普:1mm以下の長石・赤色粒 不良	受 1/8 以下	
1	87	226	6-堅穴3 カマド	須恵器 有蓋高杯 (杯部)	A	10.2 — [4.2]	立ち上がりはやや内傾し、端部は丸く取める。杯底部にスリ穿孔時の2条の刻み目あり。 【外】回転テ、回転テ削り(-) 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良好	口 1/4		
86 100	1	87	227	6-堅穴3 カマド	須恵器 有蓋高杯蓋		14.7 3.4 4.8	口縁部と天井部の境に2条の凹線が巡り、端部は丸く取める。天井部中央に扁平なつまみを貼り付ける。 【外】回転テ、回転テ削り(R)、沈線2条 【内】回転テ	【外】10YR7/1灰白 【内】10YR7/1灰白 粗:5mm以下の細粒 不良	口 2/3	
86	1	87	228	6-堅穴3 埋土	須恵器 杯身		(12.6) — [4.0]	立ち上がりは直立し、端部は丸くおさめる。体部と立ち上がりの境の屈曲は強い。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】10YR8/2灰白 【内】10YR8/3浅黄橙 普:1mm以下の礫・細粒 不良	口 1/8	
86 100	1	87	229	6-堅穴3 カマド	須恵器 壺 (体部)		— 6.3 [10.0]	体部は扁球形で平底。体部上位に沈線2条巡る。 【外】回転テ、回転テ削り(R) 【内】回転テ、テ状工具による押圧	【外】5Y8/1灰白 【内】5Y8/1灰白 普:3mm以下の細粒 不良	体ほ ぼ完 存	
1	87	230	6-堅穴3 埋土	須恵器 有蓋高杯 (杯部)	B	(10.5) — [4.0]	立ち上がりは屈曲気味に内傾し、内端部は斜面を持つ。 【外】回転テ、回転テ削り(-) 【内】回転テ	【外】5Y7/1灰白 【内】5Y8/1灰白 普:1mm以下の細粒 不良	口 1/12		
86 100	1	87	231	6-堅穴3 埋土	須恵器 高杯 (脚部)	B	— 9.2 [4.1]	脚部は截頭円錐形の短脚で、裾端部は内側に肥厚し内傾する面を持つ。 【外】回転テ、回転テ削り、3方向円形スリ 【内】回転テ	【外】5Y7/1灰白 【内】5Y8/1灰白 普:1mm以下の細粒・赤色粒 不良	底 3/4	
86 100	1	87	232	6-堅穴3 埋土	須恵器 甕 (口頭)		(36.0) — [12.7]	口頭部はそのまま大きく外反する。口頭には、2条の凹線により文様帯が3段に区切られ、斜め方向のテ描き沈線文が配される。 【外】回転テ 【内】回転テ、ヨコテ	【外】10YR8/4浅黄橙 【内】10YR8/2灰白 粗:4mm以下の細粒・赤色粒 不良	口 1/6	

表 13 土器観察表 (13)

単位:cm (推定値)[残存値]【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径底径器高	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 胎土 焼成	残存率	備考
86	1	87	233	6-堅穴3埋土	土師器杯	B d	(12.9) - [3.6]	体部は浅い碗形を呈す。口縁部は直口し、端部は先細りしている。 [外]ナテ [内]ナテ	[外]10YR7/4ブイ黄橙 [内]10YR6/4ブイ黄橙 普:3mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/8	
	1	87	234	6-堅穴3カマド	土師器甕(口縁)	d1	- [3.8]	口縁部は外傾する。端部d1。 [外]観察難 [内]ナテ	[外]10YR6/6明黄褐 [内]10YR8/2灰白 粗:1~2mmの石英・長石・クワ礫 不良	口 1/8 以下	
	1	87	235	6-堅穴3カマド	土師器甕(口縁)	F d1	- [3.5]	口頭部はくの字状に屈曲・内湾気味に立ち上がる。端部d1。 [外]観察難 [内]ナテ	[外]10YR7/3ブイ黄橙 [内]10YR6/4ブイ黄橙 粗:3mm以下の石英・長石・金雲母 不良	口 1/8 以下	
86 100	1	87	236	6-堅穴3埋土	土師器甕	A2 IV c2	(15.6) - [17.4]	口頭部は屈曲・直線的に外傾し、端部c2。体部は球形を呈する。 [外]口縁部ヨコテ、体部ケハ・ナメケ [内]ヨコテ、ハ、板ナテ	[外]7.5YR7/4ブイ橙 [内]7.5YR7/6橙 普:1~2mm石英・長石・クワ礫 良	頸 1/2 口 1/3	
92	1	88	237	3-SK23 SK23周辺	須恵器杯蓋	⑤ d オ	13.8 - 4.4	口縁部と天井部の境は丸くなだらかで、端部は丸くおさめる。天井部は丸い。 [外]回転ナテ、回転ハ削り(L)、頂部ハ切り未調整 [内]回転ナテ	[外]5YR6/4ブイ橙 [内]7.5YR7/4ブイ橙 普:3mm以下の細粒 不良	口 2/3	
92	1	88	238	3-SK23 SK23周辺	土師器甕	A1 I d2	(13.0) - 14.2	口頭部は屈曲・外傾し、端部d2。体部は下膨れ状の扁球形を呈する。底部外面にドーナツ状の濃いスス付着。 [外]口縁部ヨコテ、体部上半ケハ、下半ナメケ [内]口縁部ヨコテ、体部上半指頭圧痕、下半削り	[外]5YR6/6橙 [内]10YR6/3ブイ黄橙 普:1~4mmの石英・長石 良	ほぼ 完存	
92	1	88	239	3-SK23	土師器甕(口縁)	a	(21.0) - [10.5]	口縁部は直口し、端部a。 [外]ケハ [内]指頭圧痕	[外]5YR6/8橙 [内]5YR6/6橙 粗:0.5~3mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/8	
101	1	90	240	21-堅穴8 3-堅穴110 4-堅穴122埋土	須恵器杯身	⑤ d オ	11.3 - 4.1	立ち上がりは短く直立し、端部は先細りしている。受端部は丸く仕上げる。 [外]回転ナテ、回転ハ削り(L) [内]回転ナテ	[外]N7/灰白 [内]2.5Y7/1灰白 粗:1mm以下の細粒 良	口 3/4	
101	1	90	241	21-堅穴8 3-堅穴110 4-堅穴122床面直上	須恵器杯身	⑤ d オ	(12.0) - [3.6]	立ち上がりは短く湾曲し、端部は先細りしている。受端部は丸く仕上げる。受部境に溝をなし、受端部は丸くおさめる。 [外]回転ナテ、回転ハ削り(R) [内]回転ナテ	[外]N7/灰白 [内]N7/灰白 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/3	
128	1	90	242	21-堅穴8 3-堅穴110 4-堅穴122床面直上	須恵器有蓋高杯蓋(つまみ)		2.6 1.4 [1.8]	扁平なつまみを貼付ける。 [外]回転ナテ、回転ハ削り?自然袖付着 [内]回転ナテ	[外]N7/灰白 [内]N6/灰 精良:1~4mmの細粒・黒色粒 良	つま みの み	
101	1	90	243	21-堅穴8 3-堅穴110 4-堅穴122埋土	須恵器無蓋高杯(脚部)	B	- 10.4 [5.6]	低脚で脚部はハの字状に開き、裾端部は下方に肥厚し外端面をもつ。 [外]回転ナテ [内]回転ナテ	[外]2.5Y8/2灰白 [内]2.5Y8/2灰白 普:0.5~3mmの細粒・黒色粒 不良	脚柱 完存	
101	1	90	244	21-堅穴8 3-堅穴110 4-堅穴122床面直上	須恵器甕(口縁)		(25.7) - [5.0]	口頭部は短く外反し、端部外面に突線が1条巡る。 [外]回転ナテ [内]回転ナテ	[外]N6/灰 [内]N5/灰 粗:1~3mmの細粒・黒色粒 良好	口 1/4	
101	1	90	245	21-堅穴8 3-堅穴110 4-堅穴122埋土	土師器甕(口縁)	A2 III d2	(14.0) - [3.3]	口頭部は屈曲・内湾し、端部d2。 [外]ヨコテ、ヨコケ [内]ヨコテ	[外]5YR6/6橙 [内]2.5YR6/6橙 普:1~3mmの石英・長石 良	口 1/8	
101	1	90	246	21-堅穴8 3-堅穴110 4-堅穴122埋土	土師器甕(口縁・把手)	IV b	3.7 (1.0) [8.0] [4.0]	口縁部は直口し、端部b。把手は舌状を呈し、断面は扁平な凹楕円形。 [外]ヨコテ、ケハ [内]板ナテ	[外]10YR7/6明黄褐 [内]7.5YR7/6橙 粗:1~3mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/5	
101	1	90	247	21-堅穴8 3-堅穴110 4-堅穴122埋土	土師器甕(把手)	把手ウ	5.2 2 [5.7]	把手は舌状、断面は上面が平坦な楕円形。 [外]板ナテ、ハ、指頭圧痕 [内]指頭圧痕	[外]5YR6/4ブイ橙 [内]7.5YR6/6橙 粗:1~3mmの石英・長石・2~5mmの赤色粒 良	把手 のみ	
101	1	90	248	21-堅穴8 3-堅穴110 4-堅穴122埋土	土師器甕	A3 IV b	(18.8) - [16.4]	口頭部は湾曲・外反し、端部b。 [外]ヨコテ [内]板ナテ	[外]7.5YR6/4ブイ橙 [内]10YR7/3ブイ黄橙 粗:1~3mmの石英・長石 良	口 1/7	
108 128	1	94	249	10-堅穴301貼床	須恵器杯蓋	⑤ d オ	(13.2) - 3.9	口縁部と天井部の境はわずかに屈曲し、端部は丸くおさめる。 [外]回転ナテ、回転ハ削り(R)、頂部に繊維状圧痕 [内]回転ナテ	[外]2.5Y8/2灰白 [内]5Y7/1灰白 普:2mm以下の細粒 不良	口 1/6	
108	1	94	250	10-堅穴301床面直上	須恵器無蓋高杯	B	13.8 (9.4) 7.3	杯部は杯蓋を逆さにした形状のもので、脚部は太くハの字状に開き、裾端部は下方に肥厚し外端面をもつ。 [外]回転ナテ、回転ハ削り(L) [内]回転ナテ	[外]2.5Y7/2灰黄 [内]2.5Y7/2灰黄 粗:1~4mmの細粒 不良	口 2/3	
108	1	94	251	10-堅穴301貼床	須恵器甕(頸体)		(7.0) - [12.2]	頸部の基部は太く、体部は扁球形を呈す。頸部傾斜変換点外面に突線が巡る。頸部外面に、櫛描波状文(11条1束1本)、体部外面に沈線+櫛描波状文を施す。自然袖付着。 [外]回転ナテ [内]回転ナテ、指頭圧痕	[外]5PB4/1暗青灰 [内]5PB5/1青灰 精良:1mm以下の黒色粒 良好	体 1/4	

表 14 土器観察表 (14)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
108	1	94	252	10-堅穴301 床面直上・カ マド・煙道・断 割	土師器 甕 (体部)	A3 I	22 [32.0]	口縁部は欠損。体部は長胴形を呈し、底部は丸底。 【外】テハ・黒斑 【内】削り→粗いテハ	【外】10YR5/4-ブイ黄褐 【内】7.5YR5/4-ブイ褐 普:0.5~3.5mmの石英・長石・赤色 粒 良	頸 1/6	
108	1	96	253	10-堅穴50 埋土	須恵器 杯蓋	⑤ d オ	13.0 — 4.6	口縁部と天井部の境は丸くならで、端部は丸く おさめる。 【外】回転テ、回転テ削り(-), 頂部テ切り未調整 【内】回転テ	【外】2.5Y8/3淡黄 【内】2.5Y8/2灰白 粗:2.5mm以下の細粒・黒色粒 不良	口 4/5	
	1	96	254	10-堅穴50 カマド	須恵器 杯身 (口縁)	⑤ d オ	(11.2) — [1.7]	立ち上がりは短く湾曲し、端部は先細りしている。 受端部は丸く仕上げる。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】2.5GY7/1明テブ灰 【内】2.5GY7/1明テブ灰 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	
108	1	96	255	10-堅穴50 落込み	須恵器 壺 (体部)		4.2 8.4 12.8	台付長頸壺か。体部は球形を呈し、肩部に沈線が1 条巡る。ハの字形の脚部を貼り付ける。 【外】回転テ, 回転テ削り(R), 沈線, 自然袖付着 【内】回転テ	【外】5Y7/1灰白 【内】N6/灰 普:0.5~2mmの細粒・黒色粒 良好	体~ 脚 1/1	
	1	96	256	10-堅穴50 カマド	土師器 杯 (口縁)	B d	(10.7) — [3.2]	口縁部は大きく開き、端部は丸く取る。 【外】ヨテ, テ 【内】テ	【外】5YR4/4-ブイ赤褐 【内】5YR5/4-ブイ赤褐 普:2.5mm以下の石英・長石・金雲母 良	口 1/4	
108	1	98	257	10-堅穴60 埋土	須恵器 杯身	⑤ b オ	12.2 — 4.6	立ち上がりは短く湾曲し、端部は先細りしている。 受部境に溝をなす。底部やや平坦。 【外】回転テ, 回転テ削り(R) 【内】回転テ, 静止テ	【外】10YR6/3-ブイ黄褐 【内】5YR7/6橙 普:3mm以下の細粒・カサ礫 不良	口 1/2	
	1	98	258	10-堅穴60 カマド	土師器 甕 (口頸)	A1 V b	(11.1) — [7.1]	小型甕。口頸部は緩やかに外反し、端部b。 【外】テ 【内】テ	【外】2.5YR5/8明赤褐 【内】2.5YR5/8明赤褐 粗:0.5~3mmの石英・長石 不良	口 1/8 以下	
	1	106	259	21-堅穴2 床面直上	須恵器 杯蓋 (口縁)	d オ	(12.8) — [2.8]	口縁部と天井部の境は丸くならで、端部は丸く おさめる。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8	
	1	106	260	21-堅穴2 埋土	須恵器 杯身	⑤ d オ	(12.0) — [3.2]	立ち上がりは短く湾曲し、端部は先細りしている。 受端部は丸く仕上げる。受部に杯蓋重ね焼き痕あり。 自然袖付着。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 精良:1mm以下の黒色粒 良	口 1/4	
99	1	106	261	21-堅穴2 埋土	須恵器 高杯 (脚部)		— 11.4 [5.7]	脚部はハの字状に開き、裾端部は外端面をもつ。 【外】回転テ, 自然袖付着 【内】回転テ, 静止テ	【外】N7/灰白 【内】10YR5/1褐灰 普:1~4mmの細粒・黒色粒 良	脚 2/3	
	1	106	262	21-堅穴2 埋土	土師器 甕 (把手)	把手 ア	4.1 3.1 [4.0]	把手は短い棒状を呈し、断面は楕円形。 【外】指テ, 指頭圧痕 【内】指テ	【外】7.5YR7/4-ブイ橙 【内】7.5YR8/2灰白 粗:1~5mmの石英・長石・カサ礫 良	把手 のみ	
128	1	108	263	3-堅穴50 床面直上	須恵器 杯蓋	⑤ d オ	(12.0) — 4.4	口縁部と天井部の境は丸くならで、端部は丸く おさめる。器壁が厚い。 【外】回転テ, 回転テ削り(R) 【内】回転テ	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/6	
128	1	108	264	3-堅穴50 埋土	須恵器 杯蓋	③ b イ	(11.8) (7.0) [4.0]	口縁部と天井部の境は弱い稜が走り、内端部は段を 有す。 【外】回転テ, 回転テ削り(L) 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 普:4mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/6	
128	1	108	265	3-堅穴50 埋土	須恵器 有蓋高杯蓋 (つまみ)		3.7 0.9 [1.5]	つまみは扁平で中央がくぼむ。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N7/灰白 【内】N6/灰 精良:0.1~1mmの細粒・黒色粒 良	つま み のみ	
93	1	108	266	3-堅穴50 埋土	須恵器 蓋		(11.5) — [3.4]	口縁外端部をつまみ出し、端面は接地する。短頸壺 の蓋か。 【外】回転テ, 回転テ削り(R) 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:2mm以下の細粒 良	口 1/3	
	1	108	267	3-堅穴50 埋土	土師器 直口壺 (頸部)	B	— — [1.9]	頸部の細片。頸部内面に接合痕明瞭。 【外】テ 【内】テ, 指頭圧痕	【外】10YR8/3淡黄橙 【内】7.5YR7/4-ブイ橙 普:0.5~2mmの石英・長石・カサ礫 良	頸 1/6	
	1	108	268	3-堅穴50 床面直上	土師器 鉢?		(16.8) — 5.8	口径が大きく浅い椀状を呈し、端部は丸く取る。 【外】テ, 指頭圧痕, 2次被熱 【内】テ, 指頭圧痕	【外】2.5YR5/6明赤褐 【内】10YR4/2灰黄褐 粗:1~5mmの石英・長石 不良	口 1/8	
93	1	108	269	3-堅穴50 埋土	土師器 甕	E IV a	(12.0) — [15.3]	体部は球形を呈する。口縁部は直立し、端部は先細 りしている。内面の接合痕明瞭。 【外】ヨテ, テ 【内】ヨテ, 板テ	【外】5YR6/6橙 【内】5YR7/6橙 粗:1~4mmの石英・長石 良	口 1/3	
102	1	109	270	22-堅穴1 床面直上	須恵器 杯身	⑤ d オ	11.8 — 4.0	立ち上がりは短く湾曲し、端部は先細りしてい る。受端部は丸く仕上げる。底部は角消し丸底。 【外】回転テ, 回転テ削り(R→L), 頂部テ切り未調 整 【内】回転テ	【外】2.5Y7/1灰白 【内】2.5Y7/1灰白 普:4mm以下の細粒 やや不良	完存	
99	1	112	271	7・24-堅穴3 床面直上	土師器 鍋	鍋A	16.1 5.0 14.5	口縁部は外反し、端部b。体部はやや肩が張る短胴 形を呈し、底部は平坦。3cm大の黒斑有り。 【外】ヨテ→ナハ 【内】口縁部ヨテ, 体部上半ヨテ, 下半ヨテ	【外】5YR6/8橙 【内】5YR6/6橙 粗:5mm以下の石英・長石 不良	口 1/4	

表 15 土器観察表 (15)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
94	1	113	272	5-堅穴45埋土	土師器高杯(杯部)	A	14.8 — [4.5]	外反高杯の口縁部か。 【外】観察難,一部化粧土,煤付着 【内】観察難	【外】5YR7/4-7イ橙 【内】10YR8/6黄橙 精良:1~2mmの石英・長石・矽礫 良	杯完 存	
	1	114	273	5・23-掘立2 SP14	須恵器杯蓋	a エ	(13.1) — [3.6]	口縁部と天井部の境は強い稜が走り,内端部は沈線が巡る。 【外】回転テ°,回転ヘリ削り(-) 【内】回転テ°	【外】N5/灰 【内】7.5YR5/2灰褐 精良:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8	
	1	114	274	5・23-掘立2 SP12	須恵器高杯(脚部)	A	— (8.5) [5.6]	脚部は台形状に開き,3方向台形カギを穿孔する。裾端部は下方に曲げて丸く収め,凹線が巡る。 【外】回転テ°,3方向台形カギ 【内】回転テ°	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:1~2mmの細粒・黒色粒 良	脚 1/8	
104	1	121	275	7・42-掘立1 SP27	須恵器短頸壺		(10.6) — [13.9]	口縁部は短く直立し,端部は内傾する面をもつ。体部中位に最大径となる算盤玉形を呈する。体部中位に沈線が2条巡る。 【外】回転テ° 【内】回転テ°	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良好	頸 1/7	
111	1	124	276	10-掘立2 SP17	須恵器杯身(口縁)		— — [3.0]	立ち上がりは直立し,端部は丸くおさめる。 【外】回転テ° 【内】回転テ°	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	
111	1	125	277	10-掘立1 SP105	須恵器杯蓋(口縁)	ウ	— — [2.0]	端部は外方に屈曲して凹斜面を有す。 【外】回転テ° 【内】回転テ°	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	1/8 以下	
	1	127	278	9-掘立1 SP21	須恵器杯(口縁)		— — [3.2]	口縁は直線的に外傾し,端部は先細りしている。 【外】回転テ° 【内】回転テ°	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:1mm以下の細粒 良	口 1/8 以下	
101	1	129	279	4-掘立1 SP37	須恵器杯蓋	d オ	(14.2) — [2.9]	口縁部と天井部の境は丸くならかて,端部は丸くおさめる。 【外】回転テ°,回転ヘリ削り(R) 【内】回転テ°	【外】N5/灰 【内】N5/灰 精良:1mm以下の細粒 良	口 1/5	
132	1	130	280	9-掘立2 SP35	黒色土器A 碗(口縁)		— — [3.4]	口縁は内湾気味に立ち上がり,端部は丸く収める。 【外】観察難 【内】テ°,ヘリカギ	【外】10YR8/3浅黄橙 【内】7.5Y2/1黒 精良:0.3~1.5mmの石英・矽礫 良	口 1/8 以下	
132	1	132	281	10-掘立3 SP45	黒色土器A 碗(底部)		— (7.6) [1.3]	断面逆三角形の低い高台を貼付ける。 【外】テ° 【内】テ°後ヘリカギ	【外】10YR8/2灰白 【内】2.5Y2/1黒 精良:0.5~2mmの石英・長石 良	底 3/8	
132	1	132	282	10-掘立3 SP47	黒色土器A 碗		(14.6) — [3.0]	口縁は内湾気味に立ち上がり,端部は内傾する面を持つ。 【外】テ° 【内】テ°	【外】10YR7/3-7イ黄橙 【内】2.5Y3/1黒褐 粗:1mm以下の石英・長石 良	口 1/7	
132	1	132	283	10-掘立3 SP32	黒色土器A 碗(口縁)		(13.2) — [4.1]	口縁は内湾気味に立ち上がり,端部は丸く収める。器壁はやや厚い。 【外】テ°,ヘリカギ 【内】テ°,ヘリカギ	【外】10YR3/1黒褐 【内】10YR2/1黒 精良:0.1~2mmの石英・長石・金雲母 良	口 1/8 以下	
133	1	132	284	10-掘立3 SP44	土師質土器 羽釜(口縁)		(19.0) — [6.0]	口縁部は直立し,端部外面に水平な鏝を貼り付ける。 【外】テ° 【内】テ°	【外】10YR6/2灰黄褐 【内】10YR6/2灰黄褐 粗:0.5~1.5mmの石英・長石・赤色粒 良	口 1/8 以下	
133	1	132	285	10-掘立3 SP44	土師質土器 羽釜(口縁)		(18.5) — [5.2]	口縁部は直立し,端部外面に水平な鏝を貼り付ける。 【外】テ° 【内】テ°	【外】7.5YR5/3-7イ褐 【内】7.5YR6/3-7イ褐 粗:1~3mmの石英・長石・赤色粒 良	口 1/8 以下	
133	1	132	286	10-掘立3 SP47	土師質土器 甕(口頸)		38.4 — [9.3]	口頸部が湾曲外傾し,端部は内端部を積み上げ,外面を持つ。 【外】テ° 【内】テ°	【外】5YR6/6橙 【内】5YR6/6橙 粗:1~3mmの石英・長石・赤色粒 良	口 1/4	
	1	136	287	5-柵列1 SP15	須恵器杯身(口縁)		— — [2.6]	立ち上がりは短く内傾し,端部は先細りしている。 【外】回転テ° 【内】回転テ°	【外】N5/灰 【内】N5/灰 普:1mm以下の細粒 良	口 1/8 以下	
	1	136	288	5-柵列2 SP21	土師器甕(口縁)	A2	(13.2) — [4.5]	口縁部は外傾し,内端部は丸く肥厚する。 【外】ヨコテ° 【内】ヨコテ°,テ°	【外】5YR6/4-7イ橙 【内】5YR6/6橙 粗:1~2mmの石英・長石 不良	口 1/8	
	1	142	289	8・43-SD6	土師質土器杯(底部)		— (6.0) [1.2]	底部は平高台状を呈する。底部切り離し技法不明。 【外】回転テ° 【内】観察難	【外】2.5Y6/3-7イ黄 【内】2.5Y7/3浅黄 精良:0.1~1mmの石英・長石・矽礫 不良	底 1/4	
	1	142	290	8・9-SD3	土師器甕(口縁)	c1	— — [5.6]	口縁部は直口し,端部c1。 【外】観察難 【内】観察難	【外】7.5YR6/6橙 【内】7.5YR6/6橙 普:2mm以下の石英・長石 良	口 1/8 以下	
107	1	142	291	8・9-SD3	土師器甕	B	(14.0) — [13.8]	頸部は緩やかに屈曲・外反し,端部は丸く収める。器壁厚い。 【外】ヨコテ°,板テ° 【内】ヨコテ°,削り	【外】5YR7/6橙 【内】5YR6/6橙 普:1~3mmの石英・長石・矽礫 良	口 1/8	

表 16 土器観察表 (16)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
107	1	143	292	8-SD7	土師器 直口壺 (体部)		(6.2) — [9.7]	精製品。体部は扁球形を呈す。口縁部は欠損。 外面に密なヘラミカキを施し、化粧土を塗布する。 【外】ヘラミカキ、化粧土 【内】指頭圧痕、ナテ	【外】5YR6/8橙 【内】5YR6/6橙 精良:0.1~1mmの石英・長石・クワ礫 良好	体 1/1	
107	1	143	293	8-SD7 埋土	土師器 鍋	鍋A	(20.0) — [10.6]	体部は肩の張らない短胴形を呈する。頸部は強く 屈曲し、口縁は水平近くまで曲げられ、端部は面を 持つ。体部内面は全体的に黒化している。 【外】口縁部ヨコテ、体部テテ 【内】口縁部ヨコテ、体部ヨコテ・ナテ	【外】7.5YR6/6橙 【内】2.5Y5/1黄灰 普:0.5~1.5mmの石英・長石・金雲 母 良好	口 3/4	
107	1	146	294	9-SD117 埋土	土師器 甕 (口~体部)	A2 IV a	(18.0) — [14.0]	口頸部は湾曲し、大きく外反する。端部は先細りし ている。 【外】ヨコテ、テテ 【内】ヨコテ、板ナテ	【外】7.5YR7/6橙 【内】7.5YR6/6橙 粗:0.5~4mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/4	
104	1	148	295	45-SD4	須恵器 甕		(18.4) — [25.3]	口縁部は短く直立気味に立ち上がり、端部は玉縁状 に肥厚する。体部は肩の張った扁球形を呈する。 【外】回転ナテ、平行文ナテ→回転ナテ目 【内】回転ナテ、当て具痕	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 精良:2mm以下の細粒・赤色粒 良好	ほぼ 完存	
112	1	148	296	11-SD7	土師器 鍋	鍋B	(37.0) — [11.0] [19.5]	体部は球形胴に近く、体部に三角形の扁平な把手 を2ヶ貼り付ける。口頸部は、屈曲・外反し、端部は 面をもつ。 【外】ヨコテ、テテ 【内】ヨコテ、指頭圧痕	【外】5YR5/6明赤褐 【内】5YR6/6橙 粗:0.5~3mmの石英・長石・赤色粒 良	口 1/2	
104	1	151	297	45-SD1	須恵器 杯身	④ c オ	(12.4) (6.0) 4.2	立ち上がりは短く内傾し、端部は丸くおさめる。底 部は浅い丸底。 【外】回転ナテ、回転ヘリ削り(R) 【内】回転ナテ、静止ナテ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:2mm以下の細粒 良	口 1/3	
104	1	151	298	45-SD1	須恵器 杯身		(11.4) — [3.3]	立ち上がりは短く湾曲して内傾し、端部は先細りし ている。 【外】回転ナテ、回転ヘリ削り(-) 【内】回転ナテ	【外】N7/灰白 【内】N6/灰 普:2mm以下の細粒 良	受 1/8	
1	152	299	3-SD1・4- SD3 土器集中地 点	須恵器 杯身		(11.6) — [3.0]	立ち上がりは湾曲気味に内傾し、内端部は凹斜面を 有す。受部境に溝をなし、受部上面は平坦。 【外】回転ナテ 【内】回転ナテ	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 精良:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/6		
103	1	152	300	3-SD1・4- SD3	須恵器 有蓋高杯	A	(10.8) (9.8) [9.2]	立ち上がりは屈曲して直立し、内端部は斜面を持 つ。脚部はハの字状に開き、裾端部は下方に曲げて 端面を持つ。受部に重ね焼きの痕跡あり。 【外】回転ナテ、回転ヘリ削り(R)、3方向台形ソコ 【内】回転ナテ	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 精良:0.5~1mmの細粒 良	口 1/8	
128	1	152	301	3-SD1・4- SD3	須恵器 杯蓋		(12.6) — [5.0]	口縁部と天井部の境は凹線が走り、内端部は幅広の 凹斜面を有す。天井部は高く丸みをおびる。 【外】回転ナテ、回転ヘリ削り(-) 【内】回転ナテ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:2mm以下の細粒 良	1/8	74と接合
103	1	152	302	3-SD1・4- SD3 土器集中地 点	須恵器 広口壺 (体部)		9.1 — [10.5]	体部は球形を呈する。体部下半は回転ヘリ削りを施 すが、ローリングの単位は不明。 【外】回転ナテ、体部下半回転ヘリ削り(-) 【内】回転ナテ	【外】10YR8/1灰白 【内】10YR8/1灰白 精良:1~2mmの細粒・黒色粒 不良	体完 存	
1	152	303	3-SD1・4- SD3	土師器 杯 (口縁)	B	— — [3.0]	口縁部は斜め上に開き、端部は外傾する面を持つ。 【外】ナテ 【内】ナテ	【外】2.5YR6/8橙 【内】2.5YR6/8橙 普:0.5~2mmの石英・長石・クワ礫 不良	口 1/8 以下		
103	1	152	304	3-SD1・4- SD3	土師器 杯	B d	(12.0) — 5.4	体部は碗形を呈す。口縁部は直口し、端部は先細り している。内外面の化粧土沈着の範囲はムラな し。 【外】ナテ、化粧土 【内】板ナテ、化粧土	【外】5YR6/8橙 【内】5YR6/8橙 普:1~2mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/8	
1	152	305	3-SD1・4- SD3 土器集中地 点	土師器 杯 (口縁)	B a	(12.2) — [2.6]	口縁部は短く外反し、端部は面をもつ。 【外】丁寧なナテ 【内】観察難	【外】5YR6/6橙 【内】2.5YR6/8橙 精良:0.1~1mmの長石・クワ礫 良	口 1/8 以下		
1	152	306	3-SD1・4- SD3	土師器 杯 (口縁)	B d	(14.0) — [5.3]	口縁部は内湾気味に立ち上がり、端部は丸く収め る。 【外】ヨコテ 【内】ヨコテ	【外】7.5YR7/6橙 【内】7.5YR7/4-7イ橙 やや粗:1~4mmの石英・長石・赤色 粒 不良	口 1/4		
103	1	152	307	3-SD1・4- SD3 土器集中地 点	土師器 高杯 (脚部)	B2	— (9.0) [5.8]	脚柱部と裾部との境は屈曲する。接合技法ア。 【外】ナテ、一部化粧土 【内】ナテ、削り?	【外】5YR7/4-7イ橙 【内】7.5YR8/3浅黄橙 普:0.5~2mmの石英・長石・クワ礫 良	脚 1/8	
103	1	152	308	3-SD1・4- SD3 土器集中地 点	土師器 高杯 (脚部)	B2	— (8.8) [6.0]	脚柱部と裾部との境はわずかに屈曲する。接合技 法ア。 【外】ナテ、化粧土 【内】ナテ、粘土紐巻き上げ痕、絞り痕	【外】5YR6/6橙 【内】5YR6/6橙 普:0.1~3mmの石英・長石・クワ礫 良	脚 1/4	
103	1	152	309	3-SD1・4- SD3 土器集中地 点	土師器 直口壺		9.4 — 16.3	体部は肩の張った扁球形を呈する。口縁は直線的 に外傾し、端部は丸く収める。外面のナテは装飾効果 あり。 【外】ヨコテ、ナテ、化粧土 【内】ヨコテ、指頭圧痕	【外】7.5YR7/6橙 【内】7.5YR7/6橙 粗:0.5~2mmの石英・長石・クワ礫 不良	完存	
1	155	310	9-SD205 掘方	須恵器 杯蓋 (口縁)		(11.6~ 12.2) [2.9]	口縁部と天井部の境は丸くなだらからで、端部は丸く おさめる。 【外】回転ナテ 【内】回転ナテ	【外】5Y7/1灰白 【内】5Y7/1灰白 粗:3mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/7		

表 17 土器観察表 (17)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
129	1	155	311	9-SD205 層位不明	須恵器 杯 (底部)	杯B	— 9.6 [2.0]	底部に断面四角の輪高台を貼付する。 【外】回転テ, 回転ヘラ切り 【内】回転テ, 静止テ	【外】5Y7/1灰白 【内】5Y7/2灰白 粗:1~3mmの細粒 不良	底 1/1	
129	1	155	312	9-SD205 層位不明	須恵器 平瓶 (口縁)		9.0 — [7.3]	口縁部はラップ状に開き, 端部は先細りしている。 【外】回転テ 【内】回転テ, テ	【外】N5/灰 【内】N7/灰白 普:0.5~1.5mmの細粒・黒色粒 良	口 3/8	
129	1	155	313	9-SD205 層位不明	須恵器 鉢 (底部)		— 8.3 [3.0]	底部は厚い円盤状を呈する。 【外】回転テ, 回転ヘラ削り(-), 自然袖付着 【内】回転テ	【外】7.5Y6/1灰 【内】7.5YR6/1褐灰 精良:0.5~1mmの細粒 良好	底 1/1	
130	1	155	314	9-SD205 層位不明	須恵器 広口壺 (口頸)		(17.4) — [7.8]	口頸部は外反し, 端部は上方に摘み上げ有稜角端面をもつ。 【外】回転テ, 平行文ヲテ 【内】回転テ, 当て具痕, テ消し	【外】5Y8/1灰白 【内】5Y8/1灰白 普:0.5~1.5mm細粒 不良	口 1/8	
130	1	155	315	9-SD205 埋土	須恵器 甕		(22.4) — [44.7]	大型品。体部は球形丸底で, 口縁は外反し, 端部を丸く収める。 【外】回転テ, 平行文ヲテ, 斜目 【内】回転テ, 当て具痕	【外】N5/灰 【内】N5/灰 普:細粒 良好	口 1/4	
130	1	155	316	9-SD205 層位不明	土師器 甕	A3 IV a	24.0 — [21.8]	口頸部は, 強く屈曲し, 外傾する。端部a。体部は長胴形を呈する。 【外】ヨテ, ヨテ, 板テ 【内】ヨテ, 板テ, テ	【外】2.5Y7/2灰黄 【内】2.5Y7/1灰白 普:0.5~4mmの石英・長石・赤色粒 不良	頸 1/1	
130	1	155	317	9-SD205 掘方	土師器 甕 (口縁)	A3 d2	(30.0~ 34.6) — [6.6]	口頸部はくの字状に屈曲・外傾し, 端部d2。 【外】ヨテ, 板テ 【内】テ, 板テ, ヲ	【外】10YR8/3浅黄橙 【内】10YR7/3ブイ黄橙 粗:0.5~3.5mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/6	
1	155	318	9-SD205 層位不明	土師器 杯			12.0 — [4.1]	体部は碗形を呈す。口縁部は直口し, 端部は内傾する面を持つ。外面に粘土帯貼付痕明瞭。 【外】テ 【内】テ	【外】7.5YR7/6橙 【内】7.5YR6/6橙 粗:0.5~3mmの石英・長石・クワ礫 不良	口 1/8	
130	1	155	319	9-SD205 礫層	土師器 皿A	皿A	(12.6) (7.4) [3.1]	底部は丸みを帯びた広い平底。口縁部は斜め上に開き, 端部は丸く収める。 【外】テ 【内】観察難	【外】7.5YR8/3浅黄橙 【内】7.5YR8/3浅黄橙 普:0.1~1mmの石英・長石・クワ礫 良	底 1/3	
1	155	320	9-SD205 埋土	土師器 甕 (把手)		把手ウ	(4.0) 2.3 [4.2]	把手は牛角状を呈し, 断面は上面が平坦な半円形。 【外】テ 【内】テ	【外】7.5YR6/6橙 【内】7.5YR6/6橙 粗:0.5~3mmの石英・長石・クワ礫 良	把手 のみ	
130	1	155	321	9-SD205 最下層	須恵器 杯	杯G	(12.2) (7.2) 4.0	底部はやや丸みを帯びた平底。口縁部は直線的に外傾し, 端部は丸く収める。 【外】回転テ, 回転ヘラ削り(-) 【内】回転テ	【外】10YR7/1灰白 【内】2.5Y7/2灰黄 普:0.5~1.5mmの細粒 不良	口 1/4	
130	1	155	322	9-SD205 最下層	須恵器 杯	杯G	11.4 6.3 4.5	底部は平底。体部は丸みを帯びる。口縁部はわずかに外反する。 【外】回転テ, 回転ヘラ削り(L) 【内】回転テ	【外】2.5Y8/1灰白 【内】2.5Y8/2灰白 粗:0.5~4mmの細粒 良	完存	
130	1	155	323	9-SD205 最下層	須恵器 杯	杯G	(11.4) — 4.6	底部はやや丸底。口縁部は外傾し, 端部は丸くおさめる。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N8/灰白 【内】N8/灰白 粗:1~4mmの細粒 不良	口 3/8	
130	1	155	324	9-SD205 最下層	須恵器 盤 (底部)		— (11.5) [3.9]	底部に足高台を貼付する。 【外】回転テ, 回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ, 静止テ	【外】7.5Y7/1灰白 【内】7.5Y7/1灰白 普:0.5~2mmの細粒 良	底 1/1	
1	155	325	9-SD205 層位不明	須恵器 杯蓋 (口縁)			— — [2.8]	口縁部と天井部の境は丸くならぬので, 端部は丸くおさめる。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N5/灰 普:1mm以下細粒 良	口 1/8 以下	
130	1	155	326	9-SD205 最下層	土師器 杯	A	(11.6) (7.0) 3.4	精製品。底部は平底。口縁部は斜め上に開く, 端部は丸くおさめ, 内面に沈線が巡る。内外面化粧土を塗布し, 摩擦著しいが, 外面底部のヘラ削り, 内面の放射状暗文がわずかに観察できる。 【外】ヘラ削り(b手法) 【内】テ, 放射状暗文	【外】2.5YR6/8橙 【内】2.5YR6/8橙 精良:0.1~1mmの石英・長石 良	口 1/4	畿内系土 師器
1	155	327	9-SD205 最下層	土師器 皿			(15.4) — [3.1]	底部は丸みを帯びた平底。口縁部は斜め上に開き, 端部は丸く収める。ローリングを受け摩擦著しい。 【外】観察難 【内】観察難	【外】7.5YR6/8橙 【内】7.5YR6/8橙 精良:0.5~2mmの石英・長石 不良	口 1/8	
1	161	328	3-SK106	須恵器 杯蓋 (口縁)		d オ	— — [3.0]	口縁部と天井部の境はわずかに屈曲し, 端部は丸くおさめる。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】7.5YR7/4ブイ橙 【内】7.5YR7/4ブイ橙 普:1.5mm以下の細粒 不良	口 1/8 以下	
1	161	329	3-SK106	須恵器 杯身 (口縁)			— — [2.5]	立ち上がりは短く屈曲して直立し, 端部は丸くおさめる。受部に杯蓋重ね焼きによる焼きムラあり。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	
128	1	161	330	3-SK107	須恵器 有蓋高杯蓋 (つまみ)		2.8 0.7 [1.4]	つまみは扁平, 頂部は窪まない。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】2.5Y6/1黄灰 【内】10YR7/2ブイ黄橙 精良:0.1~1mmの黒色粒 良	つま みの み	

表 18 土器観察表 (18)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
		1	165	331	21-SK7	土師器 甌 (把手)	3.5 1.8 [5.3]	把手は牛角状を呈し、断面は上面がやや凹んだ楕円形。 【外】板テ, ナテ 【内】ナテ	【外】10YR7/4=ブイ黄橙 【内】10YR7/4=ブイ黄橙 粗:1~4mmの石英・長石・赤色粒 良	把手のみ	
94	1	165	332	4-SK2	須恵器 杯蓋	④ c イ	11.5 — 4.7	口縁部と天井部の境は凹線が巡り、内端部は斜面を有す。天井部は焼き歪によりくぼむ。天井部に板状圧痕。 【外】回転テ, 回転ヘリ削り(R), 頂部ヘリ切り未調整 【内】回転テ	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 粗:3mm以下の細粒・黒色粒 良	完存	
94	1	165	333	4-SK2	須恵器 杯蓋	④ c ウ	(13.0) — 4.5	口縁部と天井部の境は凹線が巡り、内端部は凹斜面を有す。 【外】回転テ, 回転ヘリ削り(L), 頂部ヘリ切り未調整 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】10YR7/2=ブイ黄橙 精良:4mm以下の細粒・黒色粒・金雲母 やや不良	口 1/3	
94	1	165	334	4-SK2	須恵器 杯身	① a イ	(9.8) — 5.0	立ち上がりはほぼ直立し、内端部は凹斜面を有す。底部は角丸丸底。 【外】回転テ, 回転ヘリ削り(L) 【内】回転テ, 静止テ	【外】N7/灰白 【内】N6/灰 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/4	
94	1	165	335	4-SK2	須恵器 高杯 (脚部)	B	— (9.0) [5.0]	脚部は截頭円錐形の短脚で、裾端部は有稜角端面を持つ。3方向円形ホコを穿孔する。 【外】回転テ, 回転ホコ目, 3方向円形ホコ 【内】回転テ	【外】5Y8/1灰白 【内】5Y8/1灰白 普:1~2mmの細粒・カサ礫 不良	脚 1/2	
94	1	165	336	4-SK2	土師器 甕	F IV c1	(17.6) — [8.4]	口頸部はくの字状に屈曲し、端部c1。頸部にヘリ記号「 」あり。 【外】口縁部ヨコテ, 体部上半板テ 【内】口縁部ヨコテ, 体部上半板テ	【外】10YR7/4=ブイ黄橙 【内】10YR7/3=ブイ黄橙 普:1~2mmの長石・石英・1mm以下の金雲母 良	口 1/3	
1	1	167	337	6-SK12	須恵器 杯蓋	③ b イ	(13.2) — [4.9]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は斜面を有す。天井部は丸みをおびる。 【外】回転テ, 回転ヘリ削り(R) 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:3mm以下の細粒 良	口 1/7	
1	1	168	338	24-SK5	須恵器 杯身 (口縁)	⑤ d オ	— — [2.2]	立ち上がりは短く湾曲し、端部は先細りしている。受端部は丸く仕上げる。 【外】回転テ, 回転ヘリ削り(-) 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】5PB6/1青灰 【断】赤褐 精良:1mm以下の細粒 良	口 1/12	
104	1	168	339	24-SK5	須恵器 高杯 (脚部)	B	— 8.9 [4.5]	脚部は截頭円錐形の短脚で、裾端部は内側に肥厚し内傾する面を持つ。3方向に菱形ホコを穿孔する。 【外】回転テ, 回転ホコ目, 3方向菱形ホコ 【内】回転テ	【外】5Y7/1灰白 【内】5Y7/1灰白 普:2mmの細粒・赤色粒 不良	脚 1/1	
104	1	170	340	24-SK2	須恵器 甕 (体部)		— — [3.8]	体部片である。頸部と体部外面にそれぞれ櫛描波状文(5条1束1本)を施す。 【外】回転テ, 円孔1ヶ, 自然軸付着 【内】指頭圧痕	【外】2.5Y7/1灰白 【内】2.5Y7/1灰白 精良:1mm以下の黒色粒 良好	頸 1/8	
1	1	172	341	9-SK2	土師質土器 杯 (底部)		— (7.0) [1.2]	底部切り離し技法不明。 【外】観察難 【内】観察難	【外】5YR6/6橙 【内】5YR6/6橙 精良:1mm以下の長石・カサ礫 不良	底 1/8	
133	1	180	342	13-SK6	土師質土器 甕		(26.9) — [6.9]	口縁部は、直線的に外傾し、上端部を摘み上げ外端面をもつ。頸部内面は屈曲する。 【外】ヨコテ, ナテ, ナテ 【内】ヨコテ, ナテ	【外】10YR4/3=ブイ黄褐 【内】10YR4/4褐 普:0.5~3mmの石英・長石・赤色粒・金雲母 良	口 1/6	
112	1	180	343	13-SX12	土師質土器 鍋		(35.0) — [18.8]	大型品で、短胴形を呈すると思われる。口縁部は外傾し、端部は面をもつ。内面の屈曲は強い。 【外】ウ 【内】板テ	【外】7.5YR5/3=ブイ褐 【内】5YR6/4=ブイ橙 粗:1~3mmの石英・長石・カサ礫 良	口 1/1	
1	1	181	344	20-SK7	弥生土器 (底部)		— (6.6) [3.5]	平底 【外】板テ 【内】観察難	【外】5Y5/1灰 【内】10YR7/2=ブイ黄橙 粗:1~4mmの石英・長石 不良	底 1/2	
107	1	185	345	9-SX126	須恵器 広口壺 (口~体部)		(13.9) — [16.1]	体部は肩の張った扁球形を呈する。口頸部は外反し、端部は上方に摘み上げ、丸く肥厚する。 【外】縄文タタキ, 回転ホコ目 【内】当て具痕, スリ消し	【外】10YR7/4=ブイ黄橙 【内】7.5YR6/6橙 普:0.5~1.5mmの細粒・カサ礫 不良	口 1/3	
112	1	186	346	11-SX5	須恵器 杯蓋	② c ウ	(14.0) — [4.3]	口縁部と天井部の境は段が巡り、内端部は幅広の凹斜面を有す。頂部はややくぼむ。 【外】回転テ, 回転ヘリ削り(R) 【内】回転テ	【外】N5/灰 【内】N7/灰白 普:3mm以下の細粒・黒色粒・白色粘土 良	口 1/2	
112	1	186	347	11-SX5	須恵器 甕 (口頸)		(18.4) — [6.1]	口頸部は湾曲・外反し、端部は上端を摘み上げ、下端に突帯を貼付け、面を持つ。頸部ヘリ記号「//」。 【外】回転テ, 平行文タタキ, 回転ホコ目 【内】回転テ, 当て具痕後テ, 頸部ヘリ記号「X」	【外】N5/灰 【内】N6/灰 普:0.5~2mmの細粒 良好	頸 3/8	
1	1	186	348	11-SX5	土師器 高杯 (脚部)	C	— (9.8) [4.7]	脚部は低脚で、大きく開く。脚柱部中実。 【外】ウ 【内】ナテ	【外】5YR5/6明赤褐 【内】5YR5/6明赤褐 普:0.5~4mmの石英・長石 粗	脚 1/6	
133	1	188	349	12-SX31	土師質土器 羽釜 (口縁)		(24.6) — [6.5]	口縁部は直立し、端部より少し下がった位置に水平な鏝を貼付ける。口縁・鏝の端部には凹面を持つ。 【外】指頭圧痕 【内】ヨコテ, ウ	【外】10YR5/4=ブイ黄褐 【内】10YR6/4=ブイ黄橙 粗:1~3mmの石英・長石・カサ礫・黒雲母 良	口 1/8	

表 19 土器観察表 (19)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径底径器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
	1	189	350	3-SP13	須恵器杯蓋(口縁)	b エ	— — [3.7]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は凹線を有す。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:3mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	
108	1	189	351	10-SP204	須恵器杯蓋	④ c オ	(12.8) — 3.3	口縁部と天井部の境は段が巡り、端部は丸くおさめる。 【外】回転テ, 回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ, 静止テ	【外】5PB5/1青灰 【内】5PB6/1青灰 精良:0.5mm以下の細粒 良	口 1/3	
	1	189	352	22-SP8	須恵器高杯(脚部)		— (10.0) [4.5]	脚部はハの字形に開き、裾端部は上下に肥厚し、有稜丸端部を持つ。 【外】回転テ, 推定4方向台形カキ, 自然袖付着 【内】回転テ	【外】N3/暗灰 【内】N7/灰白 精良:0.5~1mmの細粒・黒色粒 良好	底 1/6	
	1	189	353	5-SP28	土師器瓶(把手)	把手ア	3.2 2.2 [3.5]	把手は牛角状を呈し、断面楕円形。 【外】指頭圧痕 【内】ハ, 指頭圧痕	【外】5YR6/8橙 【内】2.5YR6/8橙 粗:1~2mmの石英・長石・クワ礫 不良	把手のみ	
	1	189	354	11-SP32	土師器甕(口頭)	A2 V b	(19.8) — [7.6]	口頭部は湾曲・外反する。端部b。 【外】ヨコテ, ケテ 【内】ヨコテ, テ	【外】5YR6/6橙 【内】7.5YR4/4褐 粗:0.5~4mmの石英・長石 良	口 1/8 以下	
111	1	189	355	10-SP15	須恵器鉢(口縁)		(24.2) — [5.3]	口縁部は外方に屈曲し、上端部はつまみ上げ外端面とする。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 粗:1~3mmの石英・長石・黒色粒 良	口 1/8	十瓶山産
	1	189	356	10-SP64	土師器甕(口頭)	A2	(15.6) — [7.0]	口頭部は湾曲・外反し、端部b。 【外】ヨコテ, ハ 【内】観察難	【外】7.5YR6/6橙 【内】7.5YR5/4=7イ褐 粗:1~4mmの石英・長石 不良	口 1/8	
132	1	189	357	10-SP144	黒色土器A碗(口縁)		— — [1.8]	端部はやや厚みを増し先細りしている。 【外】テ 【内】ヘラカキ	【外】2.5Y3/1黒褐 【内】5Y2/1黒 普:1mm以下の石英・長石・金雲母 良	口 1/8 以下	
132	1	189	358	9-SP42	黒色土器B碗(底部)		— (7.0) [2.4]	底部に輪高台を貼り付ける。 【外】ヘラカキ, ヘ削り 【内】テ	【外】5Y4/1灰 【内】5Y4/1灰 精良:0.5mmの石英・長石・金雲母 良	底 1/6	
84 113	2 4	359	14-堅穴1 SK7	土師器高杯(杯部)	B1	12.4 — [4.8]	碗形高杯。口縁部は内湾気味に立ち上がり、端部は丸く収める。 【外】ヨコテ 【内】カキ	【外】5YR6/6橙 【内】5YR6/6橙 普:0.5~2mmの石英・長石 不良	口 1/3		
84 113	2 4	360	14-堅穴1 埋土	土師器高杯(杯部)	B1	13.4 — [6.0]	碗形高杯。口縁部は内湾気味に立ち上がり、端部は丸く収める。 【外】ヨコテ, 板テ, 化粧土 【内】ヨコテ, 板テ, 化粧土	【外】5YR6/6橙 【内】5YR6/6橙 普:0.5~2mmの石英・長石 良	口 2/3		
84 113	2 4	361	14-堅穴1 埋土	土師器高杯(杯部)	B1	13.3 — [5.3]	碗形高杯。口縁部は直口し、端部は丸く収める。接合法エ。 【外】ヨコテ, 板テ, 一部化粧土, 黒斑 【内】ヨコテ, 板テ, 一部化粧土	【外】7.5YR7/8黄橙 【内】7.5YR6/6橙 普:0.5~4mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/1		
84 113	2 4	362	14-堅穴1 SP5	土師器甕	F e1	(20.3) — [13.9]	口頭部はくの字状に屈曲・内湾気味に立ち上がり、端部e1。体部は球形か。 【外】口縁部ヨコテ, 体部上半ハ 【内】口縁部ヨコテ, 体部上半ヨコテ→ナメテ, 指頭圧痕	【外】7.5YR7/6橙 【内】10YR7/4=7イ黄橙 粗:0.5~4mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/1		
84	2	4	363	14-堅穴1 埋土	土師器手捏土器		(9.0) — [4.5]	口縁部はわずかに折り曲げ、端部は丸く収める。 【外】指頭圧痕 【内】指頭圧痕	【外】5YR7/6橙 【内】7.5YR7/4=7イ橙 粗:0.5~2mmの石英・長石・クワ礫 不良	口 1/8	
84 115	2 6	364	14・27-堅穴22 床面直上	須恵器杯蓋	① a ア	13.2 — 4.6	口縁部との境は突線状の強い稜が巡り、端部は接地する面を有す。 【外】回転テ, 回転ヘラ削り(L), 回転カキ 【内】回転テ	【外】N5/灰 【内】N5/灰 精良:1.5mm以下の細粒 良	ほぼ 完存		
115	2	6	365	14・27-堅穴22 埋土	須恵器杯蓋	① a イ	(13.8) — [4.4]	口縁部と天井部の境は突線状の強い稜が巡り、内端部は段を有す。 【外】回転テ, 回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N5/灰 普:4mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/3	
84 115	2 6	366	14・27-堅穴22 埋土	須恵器杯蓋	① a ア	13.8 — [4.9]	口縁部と天井部の境は突線状の鋭い稜が巡り、端部はほぼ接地する面を有す。 【外】回転テ, 回転ヘラ削り(L) 【内】回転テ, 静止テ	【外】N5/灰 【内】N5/灰 精良:3mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/2		
84 115	2 6	367	14・27-堅穴22 埋土	須恵器無蓋高杯(杯部)		13.9 — [4.5]	口縁部と底部の境は強い稜が巡り、内端部は凹斜面を持つ。内面見込に断面三角形の突帯を貼り付ける。焼き歪みあり。 【外】回転テ, 回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ, 突線1条	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:0.5~3mmの細粒・石英・黒色粒 良好	杯 1/1		
84 115	2 6	368	14・27-堅穴22 床面直上	須恵器甕	A2	(19.1) — [8.7]	口頭部は外傾し、口縁部付近でさらに外方に開く。外端部に突線を貼付け端面となし、その下に突線が1条巡る。 【外】回転テ, 平行文カキ, 降灰 【内】回転テ, 当て具痕のち半刈テ	【外】5Y6/1灰 【内】5Y6/1灰 精良:3mm以下の細粒 良好	口 1/1		
104	2	6	369	14・27-堅穴22 カマド周辺	製塩土器(口縁)		— — [3.0]	口縁部は直口し、端部は丸く収める。 【外】観察難 【内】テ	【外】7.5YR6/6橙 【内】5YR4/4=7イ赤褐 普:0.5~1.5mmの石英・長石 不良	口 1/8 以下	備讃V式

表 20 土器観察表 (20)

単位:cm (推定値)[残存値]【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 胎土 焼成	残存率	備考
104	2	6	370	14・27- 堅穴22 埋土	製塩土器 (口縁)		— — [2.5]	口縁部は直立し、端部は先細りしている。 [外]観察難 [内]ナテ	[外]10YR6/4=ブイ黄橙 [内]10YR6/3=ブイ黄橙 普:0.1~0.5mmの石英・長石・クワ礫 不良	口 1/8 以下	備讃V式
84 115	2	7	371	14・27- 堅穴22 埋土	土師器 高杯 (杯部)	B1	(13.8) — [4.2]	碗形高杯。口縁部は内湾気味に立ち上がり、端部は 外方につまみ出し内傾する面を持つ。 [外]ナテ、一部化粧土 [内]ナテ、一部化粧土	[外]5YR6/6橙 [内]5YR6/6橙 普:0.5~1.5mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/4	
84 115	2	7	372	14・27- 堅穴22 床面直上	土師器 高杯	B1	13.1 11.1 10.1	碗形高杯。口縁部は内湾し、端部は面を持ちナテに より凹線状にくぼむ。脚部は屈曲せず緩やかに開く。 接合法ア。 [外]ヨコナテ、板ナテ、一部化粧土、黒斑 [内]ヨコナテ、板ナテ、粘土紐巻き上げ痕、絞り痕、脚部 に化粧土	[外]10YR6/2灰黄褐 [内]10YR8/3浅黄橙 普:0.5~3mmの石英・長石・クワ礫 良	口 2/3	
84 115	2	7	373	14・27- 堅穴22 埋土	土師器 杯 (口縁)	B a	(10.0) — [3.1]	口縁部は短く外屈し、端部は丸く収める。 [外]ナテ [内]ナテ	[外]7.5YR6/4=ブイ橙 [内]7.5YR6/6橙 粗:0.5~2mmの長石・クワ礫 不良	口 1/8	
84 115	2	7	374	14・27- 堅穴22 床面直上	土師器 杯	B b	(11.2) — [3.1]	口縁部は内折し、端部は丸く収める。 [外]丁寧なナテ [内]丁寧なナテ	[外]5YR6/6橙 [内]7.5YR6/6橙 精良:0.1~1mmの長石・赤色粒 良	口 1/8	
84 115	2	7	375	14・27- 堅穴22 埋土	土師器 杯 (口縁)		— — [2.3]	口縁部は、短く屈曲する。 [外]観察難 [内]観察難	[外]5YR5/4=ブイ赤褐 [内]7.5YR5/4=ブイ褐 普:0.1~1mmの長石・クワ礫 不良	口 1/8 以下	
84 115	2	7	376	14・27- 堅穴22 埋土	土師器 甕 (口縁)	e2	— — [4.0]	口頸部はくの字状に屈曲・外傾し、端部e2。 [外]観察難 [内]ナテ、ヨコナテ	[外]10YR5/2灰黄褐 [内]10YR5/3=ブイ黄褐 粗:0.1~1mmの石英・長石・金雲母 不良	口 1/8 以下	
84 115	2	7	377	14・27- 堅穴22 カマド周辺	土師器 甕 (口縁)	A2 b	(17.4) — [4.5]	口頸部は屈曲・外反し、端部b。 [外]ヨコナテ、観察難 [内]ヨコナテ	[外]7.5YR5/3=ブイ褐 [内]10YR5/2灰黄褐 粗:0.5~2.5mmの石英・長石 良	口 1/8	
84 115	2	7	378	14・27- 堅穴22 埋土	土師器 甕 (口縁)	A3 a	(22.0) — [3.6]	頸部は屈曲し、口縁部は短く太い。端部a。 [外]ヨコナテ、テハク [内]ヨコナテ	[外]10YR7/4=ブイ黄橙 [内]2.5Y5/2暗灰黄 粗:4mm以下の石英・長石 良	口 1/8	
84 115	2	7	379	14・27- 堅穴22 埋土	土師器 甕 (口縁)	F IV d1	(20.1) — [6.0]	口頸部はくの字状に屈曲・内湾気味に立ち上がり、 端部d1。 [外]ヨコナテ、ヨコナテ [内]板ナテ	[外]10YR7/4=ブイ黄橙 [内]10YR7/4=ブイ黄橙 普:0.1~0.5mmの石英・長石・金雲 母・角閃石 良	口 1/4	
84 115	2	7	380	14・27- 堅穴22 カマド周辺	土師器 鍋 (口縁)	鍋A	(22.8) — [4.7]	肩が張らず口頸部は屈曲・外反する。 [外]ナテ [内]ナテ	[外]5YR6/4=ブイ橙 [内]7.5YR5/4=ブイ褐 粗:0.5~2mmの石英・長石・クワ礫 不良	口 1/8 以下	
84 115	2	7	381	14・27- 堅穴22 埋土	土師器 甕 (把手)	把手 エ	3.4 5.4 [3.3]	把手は短い角状を呈し、断面は円形。ソケット部が 残存しており、体部への接合は挿入法。 [外]指頭圧痕 [内]—	[外]10YR8/4浅黄橙 [内]10YR8/4浅黄橙 普:2mm以下の石英・長石 良	把 手 の み	
84 115	2	7	382	14・27- 堅穴22 カマド周辺	土師器 甕 (口縁・把 手・底部)	A I c2	(29.4) — (29.5)	体部から口縁にかけて緩やかに開く。端部c2。把 手は短い角状を呈し、断面は円形。把手接合は貼 付か。底部の蒸気孔は推定で円1孔+楕円4孔を配 す。 [外]ナテ、テハク [内]削り→ヨコナテ	[外]7.5YR7/6橙 [内]10YR7/6明黄褐 粗:0.5~2mmの石英・長石・金雲母 良	口 1/8	*部分的に 残存して いるため 復元合成 して実 測。
84	2	7	383	14・27- 堅穴22 埋土	弥生土器 高杯 (脚部)		— — [2.7]	脚部部の細片。 刺突2ヶ。 [外]ナテ [内]ナテ	[外]10YR5/8黄褐 [内]10YR5/8黄褐 普:0.1~2mmの石英・長石・角閃石 良	底 1/8	香東川流 域産土器
120	2	9	384	14-堅穴20 カマド	土師器 甕	A2 V' b	(14.8) — [15.0]	口頸部は屈曲・外反し、端部b。 [外]口縁部ヨコナテ、体部上半テハク [内]口縁部ヨコナテ	[外]5YR6/6橙 [内]2.5YR6/8橙 粗:0.1~1mmの石英・長石 良	口 2/3	
128	2	11	385	14-堅穴19 埋土	須恵器 杯蓋	a ウ	(12.4) — [4.1]	口縁部と天井部の境は突線状の強い稜が走り、内端 部は幅広い凹斜面を有す。 [外]回転ナテ、回転ハ削り(L) [内]回転ナテ	[外]N6/灰 [内]N6/灰 普:2mm以下の細粒 良	口 1/8	
104	2	11	386	14-堅穴19 埋土	製塩土器 (口縁)		(7.0) — [6.0]	口縁部は直立し端部付近でやや内湾する。端部は 先細りしている。 [外]ナテ、タキ [内]ナテ	[外]5YR5/6明赤褐 [内]10YR4/1褐灰 普:1~4mmの石英・長石 不良	口 1/4	備讃V式
	2	13	387	27-堅穴3 埋土	須恵器 杯蓋 (口縁)	c ウ	(13.0) — [2.5]	口縁部と天井部の境は凹線が走り、内端部は幅広い 凹斜面を有す。 [外]回転ナテ [内]回転ナテ	[外]N5/灰 [内]N5/灰 精良:1mm以下の細粒 良	口 1/8	
	2	13	388	27-堅穴3 埋土	須恵器 杯身 (口縁)		— — [2.2]	立ち上がりは短く内傾し、受部境に溝をなし、端部 は丸くおさめる。受部に蓋重ね焼きの焼きムラあり。 [外]回転ナテ [内]回転ナテ	[外]N6/灰 [内]N6/灰 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	

表 21 土器観察表 (21)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
120	2	13	389	27-堅穴3 カマド	土師器 甕	B b	(14.0) — [9.4]	粗製品。口頭部は緩やかに屈曲・外傾し、端部b。 【外】ヨコテ、指頭圧痕、被熱 【内】ヨコテ、板テ	【外】5YR6/6橙 【内】2.5YR5/6明赤褐 粗:2mm以下の石英・長石 良	口 1/1	
113	2	17	390	14-堅穴4 SK7	須恵器 杯蓋	① a ア	13.1 — 4.9	口縁部と天井部の境は突線状の強い稜が巡り、端部はほぼ接地する面を有す。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(L) 【内】回転テ	【外】5B6/1青灰 【内】N7/灰白 精良:2mm以下の細粒 良	口 1/1	
113	2	17	391	14-堅穴4 埋土	須恵器 杯蓋	① b イ	(13.9) — [4.4]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は凹面を有す。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(—) 【内】回転テ	【外】N4/灰 【内】N5/灰 精良:1mm以下の細粒 良	口 1/5	
113	2	17	392	14-堅穴4 埋土	須恵器 杯蓋	b イ	— — [4.2]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は斜面を有す。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(—) 【内】回転テ	【外】2.5Y4/1黄灰 【内】N6/灰 普:1mm以下の細粒 良	口 1/8 以下	
113	2	17	393	14-堅穴4 埋土	須恵器 杯身	① a イ	(12.2) — [4.6]	立ち上がりはほぼ直立し、内端部は斜面を有す。受部に杯蓋重ね焼き痕あり。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(L) 【内】回転テ、頂部ヘラ切り未調整	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 粗:1.5mm以下の細粒・黒色粒 良	受 1/2	
113	2	17	394	14-堅穴4 床面直上	須恵器 杯身	① a イ	(10.7) — [5.5]	立ち上がりは内傾し、内端部は斜面を有す。底部は丸底。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ	【外】5YR6/1褐灰 【内】5YR7/2明褐灰 普:2.5mm以下の細粒 不良	受 3/8	
113	2	17	395	14-堅穴4 埋土	須恵器 杯身	① a イ	(10.0) — [4.0]	立ち上がりは内傾し、受部境に溝をなし、内端部は段を有す。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:3mm以下の細粒 良	受 3/8	
114	2	17	396	14-堅穴4 床面直上	須恵器 甕 (口縁)		(21.8) — [9.5]	口頭部は外反し、端部は上下に肥厚し面を持つ。頸部に斜目を施す。 【外】回転テ、平行文ヲネ、回転斜目 【内】回転テ、当て具痕	【外】7.5Y7/1灰白 【内】7.5Y7/1灰白 普:0.5~1.5mm細粒・黒色粒 不良	口 1/3	
113	2	17	397	14-堅穴4 埋土	須恵器 甕 (口縁)		(12.1) — [1.9]	頸部傾斜変換点外面に突線が巡り、端部は内傾する面を持つ。口縁部外面に、櫛描波状文(10条1束1本)を施す。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】5Y5/1灰 【内】5Y4/1灰 精良:0.1~0.5mmの細粒 良	口 1/8	
113	2	17	398	14-堅穴4 埋土	須恵器 甕 (口縁)		(9.5) — [2.9]	頸部傾斜変換点外面に突線状の強い段が巡り、端部は面を持つ。 【外】回転テ、突帯1条 【内】回転テ	【外】5Y5/1灰 【内】5Y6/1灰 精良:0.1~0.5mmの細粒 堅緻	口 1/5 ~	
113	2	17	399	14-堅穴4 埋土	須恵器 無蓋高杯 (口縁)	A	(14.6) — [3.9]	口縁部と体部との境に2条の突線が巡り、その下に櫛描波状文(6条1束1本)が施される。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】5Y4/1灰 【内】5Y5/1灰 精良:0.1~0.3mmの細粒 良好	口 1/8 以下	
113	2	17	400	14-堅穴4 埋土	須恵器 器台 (脚部)		— — —	凹線に区切られた文様帯の中に櫛描波状文(5条1束2本)を施す。ス孔あり。 【外】回転テ、自然袖付着 【内】回転テ	【外】5Y4/1灰 【内】N4/灰 精良:0.5~1mmの細粒 良好	細片	
114	2	17	401	14-堅穴4 埋土	土師器 杯	B d	(12.5) — [4.5]	口縁部は内湾し、端部は内傾する面を持つ。 【外】テ 【内】ヨコテ	【外】5YR6/6橙 【内】7.5YR7/6橙 精良:0.1~0.5mmの長石・クワ礫 不良	口 1/4	
2	17	402	14-堅穴4 埋土	土師器 杯 (口縁)	B d	— — [3.0]	口縁部は内湾する。 【外】テ 【内】観察難	【外】5YR4/2灰褐 【内】7.5YR6/2灰褐 普:0.5~1.5mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/8 以下		
114	2	17	403	14-堅穴4 埋土	土師器 高杯 (脚部)	B1	— (9.1) [7.1]	脚柱部は比較的太く、脚部は緩やかに開く。裾部内面に布目痕が残る。 【外】板テ、テ、化粧土 【内】板テ、化粧土、爪形圧痕、布目痕	【外】5YR6/6橙 【内】5YR6/6橙 精良:1~3mmの石英・長石・クワ礫 良	底 1/4	
114	2	17	404	14-堅穴4 カマド	土師器 小型丸底壺		(9.7) — 11.3	精製土器。二重口縁壺。頸部は直立し、口縁部は屈曲して外傾する。体部は扁球形を呈す。 【外】ヨコテ、ヘラミキ 【内】ヨコテ、板テ	【外】2.5YR6/8橙 【内】2.5YR6/8橙 精良:1~2mmの長石・クワ礫 良	口 1/4 頸 1/1	
114	2	17	405	14-堅穴4 床面直上	土師器 瓶 (口・底部)	A III b	(22.2) — [11.9]	口縁部は直口する。端部b。底部は2孔タイプか。 【外】ウ 【内】ウ、一部剥離	【外】5YR6/6橙 【内】5YR6/6橙 普:0.5~2mmの石英・長石・赤色粒 良	口 1/7	
114	2	17	406	14-堅穴4 カマド	土師器 瓶 (口縁)	IV c2	— — [6.2]	口縁部は緩やかに開く。端部はc2。 【外】テ 【内】板テ	【外】10YR5/2灰黄褐 【内】10YR3/1黒褐 普:0.5~1.5mmの石英・長石 良	口 1/8 以下	
114	2	17	407	14-堅穴4 カマド	土師器 瓶 (口縁)	IV b	— — [6.7]	口縁部は直口する。端部b。 【外】ヨコテ、ウ 【内】板テ	【外】10YR6/4フイ黄橙 【内】10YR7/4フイ黄橙 普:0.5~3mmの石英・長石 良	口 1/8 以下	
114	2	17	408	14-堅穴4 カマド周辺	土師器 甕 (口縁)	b	— — [4.5]	口頭部は屈曲・外反し、端部b。 【外】テ 【内】テ	【外】2.5YR5/6明赤褐 【内】7.5YR3/2黒褐 粗:0.1~1.5mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/8 以下	

表 22 土器観察表 (22)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
114	2	17	409	14-堅穴4 床面直上	土師器 甕	A3 IV	18.4 8.0 28.7	口頸部は緩やかに屈曲・外反し、端部c2。体部は倒卵形を呈し、底部はやや平坦。 【外】ヨナテ、タテ 【内】ヨナテ、板ナテ	【外】10YR7/4ブイ黄橙 【内】10YR7/4ブイ黄橙 粗:0.5~4mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/1	
114	2	17	410	14-堅穴4 SK7	製塩土器 (口縁)		— — [3.3]	口縁部は直立し、端部は丸く収める。 【外】ナテ、タテ 【内】ナテ	【外】7.5YR5/6明褐 【内】7.5YR6/6橙 普:0.5~1mmのクワ礫 不良	口 1/8 以下	備讃V式
116	2	19	411	14-堅穴28 床面直上	土師器 杯	B c	(9.0) (5.0) 5.5	体部は碗形を呈す。口縁部は強く内湾し、端部は丸く収める。外面の化粧土沈着の範囲にムラあり。 【外】ナテ、化粧土 【内】ナテ、化粧土	【外】5YR6/6橙 【内】5YR6/8橙 精良:3mm以下の石英・長石・クワ礫・金雲母 良	底 1/2	
116	2	19	412	14-堅穴25 埋土	須恵器 杯蓋	a ウ	(13.0) — [4.3]	口縁部と天井部の境は突線状の強い稜が走り、内端部は凹斜面を有す。天井部はやや丸みをおびる。 【外】回転ナテ、回転ヘラ削り(R) 【内】回転ナテ	【外】5RP5/1紫灰 【内】N7/灰白 精良:0.5mm以下の細粒 良	口 1/8 以下	
116	2	19	413	14-堅穴25 埋土	須恵器 杯蓋	a ア	(12.0) — [4.0]	口縁部と天井部の境は突線状の強い稜をもち、端部はほぼ接地する面を有す。 【外】回転ナテ、回転ヘラ削り(-) 【内】回転ナテ	【外】5Y5/1灰 【内】N7/灰白 精良:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	
116	2	19	414	14-堅穴25 埋土	須恵器 杯蓋	a イ	(11.8) — [5.4]	口縁部と天井部の境は突線状の強い稜が走り、内端部は凹斜面を有す。 【外】回転ナテ、回転ヘラ削り(L) 【内】回転ナテ	【外】2.5Y6/1黄灰 【内】2.5Y7/1灰白 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	
116	2	19	415	14-堅穴25 埋土	須恵器 杯身	① a イ	(10.8) — [4.9]	立ち上がりはほぼ直立し、内端部は凹斜面を有す。 【外】回転ナテ、回転ヘラ削り(L) 【内】回転ナテ	【外】2.5Y7/1灰白 【内】2.5Y6/1黄灰 精良:1mm以下の細粒 良	口 3/8	
116	2	19	416	14-堅穴25 床面直上	須恵器 有蓋高杯	B	(10.8) 8.6 9.5	立ち上がりは屈曲気味に内傾し、内端部は凹斜面を持つ。脚部はハの字状に開き、裾端部は下方に屈曲し端面を持つ。 【外】回転ナテ、回転ヘラ削り(-)、回転タテ目、3方向に歪な三角形タテ 【内】回転ナテ	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 精良:0.5~1mmの細粒 良	口 1/6 底 1/1	
116	2	19	417	14-堅穴25 埋土	須恵器 杯身 (口縁)		(13.5) — [2.6]	立ち上がりは短く内傾し、端部は先細りしている。 【外】回転ナテ 【内】回転ナテ	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 精良:3mm以下の細粒 良	受 1/8 以下	
116	2	19	418	14-堅穴25 埋土	須恵器 杯身		— — [3.4]	立ち上がりは内傾し、端部は先細りしている。 【外】回転ナテ、回転ヘラ削り(L) 【内】回転ナテ	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	
116	2	19	419	14-堅穴25 埋土	須恵器 把手付碗 (底部)		— (4.0) [1.9]	外面に把手貼付痕あり。 【外】回転ナテ、底部手持ちヘラ削り 【内】回転ナテ	【外】N5/灰 【内】7.5YR4/1褐灰 普:0.1~1mmの細粒・黒色粒 良好	底 1/2	
116	2	19	420	14-堅穴25 埋土	須恵器 甕 (口縁)		(18.8) — [5.9]	口縁部は外反し、端部は肥厚し面を持つ。 【外】回転ナテ 【内】回転ナテ	【外】N5/灰 【内】N6/灰 精良:0.1~1mmの細粒 良好	口 1/4	
116	2	19	421	14-堅穴25 埋土	須恵器 器台 (脚部)		— — [11.5]	筒型器台の体~底部にかけてか。突線2条によって界された楕円波状文(9条1束3条)からなる文様帯を配する。文様帯上段に推定5方向のタテ、下段に三角形タテを穿孔する。 【外】回転ナテ 【内】回転ナテ	【外】N5/灰 【内】N5/灰 精良:0.1~1mmの細粒 良好	細片	
	2	19	422	14-堅穴25 埋土	土師器 甕 (口縁)	A3 c2	(20.1) — [4.8]	口頸部は湾曲・外反し、端部c2。 【外】ヨナテ 【内】ヨナテ、板ナテ	【外】10YR7/4ブイ黄橙 【内】10YR7/3ブイ黄橙 粗:0.5~2mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/6	
116	2	20	423	14-堅穴40 床面直上	須恵器 杯身	① b イ	(10.4) — 5.6	立ち上がりは内傾し、内端部は凹斜面を有す。底部は深い丸底。受け部に重ね焼き痕あり。自然釉付着。 【外】回転ナテ、回転ヘラ削り(R) 【内】回転ナテ、静止ナテ	【外】N5/灰 【内】N5/灰 粗:6mm以下の細粒・石英 堅緻	口 3/8 受 1/1	
116	2	20	424	14-堅穴40 床面直上	須恵器 杯身	① b イ	(10.9) — 4.9	立ち上がりは内傾し、内端部は凹斜面を有す。底部は丸底。 【外】回転ナテ、回転ヘラ削り(R) 【内】回転ナテ、静止ナテ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:4mm以下の細粒 良	受 3/8	
120	2	22	425	14-堅穴26 床面直上	土師器 甕	A3 IV b	(18.8) — [22.3]	口頸部は屈曲・外反し、端部b。体部は長胴形を呈す。内外面に被熱を受けており、支脚転用甕か。 【外】口縁部ヨナテ、体部タテ 【内】口縁部ヨナテ、板ナテ	【外】7.5YR6/6橙 【内】7.5YR6/6橙 粗:4mm以下の石英・長石・クワ礫 良	口 1/3	
117	2	24	426	27-堅穴1 埋土	須恵器 杯蓋	④ b ウ	(12.0) — [4.2]	口縁部と天井部の境は弱い稜が走る。口縁部は内湾気味に下り、端部は外方に屈曲し凹斜面を有す。 【外】回転ナテ、回転ヘラ削り(L)、凹線2条 【内】回転ナテ	【外】2.5Y6/1黄灰 【内】N5/灰 普:2mm以下の細粒 良	口 3/8	
117	2	24	427	27-堅穴1 床面直上	須恵器 杯身	④ c イ	11.3 3.3 4.7	立ち上がりは、やや内傾し、内端部は凹斜面を有す。底部は丸底。煤付着。 【外】回転ナテ、回転ヘラ削り(L) 【内】回転ナテ	【外】N7/灰白 【内】7.5Y7/1灰白 粗:2mm以下の細粒・黒色粒 不良	完存	

表 23 土器観察表 (23)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
117	2	24	428	27-堅穴1埋土	須恵器有蓋高杯	A	(11.6) (7.4) 8.7	立ち上がりは直立し、端部は丸く取める。脚部は、截頭円錐形で、裾端部は有稜角端面を持つ。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(-), 回転跡目, 推定3方向の台形スリ 【内】回転テ	【外】7.5Y7/1灰白 【内】7.5Y7/1灰白 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/2 底 4/1	
117	2	24	429	27-堅穴1床面直上	須恵器有蓋高杯	B	10.8 8.0 7.5	立ち上がりは屈曲気味に内傾し、端部は丸く取める。脚部は截頭円錐形の短脚で、3方向の円形スリを穿孔する。受部に重ね焼きによる焼きムラあり。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(L) 【内】回転テ、炭化物付着。	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 普:1~3mm程度の細粒・黒色粒 良	口 1/2 底 1/1	
117	2	24	430	27-堅穴1床面直上	土師器鍋	鍋A	21.5 — 14.5	丸底で肩の張らない短胴形を呈する。口頸部は緩やかに湾曲・外反する。端部は先細りしている。底部に煤付着。 【外】口縁部ヨコテ、体部ナメテ 【内】口縁部ヨコテ、体部ヨコテ	【外】7.5YR5/4-7イ褐 【内】10YR5/4-7イ黄褐 粗:4mm以下の石英・長石・赤色粒 良	完存	
117	2	26	431	14-堅穴5床面直上	須恵器杯蓋	④ b イ	(12.0) — 4.5	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は段を有す。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(L) 【内】回転テ	【外】N5/灰 【内】N5/灰 普:4mm以下の細粒 良	口 1/3	
117	2	26	432	14-堅穴5SP4	須恵器杯蓋	③ c イ	13.0 — 4.3	口縁部と天井部の境は凹線が巡り、内端部は斜面を有す。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(R), 頂部ヘラ切り未調整 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 普:3mm以下の細粒・黒色粒 良	口 7/8	
117	2	26	433	14-堅穴5埋土	須恵器杯蓋	b エ	(13.0) — [4.7]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は沈線が巡る。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(-) 【内】回転テ	【外】10YR6/1褐灰 【内】10YR6/1褐灰 精良:1.5mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8	
117	2	26	434	14-堅穴5埋土	須恵器杯身		(10.8) — [3.2]	立ち上がりはやや内傾し、内端部は斜面を有す。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ	【外】N4/灰 【内】N5/灰 精良:2mm以下の細粒 良	受 1/5	
117	2	26	435	14-堅穴5床面直上	須恵器杯身	① b エ	(11.8) — [4.3]	立ち上がりは内傾し、内端部は幅広い凹線を有す。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ	【外】N4/灰 【内】N4/灰 普:1.5mm以下の細粒 良	口 1/3	
117	2	26	436	14-堅穴5床面直上	土師器甕(口縁)	A3 b	(22.8) — [6.4]	口頸部は屈曲・内湾し、端部b。 【外】ヨコテ 【内】板テ	【外】10YR5/3-7イ黄褐 【内】10YR5/3-7イ黄褐 粗:1~3mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/8	
2	26	437	14-堅穴5SK5	土師器甕(口縁)	A1 b	(12.0) — [6.8]	口頸部は緩やかに屈曲・外傾し、端部b。被熱を受け摩滅著しい。 【外】観察難 【内】観察難	【外】10YR5/4-7イ黄褐 【内】7.5YR5/6明褐 粗:1~4mmの石英・長石 不良	頸 1/4		
128	2	28	438	14-堅穴16床面直上	須恵器杯蓋	⑤ d オ	(14.8) — [3.6]	口縁部と天井部の境は丸くなだらかで、端部は丸くおさめる。 【外】回転テ、被熱 【内】回転テ	【外】2.5Y7/1灰白 【内】2.5Y7/3浅黄 普:1.5mm以下の黒色粒 不良	口 1/8	
120	2	28	439	14-堅穴16埋土	須恵器杯身		(13.2) — [4.4]	立ち上がりは内傾し、端部は丸くおさめる。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(L) 【内】回転テ	【外】N5/灰 【内】N6/灰 粗:2mmの細粒 良	受 1/8	
2	28	440	14-堅穴16埋土	須恵器杯身(口縁)		— — [2.7]	立ち上がりは短く内傾し、端部は丸くおさめる。受部に重ね焼きの焼きムラあり。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】2.5Y6/1黄灰 【内】N7/灰白 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下		
120	2	28	441	14-堅穴16カマド	土師器甕(底部)		— (5.6) [10.2]	体部は球形。 【外】観察難, 被熱 【内】ウ	【外】5YR5/8明赤褐 【内】5YR6/6橙 粗:1~4mmの石英・長石・クワ礫 良	底 2/3	
120	2	30	442	14-堅穴15埋土	須恵器杯蓋	⑤ e エ	(15.0) — [4.7]	口縁部と天井部の境は丸くなだらかで、内端部は凹線が巡る。天井部は比較的高い。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(-) 【内】回転テ	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/5	
128	2	30	443	14-堅穴15カマド	須恵器杯蓋	⑤ d オ	(15.0) — [4.6]	口縁部と天井部の境は丸くなだらかで、端部は丸くおさめる。天井部は高い。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(L) 【内】回転テ	【外】2.5Y8/3淡黄 【内】2.5Y7/1灰白 普:1.5mm以下の細粒・黒色粒 不良	口 1/8 以下	
120	2	30	444	14-堅穴15床面直上	須恵器杯蓋	③ c イ	(14.5) — [4.9]	口縁部と天井部の境は弱く屈曲し、わずかに凹線が見られる。内端部は斜面を有す。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(L) 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:1.5mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/4	
117	2	32	445	14-堅穴21カマド	須恵器杯身	③ b オ	(13.8) (5.8) [4.7]	立ち上がりはやや内傾し、端部は丸くおさめる。内面に当て具痕あり。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(-) 【内】回転テ、当て具痕	【外】N6/灰 【内】2.5YR5/2灰赤 精良:1.5mm以下の細粒 良	受 1/5	
117	2	34	446	14-堅穴2埋土	須恵器杯身	③ c オ	(14.0) — 4.5	立ち上がりは内傾し、内端部は丸くおさめる。底部は浅くやや平坦。 【外】回転テ、回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ	【外】N7/灰白 【内】N6/灰 精良:1.5mm以下の細粒・黒色粒 良	受 1/4	
2	34	447	14-堅穴2SP2	土師器甕(口縁)	IV f	— — [6.1]	口縁部は端部付近で外折し、端部f。 【外】ヨコテ、板テ、ウ 【内】ヨコテ、板テ	【外】7.5YR7/4-7イ橙 【内】10YR8/3浅黄橙 普:0.5~2mmの石英・長石 良	口 1/8 以下		

表 24 土器観察表 (24)

単位:cm (推定値)[残存値]【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径底径器高	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 胎土 焼成	残存率	備考
118	2	39	448	14-堅穴30埋土	須恵器杯蓋(口縁)	b ウ	— [3.1]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡る。口縁部は内湾気味に下り、内端部は幅広い凹斜面を有す。 [外]回転け、 [内]回転け	[外]N5/灰 [内]N6/灰 精良:1mm以下の細粒・黒色粒良	口 1/8 以下	
118	2	39	449	14-堅穴30埋土	須恵器杯蓋	④ b ウ	(13.0) — [2.8]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、端部は凹面を有す。 [外]回転け、回転へり削り(-) [内]回転け	[外]N5/灰 [内]N5/灰 普:2mm以下の細粒・黒色粒良	口 1/7	
128	2	39	450	14-堅穴30SK33	須恵器杯蓋	④ b ウ	12.7 — [3.5]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、端部は外方に屈曲し凹斜面を有す。 [外]回転け、回転へり削り(L) [内]回転け	[外]N4/灰 [内]N5/灰 粗:3mm以下の細粒・黒色粒良	口 1/6	
118	2	39	451	14-堅穴30SK33	須恵器杯蓋	③ b ウ	14.3 — 4.7	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡る。口縁部は内湾気味に下り、内端部は段を有す。天井部は丸い。 [外]回転け、回転へり削り(L) [内]回転け、当て具痕	[外]N5/灰 [内]N6/灰 精良:2.5mm以下の細粒良	口 5/8	
118	2	39	452	14-堅穴30SK31	須恵器杯身		(12.3) — [4.2]	立ち上がりはやや内傾し、端部は丸くおさめる。 [外]回転け、回転へり削り(-) [内]回転け	[外]N6/灰 [内]N6/灰 精良:0.5mm以下の細粒・黒色粒良	受 1/5	
118	2	39	453	14-堅穴30カマド	須恵器杯身	④ c エ	(11.9) (6.8) 4.4	立ち上がりはやや短く内傾し、内端部は凹線が巡る。底部は平底。 [外]回転け、回転へり削り(R) [内]回転け	[外]N5/灰 [内]2.5Y5/1黄灰 粗:2mm以下の細粒・黒色粒良	受 1/2 口 1/3	
118	2	39	454	14-堅穴30SK31	須恵器杯身	③ b イ	12.7 8.0 5.1	立ち上がりは内傾し、内端部は斜面を有す。杯部へ記号「卅卅」。 [外]回転け、回転へり削り(R) [内]回転け、静止け	[外]N6/灰 [内]N6/灰 粗:3mm以下の細粒・黒色粒良	完存	
118	2	39	455	14-堅穴30埋土	須恵器器台(脚部)		— [3.5]	凹線によって界された楕円状波状文からなる文様帯を配する。x3孔あり。 [外]回転け目 [内]回転け	[外]N5/灰 [内]N5/灰 精良:0.1~1.5mmの細粒・黒色粒良	細片	
118	2	39	456	14-堅穴30埋土	土師器鍋(口縁)	鍋 A1	(20.4) — [5.6]	肩が張らず口頸部は緩やかに湾曲・外反する。端部は丸く収める。 [外]け [内]観察難	[外]2.5YR5/8明赤褐 [内]2.5YR5/6明赤褐 粗:0.5~4mmの石英・長石良	口 1/5	
118	2	39	457	14-堅穴30床面直上	土師器鍋	鍋 A2	25.7 — 10.1	体部は浅く帽子状を呈する。口頸部湾曲・水平近くまでのびる。破損後被熱。 [外]ヨナテ、板け [内]ヨナテ、板け	[外]10YR6/3-7黄橙 [内]7.5YR6/4-7イ橙 粗:0.5~5mmの石英・長石・赤色粒良	ほぼ 完存	
118	2	39	458	14-堅穴30SK32	土師器甕	A3 V' b	(17.6) — [9.39]	口頸部は湾曲・外反する。端部b。 [外]口縁部ヨナテ、体部け [内]指頭圧痕	[外]7.5YR7/6橙 [内]5YR7/8橙 粗:1~3mmの石英・長石良	口 1/7	
118	2	39	459	14-堅穴30SK32	土師器(底部)		— 5.5 [2.0]	丸底。 [外]観察難 [内]板け	[外]2.5YR6/8橙 [内]2.5YR6/8橙 粗:0.5~5mmの石英・長石不良	底 7/8	
118	2	39	460	14-堅穴30床面直上	土師器瓶(底部)		[5.1] [3.0] 0.8	蒸気孔(3+αの切り抜き)片 [外]け [内]板け	[外]10YR7/4-7黄橙 [内]2.5Y6/8明黄褐 普:0.5~1mmの石英・長石・金雲母良	細片	
118	2	39	461	14-堅穴30SP35	土師器瓶(底部)		[4.9] [4.2] 1.0	蒸気孔(3+αの切り抜き)片 [外]け [内]板け	[外]10YR7/4-7黄橙 [内]2.5Y6/8明黄褐 普:0.5~1mmの石英・長石・金雲母良	細片	
120	2	42	462	14-堅穴23カマド	土師器甕(口縁)	B b	(25.0) — [7.3]	口頸部は屈曲・内湾し、端部b。 [外]け、け [内]観察難	[外]10YR8/3浅黄橙 [内]7.5YR7/4-7イ橙 普:5~2.5mmの石英・長石・金雲母良	口 1/6	
	2	42	463	14-堅穴23床面直上	土師器杯	B c	12.7 — [5.0]	体部は碗形を呈す。口縁部は屈曲気味に強く内湾し、端部は内傾する面をもつ。外面の化粧土沈着の範囲にムラあり。 [外]ヨナテ、へり削り、一部化粧土 [内]観察難	[外]10YR6/4-7黄橙 5YR5/6明赤褐 [内]5YR7/8橙 やや粗:0.5~3mmの石英・長石・クサリ礫良	口 1/4	
	2	42	464	14-堅穴23埋土	製塩土器(体部)		— [3.5]	器壁薄い。 [外]観察難 [内]観察難	[外]10YR5/2灰黄褐 [内]10YR4/1褐灰 普:0.5~1.5mmの石英・長石不良	細片	備讃V式か
119	2	46	465	27-堅穴2埋土	須恵器杯蓋	⑤ d オ	(14.0) — [4.1]	口縁部と天井部の境は丸くおさめる。自然袖付着。 [外]回転け、回転へり削り(L) [内]回転け	[外]N6/灰 [内]N6/灰 普:3mm以下の細粒・黒色粒堅緻	口 1/2	
119	2	46	466	27-堅穴2埋土	須恵器杯身	③ c オ	12.6 7.7 4.4	立ち上がりは内傾し、端部は丸くおさめる。底部は浅く平底。受部境に溝あり。受部に蓋重ね焼き痕あり。 [外]回転け、回転へり削り(R) [内]回転け、静止け	[外]N6/灰 [内]N7/灰白 普:1.5mm以下の細粒良	口 3/8	
119	2	46	467	27-堅穴2埋土	須恵器杯身	④ c オ	10.9 5.1 4.3	立ち上がりはやや短く内傾し、端部は丸くおさめる。立ち上がりを受部の境は、なだらかで、全体的に歪あり。 [外]回転け、回転へり削り(L)、頂部へり切り未調整 [内]回転け	[外]N6/灰 [内]N6/灰 普:2mm以下の細粒良	口 3/4	14-堅穴15・27-堅穴7と接合

表 25 土器観察表 (25)

単位:cm (推定値) [残存値] 【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径底径器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
119	2	46	468	27-竪穴2 カマド	須恵器 甕 (体部)		5.2 4.1 [7.7]	体部は扁球形を呈し、基部は比較的細い。体部上位に沈線が1条巡り、径1.6cmの円孔を外→内に穿つ。 内外に降灰。 【外】回転けず、回転へり削り(L・R)、円孔1ヶ 【内】回転けず	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	体 1/1	
119	2	46	469	27-竪穴2 カマド	土師器 高杯	C	14.6 — [11.4]	粗製品。杯部は直線的に大きく開き、端部は丸く収める。脚柱部は太く、裾部にかけて大きく開く。 【外】観察難 【内】ハケ、ナゲ	【外】10YR7/6明黄褐 【内】10YR7/6明黄褐 粗:3mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 7/8	
119	2	46	470	27-竪穴2 カマド	土師器 甕	B	15.8 — [10.5]	口縁部は屈曲・外傾し、端部b。歪み著しく器壁の厚みに違いがあり、粗雑な作りである。 【外】ヨコナゲ、マツ、外面→口縁内面にかけて被熱 【内】ヨコナゲ、マツ	【外】5YR6/6橙 【内】5YR6/6橙 粗:5mm以下の石英・長石 良	口 1/1	
128	2	48	471	14-竪穴18 埋土	須恵器 杯蓋	⑤ d オ	(12.5) — [3.8]	口縁部と天井部の境は丸くなだらからで、端部は丸くおさめる。 【外】回転けず、回転へり削り(R)、頂部へり切り未調整 【内】回転けず	【外】5Y7/2灰白 【内】5Y7/1灰白 粗:3mm以下の細粒 不良	口 1/8	
128	2	48	472	14-竪穴18 埋土	須恵器 杯蓋	⑤ d ウ	(13.8) — [4.4]	口縁部と天井部の境は丸くなだらからで、内端部は幅広い凹斜面を有す。 【外】回転けず、回転へり削り(R)、頂部へり切り未調整 【内】回転けず	【外】7.5Y5/1灰 【内】7.5Y7/1灰白 普:4mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8	
2	48	473	14-竪穴18 埋土	須恵器 器台 (脚部)			— — [4.3]	ス孔あり。 【外】回転けず、自然釉付着 【内】回転けず	【外】2.5Y5/2暗灰黄 【内】N5/灰 精良:0.1~1mmの細粒 良好	細片	
2	48	474	14-竪穴18 埋土	須恵器 甕 (口縁)			(15.6) — [2.2]	頸部傾斜変換点外面に鈍い段が巡り、端部は丸くおさめる。 【外】回転けず 【内】回転けず	【外】N6/灰 【内】5Y5/1灰 精良:0.5~2.5mmの細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	
119	2	48	475	14-竪穴18 SP2	須恵器 大口壺 (口縁)		(15.7) — [8.1]	口頸部は外反し、端部は上方に積み上げ肥厚する。 【外】回転けず、平行文残後残目 【内】ナゲ、当て具痕	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 普:0.2~1mmの細粒 良	口 2/3	
2	48	476	14-竪穴18 埋土	土師器 杯	B c	(14.8) — [4.4]	体部は碗形を呈す。口縁部は内湾気味につまみあげ、端部内面がやややくぼむ。厚手の作りである。 【外】ナゲ、へり削り 【内】板ナゲ、放射状ハミナギ	【外】7.5YR6/6橙 【内】7.5YR6/4=ブイ橙 精良:0.5~1.5mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/8		
2	48	477	14-竪穴18 カマド	土師器 甕 (口縁)	A1 V' b	(10.3) — [7.0]	口頸部は湾曲・外反し、端部b。 【外】ナゲ、指頭圧痕 【内】ナゲ、指頭圧痕	【外】7.5YR5/3=ブイ褐 【内】7.5YR6/3=ブイ褐 普:0.5~1mmの石英・長石 良	口 1/8		
128	2	51	478	14-竪穴12 埋土	須恵器 杯蓋	⑤ d オ	(14.6) — [4.5]	口縁部と天井部の境は丸くなだらからで、端部は丸くおさめる。 【外】回転けず、回転へり削り(R) 【内】回転けず、頂部に当て具痕	【外】5PB6/1青灰 【内】5PB7/1明青灰 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	
2	51	479	14-竪穴12 SK363	須恵器 杯身		(13.2) — [3.1]	立ち上がりは短く内傾し、端部は先細りしている。 【外】回転けず、回転へり削り(L) 【内】回転けず	【外】10YR7/2=ブイ黄橙 【内】10YR7/2=ブイ黄橙 普:1.5mm以下の細粒 不良	口 1/6		
121	2	51	480	14-竪穴12 床面直上	土師器 手握土器		13.1 9.7 8.1	粗製品。体部はボウル状を呈し、平底。歪あり。 【外】指頭圧痕 【内】指頭圧痕	【外】5YR7/8橙 【内】5YR7/6橙 粗:0.5~3mmの石英・長石・クワ礫 良	完存	
121	2	51	481	14-竪穴12 埋土	土師器 甕	E b	(12.6) — [13.5]	口縁部は直立し、端部丸く収める。体部は球形。 【外】摩滅、ハ 【内】観察難	【外】7.5YR5/4=ブイ褐 【内】10YR6/4=ブイ黄橙 粗:0.5~1.5mmの石英・長石・クワ礫 不良	口 1/6	
2	51	482	14-竪穴12 埋土	土師器 直口壺 (口縁)		(10.0) — [6.0]	口頸部は湾曲・外反し、端部は丸く収める。頸部内面に接合痕明瞭。 【外】ナゲ 【内】ナゲ、指頭圧痕	【外】10YR6/4=ブイ黄橙 【内】10YR7/4=ブイ黄橙 普:0.5~2mmの石英・長石・0.1~0.3mmの金雲母 良	口 1/8		
121	2	51	483	14-竪穴12 埋土	土師器 瓶 (底部)		— — 0.8	蒸気孔(3+αの切り抜き) 【外】ナゲ 【内】ナゲ	【外】7.5YR7/6橙 【内】7.5YR7/6橙 普:0.5~2mmの石英・長石 良	細片	
121	2	51	484	14-竪穴12 埋土	土師器 瓶 (口縁)	a	(25.7) — [8.3]	口縁部は直口し、端部a。 【外】観察難 【内】観察難	【外】7.5YR5/8明褐 【内】5YR5/8明赤褐 粗:1~4mmの石英・長石・クワ礫 不良	口 1/7	
2	52	485	27-竪穴140 貼床内	土師器 甕	f	— — [5.3]	口縁部は短く折り曲げ、体部は肩が張らない。 【外】板ナゲ 【内】ヨコナゲ	【外】10YR7/4=ブイ黄橙 【内】7.5YR7/6橙 粗:2mm以下の石英・長石・赤色粒 良好	口 1/8 以下		
2	52	486	27-竪穴140 貼床内	製塩土器		(16.6) — [5.3]	口縁部は短く折り曲げ、体部はボウル状を呈する。 【外】観察難 【内】観察難	【外】7.5YR5/4=ブイ褐 【内】5YR5/6明赤褐 粗:1mm以下の石英・長石・雲母・赤色粒 良好	口 1/8 以下	備識VI式	
2	54	487	27-竪穴130 掘方	須恵器 杯蓋	d イ	(12.2) — [4.5]	口縁部と天井部の境は丸くなだらからで、内端部は斜面を有す。 【外】回転けず、回転へり削り(L) 【内】回転けず	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/4		

表 26 土器観察表 (26)

単位: cm (推定値) [残存値] 【復元値】

図版番号	分冊	挿入番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 胎土 焼成	残存率	備考
	2	54	488	27-堅穴130掘方	須恵器 椀 (底部)		— — [4.4]	体部は球形で、底部はやや平坦。体部中に2条の突帯を貼付し櫛描波状文(6条1束1本)が巡る。 [外]回転テ、回転ヘラ削り(R) [内]回転テ、当て具痕のちりけ	[外]N6/灰 [内]2.5Y6/1黄灰 普:2mm以下の細粒 堅緻	体 1/8	
	2	54	489	27-堅穴130埋土	土師器 甕	b	— — [8.5]	口頸部は短く折り曲げる。端部b。 [外]テ [内]テ、ヨコハ	[外]5YR5/4=7イ赤褐 [内]5YR7/6橙 粗:2mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/8 以下	
119	2	56	490	14-堅穴29カマド	須恵器 有蓋高杯	C	12.2 10.0 7.3	立ち上がりは短く、屈曲気味に内傾し、端部は先細りにしている。杯部は浅い。脚部は低脚で、ハの字形に開く。歪あり。杯部内面に炭化物の付着あり。 支脚転用高杯? [外]回転テ、回転ヘラ削り(L) [内]回転テ	[外]N6/灰 [内]N6/灰 普:0.1~3mmの細粒 良	完存	
119	2	56	491	14-堅穴29カマド	須恵器 甕 (底部)		— — {0.9}	底部の細片で、3カ所に穿孔の痕跡あり。 [外]板テ [内]板テ	[外]2.5Y7/2灰黄 [内]7.5Y7/1灰白 精良:0.1~0.5mmの細粒 良	細片	
128	2	66	492	14-掘立11SP418	須恵器 杯蓋	① a ア	11.9 [3.7]	口縁部と天井部の境は突線状の鋭い稜が巡り、端部は面を有し接地する。 [外]回転テ、回転ヘラ削り(-) [内]回転テ	[外]5Y5/1灰 [内]N6/灰 精良:1mm以下の細粒 良	口 1/4	
128	2	66	493	14-掘立11SP418	須恵器 杯蓋	① b イ	13.1 — 4.3	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は凹斜面を有す。天井部は丸みをおびる。 [外]回転テ、回転ヘラ削り(R)、頂部ヘラ切り未調整、赤色顔料付着 [内]回転テ、静止テ	[外]N5/灰 [内]N5/灰 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	ほぼ 完存	
121	2	66	494	14-掘立11SP418	土師器 高杯 (杯部)	B1	(14.8) — [4.7]	碗形高杯の杯部である。杯体部の屈曲がやや強く口縁部は直口する。端部は面をもつ。 [外]ヨコテ、板テ、煤付着 [内]ヨコテ	[外]5YR4/3=7イ赤褐 [内]5YR5/3=7イ赤褐 普:0.1~1.5mmの石英・長石・ク判礫 良	口 1/3	
121	2	66	495	14-掘立11SP418	土師器 高杯 (脚部)	B2	— 9.9 [5.4]	脚部は低脚。脚柱部と裾部の境は屈曲する。接合技法イ。 [外]ヨコテ、化粧土 [内]ヨコテ、削り、化粧土、粘土紐巻き上げ痕、絞り痕	[外]2.5YR6/8橙 [内]2.5YR6/8橙 普:0.1~1.5mmの石英・長石・ク判礫 良	底 5/8	
121	2	66	496	14-掘立11SP418	土師器 高杯	B2	13.4 8.7 8.3	碗形高杯。口縁部はやや内湾気味に立ち上がり、端部は丸く収める。脚部は低脚で、脚柱部と裾部との境は屈曲する。接合技法ア。杯部外面に線刻「///」あり。 [外]テテテ、ヨコテ [内]カキテ化粧土、粘土紐巻き上げ痕、絞り痕	[外]5YR7/4=7イ橙 [内]5YR7/6橙 普:0.5~2mmの石英・長石・赤色粒 良	完存	
121	2	66	497	14-掘立11SP418	土師器 高杯 (脚柱)	B2	脚柱 2.5 — [5.1]	杯底部から脚柱部。接合技法イ。 [外]テ、化粧土 [内]板テ、化粧土、粘土紐巻き上げ痕、絞り痕	[外]5YR6/6橙 [内]5YR6/6橙 普:0.5~1.5mmの石英・長石、赤色粒 良	脚柱 1/1	
121	2	66	498	14-掘立11SP418	製塩土器 (口縁)		— — [3.4]	口縁部は直口し、端部は丸く収める。器壁は薄い。 [外]タテ [内]指頭圧痕、板テ、布目痕	[外]7.5YR6/4=7イ橙 [内]7.5YR6/4=7イ橙 精良:0.1~1mmの石英・角閃石 良	口 1/8 以下	備讃V式
121	2	66	499	14-掘立11SP418	製塩土器 (口縁)		— — [3.0]	口縁部は直口し、端部は丸く収める。器壁は薄い。 [外]タテ [内]テ	[外]5YR6/6橙 [内]5YR6/6橙 普:0.1~2mmの石英・長石 不良	口 1/8 以下	備讃V式
121	2	66	500	14-掘立11SP418	製塩土器 (口縁)		— — [1.5]	口縁部は直口し、端部は先細りにしている。器壁は薄い。 [外]タテ [内]指頭圧痕	[外]5YR6/6橙 [内]5YR6/6橙 粗:1~3mmの石英 不良	口 1/8 以下	備讃V式
121	2	66	501	14-掘立11SP418	製塩土器 (口縁)		— — [1.8]	口縁部は直口し、端部は丸く収める。器壁は薄い。 [外]タテ [内]布目痕	[外]7.5YR6/4=7イ橙 [内]7.5YR6/4=7イ橙 普:0.1~1mmの石英・長石 良	口 1/8 以下	備讃V式
121	2	66	502	14-掘立11SP418	製塩土器 (口縁)		— — [1.7]	口縁部は直口し、端部は先細りにしている。器壁は薄い。 [外]タテ [内]指頭圧痕	[外]5YR6/6橙 [内]5YR6/6橙 普:0.5~1mmの石英・ク判礫 不良	口 1/8 以下	備讃V式
121	2	66	503	14-掘立11SP418	製塩土器 (口縁)		— — [2.2]	口縁部は直口し、端部は丸く収める。器壁は薄い。 [外]タテ [内]布目痕	[外]7.5YR7/6橙 [内]5YR6/8橙 普:0.5~1mmの石英・長石 不良	口 1/8 以下	備讃V式
121	2	66	504	14-掘立11SP418	製塩土器 (口縁)		— — [2.8]	口縁部は直口し、端部は丸く収める。器壁は薄い。 [外]タテ [内]布目痕	[外]7.5YR6/4=7イ橙 [内]7.5YR6/6橙 普:0.1~0.5mmの石英 不良	口 1/8 以下	備讃V式
121	2	66	505	14-掘立11SP418	土師器 甕	A2 c2	(16.0) — [9.8]	頸部は屈曲し、口縁部は短く外傾する。端部c2。体部上半が張る球形胴か? [外]ヨコテ、板テ [内]観察難	[外]10YR8/2灰白 [内]7.5Y2/1黒 粗:0.5~3mmの石英・長石・ク判礫 不良	口 1/4	
121	2	69	506	14-掘立14SP383	須恵器 広口壺 (口縁)		— — [4.1]	口頸部は大きく外反し、端部が上下に肥厚し稜付端面を持つ。頸部外面に突線で区切られた文様帯の中に櫛描波状文(4条1束1本)を施す。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]2.5YR4/2灰赤 [内]N5/灰 精良:0.5~1mmの細粒 良好	頸 1/4	

表 27 土器観察表 (27)

単位: cm (推定値) [残存値] 【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径底径器高	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 胎土 焼成	残存率	備考	
		2	73	507	27-掘立1 SP121	土師質土器 杯 (口・底部)	(9.8) — [2.8]	口縁部は外傾し、端部は丸く収める。図示できなかったが、底部片があり回転へり切りによるものと思われる。 [外]回転けり、回転へり切り [内]回転けり	[外]2.5Y8/3淡黄 [内]2.5Y8/3淡黄 精良:2mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/8	中世	
		2	77	508	14-SD1	須恵器 杯 (底部)	— — [2.4]	底部に高台を貼り付ける。 [外]回転けり [内]回転けり	[外]N7/灰白 [内]N8/灰白 普:0.5~2mmの細粒 不良	底 1/8 以下		
133	2	78	509	14-SD39・ 27-SD139	土師質土器 小皿		6.2 5.6 0.9	口縁は太く短い。 [外]回転けり、底部:回転糸切り [内]回転けり	[外]7.5YR8/6浅黄橙 [内]7.5YR8/4浅黄橙 精良:0.1~1mmの石英・長石 良	口 1/2		
133	2	78	510	14-SD39・ 27-SD139 上層	土師質土器 杯		9.8 6.5 2.4	口縁部は直線的に外傾する。 [外]回転けり、回転へり切り [内]回転けり、静止けり	[外]7.5YR8/4浅黄橙 [内]7.5YR8/3浅黄橙 普:1~2.5mmの長石・ク判礫 良	口 2/3		
133	2	78	511	14-SD39・ 27-SD139 上層	土師質土器 杯		10.8 6.0 2.5	体部は外傾する。 [外]回転けり、回転へり切り [内]回転けり	[外]7.5YR8/4浅黄橙 [内]7.5YR8/3浅黄橙 精良:0.5~1mmの石英・長石・ク判礫 良	口 3/8		
		2	78	512	14-SD39・ 27-SD139	土師質土器 杯 (口・体 部)	— 6.6 [2.1]	口縁部と体部片。 [外]回転けり、回転へり切り [内]回転けり	[外]7.5YR8/3浅黄橙 [内]10YR8/3浅黄橙 普:2mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/8 以下		
133	2	78	513	14-SD39・ 27-SD139	土師質土器 杯		(13.4) 8.8 3.2	体部は直線的に外傾する。 [外]回転けり [内]回転けり	[外]N8/灰白 [内]N8/灰白 精良:0.5~2mmの石英・長石 良	底 1/4		
133	2	78	514	14-SD39・ 27-SD139	土師質土器 皿 (口縁)		(14.6) — [2.4]	体部は外傾する。浅い。 [外]回転けり [内]回転けり	[外]10YR8/2灰白 [内]10YR8/2灰白 精良:0.1~0.5mmの石英・長石・ク判 礫 良	口 1/6		
133	2	78	515	14-SD39・ 27-SD139	土師質土器 (底部)		— 5.8 [1.1]	底部切り離し技法は不明。 [外]回転けり、回転へり切り [内]回転けり	[外]10YR8/3浅黄橙 [内]7.5YR8/4浅黄橙 精良:0.5~1mmの石英・長石・ク判礫 良	底 1/7		
133	2	78	516	14-SD39・ 27-SD139	土師質土器 足釜 (口縁)		17.8 — [5.5]	銜部短く下方に延びる。 [外]指頭圧痕、へり [内]へり、けり	[外]10YR7/3=ブイ黄橙 [内]10YR8/2灰白 粗:0.5~2.5mmの石英・長石・赤色 粒 良	口 1/8	楠井産	
		2	78	517	14-SD39・ 27-SD139	土師質土器 足釜 (脚・体 部)	[脚:15.8] [体 部:4.1]	図示できなかったが、体部片があり格子タタキを施す。 [外]脚:けり 体部:格子タタキ [内]脚:けり 体部:けり	[外]脚:7.5YR5/4=ブイ褐~2.5YR6/6 橙、体部:10YR4/2灰黄褐 [内]脚:7.5YR6/6橙、体部:10YR5/3= ブイ黄褐 普:2mm以下の石英・長石・黒色粒・ 赤色粒 良	細片		
		2	78	518	14-SD39・ 27-SD139 上層	須恵器 有蓋高杯 (杯部)	A	11.3 — [5.8]	立ち上がりは屈曲気味に内傾し、内端部は面を持つ。 [外]回転けり、回転へり削り(L)、スガ数不明 [内]回転けり	[外]N8/灰白 [内]N8/灰白 普:0.5~1.5mmの細粒・黒色粒 良	受 3/8	
122	2	82	519	14・27-SD70 上層	須恵器 杯蓋 (口縁)	b イ	— — [2.9]	口縁部と天井部の境は稜が巡り、内端部は凹斜面を有す。 [外]回転けり [内]回転けり	[外]2.5Y6/1黄灰 [内]N5/灰 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下		
122	2	82	520	14・27-SD70 上層	須恵器 杯蓋	d オ	(12.5) — [3.5]	口縁部がわずかに屈曲し、端部は丸くおさめる。 [外]回転けり [内]回転けり	[外]7.5Y6/1灰 [内]7.5Y6/1灰 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下		
122	2	82	521	14・27-SD70 上層	須恵器 杯身		(11.2) (6.0) [4.0]	立ち上がりは内傾し、端部は丸くおさめる。 [外]回転けり、回転へり削り(R) [内]回転けり	[外]5Y7/1灰白 [内]5Y7/1灰白 粗:3mm以下の細粒・黒色粒 不良	受 1/4		
122	2	82	522	14・27-SD70 上層	須恵器 杯身		(10.8) — [2.7]	立ち上がりは内傾し、端部は丸くおさめる。自然袖付着。 [外]回転けり [内]回転けり	[外]N5/灰 [内]N5/灰 普:1.5mm以下の細粒 良	口 1/8 以下		
122	2	82	523	14・27-SD70 上層	須恵器 杯身 (口縁)		(11.8~ 12.2) — [2.6]	立ち上がりは内湾気味に立ち上がり、端部は先細りしている。 [外]回転けり [内]回転けり	[外]N6/灰 [内]N6/灰 精良:1.5mm以下の細粒・黒色粒 良	受 1/7		
122	2	82	524	14・27-SD70 上層	須恵器 杯身	㊦ d オ	(13.2) — [3.2]	立ち上がりは短く湾曲し、端部は先細りしている。 受端部は丸く仕上げる。 [外]回転けり [内]回転けり	[外]2.5Y8/1灰白 [内]5Y8/1灰白 普:0.5mm以下の細粒・黒色粒 不良	口 1/8		
122	2	82	525	14・27-SD70 上層	須恵器 杯身	㊦ d オ	11.6 — [2.7]	立ち上がりは短く湾曲し、端部は丸くおさめる。受端部は丸く仕上げる。 [外]回転けり [内]回転けり	[外]2.5Y8/1灰白 [内]2.5Y8/1灰白 普:2mm以下の細粒 不良	口 1/8		

表 28 土器観察表 (28)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径底径器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
122	2	82	526	14・27-SD70 上層	須恵器 高杯 (脚部)		— (8.2) 【4.5】	短脚で台形状を呈し、裾端部は内屈する。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】7.5Y7/1灰白 【内】N7/灰白 普:0.1~0.5mmの黒色粒 良	底 1/4	
122	2	82	527	14・27-SD70 上層	須恵器 高杯 (脚部)		— 10.3 【5.3】	脚部はハの字状に開き、裾端部は有稜幅広面を持つ。 【外】回転テ, 回転キ目, 4方向長方形カシ 【内】回転テ	【外】5Y6/1灰 【内】5Y6/1灰 普:0.5~2mmの細粒・黒色粒 良	底 1/4	
122	2	82	528	14・27-SD70 上層	須恵器 広口壺 (口頸)		(11.2) — 【7.5】	口縁部は外傾し、端部は内傾する面を持つ。 【外】回転テ, 回転キ目 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:0.5~1.5mmの細粒 良	口 1/4	
122	2	82	529	14・27-SD70 上層	須恵器 壺 (口縁)		(10.0) — 【6.0】	口頸部は湾曲・外反し、外端部に折り込んで丸く収める。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】7.5Y7/1灰白 【内】N5/灰 精良:2mm以下の細粒 良好	口 1/4	
122	2	82	530	14・27-SD70 上層	須恵器 甕 (口縁)		(22.0) — 【6.4】	口縁部は外反し、端部は下方に肥厚し、稜付丸端部をもつ。 【外】回転テ, 自然袖付着 【内】回転テ, 自然袖付着	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 精良:0.1~2mmの細粒 良	口 1/6	
122	2	82	531	14・27-SD70 上層	須恵器 甕 (口縁)		(23.4) — 【6.8】	口縁部は大きく外反し、端部は上下に肥厚し、端部は稜付丸端部をもつ。 【外】回転テ 【内】回転テ, 当て具痕, 口縁部に自然袖付着	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:0.1~1mmの細粒 良好	口 1/5	
122	2	82	532	14・27-SD70 上層	須恵器 (底部)		— (4.0) 【12.8】	球形胴丸底。内外面に粘土目貼付痕あり。 【外】平行文ヲキ, 自然袖付着 【内】当て具痕, テ消し	【外】2.5Y5/1黄灰 【内】2.5Y6/1黄灰 普:2~4mmの細粒 良	底 1/1	
122	2	82	533	14・27-SD70 上層	須恵器 器種不明 (底部)		— (21.2) 【5.5】	把手貼付痕あり 【外】回転テ 【内】回転テ, 当て具痕, テ消し	【外】N4/灰 【内】N7/灰白 精良:0.1~0.5mmの黒色粒 良好	底 1/10	
122	2	82	534	14・27-SD70 上層	須恵器 有蓋高杯蓋 (つまみ)		3.7 1.2 【2.3】	つまみは扁平で、中央がくぼむ。 【外】回転テ, 回転ヘラ削り(L) 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 普:0.5~1.5mmの細粒・黒色粒 良	つまみ	
122	2	82	535	14・27-SD70 上層	須恵器 甕 (口縁)		— — 【1.1】	口縁部のみの細粒。端部外面に突線が1条巡る。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】5Y6/1灰 【内】5Y6/1灰 精良:0.1~1mmの細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	
122	2	82	536	14・27-SD70 上層	須恵器 器台 (脚部)		— — 【6.1】	2条の突線を巡らし、その間には逆三角形のカシと櫛描波状文(9条1束2本)を巡らす。 【外】回転テ 【内】テ	【外】2.5Y6/2灰黄 【内】5Y7/1灰白 精良:0.1~0.5mmの黒色粒 良	細片	
123	2	82	537	14・27-SD70 上層	土師器 甕 (口縁)	b	— — 【6.0】	口縁部は直口し、端部b。 【外】ヨナテ, ハケ 【内】ヨナテ	【外】10YR7/4ブイ黄橙 【内】7.5YR7/6橙 粗:0.5~1.5mmの石英・長石・金雲母・クワ礫 良	口 1/8 以下	
123	2	82	538	14・27-SD70 上層	土師器 甕 (口縁)	II c1	— — 【5.3】	口縁部は直口し、端部はc1。 【外】観察難 【内】ヨコテ, 板テ	【外】2.5Y4/1黄灰 【内】2.5Y8/2灰白 粗:0.5~1.5mmの石英・長石・黒色粒・金雲母 良	口 1/8 以下	
123	2	82	539	14・27-SD70 上層	土師器 甕 (把手)	把手イ	3.3 1.9 【7.4】	把手は尖端で上方への反りが強い牛角状を呈し、断面楕円形。上面に刺突と切り込みを刻む。貫通しない。 【外】板テ 【内】指頭圧痕	【外】5Y7/6黄 【内】5Y7/6黄 普:0.1~3mmの石英・長石・クワ礫 不良	把手のみ	
123	2	82	540	14・27-SD70 上層	土師器 甕 (口縁)	F III d1	(26.5) — 【5.5】	口頸部はくの字状に屈曲・内湾気味に立ち上がり、端部d1。 【外】ヨナテ, ハケ 【内】ヨナテ, ハケ	【外】7.5YR5/4ブイ黄橙 【内】7.5YR6/4ブイ黄橙 普:1~4mmの石英・長石・0.1~0.5mmの金雲母 良	口 1/8	
123	2	82	541	14・27-SD70 上層	土師器 甕 (口縁)	c1	— — 【6.4】	口頸部はくの字状に屈曲・外傾し、端部c1。 【外】ヨナテ, テ 【内】板テ	【外】10YR7/4ブイ黄橙 【内】7.5YR6/6橙 粗:0.1~3mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/8 以下	
104	2	82	542	14・27-SD70 上層	製塩土器 (口縁)		— — 【2.4】	口縁部は直口し、端部は先細り。 【外】テ, 指頭圧痕 【内】テ, 指頭圧痕	【外】7.5YR7/6橙 【内】7.5YR6/6橙 粗:0.5~1.5mmの長石・クワ礫 不良	口 1/8 以下	備讃V式
104	2	82	543	14・27-SD70 上層	製塩土器 (口縁)		— — 【3.1】	口縁部は内湾気味に直口し、端部は丸くおさめる。 【外】テ 【内】テ, 指頭圧痕	【外】5YR6/6橙 【内】7.5YR6/6橙 粗:0.5~1.5mmのクワ礫・長石 不良	口 1/8 以下	備讃V式
122	2	82	544	14・27-SD70 中層	須恵器 大型短頸壺 (口縁)		(22.0) — 【6.2】	口縁部は直線的に外傾し、端部は内傾する面を持つ。頸部外面に沈線2条が巡る。 【外】回転テ, 沈線2条 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 普:0.5~1mmの細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	
122	2	82	545	14・27-SD70 中層	土師器 壺 (口縁)	D	(18.6) — 【4.7】	二重口縁部。口縁部中位が屈曲し、端部は丸く収める。 【外】ヨナテ 【内】ヨナテ	【外】2.5YR7/6橙 【内】5YR7/6橙 普:0.5~1.5mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/4	中部瀬戸内系

表 29 土器観察表 (29)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
123	2	82	546	14・27-SD70 中層	土師器 甕 (口縁)	F e2	(17.8) — [5.2]	口頸部がくの字状に屈曲・内湾気味に立ち上がる。端部e2。 【外】ヨコテ 【内】ヨコテ	【外】10YR6/4-7黄橙 【内】10YR6/4-7黄橙 粗:1~4mmの石英・長石 良	口 1/8	
123	2	82	547	14・27-SD70 中層	土師器 壺 (口縁)		(17.2) — [5.6]	口縁部は直立し、端部近くで外上方に開く。 【外】ヨコテ, タテハ 【内】ヨコテ, タテ	【外】7.5YR5/6明褐 【内】7.5YR5/4-7黄褐 普:3mm以下の石英・長石・赤色粒 良好	口 1/6	
123	2	82	548	14・27-SD70 中層	土師器 杯 (口縁)	B c	— — [2.2]	口縁部は内湾し、端部は丸く収める。 【外】テ 【内】テ, ハミカキ	【外】7.5YR5/4-7黄褐 【内】7.5YR5/4-7黄褐 精良:0.1~0.5mmの長石・クワ礫 良	口 1/8	
128	2	82	549	14・27-SD70 下層	須恵器 杯蓋	a ア	(11.5) — [3.8]	口縁部と天井部の境は突線状の強い稜が走り、端部はほぼ接地する凹面を有す。 【外】回転テ, 回転ヘリ削り(L) 【内】回転テ	【外】N7/灰白 【内】N6/灰 普:1.5mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/7	
122	2	82	550	14・27-SD70 下層	須恵器 杯蓋 (口縁)	① b ウ	— — [3.5]	口縁部と天井部の境は強い稜が走り、端部は外方に屈曲し斜面を有す。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】5YR5/2灰褐 【内】5YR5/1褐灰 精良:1mm以下の細粒 良	口 1/8 以下	
122	2	82	551	14・27-SD70 下層	須恵器 有蓋高杯蓋 (天井)		3 0.8 [1.8]	つまみは扁平で大きく中央がくぼむ。 【外】回転テ, 回転ヘリ削り(L) 【内】回転テ	【外】N5/灰 【内】N5/灰 精良:0.1~1mmの細粒 良	つまみ~ 天井部	
122	2	82	552	14・27-SD70 下層	須恵器 高杯 (脚部)		— 9.4 [6.0]	脚部は大きくハの字状に開き、裾端部は有稜幅広端面を持つ。 【外】回転テ, 3方向長方形カ, 沈線1条, 自然袖付着 【内】回転テ・静止テ	【外】N5/灰 【内】N6/灰 精良:0.1~1mmの細粒 良好	脚 全周	
123	2	83	553	27-SD12	土師器 甕	A2 II a	[13.8] — 16.7	口頸部は緩やかに屈曲・外傾し、端部は先細りしている。体部は球形胴。 【外】体部上半テハク, 下半板テ 【内】体部上半ヨコテ, 下半板テ	【外】10YR7/4-7黄橙 【内】10YR7/4-7黄橙 普:2mm以下の石英・長石・クワ礫 良	口 3/8	
123	2	83	554	27-SD12	土師器 甕	A2 III a	15.1 — 15.2	中型甕。口頸部は湾曲・やや外傾し、端部は丸く収める。体部は短胴。 【外】ヨコテ, タテハ 【内】ヨコテ, タテハ(粗い)	【外】7.5YR7/4-7黄橙 【内】7.5YR7/4-7黄橙 普:3mm以下の石英・長石・赤色粒 良	完存	
2	84	555	14-SK55		須恵器 杯身	① a イ	(10.5) — [3.2]	立ち上がりは内傾した後端部付近で外方に屈曲し、内端部は凹斜面を有す。受部に重ね焼き痕あり。自然袖付着。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 粗:2mm以下の細粒 堅緻	口 1/3	
123	2	87	556	14-SK165	土師器 高杯 (杯部)	B2	15.0 — [4.5]	碗形高杯。杯部はやや浅く口縁部は外上方に開き、端部は外方につまみ出す。接合技法エ。 【外】口縁部に丁寧なヨコテ 【内】ヨコテ, 放射状暗文, 化粧土	【外】7.5YR7/6橙 【内】5YR6/8橙 普:0.5~2mmの石英・長石・クワ礫 良	口 1/7	
2	93	557	14-SK399		土師器 甕 (口縁)	IV e1	(24.4) — [8.5]	口縁部は直口し、端部はe1。 【外】ヨコテ, タテハ 【内】ヨコテ, 板テ	【外】5YR6/6橙 【内】5YR5/6明赤褐 普:0.5~1mmの石英・長石・金雲母 良	口 1/8 以下	
116	2	94	558	14-SK469	土師器 皿	III A	(15.2) (8.0) [3.6]	底部は丸みを帯びた平底。口縁部は斜めに開き、端部は内傾する面を持つ。 【外】テ 【内】テ, ハク	【外】7.5YR7/4-7黄橙 【内】7.5YR7/4-7黄橙 精良:0.5~1mmの長石・クワ礫 良	口 1/8 以下	
2	95	559	27-SK125		土師器 甕 (口縁)	A2 III d1	(15.2) — [3.9]	口頸部がくの字状に屈曲・内湾気味に立ち上がり、端部d1。 【外】ヨコテ, タテハ 【内】ヨコテ, ヨコテ	【外】2.5YR5/6明赤褐 【内】5YR5/6明赤褐 粗:1.5mm以下の石英・長石・雲母・角閃石・赤色粒 良	口 1/8	布留系
124	2	101	560	28-堅穴1 床面直上	土師器 高杯	B1	14.2 10.2 12.0	精製品。口縁部は内湾気味に立ち上がり、端部は内傾する面を持つ。脚部は緩やかに開く。接合技法ア。 【外】テ, 板テ, 脚柱部下端に3方向円形カ 【内】テ, ハク, 粘土紐巻き上げ痕, 絞り痕	【外】7.5YR8/4浅黄橙 【内】7.5YR8/4浅黄橙 精良:2mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/2 脚 2/3	
124	2	101	561	28-堅穴1 床面直上	土師器 高杯 (杯部)	B1	14.2 — [5.4]	精製品。碗形高杯。口縁部は内湾気味に立ち上がり、端部は内傾する面をもちテにより浅くくぼむ。 【外】板テ 【内】テ	【外】7.5YR7/6橙 【内】7.5YR6/6橙 精良:2mm以下の石英・長石・赤色粒 良好	杯 1/1	
124	2	101	562	28-堅穴1 埋土	土師器 高杯 (脚部)	B1	— (10.6) 【7.0】	精製品。脚柱部と裾部の細片。脚柱部は尖頂・中空。脚柱部に3方向円孔カを穿孔する。 【外】テ, 化粧土 【内】板テ	【外】7.5YR7/6橙 【内】7.5YR7/6橙 精良:2mm以下の石英・赤色粒 良	脚 3/8	
2	104	563	29-堅穴80 西カマド		須恵器 杯蓋	b ウ	(11.0) — [4.2]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡る。端部は外方に屈曲し斜面を有す。 【外】回転テ, 回転ヘリ削り(-) 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】7.5Y5/1灰 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8	
2	104	564	29-堅穴80 埋土		須恵器 杯蓋	③ c ウ	(13.8) — [5.0]	口縁部と天井部の境には浅い凹線が走り、内端部は凹斜面を有す。 【外】回転テ, 回転ヘリ削り(R), 降灰 【内】回転テ, 当て具痕後テカ	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 普:3mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/6	
2	104	565	29-堅穴80 埋土		須恵器 杯蓋	③ b エ	(14.4) — [4.6]	口縁部と天井部の境は弱い稜が走り、内端部は浅い凹線を施す。自然袖付着。 【外】回転テ, 回転ヘリ削り(-) 【内】回転テ	【外】2.5Y6/1黄灰 【内】2.5Y7/1灰白 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8	

表 30 土器観察表 (30)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
2	104	566	29-堅穴80埋土	須恵器杯蓋	③ c ウ	— — [4.8]	口縁部と天井部の境は凹線が巡り、内端部は斜面を有す。自然袖付着。 【外】回転ナデ, 回転へり削り (R) 【内】回転ナデ	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 普: 1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下		
2	104	567	29-堅穴80埋土	須恵器杯身		(11.8) — [3.8]	立ち上がりは内傾し、端部は丸くおさめる。受部に杯蓋重ね焼き時の焼きムラあり。焼きふくれあり。自然袖付着。 【外】回転ナデ, 回転へり削り (-) 【内】回転ナデ	【外】N5/灰 【内】N6/灰 普: 3mm以下の細粒・赤色粒 良	口 3/8		
2	104	568	29-堅穴80東カマド	土師器杯(口縁)	B	— — [4.4]	口縁部は斜め上に開き、端部は外端面をもつ。 【外】観察難, 化粧土 【内】観察難	【外】5YR6/6橙 【内】5YR6/6橙 普: 1mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/8 以下		
2	104	569	29-堅穴80埋土	土師器甕(口縁)		— — [5.6]	口頸部は湾曲・外傾し、端部b。 【外】ナデ, ナベ 【内】ナデ	【外】10YR6/4-7イ黄橙 【内】10YR5/6黄褐 普: 1mm以下の石英・長石・赤色粒・黒色粒 良	口 1/8		
125	2	104	29-堅穴80東カマド	土師器壺(口縁)	D	(19.8) — [4.2]	二重口縁部。口縁部中位が屈曲し、端部は丸くおさめる。 【外】ヨコナデ 【内】ヨコナデ	【外】10YR7/4-7イ黄橙 【内】10YR8/3浅黄橙 普: 3mm以下の石英・長石・赤色粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	中部瀬戸内系	
125	2	104	29-堅穴80東カマド	土師器高杯(杯部)	A	— — [4.2]	有段高杯の杯底部。底部内面には放射状のハを施す。接合技法ウ。 【外】ナデ 【内】ナデ, 放射状のハ	【外】7.5YR6/6橙 【内】5YR5/6明赤褐 普: 2mm以下の石英・長石・ナリ礫・金雲母 良	杯底 1/1		
125	2	104	29-堅穴80床面直上	土師器甕	A3 IV b	16.6 4.2 26.8	口頸部は屈曲・直線的に立ち上がり、端部b。体部下半がすばまる卵形を呈す。 【外】ナベ, 板ナデ, 濃いス 【内】板ナデ, 体部上半濃いコゲ	【外】10YR7/6明黄褐 【内】10YR6/8明黄褐 普: 3mm以下の石英・長石・金雲母・赤色粒 良	ほぼ 完存		
2	107	573	29-堅穴20・46-堅穴35埋土	須恵器杯蓋	② a イ	(11.2) — [4.5]	口縁部と天井部の境は強い稜が巡り、内端部は凹面を有す。 【外】回転ナデ, 回転へり削り (L) 【内】回転ナデ	【外】N5/灰 【内】N5/灰 普: 2mm以下の細粒・黒色粒・白色粘土 良	口 1/8 以下		
2	107	574	29-堅穴20・46-堅穴35埋土	須恵器甕(口縁)		(16.0) — [4.2]	口縁部は外反し、端部外面に突帯が1条巡る。頸部に櫛描波状文(14条1束1本)を配する。 【外】回転ナデ 【内】回転ナデ	【外】5Y7/2灰白 【内】7.5Y7/1灰白 精良: 2mm以下の細粒・黒色粒 良好	口 1/8		
2	107	575	29-堅穴20・46-堅穴35 SP1	土師器甕(口縁)		— — [9.7]	口縁部は直口する。端部e2。図示できなかったが、把手付近の体部片あり。 【外】ナベ 【内】観察難	【外】7.5YR7/6橙 【内】7.5YR5/6明赤褐 粗: 4mm以下の石英・長石・黒色粒 良	口 1/8 以下		
2	107	576	29-堅穴20・46-堅穴35 SP1	土師器鍋	鍋A	25.0 — 15.5	体部は丸底で肩の張らない短胴形を呈する。口頸部は緩やかに湾曲・外反する。端部は先細りしている。 【外】ハ 【内】ヨコハ	【外】5YR6/8橙 【内】7.5YR6/6橙 粗: 3mm以下の石英・長石・黒色粒 良	口 1/4		
2	108	577	28-堅穴4埋土	須恵器杯蓋	② a エ	(13.2) — [3.4]	口縁部と天井部の境は稜が巡り、内端部は凹線が巡る。 【外】回転ナデ 【内】回転ナデ	【外】5Y7/1灰白 【内】2.5Y7/2灰黄 普: 3mm以下の細粒・黒色粒 不良	口 1/8		
2	108	578	28-堅穴4床面直上	土師器甕(底部)	A1	— — [6.3]	小型甕か。丸底。器壁厚い。被熱煤付着。 【外】ナベ, 板ナデ 【内】観察難	【外】10R6/6赤橙 【内】10YR8/2灰白 普: 3mm以下の石英・長石・赤色粒 良	底 1/1		
127	2	110	41-堅穴3カマド周辺	須恵器有蓋高杯		(10.1) 8.2 7.7	立ち上がりは内傾し、内端部は凹斜面を持つ。脚部は截頭円錐形を呈し、台形ハを穿孔する。 【外】回転ナデ, 回転へり削り (-), 3方向台形ハ 【内】回転ナデ	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 普: 4mm以下の細粒 良	脚 1/1		
2	110	580	41-堅穴3カマド周辺	土師器碗(口縁)		(14.0) — [4.4]	体部は碗形で、端部は丸く収める。 【外】観察難 【内】観察難	【外】2.5Y8/2灰白 【内】10YR8/2灰白 粗: 4mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/8		
124	2	113	28-堅穴3床面直上	須恵器杯蓋	③ b ウ	14.0 — 4.6	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部に段を有す。 【外】回転ナデ, 回転へり削り (L), 頂部へり切り未調整 【内】回転ナデ	【外】N5/灰 【内】N6/灰 普: 2mm程度の細粒 良	ほぼ 完存		
124	2	113	28-堅穴3床面直上	須恵器杯蓋	③ c イ	(13.8) — 4.3	口縁部と天井部の境は凹線が巡り、内端部は段を有す。 【外】回転ナデ, 回転へり削り (L), ナデ 【内】回転ナデ, 静止ナデ	【外】N6/灰 【内】N5/灰 普: 1.5mm以下の細粒 良	口 3/8		
124	2	113	28-堅穴3埋土	須恵器杯蓋	⑤ d ウ	(13.6) — [5.0]	口縁部と天井部の境は丸くならぬからで、浅い凹線が2条巡っていたのか。内端部は斜面を有す。 【外】回転ナデ, マツ, 黒斑か 【内】回転ナデ	【外】5Y8/1灰白 【内】10YR8/3浅黄橙 普: 3mm以下の細粒 不良	口 1/4		
124	2	113	28-堅穴3埋土	須恵器杯蓋	② c エ	14.0 — [4.3]	口縁部と天井部の境は浅い凹線が2条巡り、沈線が巡る。 【外】回転ナデ, 回転へり削り (R) 【内】回転ナデ, 当て具痕	【外】N5/灰 【内】N6/灰 普: 5mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/2		

表 31 土器観察表 (31)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
2	113	585	28-堅穴3埋土	須恵器杯蓋	b イ	(14.0) — [3.8]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は凹斜面を有す。 [外]回転け、 [内]回転け	[外]N7/灰白 [内]N7/灰白 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/6		
2	113	586	28-堅穴3埋土	須恵器杯蓋	③ c イ	(16.6) — 3.6	口縁部と天井部の境は凹線が巡り、内端部は段を有す。天井部にへ記号「//」。 [外]回転け、回転へ削り(L)、凹線1条 [内]回転け、静止け	[外]N5/灰 [内]N6/灰 精良:1.5mm以下の細粒 堅緻	口 1/8		
124	2	113	28-堅穴3床面直上	須恵器杯身	③ b オ	(13.0) 7.4 4.9	口縁部の立ち上がりは内傾し、端部は丸くおさめる。底部は平底。2次被熱。 [外]回転け、回転へ削り(R) [内]回転け	[外]2.5Y7/2灰黄 [内]7.5YR7/4=ブイ橙 普:2mm以下の細粒・赤色粒 不良	受 3/4		
124	2	113	28-堅穴3埋土	須恵器杯身	③ c オ	(13.1) — 4.7	立ち上がりはやや短く内傾し、端部は丸くおさめる。 [外]回転け、回転へ削り(R) [内]回転け、静止け	[外]N5/灰 [内]N4/灰 粗:3mm以下の細粒 良	口 1/4		
2	113	589	28-堅穴3埋土	土師器甕(口縁)		— — [4.9]	口縁部は屈曲・外傾し、端部は丸く収める。 [外]観察難 [内]観察難	[外]5Y4/1灰 [内]5Y7/1灰白 普:1mm以下の石英・長石・赤色粒・黒色粒 良	口 1/8 以下		
2	113	590	28-堅穴3埋土	土師器壺(口縁)		(17.8) — [5.1]	口縁部は直立気味に立ち上がり、端部は丸く収める。 [外]け、黒斑 [内]け、黒斑	[外]7.5YR4/4褐 [内]7.5YR5/4=ブイ褐 粗:2mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/4		
2	113	591	28-堅穴3埋土	土師器甕(口縁)	v b	(24.2) — [6.2]	口縁部は直口し、器壁は厚い。端部b。 [外]板け [内]観察難	[外]10YR7/6明黄褐 [内]10YR7/3=ブイ黄橙 粗:3mm以下の石英・長石・赤色粒 良好	口 1/8		
2	114	592	28-堅穴6埋土	須恵器杯蓋	b イ	(13.0) — [3.8]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は凹斜面を有す。 [外]回転け、回転へ削り(-) [内]回転け	[外]N6/灰 [内]N5/灰 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8		
2	114	593	28-堅穴6床面直上	土師器甕(口縁)	b	— — [6.0]	口頸部は湾曲・大きく外反する。端部b。 [外]観察難、化粧土 [内]観察難	[外]7.5YR6/6橙 [内]10YR7/3=ブイ黄橙 普:3mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/8 以下		
2	116	594	28-堅穴30埋土	須恵器杯蓋	② b ウ	(13.0) — [4.4]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は幅広い斜面を有す。 [外]回転け、回転へ削り(L)、頂部へ切り未調整 [内]回転け	[外]N5/灰 [内]N5/灰 粗:3mm以下の細粒・黒色粒 堅緻	口 1/8 以下		
124	2	116	28-堅穴30貼床	須恵器杯蓋	⑤ d オ	(13.6) — [4.1]	口縁部と天井部の境は弱く屈曲し、端部は丸くおさめる。天井部は平坦。自然袖付着。 [外]回転へ削り(R) 回転け [内]回転け、静止け	[外]7.5Y7/1灰白 [内]5Y7/1灰白 普:3mm以下の細粒・黒色粒 堅緻	口 3/8		
2	116	596	28-堅穴30埋土	須恵器杯身		(11.4) — [2.6]	立ち上がりは内傾し、端部は先細りしている。 [外]回転け [内]回転け	[外]N6/灰 [内]N6/灰 普:1mm以下の細粒 良	口 1/8 以下		
2	119	597	29-堅穴50埋土	土師器甕(口縁)	F e2	— — [4.9]	口頸部がくの字状に屈曲・内湾気味に立ち上がり、端部e2。 [外]観察難 [内]ヨコケ、ヨコハ	[外]10YR7/3=ブイ黄橙 [内]10YR6/3=ブイ黄橙 粗:3mm以下の石英・長石 良	口 1/8 以下		
2	120	598	41-堅穴2埋土	須恵器高杯(脚部)		(8.0) — [3.9]	脚部はハの字状に開き、裾端部は有稜角端をもつ。 [外]回転け、回転かき目、推定3方向台形カ [内]回転け	[外]N6/灰 [内]10Y6/1灰 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	底 1/4		
125	2	121	29-堅穴45床面直上	須恵器杯身		11.0 5.5 4.4	立ち上がりは直立し、端部は丸くおさめる。底部はやや平坦。受部に杯蓋重ね焼きによる焼きムラあり。自然袖付着。 [外]回転け、回転へ削り(L) [内]回転け	[外]2.5Y6/1黄灰 [内]2.5Y7/1灰白 普:3mm以下の細粒 良	口 1/2		
2	121	600	29-堅穴45床面直上	須恵器杯身(口縁)		(11.6) — [3.3]	立ち上がりは内傾し、内端部は凹面を有す。 [外]回転け [内]回転け	[外]N6/灰 [内]N6/灰 精良:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8		
2	121	601	29-堅穴45床面直上	須恵器杯蓋	b イ	— — [3.8]	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、内端部は段を有す。 [外]回転け、回転へ削り(-) [内]回転け	[外]N5/灰 [内]N5/灰 精良:1mm以下の細粒 良	口 1/8 以下		
125	2	121	29-堅穴45床面直上	須恵器杯身	④ a オ	11.2 — 5.2	立ち上がりは内傾し、端部は丸くおさめる。受部に蓋重ね焼き痕あり。蓋の溶着が見られる。 [外]回転け、回転へ削り(L) [内]回転け	[外]N6/灰 [内]N6/灰 粗:1.5mm以下の細粒・黒色粒 良	口 5/8		
125	2	121	29-堅穴45床面直上	須恵器杯蓋	③ c イ	(12.0) — [4.8]	口縁部と天井部の境は弱い凹線が巡り、内端部は斜面を有す。 [外]回転け、回転へ削り(L) [内]回転け、静止け	[外]N7/灰白 [内]2.5Y7/1灰白 普:1mm以下の細粒 良	口 1/4		
125	2	121	29-堅穴45床面直上	須恵器杯身	④ c イ	(10.8) (5.0) 4.1	立ち上がりは内傾し、端部は凹斜面を有す。底部は浅い平底。 [外]回転け、回転へ削り(R) [内]回転け、静止け	[外]7.5Y7/1灰白 [内]7.5Y7/1灰白 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 2/3		

表 32 土器観察表 (32)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
125	2	121	605	29-堅穴45 床面直上	須恵器 杯蓋	② a エ	(11.4) — [4.2]	口縁部と天井部の境は強い稜が巡り、内端部は幅広い凹線が巡る。 【外】回転けず、回転へり削り(R) 【内】回転けず	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:1mm以下の細粒・黒色粒・白色粘土 良	口 1/4	
125	2	121	606	29-堅穴45 床面直上	須恵器 有蓋高杯 (杯部)	A	9.4 — [5.9]	立ち上がりは内傾し、内端部は斜面を持つ。受部に蓋重ね焼きの焼きムラあり。 【外】回転けず、回転へり削り(L), 3方向台形スリ 【内】回転けず、静止けず	【外】N6/灰 【内】N4/灰 普:1mm以下の細粒 良	口 1/2	
125	2	121	607	29-堅穴45 埋土	須恵器 杯身	④ a イ	(10.0) 4.0 4.8	立ち上がりは内傾し、内端部は斜面を有す。 【外】回転けず、回転へり削り(R) 【内】回転けず、当て具痕のちり割け	【外】N6/灰 【内】N6/灰 粗:3mm以下の細粒・黒色粒・白色粘土 良	受 3/8	
125	2	121	608	29-堅穴45 埋土	須恵器 杯身		(11.0) (4.9) [3.9]	立ち上がりは直立し、端部は凹面を有す。受部に蓋重ね焼きの焼きムラあり。 【外】回転けず、回転へり削り(L) 【内】回転けず	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	
125	2	121	609	29-堅穴45 埋土	須恵器 杯身		(11.8) — [4.1]	立ち上がりは屈曲気味に内傾し、端部は丸くおさめる。受部に杯蓋重ね焼きの焼きムラあり。 【外】回転けず、回転へり削り(-) 【内】回転けず	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:3mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	焼成時 No. 782 セット関係か?
127	2	124	610	30-SD7	須恵器 中型甕 (口・底部)		34.0 14.5~ 16.0 [21.2][3 7.8]	口頸部は長く大きく外反し、端部は上下に肥厚して有稜角端をもつ。体~底部は歪みが著しく、一部大きくくぼむ。頸部は突帯によって文様帯を3段階構成し、上位二段に櫛描波状文(9条1束2本)、下位に回転斜目を施す。 【外】平行文タテ、回転斜目 【内】当て具痕のちり割け	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:2mm以下の細粒 良	口 2/3	
127	2	126	611	29-SD62	須恵器 杯身	③ c オ	13.0 3.9 4.8	立ち上がりは浅く内傾し、端部は丸くおさめる。受部に焼きムラあり。底部は浅くやや平底。 【外】回転けず、回転へり削り(R) 【内】回転けず、静止けず	【外】2.5Y7/1灰白 【内】2.5Y8/1灰白 普:2mm以下の細粒 不良	口 1/2	
2	126	612	29-SD62	土師器 甕	A2 V a	(13.5) — [10.4]	口頸部は湾曲・外反する。端部は先細りしている。 【外】タテタテ 【内】口縁部ヨコタテ、体部けず	【外】10YR5/3=7イ黄褐 【内】5YR5/6明赤褐 普:3mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/8	煤付着。	
127	2	126	613	29-SD64	須恵器 杯蓋	③ c ウ	(14.0) — [4.7]	口縁部と天井部の境は弱い稜線が巡り、内端部は凹斜面を有す。 【外】回転けず、回転へり削り(R) 【内】回転けず	【外】5Y7/1灰白 【内】2.5Y7/1灰白 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8	
2	126	614	29-SD64	須恵器 杯身		(12.4) — [3.9]	立ち上がりは屈曲気味に内傾し、端部は先細りしている。受部に蓋重ね焼きの焼きムラあり。 【外】回転けず、回転へり削り(R) 【内】回転けず	【外】N5/灰 【内】N7/灰白 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下		
133	2	127	615	29-SD10	須恵器 杯 (底部)	杯B	— (9.0) [2.5]	底部に高台を貼付ける。 【外】回転けず 【内】回転けず	【外】N7/灰白 【内】7.5Y7/1灰白 普:1mm以下の細粒 良	底 1/8	
133	2	127	616	29-SD10	須恵器 皿	皿C	(16.6) (13.2) 2.2	口縁部は直線的に外傾し、端部は丸い。底底部の境は明瞭で、平底。 【外】回転けず 【内】回転けず、緋擦痕	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:2mm以下の細粒 良	口 1/8	
2	127	617	31-SD1	須恵器 杯 (底部)	杯B	— — [1.1]	底部に断面方形の低い高台を貼付ける。 【外】回転けず 【内】回転けず	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 粗:0.5mm以下の細粒 良	底 1/8 以下		
2	129	618	32-SD20 上層	須恵器 杯蓋	⑤ d オ	(11.2) — 3.5	口縁部と天井部の境は丸くならかで、端部は丸くおさめる。 【外】回転けず、回転へり切り(-) 【内】回転けず	【外】7.5Y7/1灰白 【内】N7/灰白 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8		
131	2	129	619	32-SD20 上層	須恵器 杯蓋	⑤ d オ	11.4~ 11.8 5.5 4.0	口縁部と天井部の境は丸くならかで、端部は丸くおさめる。天井部は平坦。 【外】回転けず、回転へり切り未調整 【内】回転けず、指頭圧痕	【外】N5/灰 【内】N6/灰 普:2mm以下の細粒 良	完存	
131	2	129	620	32-SD20 上層	須恵器 杯蓋	⑤ d オ	12.0 5.0 3.7	口縁部と天井部の境は屈曲し、端部は丸くおさめる。天井部はやや平坦。焼き歪みあり。 【外】回転けず、緑色釉付着 【内】回転けず	【外】5Y7/1灰白 【内】N7/灰白 精良:1mm程度の細粒・黒色粒 良	完存	
2	129	621	32-SD20 上層	須恵器 杯	杯A	(9.0) (6.5) 3.8	口縁部は直立気味に立ち上がり、底部は平底。 【外】回転けず、回転へり削り(R) 【内】回転けず	【外】5Y7/1灰白 【内】5Y7/1灰白 粗:3mm以下の黒色粒 良	口 1/4		
2	129	622	32-SD20 上層	須恵器 杯	杯A	(10.4) — 3.7	口縁部は外傾し、体部は丸みをおび、底部はやや平坦。底部に粘土塊(2ヶ)の付着あり。 【外】回転けず、回転へり削り(-) 【内】回転けず	【外】N5/灰 【内】2.5Y8/1灰白 粗:1mm以下の砂粒・黒色粒 良	口 3/8		
131	2	129	623	32-SD20 上層	須恵器 杯		(10.6) — 4.5	口縁部と天井部の境は、丸くならかで、端部は丸く収める。天井部は高く丸みをおびる。へり記号「/」あり。 【外】回転けず、回転へり削り(L), 頂部へり切り未調整 【内】回転けず	【外】5Y7/1灰白 【内】5Y7/1灰白 普:1mm以下の細粒 良	口 1/2	

表 33 土器観察表 (33)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
131	2	129	624	32-SD20 上層	須恵器 杯	杯A	(12.2) 6.4 4.4	口縁部は直線的に外傾し、底部は角消し平底。 【外】回転テ、回転ヘリ切り、緋擦痕 【内】回転テ、静止テ	【外】7.5Y7/1灰白 【内】5Y6/1灰 普:3mm以下の細粒 良	底 1/2	
131	2	129	625	32-SD20 上層	須恵器 碗	杯A	(11.0) 5.8 3.9	口縁部は外傾し、体部は丸みをおび、底部は平底。 【外】回転テ、回転ヘリ切り未調整 【内】回転テ	【外】N5/灰 【内】N5/灰 普:2mm以下の細粒 良好	底 5/8	
	2	129	626	32-SD20 上層	須恵器 杯	杯A	(12.0) — [4.3]	口縁部は外傾し、体部は丸みをおび、底部は平底。 【外】回転テ、回転ヘリ切り 【内】回転テ	【外】5Y8/1灰白 【内】5Y8/1灰白 普:2mm以下の細粒 不良	口 1/4	
131	2	129	627	32-SD20 上層	須恵器 杯	杯A	12.8 (6.4) [3.8]	口縁部は直線的に外傾し、体部は丸みをおび、底部 は平底。重ね焼きの焼きムラ、焼き歪み、溶着痕あ り。 【外】回転テ、降灰 【内】回転テ、指頭圧痕	【外】2.5Y6/1黄灰 【内】N7/灰白 普:3mm以下の細粒 良	完存	
	2	129	628	32-SD20 上層	須恵器 蓋		(15.1) — [2.0]	口縁部は強く屈曲し垂下する。つまみ欠損。 【外】回転テ、回転ヘリ削り (-) 【内】回転テ	【外】N5/灰 【内】N5/灰 粗:5mm以下の砂粒 良	口 1/4	
	2	129	629	32-SD20 上層	須恵器 蓋		18.0 — [3.4]	頂部は平坦で端部付近で屈曲し垂下する。欠損。 【外】回転テ 【内】回転テ、静止テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:砂粒をほとんど含まない 良	口 1/2	
131	2	129	630	32-SD20 上層	須恵器 杯 (底部)	杯B	— 9.6 [3.6]	三角高台を貼り付ける。 【外】回転テ、回転ヘリ切り 【内】回転テ、静止テ	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 普:2mm以下の細粒 良	底 7/8	
	2	129	631	32-SD20 上層	須恵器 杯	杯B	(12.8) — [4.0]	口縁部は直線的に外傾し、端部は丸く取める。底部 やや内側に高台貼付痕あり。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N7/灰白 【内】N8/灰白 粗:2mm以下の砂粒 良	口 3/8	
	2	129	632	32-SD20 上層	須恵器 杯 (底部)	杯B	— (9.5) [4.0]	底部やや内側に断面四角形の高台を貼り付ける。 【外】回転テ、回転ヘリ切り 【内】回転テ、静止テ	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 精良:1mm以下の砂粒 良	底 1/2	
	2	129	633	32-SD20 上層	須恵器 杯	杯B	12.7 — [4.2]	口縁部は直線的に外傾し、端部は丸く取める。底部 やや内側に高台貼付痕あり。 【外】回転テ、回転ヘリ切り、回転ヘリ削り (-) 【内】回転テ	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 普:3mm以下の砂粒 良	口 5/8	
	2	129	634	32-SD20 上層	須恵器 皿		(13.0) — [2.9]	口縁部は直立気味に立ち上がる。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N5/灰 【内】N5/灰 普:3mm以下の砂粒 良	口 1/6	
	2	129	635	32-SD20 上層	須恵器 皿	皿A	(16.0) — [2.6]	口縁部は直線的に外傾し、端部は丸く取める。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 普:1mm以下の砂粒 良	口 1/12 以下	
131	2	129	636	32-SD20 上層	須恵器 高杯	B	12.2 10.8 10.5	杯部は碗形を呈し、脚部との境に弱い段を有する。 脚部はハの字状に開き、裾端部が斜め下方に突出 し、外端面を持つ。焼き歪み著しい。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N5/灰 【内】N5/灰 粗:4mm以下の細粒 良	ほぼ 完存	
	2	129	637	32-SD20 上層	須恵器 高台付碗 (底部)		— (7.5) [2.3]	高台付碗の脚部か? 高台は、やや足高で若干内湾する。 【外】回転テ 【内】回転テ、静止テ	【外】N5/灰 【内】N5/灰 精良:1mm以下の砂粒 良	底 3/8	
	2	129	638	32-SD20 上層	須恵器 平瓶 (口縁)		(9.1) — [5.8]	平瓶の口縁か。口縁部は直線的に外傾し、端部は先 細りしている。外面に沈線が1条巡る。 【外】回転テ、沈線1条 【内】回転テ	【外】N5/灰 【内】N6/灰 普:1mm以下の砂粒 良	口 1/6	
131	2	129	639	32-SD20 上層	須恵器 甕		17.0 — [28.4]	口縁部は短く外傾し、上端部を摘み上げ、端面を持 つ。体部はやや肩の張った球形を呈す。底部は丸 底。内面の当て具痕は下半分が密になっている。 【外】回転テ、平行タネ→回転タネ目 【内】回転テ、当て具痕	【外】N7/灰白 【内】2.5Y8/1灰白 精良:2mm以下の細粒 良好	ほぼ 完存	
	2	129	640	32-SD20 上層	土師器 杯 (口縁)		— — [2.2]	端部は丸く取める。 【外】化粧土 【内】化粧土	【外】5YR6/6橙 【内】5YR6/6橙 普:1mm程度の石英・長石 良	口 1/8 以下	
	2	129	641	32-SD20 上層	土師器 杯		(9.5) — [2.7]	口縁部はわずかに外反し、端部は丸く取める。 【外】テ、板テ 【内】テ	【外】5YR7/8橙 【内】7.5YR7/4=7イ橙 普:1mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/8	
	2	129	642	32-SD20 上層	土師器 杯		(8.6) — [2.9]	体部は碗形を呈し、端部は先細りしている。 【外】テ、板テ 【内】テ	【外】7.5YR7/4=7イ橙 【内】7.5YR7/4=7イ橙 普:1mm以下の石英・長石 良	口 1/4	
	2	129	643	32-SD20 上層	土師器 杯 (口縁)	B	— — [4.3]	体部は碗形を呈す。口縁部は直口し、端部は先細り している。 【外】テ 【内】板テ	【外】5YR6/6橙 【内】5YR5/6明赤褐 普:3mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/8	

表 34 土器観察表 (34)

単位:cm (推定値)[残存値]【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 胎土 焼成	残存率	備考
	2	129	644	32-SD20 上層	土師器 甕 (口縁)	III C2	— — [4.7]	口頸部はくの字状に屈曲し、外端部をつまみ出し、 端部は面を持つ。 [外]粗いウ、ウ [内]ヨコウ	[外]10YR8/3浅黄橙 [内]10YR8/3浅黄橙 普:2mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/8 以下	
	2	129	645	32-SD20 上層	土師器 甕 (口縁)		— — [4.0]	口頸部は屈曲・外反し、端部c2。 [外]観察難 [内]観察難	[外]5YR5/6明赤褐 [内]5YR5/6明赤褐 粗:4mm以下の石英・長石 良	口 1/8 以下	
	2	129	646	32-SD20 上層	土師器 甕 (口縁)	A1 I d2	(14.7) — [7.7]	小型甕。口頸部は屈曲・外傾し、端部d2。 [外]ヨコテ、テハク [内]ヨコテ、削り	[外]2.5YR6/6橙 [内]10YR5/2灰黄褐 普:1mm以下の石英・長石・金雲母 良	口 1/4	
131	2	129	647	32-SD20 上層	土師器 甕	A2 III d1	(18.0) — [10.6]	口頸部は屈曲・外反し、端部d1。 [外]ヨコテ、テハク、頸へ体部上半スス [内]ヨコウ、コゲ	[外]2.5YR6/6橙 [内]10YR5/2灰黄褐 普:2mm以下の石英・長石 良	口 1/6	
	2	129	648	32-SD20 上層	土師器 甕 (口縁)	A2 III a	(17.8) — [4.5]	口縁部はほぼ直立し、端部は先細りしている。 [外]テハク [内]ヨコウ	[外]10YR8/4浅黄橙 [内]10YR7/4ブイ黄橙 普:2mm以下の石英・長石 良	口 1/6	
	2	129	649	32-SD20 上層	土師器 鍋 (把手)	鍋C	[6.2] [1.5] [4.0]	把手は上面三角形を呈し、断面は上面が凹んだ扁平 形。 [外]指頭圧痕、テ [内]削り	[外]2.5Y6/2灰黄 [内]2.5Y6/2灰黄 普:3mm以下の石英・長石 良	把手 のみ	
	2	129	650	32-SD20 下層	須恵器 杯蓋	⑤ d 才	(11.0) — [3.5]	口縁部と天井部の境は丸くなだらかで、端部は丸く おさめる。 [外]回転テ、頂部へ切り未調整 [内]回転テ	[外]7.5Y7/1灰白 [内]7.5Y7/1灰白 普:2mm以下の細粒 良	口 1/8	
	2	129	651	32-SD20 下層	須恵器 杯蓋 (口縁)	d 才	— — [3.4]	口縁部と天井部の境は丸くなだらかで、端部は丸く おさめる。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]N5/灰 [内]N6/灰 精良:2mm以下の細粒 良	口 1/6	
	2	129	652	32-SD20 下層	須恵器 杯蓋 (口縁)	⑤ d 才	— — [3.1]	口縁部と天井部の境は丸くなだらかで、端部は丸く おさめる。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]2.5Y7/1灰白 [内]2.5Y7/1灰白 普:砂粒をほとんど含まない 不良	口 1/8	
	2	129	653	32-SD20 下層	須恵器 杯身	⑤ d 才	(10.2) — [2.5]	立ち上がりは短く湾曲し、端部は先細りしている。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]5Y6/1灰 [内]5Y7/1灰白 精良:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/6	
	2	129	654	32-SD20 下層	須恵器 蓋 (口縁)		(9.2) — [1.5]	かえり付きの蓋で、つまみは欠損。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]2.5Y7/1灰白 [内]2.5Y6/1黄灰 普:2mm以下の細粒 良	口 1/6	
	2	129	655	32-SD20 下層	須恵器 蓋 (口縁)		— — [1.3]	かえり付きの蓋で、つまみは欠損。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]2.5Y7/1灰白 [内]2.5Y7/1灰白 普:1mm以下の細粒 良	口 1/8 以下	
	2	129	656	32-SD20 下層	須恵器 高杯 (脚部)		— (8.8) [2.0]	脚裾端部は斜め下方に突出し、外端面を持つ。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]N5/灰 [内]N5/灰 精良:砂粒をほとんど含まない 不良	底 1/8	
131	2	129	657	32-SD20 下層	須恵器 高杯 (脚部)		— (10.3) [7.6]	脚部はハの字状に開き、裾端部は斜め下方に突出し 外端面を持つ。脚柱部外面に沈線が1条巡る。 [外]回転テ、沈線1条 [内]回転テ	[外]N6/灰 [内]N5/灰 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	底 7/8	
129	2	129	658	32-SD20 下層	須恵器 把手付鉢		(12.0) — [10.4]	体部から口縁部にかけて、緩やかに内湾気味に立ち 上がり、端部は丸く収める。体部中位に沈線2条、下 位に沈線1条巡る。 [外]回転テ、沈線3条 [内]回転テ、自然袖付着、降灰	[外]2.5Y7/1灰白 [内]10YR6/1褐灰 精良:2mm以下の細粒・黒色粒 良好	口 1/8	659と同一 個体の可 能性あり
129	2	129	659	32-SD20 下層	須恵器 把手付鉢 (把手)		— — [9.5]	把手は先端部分が下方に曲げられ、円形の穿孔有。 [外]テ、円孔、降灰 [内]—	[外]2.5Y7/1灰白 [内]N7/灰白 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良好	把手 のみ	658と同一 個体の可 能性あり
129	2	129	660	32-SD20 下層	土師器 杯	B エ	11.8 4.2 5.4	体部は碗形を呈す。口縁部は内湾し、端部は先細り している。 [外]ヨコテ、ヘ削り [内]板テ	[外]2.5YR5/6明赤褐 [内]5YR5/4ブイ赤褐 普:3mm以下の石英・長石・赤色粒 やや粗	口 1/2	
129 132	2	130	661	36-SD10 下層	須恵器 杯		(12.2) (7.5) [4.8]	底部は平底で、体部から口縁にかけて、内湾しなが ら緩やかに立ち上がる。回転テの単位が明瞭である。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]2.5Y8/1灰白 [内]2.5Y8/1灰白 普:1mm以下の細粒・赤色粒・黒色粒 不良	口 1/3	
129 132	2	130	662	36-SD10 下層	須恵器 杯		(14.2) (10.3) 4.9	底部から口縁部にかけて、緩やかに内湾して立ち上 がり、端部は外反する。底部に角高台を貼り付け、テ 消しが甘く貼付痕が明瞭である。焼きぶくれや 粘土の付着が残存し、作りが雑である。 [外]回転テ、回転ヘ削り(R) [内]回転テ、静止テ	[外]N5/灰 [内]N5/灰 普:2mm以下の細粒・赤色粒 良好	底 1/1	
129	2	130	663	36-SD10	須恵器 壺 (体部)		— — [5.0]	体部の張りが丸みをおびる。体部上位に浅い沈線 に区画された斜行文の文様帯が巡る。 [外]回転テ、斜行文、沈線2条 [内]回転テ	[外]2.5Y6/1黄灰 [内]2.5Y7/2灰黄 普:1mm以下の細粒 良	体 1/6	

表 35 土器観察表 (35)

単位:cm (推定値)[残存値]【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 胎土 焼成	残存率	備考
129 132	2	130	664	36-SD10 下層	須恵器 鉢		(18.6) — [12.0]	体部から口縁にかけて内湾し、端部は丸く収める。 口縁端部に繊維状の圧痕あり。 [外]回転けず、回転へり削り(L)、へり削り [内]回転けず、当て具痕、刈ケ	[外]10YR7/2-プイ黄橙 [内]2.5Y7/2灰黄 普:2mm以下の細粒・赤色粒 不良	口 1/3	
129	2	130	665	36-SD10 下層	須恵器 甕 (口縁)		(16.6) — [5.9]	口頭部はくの字状に屈曲・外反し、端部は面を持つ。 [外]回転けず、格子文タタ、回転け目 [内]ヨナテ、当て具痕	[外]10YR7/1灰白 [内]10YR6/2灰黄褐 粗:2.5mm以下の細粒・赤色粒 不良	口 1/6	
129	2	130	666	36-SD10 下層	土師器 甕 (口縁)	A2 IV c2	(18.8) — [7.8]	口頭部は湾曲・外反し、端部は外端面をもつ。肩部にへり記号「//」あり。 [外]ヨナテ、タテハケ [内]板けず	[外]7.5YR7/4-プイ橙 [内]7.5YR7/4-プイ橙 粗:3mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/8 以下	
	2	133	667	33-SD1 上層	土師器 杯 (口縁)	B	— — [2.3]	口縁は内湾し、端部は内側に丸く肥厚する。 [外]観察難 [内]観察難	[外]2.5YR6/8橙 [内]2.5YR6/8橙 普:1mm以下の長石 良	口 1/8 以下	
	2	133	668	33-SD1 上層	白磁 碗 (底部)		— (5.8) [1.2]	底部に肉厚の角高台を貼り付ける。内外面に施釉。 [外]施釉 [内]施釉	[釉調]5Y8/1灰白 [胎土]2.5YR2/8灰白 精良 良好	底 1/8	山本2000 碗 I 類-4
	2	133	669	33-SD1 上層	土師質土器 杯 (口縁)	B	(13.6) — [2.8]	口縁部は大きく開き、端部付近で緩やかに外反する。端部は丸く収める。 [外]回転けず [内]回転けず	[外]10YR8/2灰白 [内]2.5Y8/2灰白 普:2mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/4	
	2	133	670	33-SD1 上層	土師質土器 杯 (底部)		— (7.4) [2.1]	平底杯の底部。 [外]回転けず、回転へり切り(-) [内]回転けず	[外]10YR8/4浅黄橙 [内]2.5Y8/1灰白 普:1mm以下の石英・長石・赤色粒 良	底 1/6	
	2	133	671	33-SD1	土師質土器 鍋 (口縁)		— — [4.0]	口頭部外面は湾曲し、内面は屈曲する。端部は外端面を持つ。 [外]ヨナテ、タテハケ [内]ヨナテ、ヨコハケ	[外]10YR6/2灰黄褐 [内]10YR7/3-プイ黄橙 普:4mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/8 以下	
	2	133	672	33-SD1 上層	土師質土器 羽釜 (口縁)		(24.8) — [5.4]	口縁は直立し、口縁部外面に水平な鏝を貼り付ける。 [外]テ、タテハケ [内]テ	[外]5YR7/6橙 [内]7.5YR7/6橙 普:3mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/8 以下	
132	2	133	673	33-SD2 下層	須恵器 蓋 (天井)		2.6 0.9 [1.8]	天井部に宝珠つまみを貼り付ける。 [外]回転けず [内]回転けず	[外]N4/灰 [内]N4/灰 精良:1mm以下の細粒 良	つまみ 1/2	
132	2	133	674	33-SD2 下層	須恵器 蓋 (口縁)		— — [1.7]	かえり付きの蓋で、かえりは短い。 [外]回転けず、自然袖付着 [内]回転けず	[外]5Y4/1灰 [内]N5/灰 普:2mm以下の細粒 良	口 1/8 以下	
132	2	133	675	33-SD2 下層	須恵器 蓋 (口縁)		(15.6) — [1.5]	口縁端部は下方に垂下する。 [外]回転けず [内]回転けず	[外]N5/灰 [内]N5/灰 普:1mm以下の細粒 良	口 1/8	
132	2	133	676	33-SD2 下層	須恵器 蓋		(16.2) — [2.0]	口縁端部は屈曲し斜め下方に垂下する。 [外]回転けず [内]回転けず	[外]2.5Y8/3淡黄 [内]2.5Y8/4淡黄 普:3mm以下の細粒 不良	口 1/8 以下	
132	2	133	677	33-SD2 下層	須恵器 杯 (口縁)		(12.2) — [3.1]	口縁部は外傾し、端部は丸くおさめる。 [外]回転けず [内]回転けず	[外]N5/灰 [内]N4/灰 [断]赤褐 普:2mm以下の細粒 良	口 1/8 以下	
132	2	133	678	33-SD2 下層	須恵器 杯 (底部)		— (12.6) [1.8]	底部に角高台を貼り付ける。 [外]回転けず、回転へり切り(-) [内]回転けず、静止けず	[外]N6/灰 [内]N6/灰 精良:2mm以下の細粒 良	底 1/8 以下	
132	2	133	679	33-SD2 下層	須恵器 壺 (体部)	壺K	— 9.3 [9.5]	長頸壺の体部。口頭部は欠損。体部は肩が張り、稜角を持つ。底部は角高台を貼り付ける。 [外]回転けず、回転へり削り(R) [内]回転けず、テ	[外]N6/灰 [内]N7/灰白 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良好	体 1/1	
132	2	133	680	33-SD2 下層	須恵器 横瓶		(13.8) — [13.5]	口頭部は屈曲・外反し、内端部をわずかに摘み上げる。 [外]回転けず、平行文タタのちけ [内]回転けず、当て具痕	[外]N5/灰 [内]N5/灰 精良:1mm以下の細粒 良好	頸 1/4	
132	2	133	681	33-SD2 下層	土師器 杯 (底部)		— (10.0) [2.2]	底部に湾曲する高台を貼り付ける。 [外]回転けず [内]回転けず	[外]5YR6/8橙 [内]5YR6/6橙 普:2mm以下の石英・長石・赤色粒 良	底 1/8	
132	2	133	682	33-SD2 下層	土師器 甕 (口縁)		(23.4) — [6.1]	口頭部は屈曲・外傾し、端部は面を持つ。 [外]タテハケ [内]ヨナテ、ヨコハケ	[外]5YR7/6橙 [内]10YR8/3浅黄橙 普:4mm以下の石英・長石・赤色粒 良	底 1/8 以下	
132	2	133	683	33-SD2 下層	土師器 甕 (口縁)		(26.8) — [6.4]	口縁部は水平近くまで屈曲し、内端部を摘み上げる。 [外]ヨナテ、タテハケ [内]ヨナテ、ヨコハケ	[外]10YR6/3-プイ黄橙 [内]7.5YR6/4-プイ橙 普:3mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/12	

表 36 土器観察表 (36)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径底径器高	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 胎土 焼成	残存率	備考
132	2	133	684	33-SD2 下層	土師器 移動式竈		— — [26.2]	付け底。基部端部は押圧痕明瞭。 [外]テハ、テ [内]テ	[外]5YR6/6橙 [内]5YR6/6橙 粗:3mm以下の石英・長石・赤色粒 良好	底・ 基部	
132	2	133	685	33-SD2 下層	土師器 鍋	鍋D	(40.4) — 8.3	大型品。肩が張らず口頸部は屈曲・外傾する。 [外]口縁部ヨコテ、体部テハ→ヨコハ [内]テ	[外]7.5YR6/4=ブイ橙 [内]10YR6/2灰黄褐 普:4mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/8 以下	
	2	134	686	中世糸里坪 界 41-SD1	製塩土器 (口縁)		— — [2.5]	口縁部はわずかに内湾し、端部は丸く取める。 [外]観察難 [内]観察難	[外]2.5Y4/1黄灰 [内]10YR7/4=ブイ黄橙 普:4mm以下の石英・長石・赤色粒 良	細片	備讃V式
133	2	134	687	中世糸里坪 界 41-SD1 上層	青磁 碗 (口縁)		— — [3.7]	体部外面に鎚連弁文を有する。 [外]連弁文、施釉 [内]施釉	[釉調]7.5Y6/2灰青 [胎土]2.5YR2/8灰白 精良:砂粒をほとんど含まない 良	口 1/8 以下	
133	2	134	688	中世糸里坪 界 41-SD1 上層	中世須恵器 杯 (口縁)		(12.2) — [3.0]	口縁部は直線的に外傾し、端部は丸くおさめる。口 縁外面に炭素の吸着あり。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]2.5Y8/2灰白 [内]2.5Y8/2灰白 普:1mm以下の石英・長石等 やや不良	口 1/8	十瓶山産
133	2	134	689	中世糸里坪 界 41-SD1 上層	土師質土器 足釜 (脚部)		— — [12.5]	[外]テ [内]テ	[外]7.5YR5/2灰褐 [内]7.5YR5/2灰褐 粗:4mm以下の石英・長石 良	脚の み	
133	2	134	690	中世糸里坪 界 41-SD1 上層	土師質土器 足釜		26.4 — [10.4]	口体部は内湾し、端部は丸くおさめる。鏝部は短く 突出する。 [外]テ、ハ [内]板テ、指頭圧痕	[外]5YR6/4=ブイ橙 [内]7.5YR7/3=ブイ橙 普:4mm以下の石英・長石 良	口 1/8	楠井産
133	2	134	691	中世糸里坪 界 41-SD1 上層	土師質土器 鍋 (口縁)		(36.0) — [3.5]	口縁部は水平近くまで屈曲し、内端部を狭み上げる。 [外]ヨコテ [内]ヨコテ、ハ	[外]7.5Y6/4=ブイ橙 [内]7.5Y5/4=ブイ橙 普:3mm以下の石英・長石・黒色粒 良	口 1/8 以下	
133	2	134	692	中世糸里坪 界 41-SD1 上層	中世須恵器 片口鉢		(27.2) — 6.8	体部は直線的に開き、端部は肥厚する。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]N6/灰 [内]N6/灰 精良:3mm以下の長石 良好	口 1/12	東播系
133	2	134	693	中世糸里坪 界 41-SD1 上層	中世須恵器 片口鉢		(25.4) (9.0) 9.5	体部はやや湾曲して開き、端部は肥厚する。 [外]回転テ、テ [内]回転テ	[外]2.5Y7/1灰白 [内]2.5Y7/1灰白 粗:3mm以下の石英・長石・黒色粒 良	口 1/3	東播系
133	2	136	694	中世糸里坪 界 39-SD1	土師質土器 皿		6.2 4.9 1.1	口縁部は短く外傾し、端部は丸く取める。 [外]回転テ、回転ハ切り (R) [内]回転テ	[外]7.5YR8/4浅黄橙 [内]7.5YR8/4浅黄橙 普:2mm以下の石英・長石・赤色粒 良好	完存	
133	2	136	695	中世糸里坪 界 39-SD1	土師質土器 杯		(9.9) (7.0) [2.7]	口体部は大きく外傾する。端部外面はやや肥厚す る。 [外]回転テ、回転ハ切り (-) [内]回転テ	[外]7.5YR8/3浅黄橙 [内]7.5YR8/3浅黄橙 普:4mm以下の石英・長石 良	口 1/3	
133	2	136	696	中世糸里坪 界 39-SD1	土師質土器 杯		(9.2) — [2.6]	口体部は外傾する。端部外面はやや肥厚する。 [外]回転テ、2次被熱 [内]回転テ	[外]5YR8/3淡橙 [内]5YR8/3淡橙 普:2mm以下の石英・長石 良	口 1/6	楠井産
133	2	136	697	中世糸里坪 界 39-SD1	土師質土器 杯		(11.1) — [2.4]	口体部は大きく外傾する。端部外面はやや肥厚す る。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]2.5Y8/2灰白 [内]2.5Y8/2灰白 精良:1mm以下の石英・長石 良好	口 1/6	
133	2	136	698	中世糸里坪 界 39-SD1	土師質土器 杯		(11.9) — [2.5]	口体部は大きく外傾する。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]10YR8/2灰白 [内]10YR8/2灰白 普:2mm以下の石英・長石 良好	口 1/8 以下	
133	2	136	699	中世糸里坪 界 39-SD1	土師質土器 杯		(11.4) (8.0) 2.4	口体部は外傾する。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]7.5YR8/4浅黄橙 [内]7.5YR8/4浅黄橙 普:2mm以下の石英・長石 良好	口 1/8 以下	
133	2	136	700	中世糸里坪 界 39-SD1	土師質土器 杯		(10.8) (7.0) 2.3	口体部は大きく外傾する。 [外]回転テ、回転ハ切り (R)、板目状圧痕 [内]回転テ、静止テ	[外]10YR8/2灰白 [内]10YR8/2灰白 精良:1mm以下の石英・長石 良好	底 2/3	
133	2	136	701	中世糸里坪 界 39-SD1	中世須恵器 杯		(12.4) 8.5 2.9	口体部は外傾し、丸みをおびた外端面をもつ。 [外]回転テ、回転ハ切り (L)、板目状圧痕 [内]回転テ、静止テ	[外]10YR5/1褐灰 [内]10YR6/1褐灰 精良:1mm以下の石英・長石 不良	底 1/3	十瓶山産
133	2	136	702	中世糸里坪 界 39-SD1	中世須恵器 杯		11.9 8.2 3.2	口体部は外傾し、丸みをおびた外端面をもつ。 [外]回転テ、回転ハ切り (R) [内]回転テ、静止テ	[外]2.5Y5/1黄灰 [内]2.5Y5/1黄灰 精良:1mm以下の石英・長石 不良	口 1/2	十瓶山産
133	2	136	703	中世糸里坪 界 39-SD1	土師質土器 足釜 (口縁)		— — [4.2]	口縁部はやや内傾し、端部は丸く取める。鏝部は短 く水平に貼り付ける。 [外]ヨコテ、爪形圧痕 [内]ヨコテ	[外]10YR8/3浅黄橙 [内]10YR8/3浅黄橙 普:3mm以下の石英・長石 良	口 1/8 以下	
133	2	136	704	中世糸里坪 界 39-SD1	土師質土器 足釜 (口縁)		(18.4) — [5.1]	口縁部はやや内傾し、端部は丸く取める。鏝部は短 く突出し、鏝部下端の爪形圧痕は明瞭。 [外]ヨコテ、爪形圧痕 [内]観察難	[外]7.5YR7/4=ブイ橙 [内]7.5YR7/4=ブイ橙 粗:2mm以下の石英・長石 良	口 1/8	

表 37 土器観察表 (37)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径底径器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
133	2	136	705	中世糸里坪界 39-SD1	土師質土器 足釜 (口・脚部)		(27.0) — 【15.2】	体部から口縁部にかけて内湾し、端部は丸く収める。罫部は短く突出し、罫部下端に爪形圧痕が残る。 【外】ヨコテ、爪形圧痕、タテウ、板テ、ナテ 【内】板テ	【外】10YR8/3浅黄橙 【内】10YR8/3浅黄橙 粗:3mm以下の石英・長石 良	口 1/8 以下	
124	2	146	706	28-SK5	須恵器 杯蓋	① a ア	(14.5) — 【4.3】	口縁部と天井部の境は突線状の強い稜が走り、端部はほぼ接地する面を有す。天井部は低く平坦。 【外】回転テ、回転ハテ削り(L) 【内】回転テ	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/2	
127	2	147	707	29-SK12	須恵器 有蓋高杯蓋		2.3 (1.0) 【2.4】	中央がくぼんだつまみを貼付ける。自然釉(緑)付着。 【外】回転テ、回転ハテ削り(-) 【内】回転テ、静止テ	【外】N6/灰 【内】5PB6/1青灰 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	つま み 1/1	
126	2	148	708	29-SK19	須恵器 杯蓋	① a イ	(13.8) — 【4.9】	口縁部と天井部の境は強い稜が走り、端部は凹斜面を有す。 【外】回転テ、回転ハテ削り(R) 【内】回転テ、静止テ	【外】N7/灰白 【内】N6/灰 普:5mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/3	
126	2	148	709	29-SK19	須恵器 杯身	④ b オ	(11.0) — 5.2	立ち上がりは短く内傾し、端部は丸くおさめる。底部は深い丸底。受部境に溝をなす。 【外】回転テ、回転ハテ削り(L) 【内】回転テ、当て具痕後刈	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	受 3/8	
126	2	148	710	29-SK19	須恵器 杯蓋	④ b ウ	12.6 5.5 4.5	口縁部と天井部の境は弱い稜が走り、内端部は外方に屈曲し凹斜面を有す。天井部はややくぼむ。 【外】回転テ、回転ハテ削り(L) 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 5/8	
126	2	148	711	29-SK19	須恵器 杯身	④ b オ	(10.0) — 【4.0】	立ち上がりはややく短く内傾し、端部は丸くおさめる。 【外】回転テ、回転ハテ削り(L) 【内】回転テ	【外】N7/灰白 【内】7.5Y7/1灰白 普:3mm以下の細粒・黒色粒 やや不良	口 3/8	
126	2	148	712	29-SK19	須恵器 提瓶		7.9 — 【20.3】	頸部は細く、口縁は外反し、端部は肥厚し角張る。体部は一方が丸く、一方が平坦な扁球形を呈する。体部両側面に大きく輪状をなす把手を貼り付ける。口縁と体部の接合は円盤閉塞法。 【外】回転テ、回転ハテ削り、自然釉付着 【内】回転テ、静止テ	【外】5P3/1暗紫灰 【内】5PB6/1青灰 精良:2mm以下の細粒 良好	ほぼ 完存	
2	148	713	29-SK19	土師器 甌 (口縁)	A IV d1		(26.8) — 【12.9】	口縁部は直口し、端部d1。 【外】ヨコテ 【内】ナテ	【外】5YR7/6橙 【内】5YR7/6橙 普:1mm以下の石英・長石・黒色粒・赤色粒 良	口 1/8	
2	149	714	29-SK58	土師器 甕 (底部)	A1 III		— — 【5.9】	小型甕か。丸底。 【外】ナテ、被熱 【内】ウテ、ナテ	【外】2.5YR6/6橙 【内】10YR6/3ブイ黄橙 普:3mm以下の石英・長石 良	底 1/1	
2	149	715	29-SK65	須恵器 甕			(19.2) — 【5.9】	口頸部は直立気味に立ち上がった後さらに外方に開く。端部外面に突線を貼付け端面となし、その下に突線が1条巡る。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】7.5Y7/1灰白 【内】7.5Y7/1灰白 普:4mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8	
2	151	716	46-SK6	土師器 高杯 (脚部)			— (10.2) 【3.3】	脚部部の破片。ローリングを受けている。 【外】観察難 【内】観察難	【外】7.5YR7/6橙 【内】7.5YR7/6橙 精良:4mm以下の石英・長石・赤色粒 良	底 1/4	
127	2	152	717	29-SX60	須恵器 杯蓋	① a ア	(13.4) — 【4.5】	口縁部と天井部の境は突線状の強い稜が走り、端面はほぼ接地する面を有す。 【外】回転テ、回転ハテ削り(-) 【内】回転テ、静止テ	【外】7.5R6/1赤灰 【内】N7/灰白 精良:4mm以下の細粒・黒色粒 堅緻	口 3/8	
132	2	155	718	34-SX3	須恵器 杯身 (口縁)		(13.4) — 【2.9】	立ち上がりは短く内傾し、端部は丸くおさめる。受部に蓋重ね焼きの焼きムラあり。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/6	
132	2	155	719	34-SX3	須恵器 杯身 (口縁)		(12.4) — 【2.5】	立ち上がりは短く外湾気味に立ち上がり、端部は先細りしている。 【外】回転テ、受部に重ね焼きの痕跡 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:1mm以下の細粒・赤色粒 良	口 1/6	
132	2	155	720	34-SX3	須恵器 杯身 (口縁)		(12.8) — 【3.1】	立ち上がりは短く外湾気味に立ち上がり、端部は丸くおさめる。 【外】回転テ、回転ハテ削り(-) 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:1.5mm以下の細粒 良	口 1/8	
132	2	155	721	34-SX3	須恵器 提瓶 (把手)		— — 【2.2】	鍵状の把手を貼り付ける。 【外】ナテ 【内】ナテ	【外】N4/灰 【内】5Y5/1灰 普:1mm以下の細粒・赤色粒 良好	把手 のみ	
132	2	155	722	34-SX3	須恵器 高杯 (脚柱部)		— — 【2.8】	杯底部から脚柱部にかけて穿孔あり。脚部外面に放射状のウテを施す。 【外】回転テ、ウテ、自然釉付着 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】10YR6/1褐灰 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良好	脚柱 1/1	
132	2	155	723	34-SX3	須恵器 高杯 (脚部)		— (10.8) 【6.7】	脚部は太い基部からハの字状に開き、裾端部は丸く湾曲する。 【外】回転テ、回転ハテ削り(-) 【内】回転テ	【外】N4/灰 【内】N6/灰 普:1.5mm以下の細粒 良好	底 3/8	

表 38 土器観察表 (38)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
132	2	155	724	34-SX1	須恵器土管(口縁)		— — [2.6]	土管の破片か。狭端から4~5cm下に鏝を貼り付けた痕跡を確認できる。 【外】格子文ヲヲ, 回転ヲ目 【内】当て具痕	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:2mm以下の細粒 良	口 1/8 以下	胴部と底部は接合しないが、焼成・色調等類似しているもので、同一個体と考えられる。
132	2	155	725	34-SX3	須恵器壺(底部)		— (10.2) [5.4]	底部は平底。 【外】回転ヲ 【内】回転ヲ, 指頭圧痕	【外】N5/灰 【内】N6/灰 精良:1mm以下の細粒・赤色粒 良好	底 1/4	
	2	156	726	32-SP14	須恵器杯(底部)	杯B	— (12.4) [1.9]	底部に、内傾する面を持つ高台を貼り付ける。 【外】回転ヲ 【内】回転ヲ	【外】2.5Y8/1灰白 【内】2.5Y8/1灰白 普:1mm以下の細粒 不良	底 1/6	
134	2	157	727	中央区画包含層	須恵器杯蓋	④ b エ	(12.0) — 4.4	口縁部と天井部の境は弱い稜をなし、内端部は浅い凹斜面が巡る。 【外】回転ヲ, 回転ヘラ削り(R) 【内】回転ヲ	【外】N4/灰 【内】5Y7/1灰白 粗:3mm以下の細粒 良	口 1/3	
134	2	157	728	中央区画包含層	須恵器杯蓋	③ b イ	(12.0) — 4.0	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、上下を削り出すことによって突線を作り出す。内端部は凹斜面を有す。 【外】回転ヲ, 回転ヘラ削り(R) 【内】回転ヲ	【外】5Y5/1灰 【内】N6/灰 粗:1mm以下の細粒 良	口 1/4	
134	2	157	729	中央区画包含層	須恵器杯蓋	d オ	— — [2.5]	口縁部と天井部の境は弱く屈曲し、端部は丸くおさめる。 【外】回転ヲ 【内】回転ヲ	【外】N5/灰 【内】N7/灰白 普:2mm以下の細粒 良	口 1/8 以下	
134	2	157	730	中央区画包含層	須恵器杯蓋	④ b ウ	12.4 — 4.5	口縁部と天井部の境は弱い稜が巡り、端部は外方に屈曲し凹斜面を有す。 【外】回転ヲ, 回転ヘラ削り(R) 【内】回転ヲ, 静止ヲ	【外】5Y5/1灰 【内】7.5YR5/1褐灰 粗:3mm以下の細粒 良	口 1/2 以上	
134	2	157	731	中央区画包含層	須恵器杯蓋	⑤ d エ	(15.8) — [3.0]	口縁部と天井部の境は丸くならからで、内端部は凹線が巡る。 【外】回転ヲ, 回転ヘラ削り(R), 頂部ヘラ切り未調整 【内】回転ヲ	【外】10YR5/1褐灰 【内】N6/灰 精良:1mm以下の細粒 良	口 1/3	
	2	157	732	中央区画包含層	須恵器杯蓋	a ア	(10.8) — [3.8]	口縁部と天井部の境は強い稜が巡り、端面はほぼ接地する面を有す。 【外】回転ヲ, 回転ヘラ削り(-) 【内】回転ヲ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:0.5mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8	
	2	157	733	中央区画重機掘削	須恵器杯蓋	d イ	(11.8) — [4.3]	口縁部と天井部の境は丸くならから、内端部は凹斜面を有す。 【外】回転ヲ, 回転ヘラ切り, 未調整 【内】回転ヲ	【外】N4/灰 【内】N5/灰 粗:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/12	
134	2	157	734	中央区画包含層	須恵器杯身		(10.8) — [4.1]	立ち上がりは湾曲気味に立ち上がり、端部は丸くおさめる。 【外】回転ヲ, 回転ヘラ削り(-) 【内】回転ヲ	【外】N7/灰白 【内】N6/灰 精良:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/6	
134	2	157	735	中央区画包含層	須恵器杯身		(11.8) — [3.8]	立ち上がりは内傾し、端部は面を有す。 【外】回転ヲ, 回転ヘラ削り(R) 【内】回転ヲ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 粗:2mm以下の細粒・赤色粒 良	口 1/6	
134	2	157	736	中央区画包含層	須恵器杯身		(12.0) — 4.0	立ち上がりはやや内傾し、内端部は斜面を有す。底部は浅く角丸平底。受部に杯蓋重ね焼きによる焼きムラあり。 【外】回転ヲ, 回転ヘラ削り(L) 【内】回転ヲ	【外】N6/灰 【内】N5/灰 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	
	2	157	737	中央区画重機掘削	須恵器杯身	イ	(11.4) — [4.6]	立ち上がりはやや屈曲して直立し、端部は先細りしている。 【外】回転ヲ, 回転ヘラ削り(-) 【内】回転ヲ	【外】N5/灰 【内】N6/灰 精良:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/6	
134	2	157	738	中央区画包含層	須恵器杯身(口縁)		— — [3.0]	立ち上がりは短く内傾し、端部は丸くおさめる。 【外】回転ヲ 【内】回転ヲ	【外】2.5Y5/1黄灰 【内】N7/灰白 精良:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	
134	2	157	739	中央区画包含層	須恵器杯身		(14.2) — [3.1]	立ち上がりは外湾気味に内傾し、端部は先細りしている。受部境に溝をなし受端部は丸くおさめる。受部に重ね焼きによる焼きムラあり。 【外】回転ヲ, 回転ヘラ削り(R) 【内】回転ヲ	【外】2.5Y6/1黄灰 【内】N7/灰白 精良:0.5mm以下の黒色粒 良	口 1/6	
134	2	157	740	中央区画包含層	須恵器杯身	⑤ d オ	(13.0) — 3.1	立ち上がりは短く湾曲して内傾し、端部は先細りしている。受端部は丸く仕上げる。 【外】回転ヲ, 回転ヘラ削り(R) 【内】回転工具ヲ	【外】2.5Y6/1黄灰 【内】N7/灰白 【断】赤褐 精良:1mm以下の細粒 良	口 1/4	
134	2	157	741	中央区画包含層	須恵器杯身		(12.6) — [3.0]	立ち上がりは短く内傾し、端部は先細りしている。 【外】回転ヲ 【内】回転工具ヲ	【外】5YR5/2灰褐 【内】N4/灰 【断】赤褐 精良:0.5mm以下の細粒 良	口 1/8 以下	
134	2	157	742	中央区画包含層	須恵器杯身(口縁)		(13.0) — [2.1]	立ち上がりは短く湾曲して直立し、内端部は先細りしている。受端部は丸くおさめる。 【外】回転ヲ, 回転ヘラ削り(-) 【内】回転ヲ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	

表 39 土器観察表 (39)

単位:cm (推定値)【残存値】【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底径 器高	形態の特徴 手法の特徴【外】【内】	色調【外】【内】 胎土 焼成	残存率	備考
134	2	157	743	中央区画 包含層	須恵器 杯身		(11.2) [2.9]	立ち上がりは短く屈曲して内傾し、端部は先細りしている。受部境に溝をなし、受端部は丸くおさめる。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/6	
134	2	157	744	中央区画 包含層	須恵器 杯身 (口縁)		— [2.4]	立ち上がりは湾曲気味に短く内傾し、端部は先細りしている。受部境に溝をなし、受端部は丸くおさめる。 【外】回転テ 【内】回転工具テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 精良:1mm以下の細粒 良	口 1/8 以下	
	2	157	745	中央区画 包含層	須恵器 杯身		(12.1) — [3.1]	立ち上がりは短く内傾し、端部は先細りしている。受部に杯蓋重ね焼きによる焼きムラあり。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】5Y5/1灰 【内】N8/灰白 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	
	2	157	746	中央区画 攪乱	須恵器 杯身	⑤ d オ	(13.0) — [3.1]	立ち上がりは短く湾曲し、端部は先細りしている。受端部は丸く仕上げる。 【外】回転テ, 回転ヘラ削り(R) 【内】回転工具テ	【外】2.5Y6/1黄灰 【内】7.5Y7/1灰白 普:1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/6	
	2	157	747	中央区画 重機掘削	須恵器 杯身	⑤ d オ	(11.6) — [3.5]	立ち上がりは短く湾曲し、端部は先細りしている。受端部は丸く仕上げる。 【外】回転テ, 回転ヘラ削り(L) 【内】回転テ	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 普:1mm以下の細粒 良	口 1/4	
	2	157	748	中央区画 包含層	須恵器 杯身		(12.3) — [4.5]	立ち上がりは短く内傾し、端部は丸くおさめる。立ち上がりは貼付技法。 【外】回転テ, 回転ヘラ削り(L) 【内】回転テ, 静止テ	【外】2.5Y7/2灰黄 【内】2.5Y8/2灰白 普:2mm以下の細粒 不良	口 1/8	
134	2	157	749	中央区画 包含層	須恵器 有蓋高杯 (杯部)	②	(10.2) — [4.1]	立ち上がりは内傾し、端部は丸く取める。 【外】回転テ, 回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N6/灰 普:1~2mmの細粒・黒色粒 良	受 1/8	
134	2	157	750	中央区画 包含層	須恵器 有蓋高杯 (杯部)	①	(10.6) — [4.2]	立ち上がりはやや内傾し、内端部は凹斜面を持つ。受部に蓋の融着痕あり。 【外】回転テ, 回転ヘラ削り(-) 【内】回転テ	【外】N5/灰 【内】N7/灰白 普:1~2mmの黒色粒・細粒 良	口 1/4	
134	2	157	751	中央区画 包含層	須恵器 杯身		— [4.4]	立ち上がりは直立し、端部は丸くおさめる。 【外】回転テ, 回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ	【外】10YR7/1灰白 【内】10YR7/1灰白 普:1mm以下の細粒・クワ礫 不良	口 1/8 以下	
	2	157	752	中央区画 重機掘削	須恵器 杯身		(10.0) — [4.1]	立ち上がりは内湾気味に内傾し、端部は丸くおさめる。 【外】回転テ, 回転ヘラ削り(R) 【内】回転テ	【外】N5/灰 【内】N5/灰 普:5mm以下の細粒 良	口 1/6	
	2	157	753	中央区画 包含層	須恵器 有蓋高杯 (杯部)	A	(11.0) — [5.4]	立ち上がりはやや内傾し、内端部は斜面を持つ。受部に重ね焼きの痕跡あり。 【外】回転テ, 回転テ目, 推定5方向長方形ス 【内】回転テ	【外】10YR5/1褐灰 【内】7.5YR5/2灰褐 精良:0.1~1mmの細粒・クワ礫 良好	受 1/8	
134	2	157	754	中央区画 包含層	須恵器 高杯 (脚部)		— (9.5) [5.4]	脚柱部は細くハの字状に開き、裾端部は下方に肥厚し外端面をもつ。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】10YR8/2灰白 【内】10YR8/1灰白 粗:0.5~2mmの細粒 不良	脚 1/4	
134	2	157	755	中央区画 包含層	須恵器 高杯 (脚部)		— (8.9) [6.4]	脚部はハの字状に開き裾端部は下方に曲げて丸く取める。 【外】回転テ, 推定4方向長方形ス 【内】回転テ	【外】7.5Y6/1灰 【内】N5/灰 普:1~3mmの細粒 良好	脚 1/8	
134	2	157	756	中央区画 包含層	須恵器 高杯 (脚部)		— (15.0) [2.9]	長脚高杯の脚部か。裾部は強く外反し、ラッパ状に開く。裾端部は下方に肥厚し外端面をもつ。 【外】回転テ, 推定長方形ス, 降灰 【内】回転テ, 降灰	【外】N5/灰 【内】N5/灰 精良:0.1mmの細粒・クワ礫 良好	脚 1/8 以下	
	2	157	757	中央区画 包含層	須恵器 盥 (口縁)		(13.0) — [3.5]	口縁部は内外面に明瞭な段を持つ二重口縁状。端部は先細り。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】2.5Y7/1灰白 【内】2.5Y7/1灰白 精良:0.5~1mmの細粒・黒色粒・クワ礫 不良	口 1/8	
	2	157	758	中央区画 包含層	須恵器 (口縁)		— [6.1]	口縁部は長く直線的に外傾し、端部は先細りしている。 【外】回転テ, 回転テ目 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】N7/灰白 精良:1~3mmの細粒 良	口 1/10	
134	2	157	759	中央区画 包含層	須恵器 筒型器台 (口縁)		(26.0) — [5.3]	口縁部はやや内湾気味に立ち上がり、端部付近でさらに外方に開く。凹線2条に区切られた文様帯の中に櫛描波状文を配す。 【外】回転テ 【内】回転テ	【外】N6/灰 【内】2.5Y6/1黄灰 普:1~2mmの細粒 良好	口 1/8	
134	2	157	760	中央区画 包含層	須恵器 鉢		(9.2) — [5.6]	口縁部はやや内傾し、端部は先細りしている。体部には沈線が2条巡る。 【外】回転テ, 沈線2条 【内】回転テ	【外】N7/灰白 【内】N7/灰白 普:0.5~3mmの細粒 不良	口 1/8 以下	
135	2	157	761	中央区画 包含層	土師器 甕 (口頸)	A2 III e1	13.4 — [9.0]	口頸部は湾曲・わずかに内湾し、端部e1。 【外】口縁部ヨコテ, 体部上半テハ 【内】口縁部ヨコテ, 体部上半ヨコテ	【外】7.5YR5/2灰褐 【内】10YR5/3ブイ黄褐 粗:1~3mmの石英・長石・クワ礫, 1mm以下の金雲母 不良	口 1/2	

表 40 土器観察表 (40)

単位: cm (推定値) [残存値] 【復元値】

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構層位	種別器種(部位)	分類	口径 底器高	形態の特徴 手法の特徴[外][内]	色調[外][内] 胎土 焼成	残存率	備考
135	2	157	762	中央区画 包含層	土師器 甕 (口頸)	A2 a	(16.2) — [6.6]	口頸部は屈曲・外傾し, 端部a。 [外]ヨコテ, [内]ヨコテ	[外]7.5YR7/4=7イ橙 [内]7.5YR7/4=7イ橙 粗: 1~3mmの石英・長石・クワ礫 不良	口 1/4	
135	2	157	763	中央区画 包含層	土師器 甕 (口頸)	A2 IV a	(15.2) — [7.2]	口頸部は屈曲・外傾し, 端部a。 [外]摩滅, テハケ [内]口縁部ヨコテ, 体部板テ	[外]5YR5/3=3イ赤褐 [内]7.5YR4/3褐 粗: 5mm以下の石英・長石・クワ礫 良	口 1/2	
	2	157	764	中央区画 包含層	土師器 甕 (口縁)	A2 c1	(11.8) — [4.9]	口頸部は湾曲・外傾し, 端部c1。 [外]観察難 [内]観察難	[外]7.5YR6/6橙 [内]7.5YR5/8明褐 粗: 3mm以下の石英・長石・赤色粒 良	口 1/8	
135	2	157	765	中央区画 包含層	土師器 甕 (口頸)	A2 IV b	(17.0) — [12.2]	口頸部は湾曲外反する。端部b。 [外]ヨコテ, テ, [内]板テ, 一部磨滅	[外]10YR7/4=7イ黄橙 [内]10YR7/2=7イ黄橙 粗: 1~3mmの石英・長石・金雲母・ク ワ礫 不良	口 1/3	
112	2	157	766	中央区画 重機掘削	土師器 甕 (底部)	B	— — [12.8]	体部は歪み著しい。 [外]ウ (粗・密2種) [内]指頭圧痕	[外]10YR7/6明黄褐 [内]7.5YR6/8橙 粗: 0.5~3mmの石英・長石・クワ礫 良	体 の み	
	2	157	767	中央区画 包含層	土師器 甕 (把手)	把手 イ	3.2 2 [5.8]	把手は先端で上方への反りが強い牛角状を呈し, 断 面楕円形。 [外]ウ [内]指頭圧痕	[外]5YR6/6橙 [内]5YR5/6明赤褐 粗: 0.5~4mmの石英・長石・クワ礫 不良	把 手 の み	
	2	157	768	中央区画 包含層	土師器 移動式竈		— — [5.4]	底部貼付け。 [外]ウ, 指頭圧痕 [内]テ	[外]7.5YR6/6橙 [内]5YR7/6橙 普: 0.5~3mmの石英・長石・赤色粒 良	細 片	
	2	157	769	中央区画 重機掘削	白磁 碗 (底部)	ウ	— (5.4) [2.4]	削り出し高台。畳付けに離れ砂付着。 [外]施釉 [内]施釉	[外]胎土: N8/灰白 [内]施釉: 7.5Y7/1灰白 精良: 良好	底 1/4	
135	2	158	770	居館区画 包含層	須恵器 杯蓋	⑤ d エ	13.4~ 13.6 — 4.3	口縁部と天井部の境は丸くなだらかで, 内端部に凹 線が巡る。 [外]回転テ, 回転ヘリ削り (R) [内]回転テ, 静止テ	[外]N6/灰 [内]N6/灰 精良: 2mm以下の細粒・黒色粒 良	口 5/6	
	2	158	771	居館区画 包含層	須恵器 杯蓋	d オ	(11.9) — [3.1]	口縁部と天井部の境は丸くなだらかで, 端部は丸く おさめる。 [外]回転テ, 回転ヘリ削り (R) [内]回転テ	[外]N6/灰 [内]N7/灰白 精良: 1mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/10	
	2	158	772	居館区画 包含層	須恵器 杯蓋 (口縁)	d エ	— — [3.0]	口縁部と天井部の境は丸くなだらかで, 内端部は沈 線が巡る。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]N6/灰 [内]N7/灰白 精良: 0.5mm以下の細粒・黒色粒 良	口 1/8 以下	
	2	158	773	居館区画 包含層	須恵器 杯身		(11.2) — [3.6]	立ち上がりは屈曲気味に直立し, 端部は先細りして いる。 [外]回転テ, 回転ヘリ削り (L) [内]回転テ	[外]5Y6/1灰 [内]5Y6/1灰 精良: 1.5mm以下の細粒 良	受 1/10	
	2	158	774	居館区画 包含層	須恵器 短頸壺		(7.2) — [4.2]	小型品。口縁部は短く直立し, 内端部は段を持つ。 体部は扁球形か。肩部にヘリ記号(X)あり。 [外]回転テ [内]回転テ	[外]N6/灰 [内]N6/灰 精良: 0.1~1mmの細粒 良	口 1/4	
135	2	158	775	居館区画 包含層	須恵器 広口壺 (底部)		— (7.2) [7.2]	底部はやや平坦で, 体部は球形。底部に「X」のヘ リ記号あり。 [外]回転テ, 回転ヘリ削り (R), 底部ヘリ記号 (X) [内]回転テ	[外]10YR8/3浅黄橙 [内]10YR8/2灰白 精良: 0.1~1mmの細粒 不良	底 1/4	
135	2	158	776	居館区画 包含層	土師器 高杯 (脚部)	B1	— (9.6) [6.8]	脚部は緩やかに大きく開く。脚柱部は尖頂・中 空。 [外]テ, ウ [内]テ, 絞り痕	[外]10YR7/4=7イ黄橙 [内]10YR8/4浅黄橙 普: 0.5~1.5mmの石英・長石・クワ礫 良	底 1/8	
	2	158	777	居館区画 包含層	土師器 甕 (口縁)	d1	— — [8.5]	口縁部は直口し, 端部は内傾する。 [外]テウ [内]指頭圧痕	[外]2.5YR5/8明赤褐 [内]2.5YR6/8橙 精良: 0.5~1.5mmの石英・長石・ク ワ礫・金雲母 良好	口 1/8 以下	
	2	158	778	居館区画 包含層	土師器 甕 (把手)	把手 ア	3.6 3 [7.4]	把手は棒状を呈し, 断面は円形。 [外]指頭圧痕 [内]テ	[外]10YR7/3=7イ黄橙 [内]10YR8/4浅黄橙 粗: 0.1~2mmの石英・長石・クワ礫 良	把 手 の み	
	2	158	779	周辺区画 重機掘削	須恵器 蓋 (つまみ)		3.3 1.2 [1.8]	中央がくぼんだつまみを貼り付ける。 [外]回転テ, 降灰 [内]テ	[外]N4/灰 [内]N6/灰 普: 2mm以下の細粒 堅緻	つま み	
84	-		780	14-堅穴1 埋土	土師器 杯		-	-	-	口縁	写真のみ
102	-		781	6-堅穴6 SK4	土師器 甕		-	-	-	底部	写真のみ
128	-		782	6-堅穴2 埋土	須恵器 杯蓋		-	-	-		写真のみ
113	-		783	14-堅穴4 埋土	須恵器 杯蓋		-	-	-	天井	写真のみ
118	-		784	14-堅穴30 SK32	土師器 甕		-	-	-	底部	写真のみ

表 41 土製品観察表

単位: cm (推定値)[残存値]

図版番号	分冊	挿図番号	遺物番号	遺構名 層位	種別 種別	長さ 幅 厚み	重量 (g)	形態の特徴 手法の特徴	色調 胎土 焼成	残存率	備考
87	1	25	D1	8-堅穴4 埋土	土製品 紡錘車	2.2 2.0 1.6	7.6	円柱形を呈し,中央に円孔(φ5mm)を穿つ。 [外]ナデ [内]ナデ	[外]7.5YR6/6橙 普 良	完存	
87	1	143	D2	8-SD7	土製品 紡錘車	2.2 2.2 2.0	40.0	低い円柱形を呈し,中央にφ3.5mmの円孔を穿孔する。 [外]ナデ [内]ナデ	[外]7.5YR6/6橙 普 良	完存	
	2	107	D3	29-堅穴20・ 46-堅穴35 埋土	土製品 輪羽口	4.2 4.9 1.6	[32.7]	差込口付近外面に高温による発泡痕あり。 [外]ナデ,発泡痕 [内]被熱	[外]2.5Y6/1黄灰 [内]7.5YR7/4=7 ⁺ イ橙 普 良	細片	
88	2	107	D4	29-堅穴20・ 46-堅穴35 埋土	土製品 土錘	1.0 0.3 (5.1)	[5.3]	管状土錘。軸断面は,円形を呈す。中心に貫通孔を穿つ。 [外]観察難	[外]7.5YR6/4=7 ⁺ イ橙 普 良	細片	
88	2	107	D5	29-堅穴20・ 46-堅穴35 掘方	土製品 土錘	3.1 1.2 1.2	[4.7]	管状土錘。軸断面は,円形を呈す。中心に貫通孔を穿つ。 [外]ナデ	[外]7.5YR6/4=7 ⁺ イ橙 普 良	一部 欠損	
88	2	107	D6	29-堅穴20・ 46-堅穴35 埋土	土製品 土錘	2.9 1.1 1.1	3.0	管状土錘。軸断面は,円形を呈す。中心に貫通孔を穿つ。 [外]ナデ	[外]7.5YR6/4=7 ⁺ イ橙 普 良	完存	
87	2	116	D7	28-堅穴30 カマド煙道	土製品 紡錘車	[4.4] [0.4] [2.0]	42.0	平面は円形,断面は楕円形を呈す。 [外]ナデ [内]ナデ	[外]7.5YR7/6橙 [内] 普 良好	完存	
129	2	129	D8	32-SD20 上層	土製品 蛸壺 (吊手)	— — [4.5]	[40.0]	釣鐘型の飯蛸壺。吊手部は中実で円形の穴を穿孔する。 [外]指頭圧痕 [内]板ナデ	[外]7.5YR5/4=7 ⁺ イ褐 [内]7.5YR5/6明褐 普 良	吊手 のみ	
	2	133	D9	33-SD1 上層	土製品 平瓦	[11.4] [10.3] 2.1	[258.8]	側縁は2回面取りを行う。 [凹面]観察難 [凸面]縄目タタキ	[凹面]10YR8/2灰白 [凸面]10YR8/2灰白 普 不良	細片	
	2	157	D10	周辺区画 包含層	土製品 平瓦	[10.1] [8.9] 2.4	[249.0]	瓦の体部片。 [凹面]布目 [凸面]斜格子目叩き	[凹面]10YR6/6明黄褐 [凸面]10YR4/1褐灰 普 良	細片	

表 42 玉類観察表

単位:cm (推定値)[残存値]

図版 番号	分冊 番号	挿図 番号	遺物 番号	遺構名 層位	機種	石材	法量 (mm)				備考
							長さ	直径	孔の最小径	重量(g)	
88	1	36	S8	10-堅穴90 埋土	白玉	滑石	[2.0]	4.5	[1.5]	1.0	
88	1	43	S10	3-堅穴45 床面直上	管玉	碧玉	[8.0]	(8.0)	[1.0]	3.0	
88	1	60	S13	4-堅穴99他 床面直上	白玉	滑石	[3.0]	5.0	[2.0]	1.0	
88	1	67	S14	3-堅穴108 床面直上	白玉	碧玉	4.0	4.5	1.5	2.0	
88	1	73	S18	21-堅穴18他 埋土	白玉	滑石	4.0	6.0	2.0	2.0	
	1	87	S22	6-堅穴3 埋土	白玉	滑石	[1.0]	4.0	[1.0]	1.0g 未満	
88	1	96	S23	10-堅穴50 埋土	白玉	滑石	6.5	7.0	2.5	4.0	
88	1	99	S24	10-堅穴30 埋土	白玉	滑石	[4.0]	4.0	[2.0]	1.0	
	1	108	S25	3-堅穴50 埋土	白玉	滑石	[3.0]	5.0	[2.0]	1.0	
88	1	125	S26	10-掘立1 SP99	白玉	滑石	4.0	6.5	2.0	2.0	
88	1	129	S27	4-掘立1	ガラス玉	ガラス	7.0	9.0	2.0	9.0	
	2	7	S34	14・27-堅穴22 床面直上	白玉	滑石	[2.0]	[4.5]	[2.0]	1.0g未 満	
88	2	42	S39	14-堅穴23 床面直上	白玉	滑石	3.0	5.5	1.5	1.0g未 満	一部欠損
88	2	42	S40	14-堅穴23 床面直上	白玉	滑石	[3.5]	5.0	[2.5]	1.0	
88	2	42	S41	14-堅穴23 床面直上	白玉	滑石	3.0	5.0	1.5	[1.0]	一部欠損
88	2	42	S42	14-堅穴23 床面直上	白玉	滑石	[3.0]	4.5	[1.5]	1.0g未 満	一部欠損
88	2	42	S43	14-堅穴23 床面直上	管玉	滑石	[11.0]	[5.0]	[1.5]	2.0	
88	2	54	S44	27-堅穴130 埋土	白玉	滑石	1.5	5.0	1.5	1.0	
	2	107	S48	29-堅穴20他 床面直上	白玉	滑石	3.0	[4.0]	1.0	1.0	
88	2	147	S52	29-SK13	勾玉	滑石	4.1	2.8	5.0	8.2	全体に調整痕(擦痕)
88	2	158	S60	中央区画 包含層	白玉	滑石	[3.0]	5.0	2.0	1.0	
88	2	158	S61	居館区画 攪乱	管玉 (未製品)	滑石	[22.5]	7.0	-	17.0	

表 43 石器・石製品観察表

単位:cm (推定値)[残存値]

図版 番号	分冊 番号	挿図 番号	遺物 番号	遺構名 層位	機種	石材	法量(cm)				備考
							最大長	最大幅	最大厚	重量(g)	
87	1	13	S1	6-堅穴1 埋土	砥石・台石	砂岩	28.5	11.2	6.8	3200.0	
87	1	18	S2	6-堅穴7 周壁溝	磨石	不明	14.1	9.4	8.5	1680	
87	1	21	S3	8-堅穴1 床面直上	石皿	砂岩	29.7	19.1	8.1	5400.0	
87	1	25	S4	8-堅穴4 床面直上	紡錘車	滑石	4.3	4.25	1.5	36.2	円錐台の形状で、中央に径0.7cmの円孔を穿つ。側面に 刺突文をランダムに20ヶ配置する。
	1	25	S5	8-堅穴4 埋土	R F	サヌカイト	3.8	3.4	0.6	9.0	
87	1	25	S6	8-堅穴4 床面直上	砥石	砂岩	33.2	17.1	7.3	5990.0	
	1	25	S7	8-堅穴4 床面直上	砥石	安山岩	27.8	12.8	11.7	6250.0	
	1	43	S9	3-堅穴45 埋土	R F	サヌカイト	2.6	2.1	0.55	3.1	
87	1	48	S11	10-堅穴110 床面直上	石皿	砂岩	30.0	29.0	8.5	12350.0	
87	1	48	S12	10-堅穴110 床面直上	石皿	砂岩	(29.9)	33.4	13.6	17350.0	
87	1	67	S15	3-堅穴108 床面直上	石棒?	結晶片岩	(18.8)	5.2	5.4	1080.0	
87	1	70	S16	4-堅穴30 埋土	砥石	流紋岩?	5.5	3.1	1.2	26.3	
	1	70	S17	4-堅穴30 埋土	R F	サヌカイト	4.0	3.2	0.5	9	
87	1	73	S19	21-堅穴18他 床面直上	石皿	砂岩	(23.3)	19.2	5.9	4300.0	
87	1	83	S20	3-堅穴40 埋土	石棒	結晶片岩	(8.6)	4.9	3.9	280.0	
86 87	1	87	S21	6-堅穴3 埋土	紡錘車	滑石	3.5	3.45	1.8	29.7	円錐台の形状で中央に径0.65cmの円孔を穿つ。側面と 下面に線鋸歯文を施す。
	1	132	S28	10-掘立3 SP20	砥石	砂岩	(16.0)	(12.0)	8.4	2310.0	
104	1	151	S29	45-SD1	砥石		32.2	13.9	9.4	6350.0	
87	1	155	S30	9-SD205 最下層	石鏃	サヌカイト	1.4	1.25	0.25	0.3	凹基式
	1	176	S31	10-SK207	M F	サヌカイト	4.2	6.5	0.5	11.9	
	1	186	S32	11-SX5	剥片	サヌカイト	[2.7]	[2.3]	[0.5]	2.8	使用痕あり
84	2	4	S33	14-堅穴1 床面直上	台石	砂岩	[18.6]	19.5	9.7	6710.0	
	2	19	S35	14-堅穴25 埋土	M F	サヌカイト	6.4	3.8	1.0	26.9	
87	2	22	S36	14-堅穴26 床面直上	砥石		7.6	4.0	2.5	85.6	
87	2	39	S37	14-堅穴30 埋土	打製石斧	サヌカイト	4.75	5.2	1.05	27.7	
87	2	39	S38	14-堅穴30 SK31	砥石・台石	砂岩	23.0	12.2	5.4	2610.0	同一堅穴建物内のSK33と接合
87	2	82	S45	14・27-SD70 中層	磨石	不明	11.5	7.6	5.4	785.1	全面摩滅
87	2	96	S46	14-SP240	スクレイパー	サヌカイト	3.1	4.6	0.7	9.4	二重風化
88	2	104	S47	29-堅穴80 SP1	有孔円盤	滑岩	2.05	2.15	4.0	2.7	ほぼ円形を呈する。全面を丁寧に研磨し、中央に2ヶ 所、径0.2cmの円孔を穿つ。
	2	113	S49	28-堅穴3 床面直上	石皿	砂岩	27.8	21.5	46.0	4700.0	
	2	129	S50	32-SD20 上層	玉石	不明	8.9	6.1	6.15	510.4	
	2	138	S51	32-SD1	スクレイパー	サヌカイト	3.9	4.0	0.7	11.7	
87	2	158	S53	中央区画 重機掘削	火打石	チャート	1.8	2.0	1.85	5.1	
87	2	158	S54	中央区画 包含層	火打石	チャート	1.3	2.0	1.0	2.7	
87	2	158	S55	周辺区画 表探	火打石	チャート (青緑色)	1.2	1.9	0.5	1.3	
87	2	158	S56	周辺区画 表探	火打石	チャート (青緑色)	1.5	1.9	0.6	1.7	
87	2	158	S57	中央区画 包含層	石鏃	サヌカイト	2.8	1.2	0.4	0.9	凹基式
	2	158	S58	中央区画 包含層	剥片	サヌカイト	3.7	3.2	0.35	4.2	表面全体に使用痕あり
	2	158	S59	中央区画 重機掘削	楔形石器	サヌカイト	4.7	5.4	1.3	31.9	
87	-	S62	12-SD35		火打石	チャート	-	-	-	-	写真のみ
87	-	S63	12-SD35		火打石	チャート	-	-	-	-	写真のみ
87	-	S64	12-SD35		火打石	チャート	-	-	-	-	写真のみ
87	-	S65	中央区画 包含層		石鏃	サヌカイト	-	-	-	-	写真のみ

表 44 金属製品・鉄製品観察表

単位:cm (推定値)[残存値]【復元値】

図版 番号	分冊 番号	挿図 番号	遺物 番号	遺構名 層位	種類	機種	法量 (cm)				形態・手法の特徴
							最大長	最大幅	厚み	重量(g)	
133	2	156	M1	29-SP5	銅製品	古銭	2.5	2.4	[0.1]	1未満	両面とも表面が剥離して、字体は不明。
	2	158	M2	周辺区画 表探	鉛	弾丸	5.1	1.3	1.3	31.6	弾芯
	1	15	T1	6・23-堅穴8 床面直上	鉄製品	刀子?	[3.6]	1.3	0.3	2.8	刀子の関～基部か?刃部をもつ。
	1	28	T2	3-堅穴55他 南半埋土	鉄製品	棒状鉄片	[2.5]	[1.1]	0.5	4.1	折れ曲がっている。
	1	43	T3	3-堅穴45 床面直上	鉄製品	棒状鉄片	[3.7]	1.0	0.4	4.1	
88	1	43	T4	3-堅穴45 床面直上	鉄製品	鉄鎌	[5.2]	[3.1]	0.4	12.6	切先と基部は欠損しており、全体の形状は不明である。断面では全体的に扁平で、刃部はわずかに先細りしている。
	1	48	T5	10-堅穴110 カマド	鉄製品	鉄滓	[2.8]	[1.6]	1.45	5.7	発泡痕あり。メタル痕なし。
	1	67	T6	3-堅穴108 埋土	鉄製品	刀子(茎)	[3.7]	[1.55]	0.35	5.8	刀子の関～基部か?
	1	70	T7	4-堅穴30他 埋土	鉄製品	不定形鉄片	[2.2]	[3.6]	0.9	15.7	折れ曲がっている。断面は長方形を呈し、やや厚手。
	1	73	T8	21-堅穴18他	鉄製品	棒状鉄片	[8.7]	[1.05]	0.45	10.7	
88	1	73	T9	21-堅穴18他	鉄製品	釘	3.6	0.45	0.4	1.5	丸釘
	1	80	T10	10-堅穴210 埋土	鉄製品	鉄滓	[3.3]	[2.6]	1.8	17.3	酸化土砂薄く付着。木質痕あり。
88	1	83	T11	3-堅穴40 埋土	鉄製品	鉈?	[16.05]	1.2	0.8	36.7	折り曲げ鉄器の可能性あり。
	1	83	T12	3-堅穴40 埋土	鉄製品	棒状鉄片	[4.8]	0.8	0.35	5.9	
	1	83	T13	3-堅穴40 埋土	鉄製品	棒状鉄片	[3.8]	0.8	0.35	3.6	
88	1	83	T14	3-堅穴40 埋土	鉄製品	棒状鉄片	(14.55)	0.8	0.7	22.6	棒状の鉄器?
	1	87	T15	6-堅穴3 掘方	鉄製品	棒状鉄片	[4.9]	0.6	0.45	3.8	折れ曲がっている。
	1	90	T16	21-堅穴8他	鉄製品	不定形鉄片	(2.8)	(5.2)	(14.5)	50.2	断面は厚手。
88	1	94	T17	10-堅穴301 床面直上	鉄製品	鉄鎌	[18.55]	3.35	0.5	79.1	背部は直線的で、刃部は曲刀。基部は折り返している。断面はやや膨らみのある二等辺三角形を呈す。
88	1	108	T18	3-堅穴50 埋土	鉄器	鉄鎌	[4.9]	[1.9]	0.45	7.7	腸状三角形鎌である。逆刺部と切先、基部は欠損している。鎌身は平造りで、基部断面は方形である。
	1	158	T19	12-SD35	鉄製品	丸釘	[11.4]	0.7	0.8	9.5	丸釘, 大型品
	1	170	T20	24-SK2	鉄製品	棒状鉄片	[4.2]	0.4	0.35	3.6	
88	2	32	T21	14-堅穴21 埋土	鉄器	鉄鎌	[14.0]	0.7	0.4	19.4	長頸鎌である。鎌身は長三角形を呈する。刃部は片減りしている。関部は欠損している。
	2	34	T22	14-堅穴2 埋土	鉄製品	鉄滓	[7.6]	[6.6]	2.7	174.1	木質痕(1ヶ),発泡痕あり。メタル痕なし。
88	2	39	T23	14-堅穴30 埋土	鉄製品	刀子	10.55	2.1	a-0.3 b-1.65 c-0.6	42.2	ほぼ全体が残っており、刃部長7.4cm,茎長3.0cmを測る。両関で直角関。茎には径2.0cm,幅1.5cmの木柄が装着されている。
	2	51	T24	14-堅穴12 床面直上	鉄製品	鉄滓	[2.85]	[2.3]	2.45	18.0	酸化土砂付着。
88	2	82	T25	14・27-SD70 上層	鉄製品	鈎針	[2.3]	[1.35]	0.3	2.4	小型「し」の字状の単式鈎針である。針先に鎌は無し。
	2	82	T26	14・27-SD70 上層	鉄製品	棒状鉄片	[3.85]	0.6	0.3	2.5	
	2	93	T27	14-SK378	鉄製品	棒状鉄片	[4.7]	[0.7]	0.4	3.2	
	2	158	T28	中央区画 包含層	鉄製品	刀子	[7.9]	1.55	0.6	20.3	小型品で、切先・茎尻を欠く。片関でなで肩関。刃部をもつ。
	2	158	T29	居館区画 包含層	鉄製品	鉄滓	[4.9]	[3.2]	1.1	24.5	酸化土砂薄く付着。木質痕,発泡痕あり。メタル痕なし。
88	2	158	T30	中央区画 鋤溝	鉄製品	鉄鎌	[13.55]	[3.8]	0.25	54.8	背部・刃部ともに曲線的で、切先と基部は欠損している。断面は扁平である。
88	2	158	T31	中央区画 重機掘削	鉄製品	火打金or 三角形鉄片	3.6	(7.7)	0.6	48.4	
	2	158	T32	中央区画 鋤溝	鉄製品	釘	[5.7]	0.8	0.7	3.8	丸釘
	2	158	T33	居館区画 包含層	鉄製品	釘	[3.8]	0.6	0.3	1.7	角釘
88	-	-	T34	10-SP14	鉄製品	不明	-	-	-	-	写真のみ



第3～6調査区 全景（北東から）



第3～6調査区 全景（南西から）

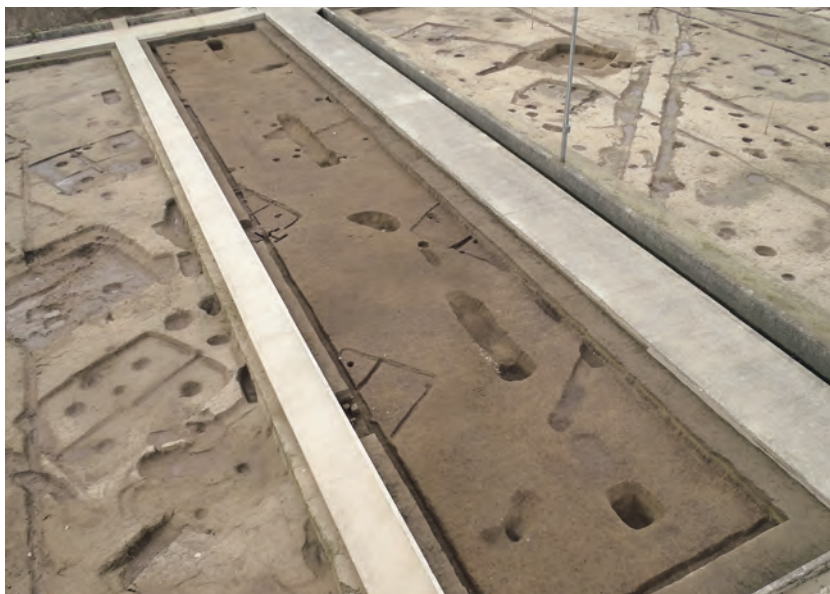
遺構写真図版
2



第3・4調査区 全景（北東から）



第6・7調査区 作業風景（北西から）



第7調査区 全景（北東から）



第8・9調査区 全景（北東から）



第11調査区 全景（南西から）



第10調査区 西半全景（南西から）



第10調査区 東半全景（東から）



第12調査区 全景（南から）



第13調査区 全景（東から）



第20調査区 全景（東から）



第21調査区 全景（北から）



第22調査区 全景（北から）



第 23 調査区 全景 (北から)



第 24 調査区 全景 (北から)



9-SD205 全景 (南から)



第42調査区 全景（南から）



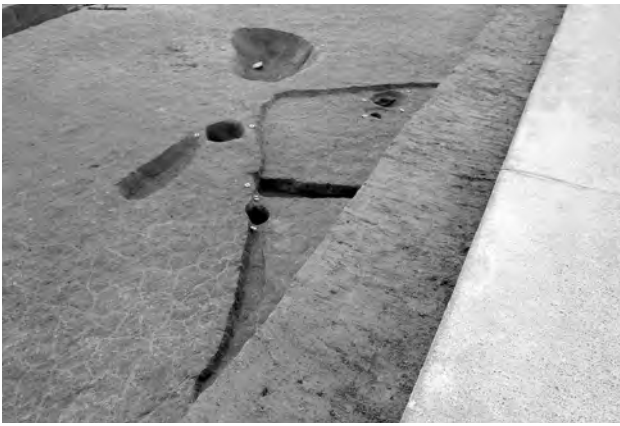
第43調査区 全景（南から）



第44調査区 全景（南から）



第45調査区 全景（南から）



7- 竪穴5 (北西から)



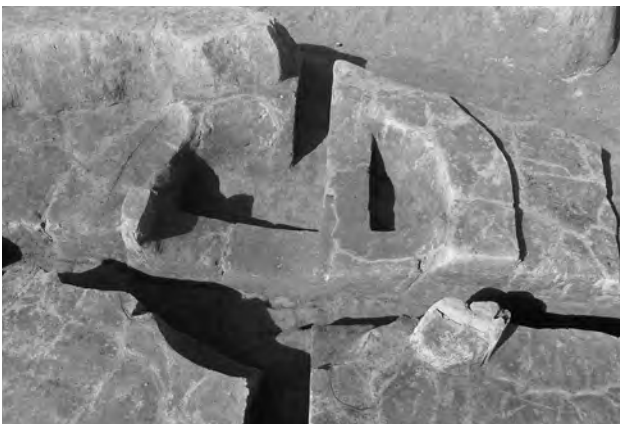
42- 竪穴5 (南西から)



6- 竪穴8 (南東から)



6- 竪穴8 遺物出土状況 (南から)



6- 竪穴8 カマド完掘状況 (南から)



6- 竪穴7 (南から)



6- 竪穴7 カマド遺物出土状況 (南から)



6- 竪穴7 カマド完掘状況 (南から)



23- 竪穴8 (南東から)



8- 竪穴1 (南から)



8- 竪穴1 遺物出土状況 (南から)



8- 竪穴1 カマド完掘状況 (南から)



8- 竪穴4 (東から)



8- 竪穴4 カマド遺物出土状況 (南から)



8- 竪穴4 カマド完掘状況 (南から)



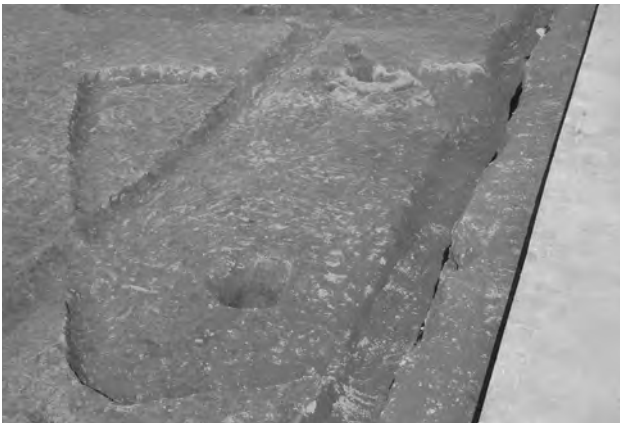
8- 竪穴4 遺物出土状況 (西から)



3- 竪穴 55・竪穴 35 (南西から)



3- 竪穴 55 カマド遺物出土状況 (南から)



6- 竪穴 6 (南から)



23- 竪穴 6 (南から)



6- 竪穴 6 カマド完掘状況 (南から)



23- 竪穴 6 SK 3 遺物出土状況 (南から)



21- 竪穴 10 (東から)



6- 竪穴 1 (東から)



10- 竪穴 90 (西から)



10- 竪穴 90 カマド完掘状況 (南から)



3- 竪穴 45 (南東から)



3- 竪穴 45 カマド遺物出土状況 (南から)



3- 竪穴 45 遺物出土状況 (北西から)



3- 竪穴 45 遺物出土状況 (南西から)



6- 竪穴 2 (南から)



6- 竪穴 2 カマド完掘状況 (南から)



10- 竪穴 110 (東から)



10- 竪穴 110 カマド遺物出土状況 (南から)



10- 竪穴 110 北西部遺物出土状況 (北から)



45- 竪穴 5 (南から)



10- 竪穴 201 (南から)



10- 竪穴 201 カマド完掘状況 (南から)



6- 竪穴 9 (南東から)



6- 竪穴 9 カマド完掘状況 (南から)



7- 竪穴7 (北東から)



7- 竪穴7 カマド完掘状況 (南から)



24- 竪穴7 (南東から)



8- 竪穴2 (南から)



8- 竪穴2 カマド断面 (南から)



21- 竪穴20 (南から)



21- 竪穴20 カマド完掘状況 (南から)



5- 竪穴 30 (南から)



5- 竪穴 30 カマド遺物出土状況 (南から)



22- 竪穴 7 (西から)



10- 竪穴 310 掘方 (南から)



10- 竪穴 310 カマド遺物出土状況 (南から)



4- 竪穴 99 (東から)



10-SK 2 (東から)



3- 竪穴 108 (南東から)



3- 竪穴 108 カマド完掘状況 (南東から)



22- 竪穴 6 (南から)



4- 竪穴 30 (南西から)



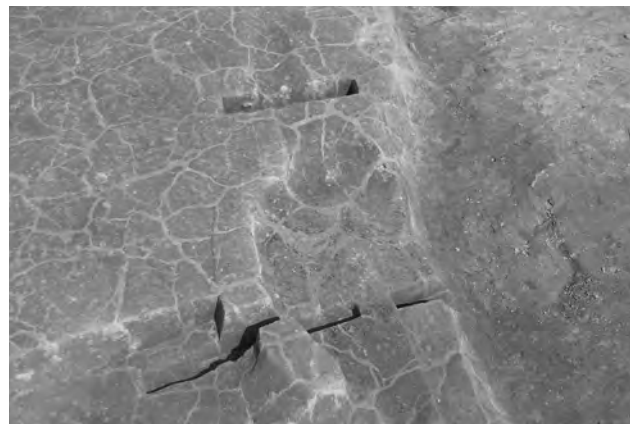
4- 竪穴 18 (南西から)



21- 竪穴 18 (南東から)



3- 竪穴 35 (南東から)



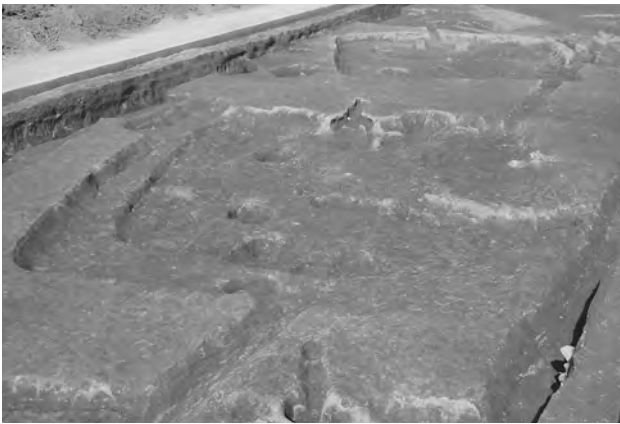
21- 竪穴 18 カマド完掘状況 (南から)



5- 竪穴 1 (南西から)



5- 竪穴 1 カマド完掘状況 (南から)



6- 竪穴 3・40 (南東から)



6- 竪穴 3 カマド完掘状況 (南から)



3- 竪穴 110・4- 竪穴 122 (南から)



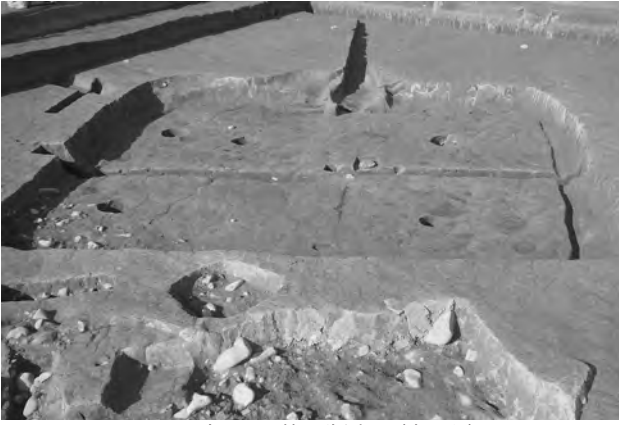
3- 竪穴 34 (南東から)



21- 竪穴 8 (南東から)



21- 竪穴 8 カマド完掘状況 (南東から)



10- 竪穴 210 第1生活面 (南から)



10- 竪穴 210 第2生活面 (南から)



3- 竪穴 40 (東から)



23- 竪穴 5 (南東から)



10- 竪穴 210 第1カマド完掘状況 (南から)



10- 竪穴 210 第2カマド完掘状況 (南から)



10- 竪穴 210 須恵器杯蓋 (210) 出土状況 (北から)



3- 竪穴 40 カマド完掘状況 (南から)



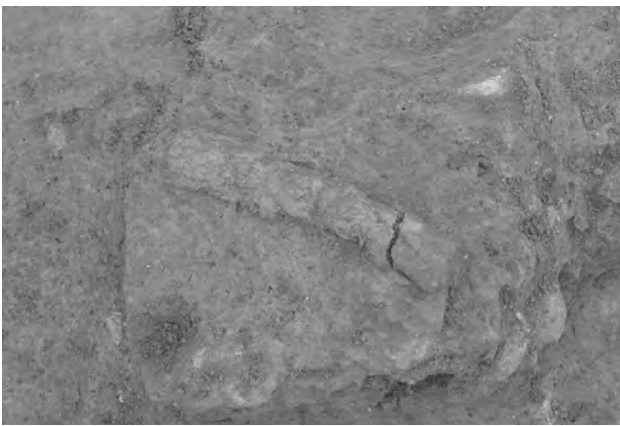
5-SP51 土師器甕 (204) 出土状況 (東から)



10- 竪穴 301 (南から)



10- 竪穴 301 カマド完掘状況 (南から)



10- 竪穴 301 鉄鎌 (T17) 出土状況 (南から)



4- 竪穴 91 (南から)



10- 竪穴 50・30 (南東から)



10- 竪穴 50 カマド完掘状況 (南東から)



10- 竪穴 50 須恵器台付壺 (255) 出土状況 (北から)



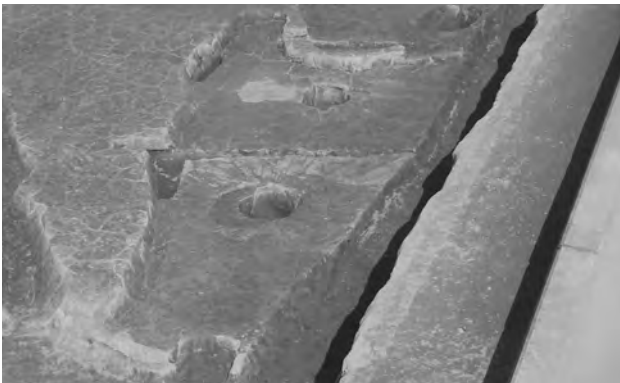
10- 竪穴 50 北東隅遺物出土状況 (北から)



10- 竪穴 60 (北から)



10- 竪穴 60 カマド完掘状況 (南から)



5- 竪穴 35 (南東から)



24- 竪穴 1 (南から)



10- 竪穴 1 (南東から)



10- 竪穴 1 カマド断面 (東から)



21- 竪穴 2 (南から)



21- 竪穴 2 カマド完掘状況 (南から)



3- 竪穴 50 (南西から)



3- 竪穴 50 カマド調査時状況 (南から)



22- 竪穴 1 (南から)



22- 竪穴 1 カマド完掘状況 (南から)



5- 掘立 1 (南東から)



5- 掘立 1 (南東から)



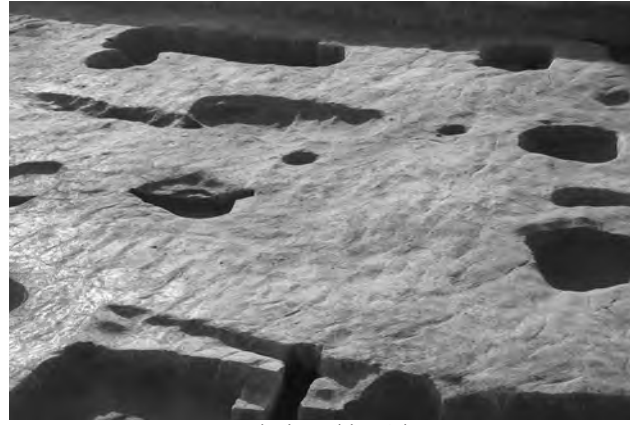
22- 掘立 1 (北西から)



22- 掘立 1 (北西から)



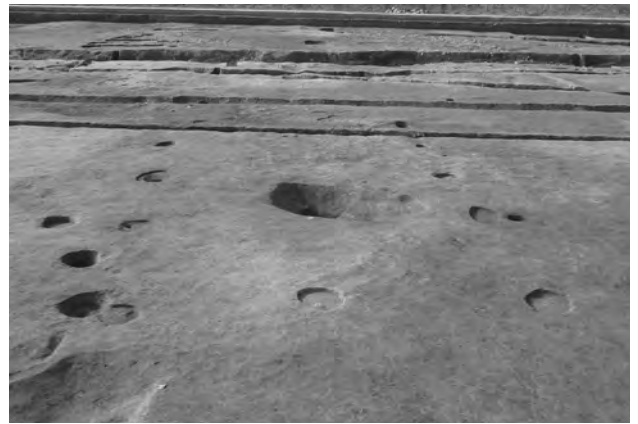
6-掘立1 (南西から)



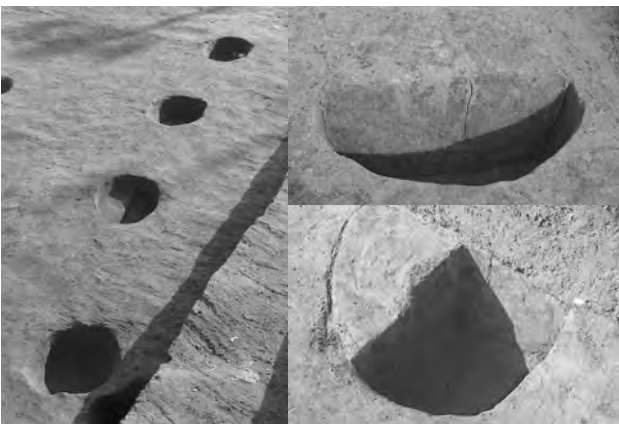
6-掘立1 (東から)



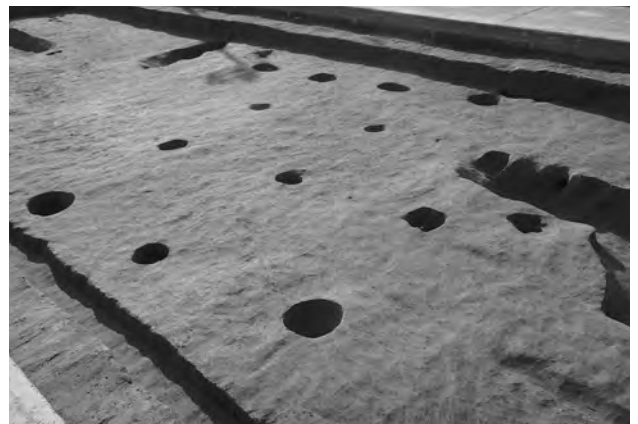
9-掘立1 (南東から)



9-掘立2 (東から)



7-掘立1 (北から)



7-掘立2 (北東から)



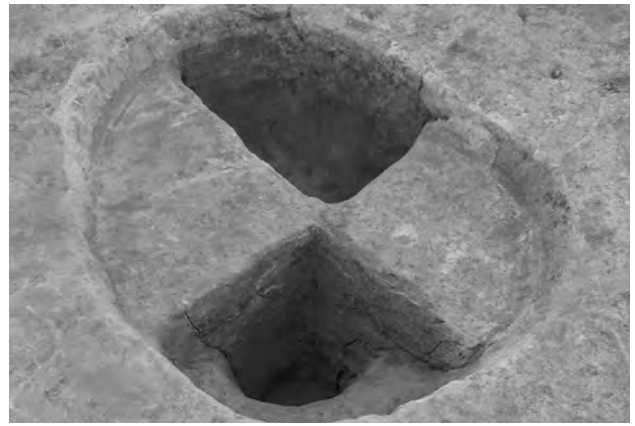
10-掘立2 (北西から)



10-掘立1 (北から)



4-掘立1 (西から)



4-掘立1 SP33 断面 (北西から)



4-掘立1 SP34 断面 (南から)



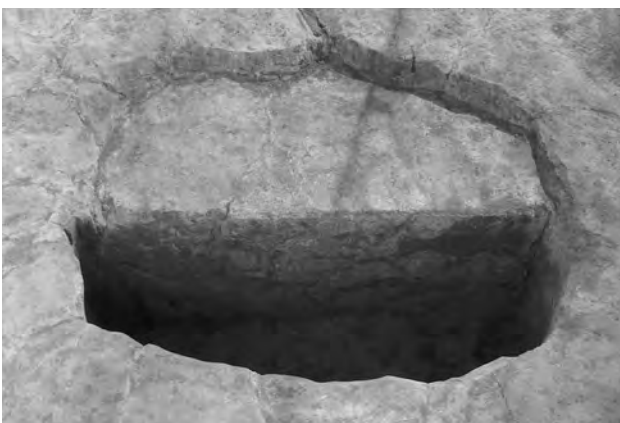
4-掘立1 SP41 断面 (南西から)



4-掘立1 SP42 断面 (西から)



4-掘立1 SP81 断面 (北から)



4-掘立1 SP39 断面 (北から)



4-掘立1 SP36 断面 (北東から)



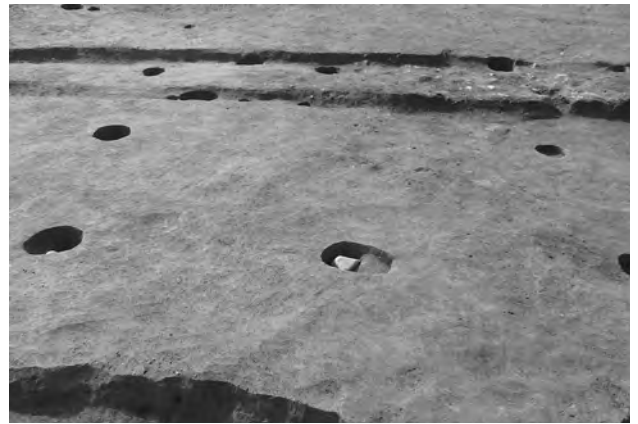
4-掘立1 SP37断面 (東から)



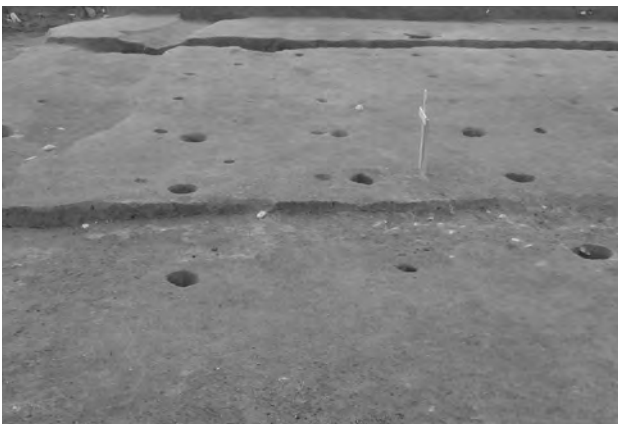
4-掘立1 SP38断面 (北から)



10-掘立3 (北西から)



12-掘立1 (東から)



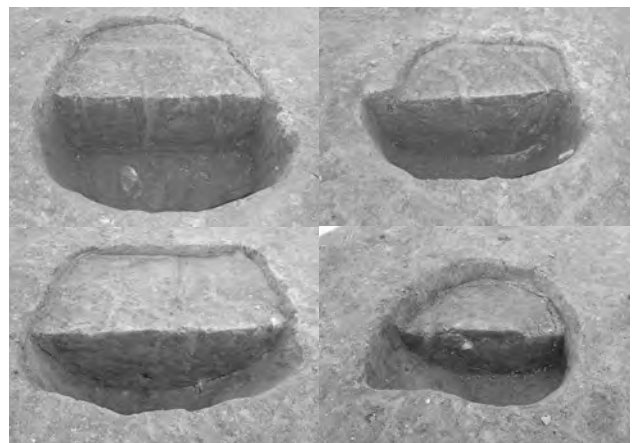
12-掘立2 (東から)



3-柵列1 (北東から)



11-柵列1 (東から)



5-柵列1 断面 (南から)



4-SD 3 断面 (東から)



3-SD 1 断面 (東から)



4-SD 3 遺物出土状況 (南から)



4-SD 3 遺物出土状況 (南から)



3・4-SD23 断面 (南西から)



5-SD49 断面 (南東から)



5-SD52 断面 (北西から)



7-SD 1 断面 (東から)



6-SD11 a断面 (南東から)



23-SD11 d断面 (西から)



8-SD 5 ①断面 (南西から)



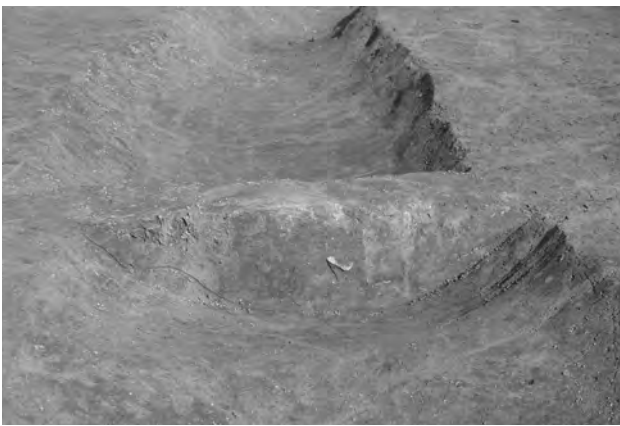
9-SD 5 ②断面 (南西から)



8-SD 3 ①断面 (北東から)



8-SD 6 a断面 (南から)



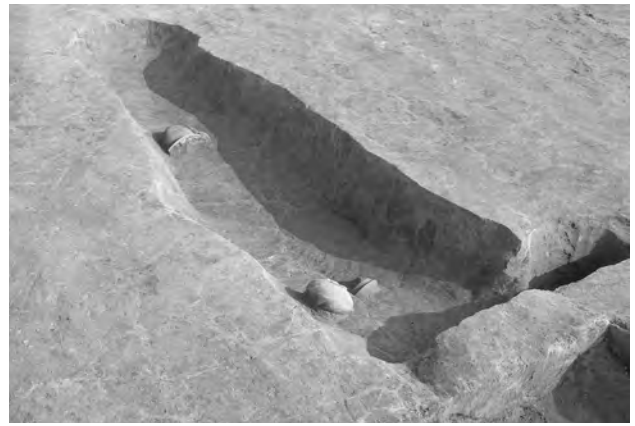
8-SD 6 c断面 (南から)



8-SD 6 d断面 (北から)



8-SD 7 断面 (東から)



8-SD 7 遺物出土状況 (西から)



9-SD 6 a断面 (北から)



9-SD 6 c断面 (北から)



9-SD 6 全景 (南東から)



9-SD200 a断面 (南から)



9-SD200 b断面 (南から)



9-SD110 b断面 (南から)



9-SD115 断面 (北から)



9-SD216 断面 (南から)



9-SD222 断面 (西から)



9-SD117 b 断面 (南西から)



9-SD117 c 断面 (南から)



9-SD117 d 断面 (南から)



9-SD117 全景 (北から)



9-SD117 遺物出土状況 (東から)



11-SD 7 b断面 (西から)



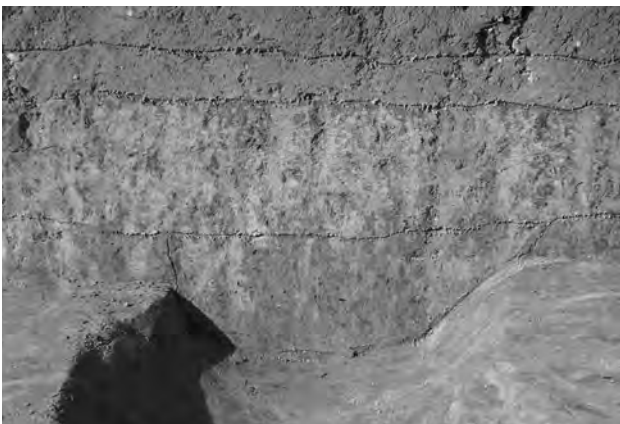
11-SD 7 c断面 (東から)



45-SD 4 断面 (西から)



10-SD202 断面 (北から)



10-SD216 断面 (東から)



11-SD12 c断面 (南から)



11-SD 9 b断面 (南西から)



11-SD 8 a断面 (北西から)



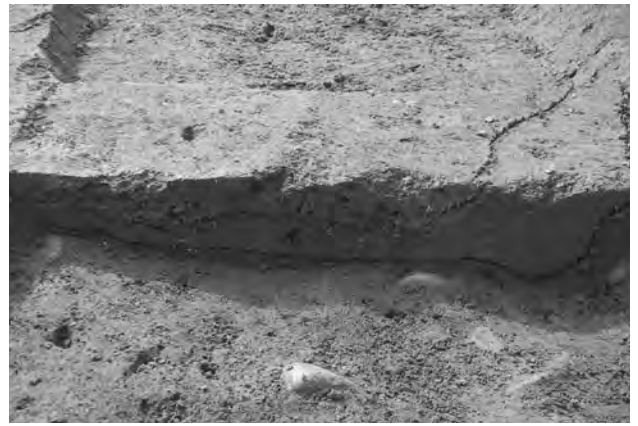
12-SD22 断面 (北から)



12-SD25 断面 (北から)



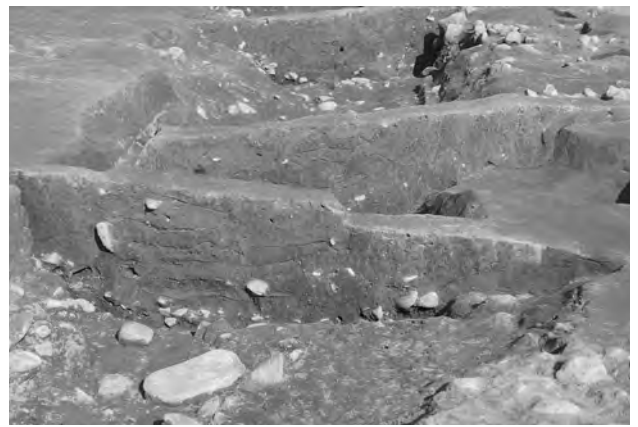
12-SD26 完掘状況 (南から)



12-SD26 b 断面 (北から)



9-SD205 a 断面 (南から)



9-SD205 b 断面 (南から)



9-SD205 c 断面 (南から)



9-SD205 d 断面 (南から)



9-SD205 e断面 (南から)



9-SD205 f断面 (南から)



9-SD205 完掘状況 (南から)



11-SD 2 断面 (南から)



11-SD 1 断面 (南から)



11-SD 3 断面 (南から)



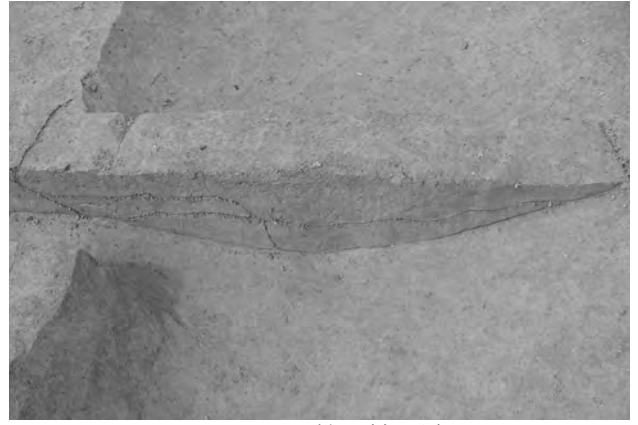
11-SD 4 断面 (南から)



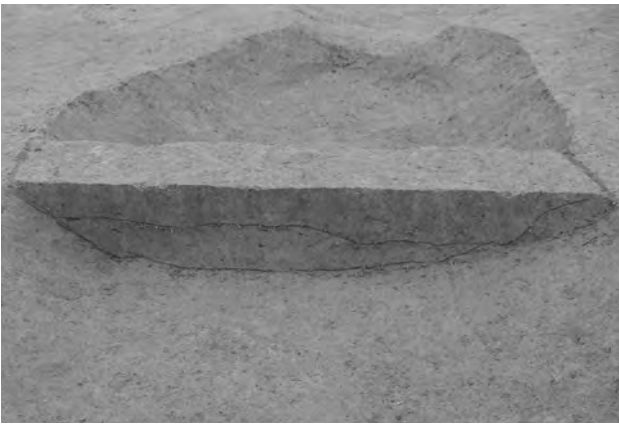
13-SD 1 断面 (東から)



13-SD 2 a断面 (東から)



13-SD 2 b断面 (東から)



13-SD 3 a断面 (東から)



13-SD 3 b断面 (東から)



3-SK 3 断面 (西から)



3-SK28 断面 (南から)



3-SK102 断面 (南西から)



3-SK29 断面 (西から)



3-SK101 断面 (南から)



3-SK106・107 断面 (西から)



3-SK37 断面 (西から)



4-SK100 断面 (西から)



21-SK19 断面 (南東から)



4-SK25 断面 (西から)



4-SK102 断面 (西から)



4-SK105 断面 (南から)



21-SK 1 断面 (北から)



4-SK107 断面 (西から)



4-SK50 断面 (南から)



4-SK120 断面 (西から)



21-SK 7 断面 (西から)



5-SK11 断面 (南から)



4-SK 2 断面 (北から)



4-SK 2 遺物出土状況 (南から)



5-SK67 断面 (南西から)



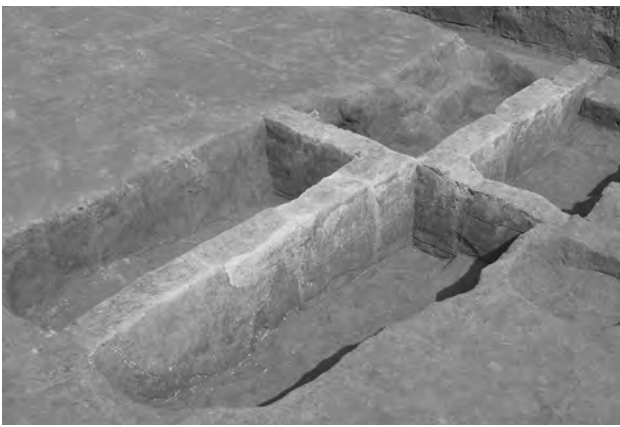
5-SK68 断面 (西から)



5-SK53 断面 (東から)



22-SK 2 断面 (北西から)



6-SK12 断面 (南東から)



6-SK15 断面 (南から)



6-SK45 断面 (南東から)



6-SK39 断面 (南東から)



6-SK14 断面 (北西から)



6-SK10 断面 (東から)



6-SK18 断面 (南から)



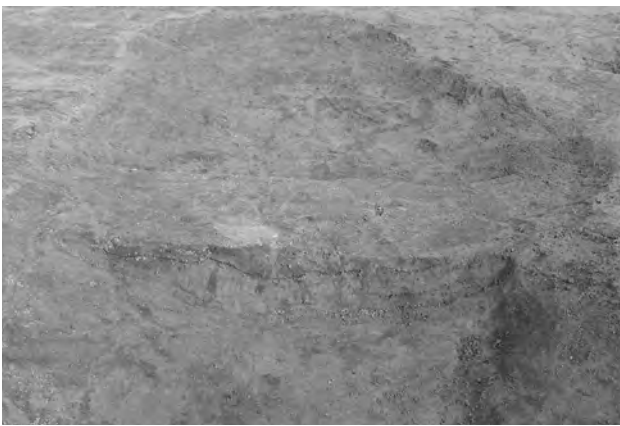
24-SK 5 断面 (南西から)



24-SK 6 断面 (南から)



6-SK24 断面 (南から)



6-SK29 断面 (南から)



23-SK 1 断面 (西から)



24-SK25 断面 (西から)



24-SK13 断面 (西から)



24-SK14 断面 (南から)



24-SK 2 断面 (西から)



6-SK46 断面 (北東から)



24-SK 8 断面 (東から)



24-SK11 断面 (北西から)



6-SK13 断面 (東から)



24-SK10 断面 (西から)



7-SK 6 断面 (南東から)



7-SK28 断面 (東から)



7-SK33 断面 (北から)



7-SK48 断面 (東から)



7-SK13 断面 (東から)



8-SK 8 断面 (西から)



8-SK16 断面 (東から)



9-SK 1 断面 (南から)



9-SK 2 断面 (南から)



9-SK 4 断面 (西から)



9-SK40 断面 (南西から)



43-SK 2 断面 (東から)



9-SK 5 断面 (北東から)



9-SK106 断面 (南から)



9-SK202 断面 (東から)



9-SK207 断面 (西から)



9-SK219 断面 (西から)



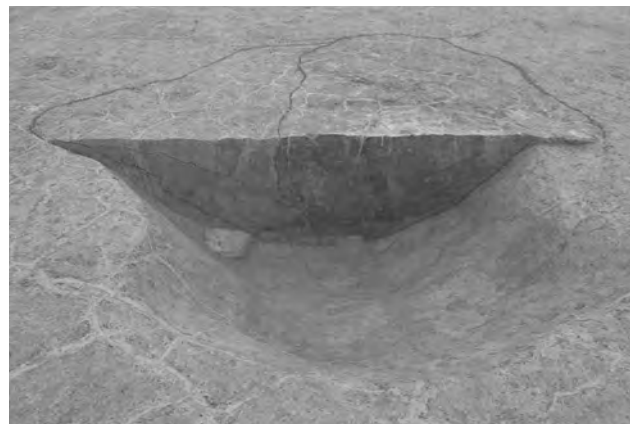
10-SK 3 断面 (東から)



10-SK55 断面 (北から)



10-SK10 断面 (南東から)



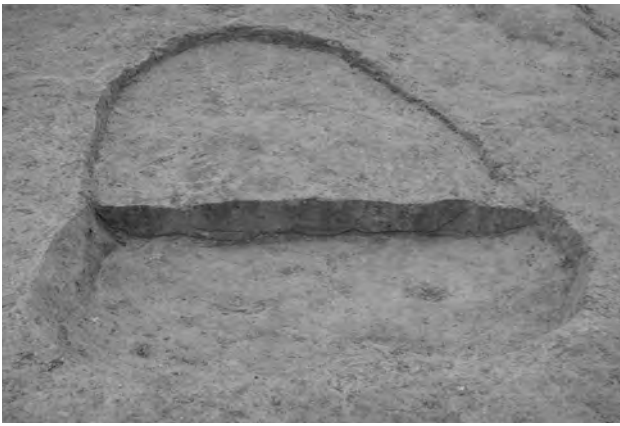
10-SK31 断面 (北から)



10-SK57 断面 (北西から)



10-SK52 断面 (南から)



10-SK58 断面 (南から)



10-SK106 断面 (東から)



10-SK111 a 断面 (西から)



10-SK124 b 断面 (南から)



10-SK112 断面 (南から)



10-SK112 (西から)



10-SK128 断面 (南から)



10-SK207 全景 (南から)



10-SK207 断面（西から）



10-SK132 断面（北西から）



10-SK208 断面（北から）



10-SK311 断面（北東から）



10-SK312 断面（東から）



11-SK 6 断面（東から）



11-SK11 断面（南から）



11-SK29 断面（南東から）



11-SK30 断面 (南から)



11-SK15 断面 (南から)



11-SK31 断面 (東から)



12-SK 8 断面 (東から)



12-SK42 断面 (南東から)



12-SK 1 断面 (南から)



12-SK 2 断面 (東から)



13-SK 6 断面 (西から)



13-SK 4 断面 (北西から)



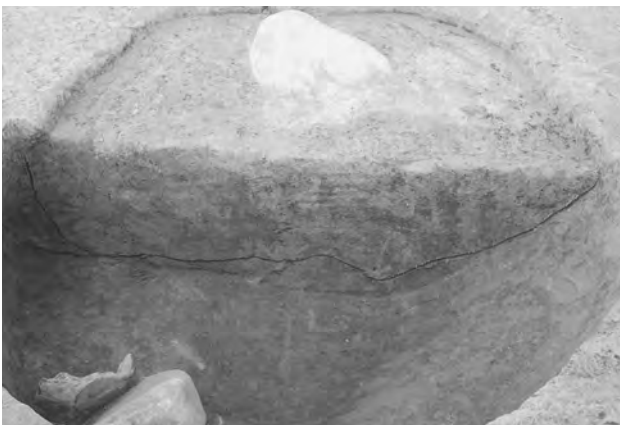
13-SK 4 全景 (南から)



13-SK12 断面 (南から)



13-SK12 遺物出土状況 (南から)



20-SK 7 断面 (南から)



20-SK10 断面 (南から)



9-SK 7 断面 (南西から)



9-SX126 断面 (南東から)



第14調査区 全景1回目（南西から）



第14調査区 全景2回目（北西から）



第14調査区 全景3回目（北西から）



第27調査区 全景（北から）



第 27 調査区 南半全景 (北から)



14- 竪穴 1 (南西から)



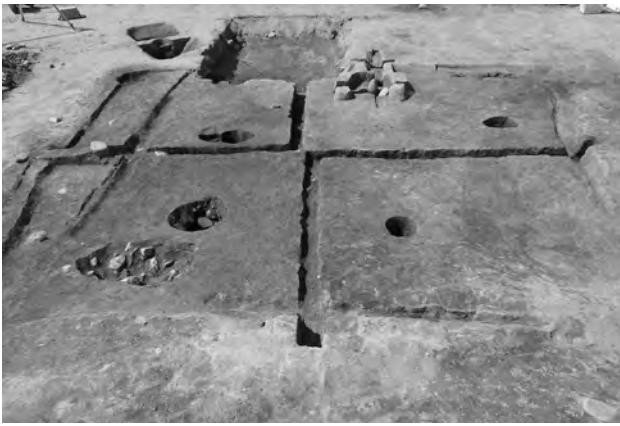
14- 竪穴 1 カマド完掘状況 (南西から)



14- 竪穴 2 (南西から)



14- 竪穴 2 カマド完掘状況 (南から)



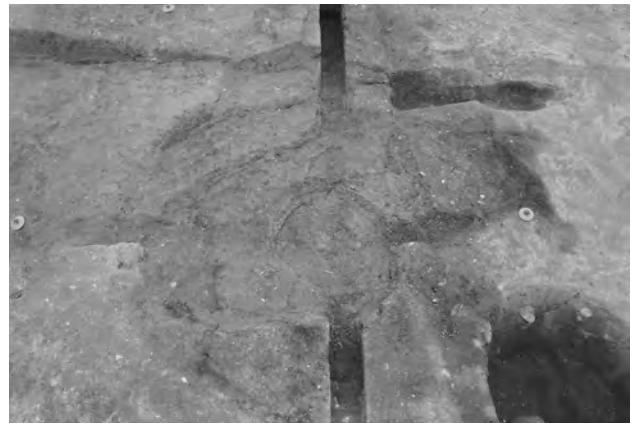
14- 竪穴4 (東から)



14- 竪穴4 カマド完掘状況 (南から)



14- 竪穴5 (南から)



14- 竪穴5 カマド完掘状況 (南から)



14- 竪穴12 (南東から)



14- 竪穴12 カマド完掘状況 (南から)



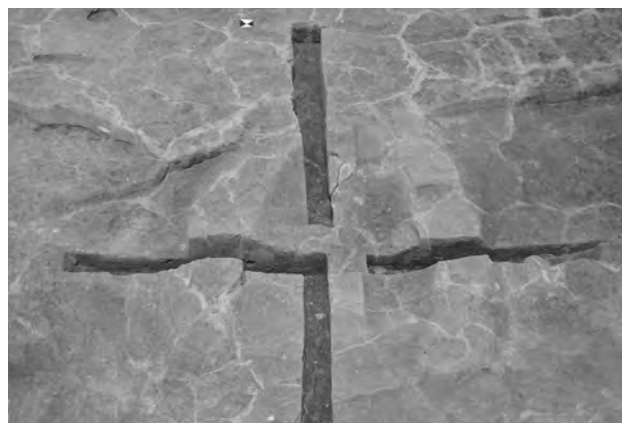
14- 竪穴15 (南東から)



14- 竪穴15 カマド完掘状況 (南から)



14- 竪穴 16 (南東から)



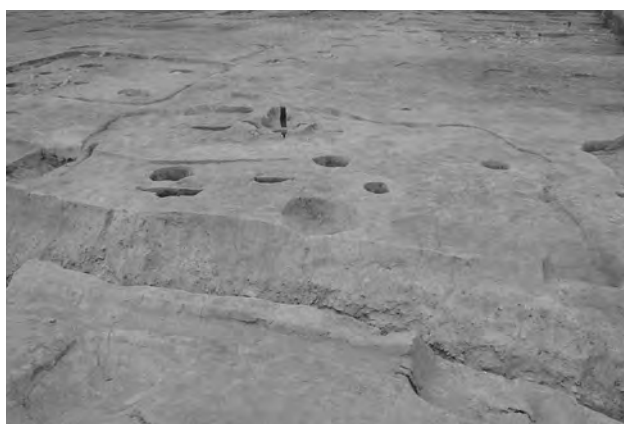
14- 竪穴 16 カマド完掘状況 (南から)



14- 竪穴 18 (南から)



14- 竪穴 18 カマド完掘状況 (南東から)



14- 竪穴 19 (南から)



14- 竪穴 19 カマド完掘状況 (南から)



14- 竪穴 20 (南西から)



14- 竪穴 22 (南から)



14- 竪穴 21 (南東から)



14- 竪穴 21 カマド完掘状況 (南から)



14- 竪穴 23 (南東から)



14- 竪穴 23 カマド完掘状況 (南から)



14- 竪穴 24 (南東から)



14- 竪穴 10 (南から)



14- 竪穴 26 (南西から)



14- 竪穴 25・26・28・29・31 (北東から)



14- 竪穴 29 (南東から)



14- 竪穴 29 カマド完掘状況 (南から)



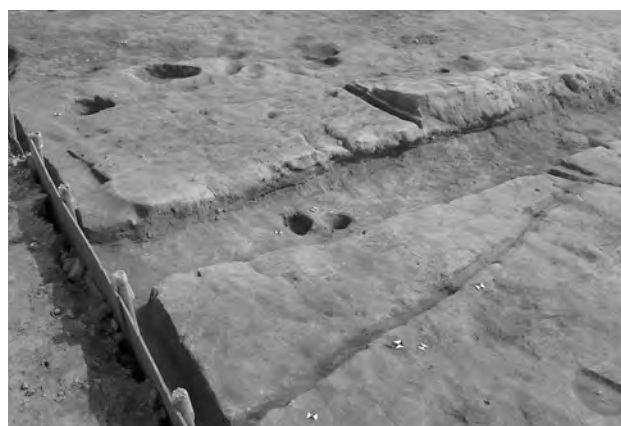
14- 竪穴 30 (南から)



14- 竪穴 30 カマド遺物出土状況 (南から)



14- 竪穴 32 (南から)



14- 竪穴 40 (南西から)



27- 竪穴 1 (南東から)



27- 竪穴 1 カマド完掘状況 (南から)



27- 竪穴 2 (南東から)



27- 竪穴 2 カマド遺物出土状況 (南から)



27- 竪穴 3 (南から)



27- 竪穴 3 カマド完掘状況 (南から)



27- 竪穴 130 (北東から)



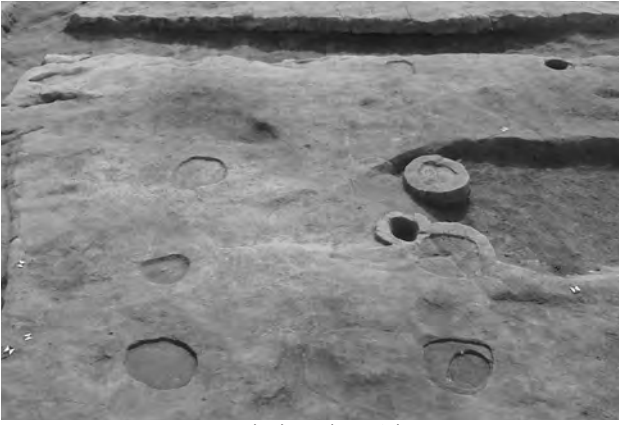
27- 竪穴 140 (北東から)



14- 掘立 1 (南東から)



14- 掘立 10 (南東から)



14- 掘立3 (西から)



14- 掘立6 (東から)



14- 掘立7 (東から)



27- 掘立16 (南から)



14- 掘立2 (西から)



27- 掘立 1 断面 (南から)



14- 掘立 11 SP418 遺物出土状況 (東から)



14- 掘立 14 SP383 断面 (南から)



14- 掘立 9 SP291 断面 (東から)



14- 掘立 9 SP292 断面 (東から)



14- 掘立 9 SP293 断面 (東から)



14- 掘立 9 SP289 断面 (西から)



14- 掘立 9 SP295 断面 (西から)



14- 掘立 9 SP294 断面 (西から)



14-SD 1 c断面 (東から)



14-SD 2 a断面 (東から)



14-SD 1・2 b断面 (南から)



14-SD 3 断面 (東から)



14-SD46 断面 (東から)



14-SD53 断面 (東から)



14-SD60 a断面 (西から)



14-SD60 b断面 (西から)



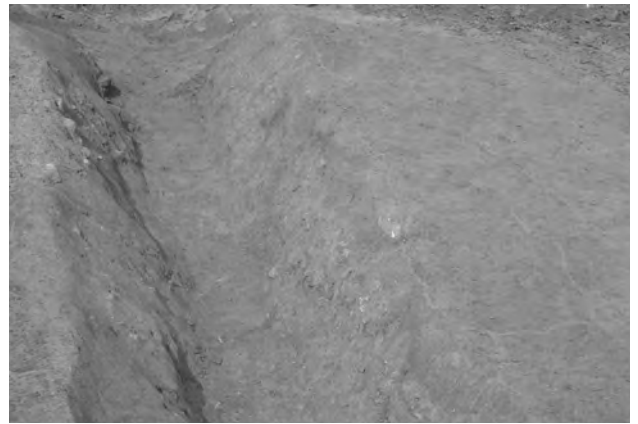
14-SD39 a断面 (西から)



14-SD39 b断面 (西から)



14-SD39 全景 (東から)



27-SD139 全景 (東から)



14-SD29 断面 (東から)



14-SD70 a断面 (西から)



14-SD70 b断面 (西から)



14-SD70 c断面 (西から)



14-SD70 d 断面 (西から)



14-SD70 e 断面 (北から)



14-SD70 f 断面 (南から)



14-SD70 g 断面 (南から)



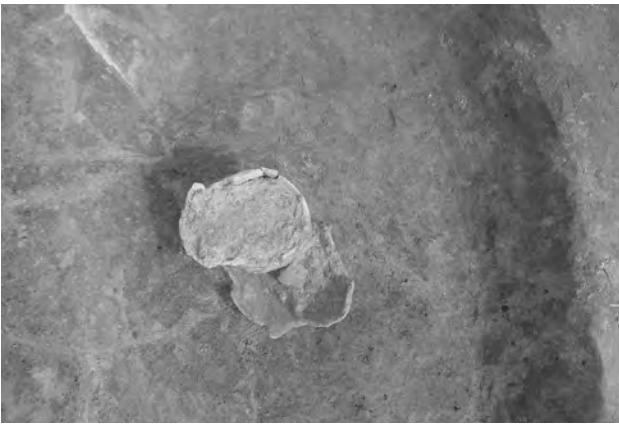
14-SD70 (南西から)



14-SD380 a断面 (南から)



27-SD12 断面 (西から)



27-SD12 遺物出土状況 (東から)



14-SK55 断面 (北西から)



14-SK5 断面 (南から)



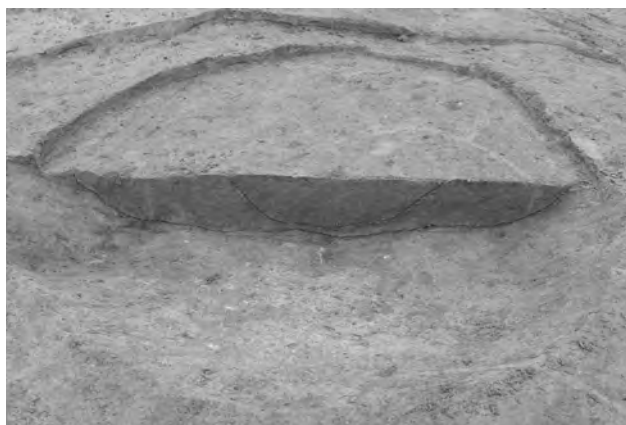
14-SK22 断面 (東から)



14-SK24 断面 (南から)



14-SK52 断面 (南から)



14-SK54 断面 (南西から)



14-SK57 断面 (西から)



14-SK77 断面 (北から)



14-SK80 断面 (東から)



14-SK84 断面 (西から)



14-SK98 断面 (東から)



14-SK155 断面 (西から)



14-SK160 断面 (東から)



14-SK176 断面（東から）



14-SK180 断面（北西から）



14-SK234 断面（南から）



14-SK238 断面（南西から）



14-SK229 断面（南から）



14-SK235 断面（北から）



14-SK260 断面（北東から）



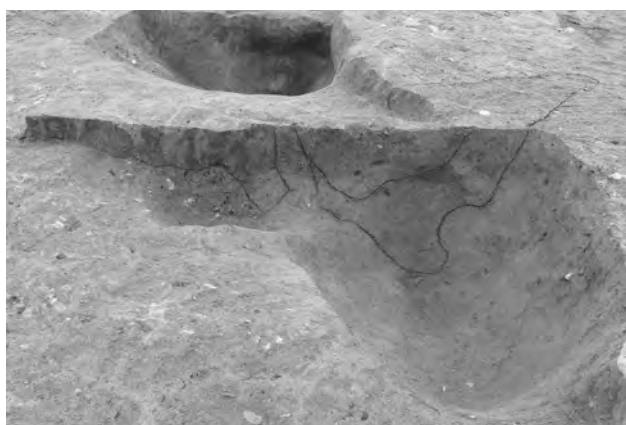
14-SK272 断面（南西から）



14-SK275 断面（南東から）



14-SK278 断面（南東から）



14-SK284・285 断面（東から）



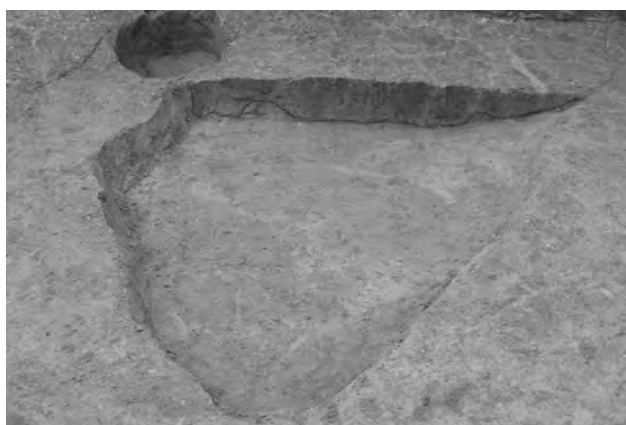
14-SK286 断面（西から）



14-SK319 断面（西から）



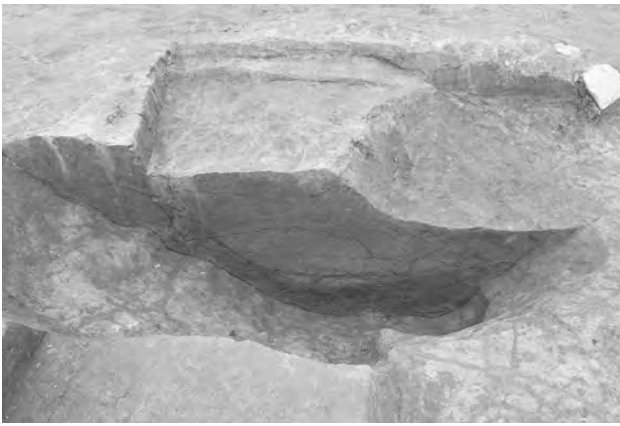
14-SK288 断面（東から）



14-SK322 断面（南から）



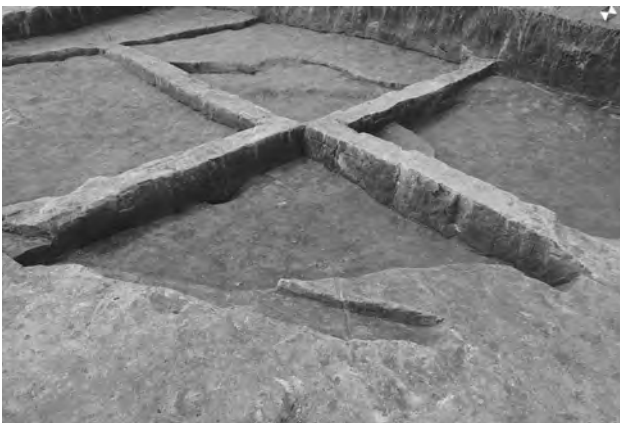
14-SK324 断面（西から）



14-SK325 断面（南から）



14-SK378 断面（南から）



14-SK399 断面（南東から）



14-SK401 断面（南から）



14-SK404 断面（西から）



14-SK406 断面（南から）



14-SK407 断面（西から）



14-SK410 断面（西から）



第 28 調査区 全景 (南から)



28- 竪穴 4・30 (南から)



28- 竪穴 4 カマド完掘状況 (西から)



第 29 調査区 東半全景（東から）



第 29 調査区 西半全景（東から）



第 36 調査区 全景（東から）



第 47 調査区 全景（西から）



第30調査区 全景（北東から）



第30調査区 追加全景（北から）



第31調査区 全景（北から）



第34調査区 全景（南から）



第32調査区 西半全景（西から）



第32調査区 東半全景（北東から）



第 35 調査区 全景（北東から）



第 33 調査区 全景（東から）



第 37 調査区 全景（北から）



第 38 調査区 全景 (東から)



第 40 調査区 全景 (南東から)



第 46 調査区 全景 (南西から)



第39調査区 全景（北から）



第41調査区 全景（南から）



28- 竪穴 1 (南から)



28- 竪穴 30 カマド完掘状況 (南から)



28- 竪穴 3 (南から)



28- 竪穴 3 カマド完掘状況 (南から)



28- 竪穴 6 (南から)



29- 竪穴 50 (北から)



29- 竪穴 20 (東から)



29- 竪穴 20 カマド完掘状況 (北から)



29- 竪穴 30 (西から)



46- 竪穴 35 (南西から)



46- 竪穴 12 (南から)



46- 竪穴 1 (南から)



46- 竪穴 5 (北から)



41- 竪穴 3・4 (南から)



36- 竪穴 12 (南西から)



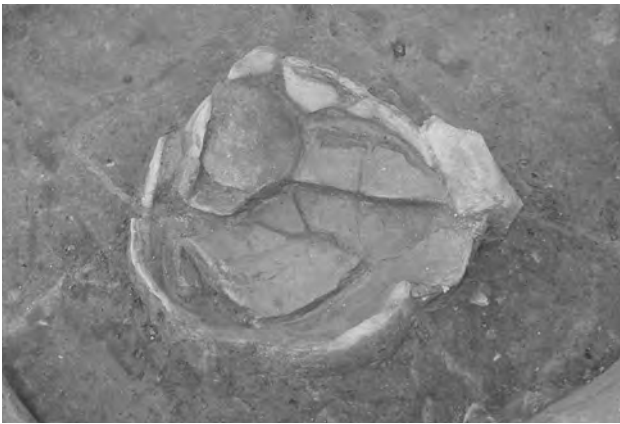
29- 竪穴 45 遺物出土状況 (北から)



29- 竪穴 80 (北西から)



29- 竪穴 80 西側カマド完掘状況 (南から)



29- 竪穴 80 遺物出土状況 (南から)



29- 竪穴 80 東側カマド完掘状況 (南から)



41- 竪穴 1 断面 (西から)



30-SD2 断面 (北から)



30-SD7 断面 (南西から)



30-SD6 断面 (北から)



29-SD35 断面 (東から)



29-SD64 断面 (東から)



29-SD10 断面 (南から)



31-SD1 断面 (東から)



32-SD20 断面 (北から)



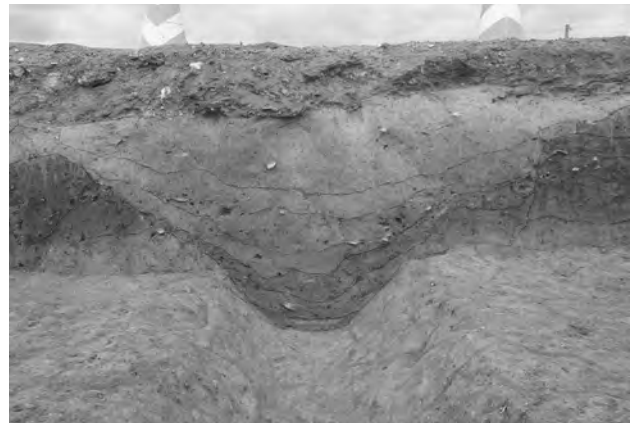
32-SD20 遺物出土状況 (南から)



36-SD10 断面 (南から)



33-SD1・2 断面 (北東から)



41-SD1 断面 (西から)



41-SD1 (東から)



39-SD1 断面 (西から)



28-SD22 断面 (東から)



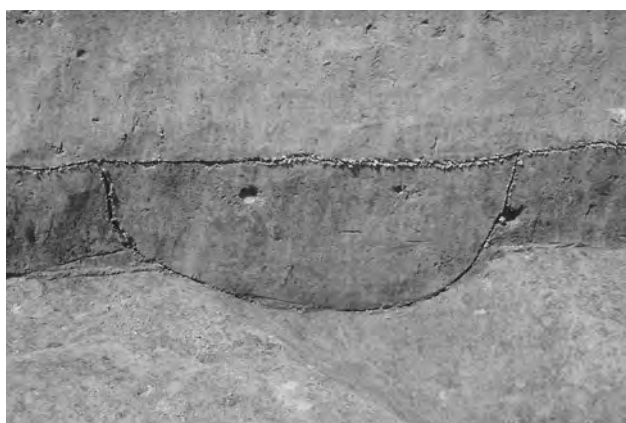
32-SD1 断面 (南から)



32-SD10 断面（北から）



34-SD2 断面（南から）



36-SD1 断面（南から）



36-SD2 a 断面（西から）



36-SD2 b 断面（西から）



36-SD2 c 断面（西から）



36-SD4 断面（南から）



36-SD3 断面（南から）



36-SD5 断面（南から）



36-SD6 断面（南から）



36-SD7 断面（南から）



36-SD8 断面（南から）



36-SD9 断面（南から）



36-SD11 断面（南から）



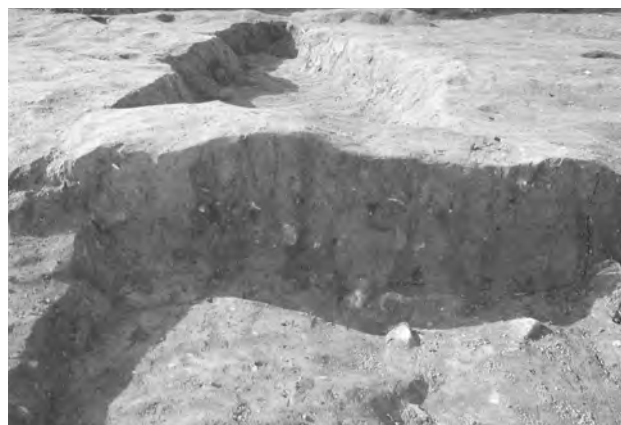
38-SD1 断面（南西から）



38-SD2 断面（南西から）



38-SD3 断面 (南から)



41-SD2 断面 (東から)



46-SD3・4 断面 (南東から)



47-SD1 断面 (南から)



28-SK5 断面 (南から)



29-SK1 断面 (北から)



29-SK11 断面 (北から)



29-SK12 断面 (南から)



29-SK14 断面 (南から)



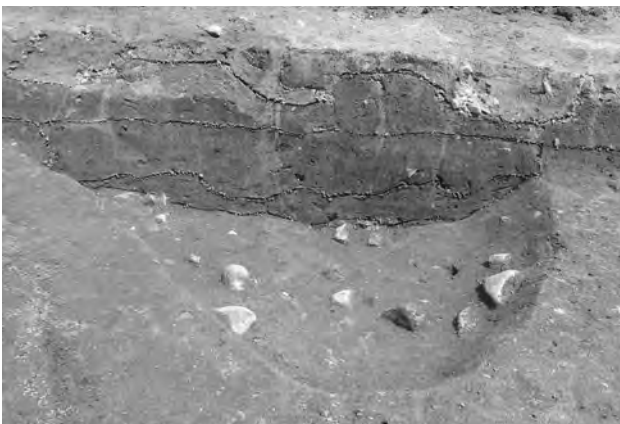
29-SK15 断面 (南から)



29-SK16 断面 (北から)



29-SK17 断面 (東から)



29-SK18 断面 (南から)



29-SK19 断面 (南から)



29-SK21 断面 (東から)



29-SK19 遺物出土状況 (南から)



29-SK33 断面 (南から)



29-SK36 断面 (南から)



29-SK51 断面 (南から)



29-SK58 断面 (南から)



29-SK65 断面 (南から)



29-SK66 断面 (南西から)



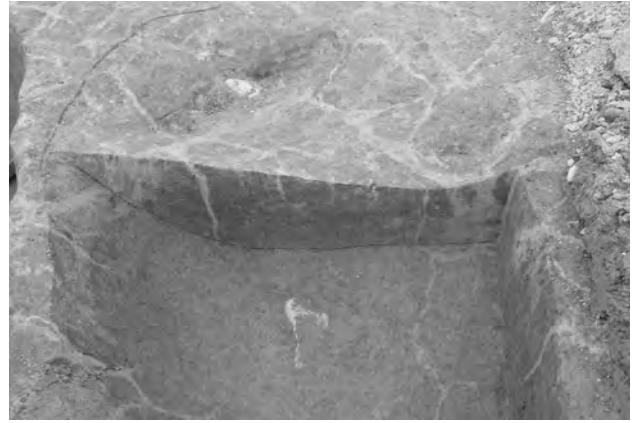
30-SK 5 断面 (北から)



32-SK 2 断面 (南東から)



32-SK 3 断面 (南から)



32-SK12 断面 (東から)



32-SK13 断面 (南西から)



32-SK15 断面 (東から)



34-SK 4 断面 (南から)



34-SK 5 断面 (西から)



37-SK 1 断面 (西から)



37-SK 2 断面 (東から)



39-SK 2 断面 (東から)



46-SK 6 断面 (西から)



46-SK10 断面 (南から)



第1回現地説明会



第2回現地説明会



第3回現地説明会



親子文化財教室の様子



現地説明会における遺物の公開風景



第9調査区 噴礫確認状況（東から）



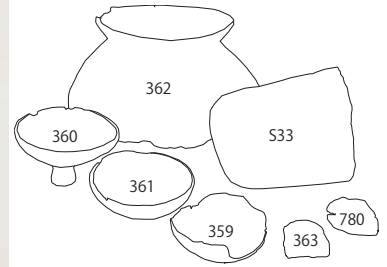
第5調査区 噴礫確認状況（西から）



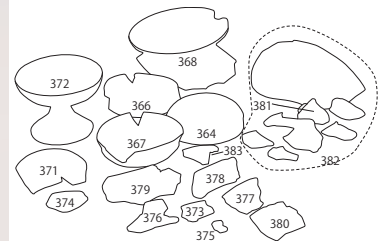
第7調査区 噴礫確認状況（西から）



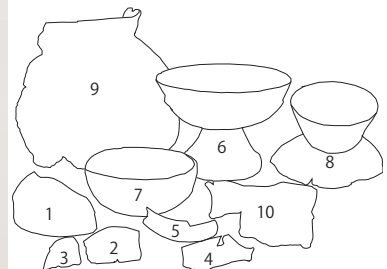
出土遺物集合



14- 竪穴 1 出土遺物

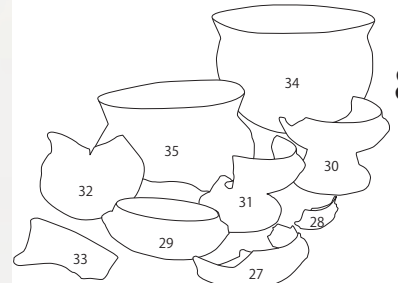


14- 竪穴 22 出土遺物

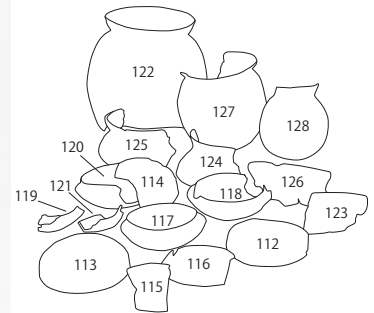


7- 竪穴 5 出土遺物

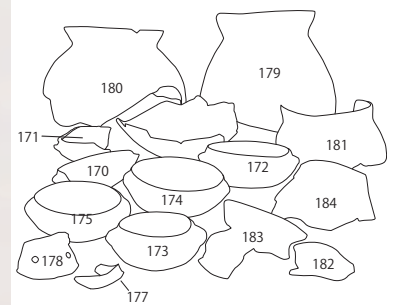
竪穴建物 出土遺物 (～T K 208 型式)



6- 竪穴 7 出土遺物

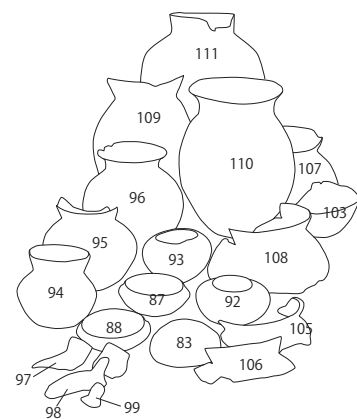


10- 竪穴 110 出土遺物

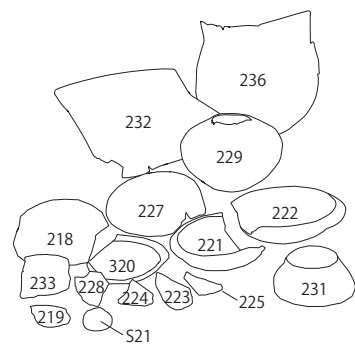


3- 竪穴 108 出土遺物

竪穴建物 出土遺物 (TK 23 ~ TK 10 型式)



3- 竪穴 45 出土遺物



6- 竪穴 3 出土遺物

竪穴建物 出土遺物 (TK 10 ~ TK 209 型式)



石器・石製品・紡錘車



玉類



土錘



鉄滓他



鉄製品



7- 竪穴 5 (1・6~9)・6- 竪穴 1(11) 出土遺物



6- 竖穴 8 出土遺物



6- 竖穴 7 出土遺物



3- 竪穴 55 (56・57・59・63～65・68)・3-SK23 (237～239) 出土遺物



185



195



186



194



190



191



266



192



269



193

4- 竪穴 30 (185・186・190～195)・3- 竪穴 50 (266・269) 出土遺物





139



146



142



147



143



149



216



145



217

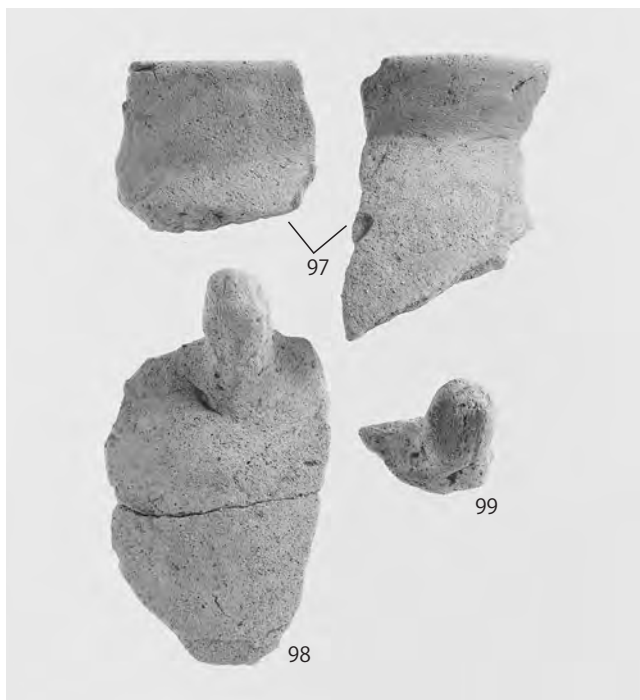


163

4- 豎穴 20 (139・142・143・145～147・149)・3- 豎穴 40 (216・217)・4- 豎穴 99 (163) 出土遺物



遺物写真図版
97







75



73



74



271



77



204



205



161



261

6- 竪穴 2(73 ~ 75 · 77) · 7- 竪穴 3(271) · 23- 竪穴 5(204 · 205) · 21- 竪穴 20(161) · 21- 竪穴 2(261) 出土遺物





279



240



241



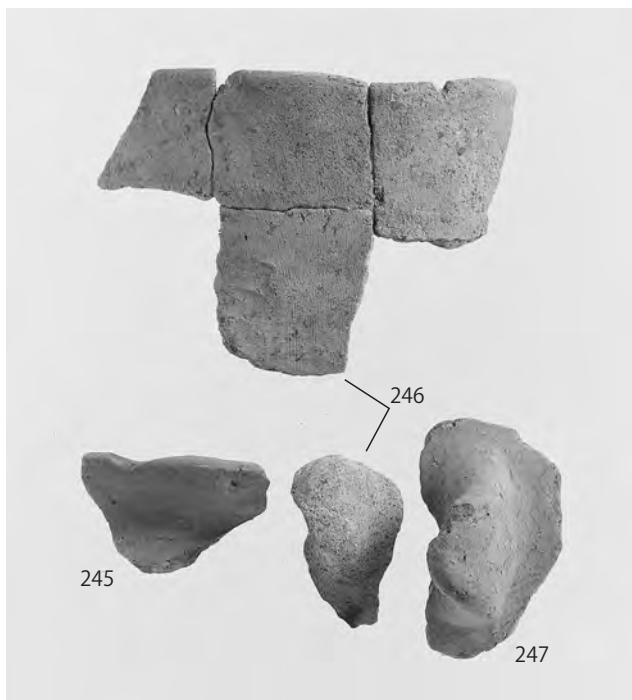
206



207



215



245

246

247



244

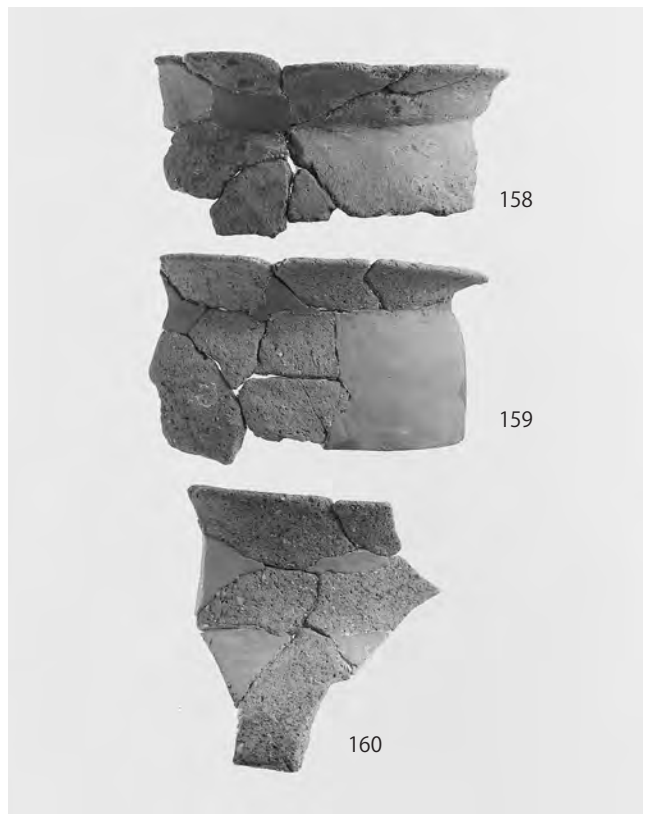


243

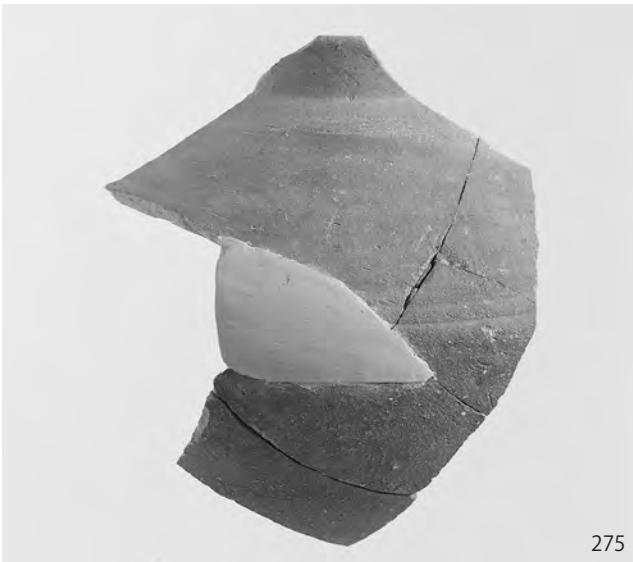


248

4- 掘立 1(279)・3- 竪穴 110(240・241・243～248)・5- 竪穴 1(206・207)・3- 竪穴 40(215) 出土遺物







275



529

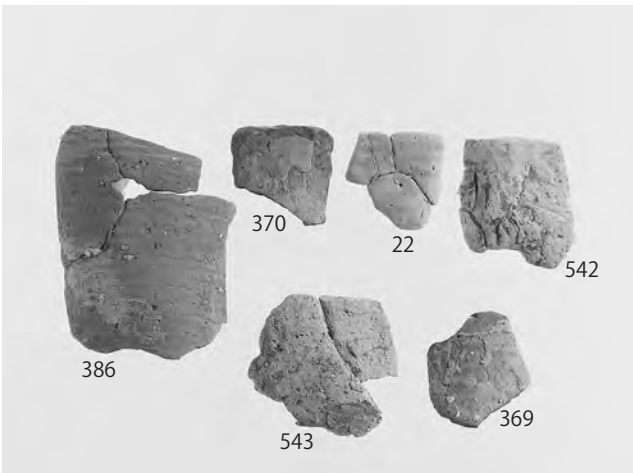
297・298



340



295



386

370

22

542

543

369

6- 竪穴 8 (22)
14-SD70 (542・543)

14- 竪穴 19 (386)
14- 竪穴 22 (369・370)

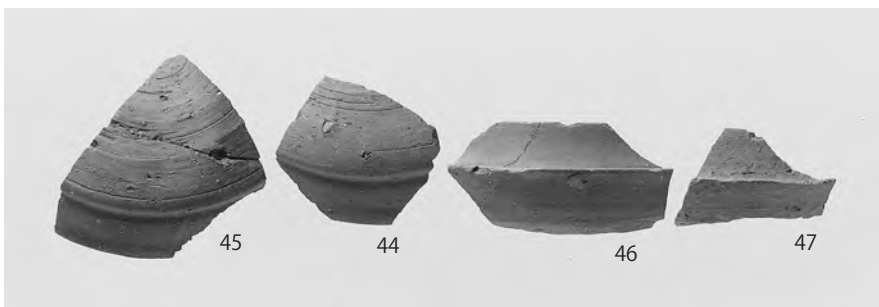
出土遺物



339



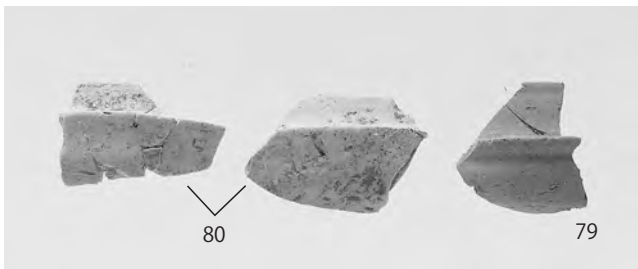
8- 豎穴1 出土遺物



8- 豎穴 4 出土遺物



78



80

79



345



292



294



293



291

8- 豎穴 2 (78 ~ 80) ・ 8-SD7 (292 ・ 293) ・ 9-SX126 (345) ・ 9-SD117 (294) ・ 9-SD3 (291) 出土遺物



351



249



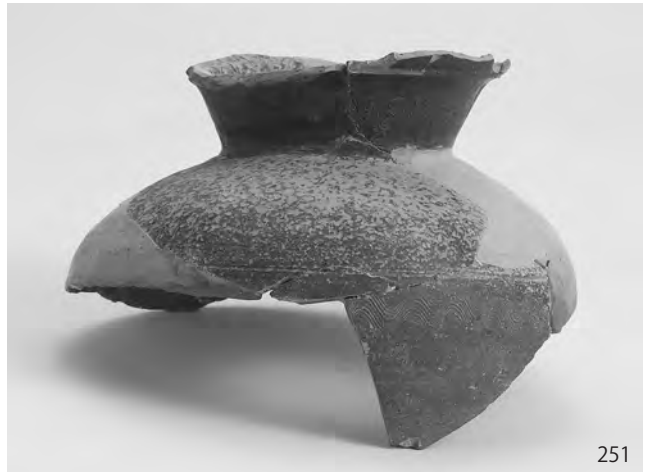
257



250



253



251



255



81



252



113



114



112



116



117



125

124

126

123



118



120



128



119



121



127



165



122



165



166



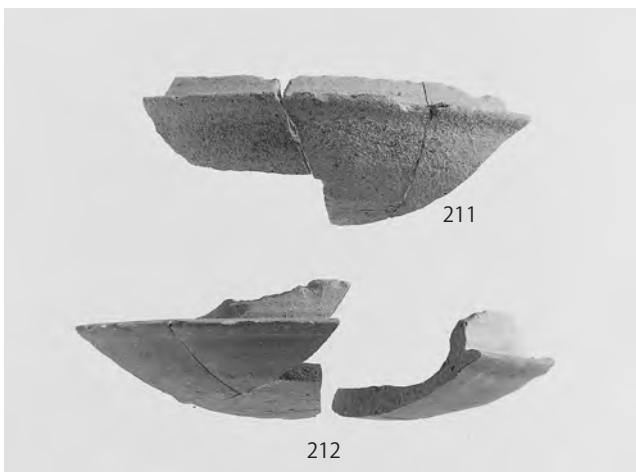
168



210



129



211

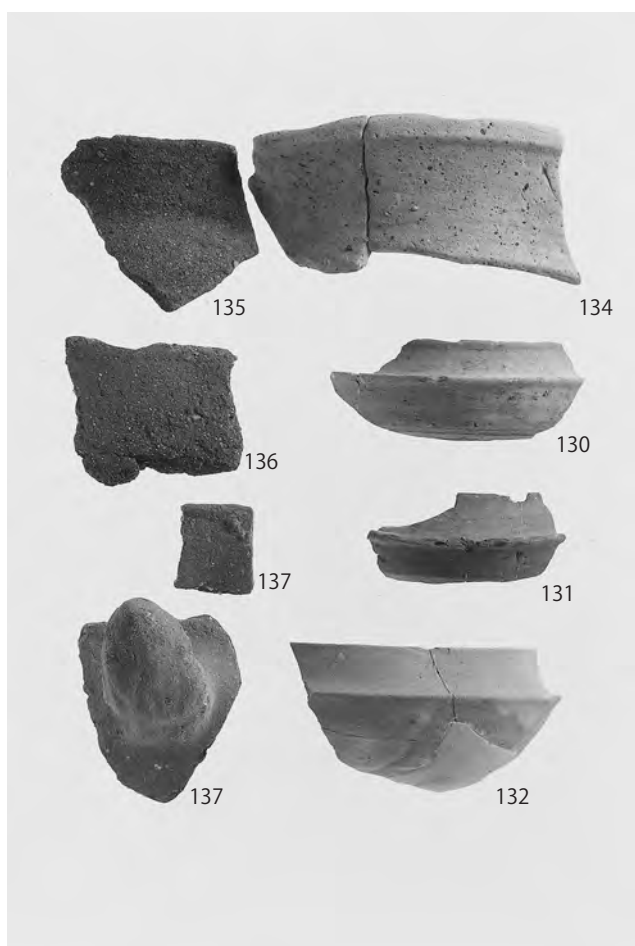
212



133



213



135

134

136

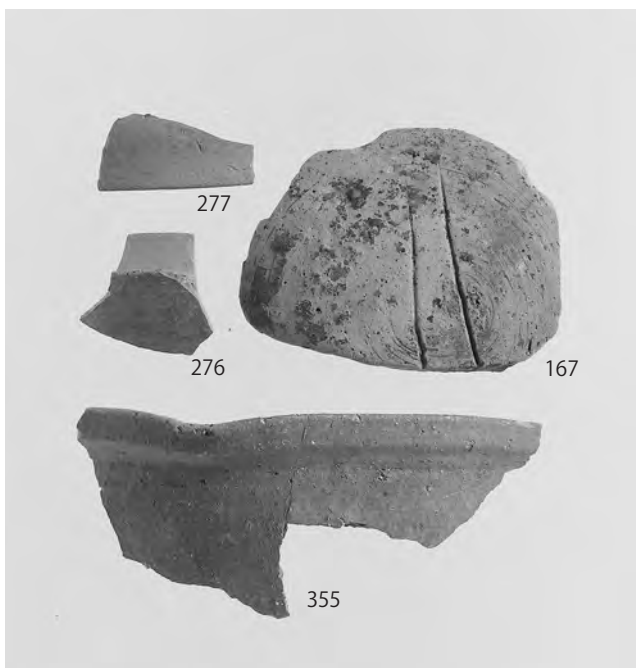
130

137

131

137

132



277

276

167

355

10- 掘立 1 SP105(277)

10- 掘立 2 SP17(276)

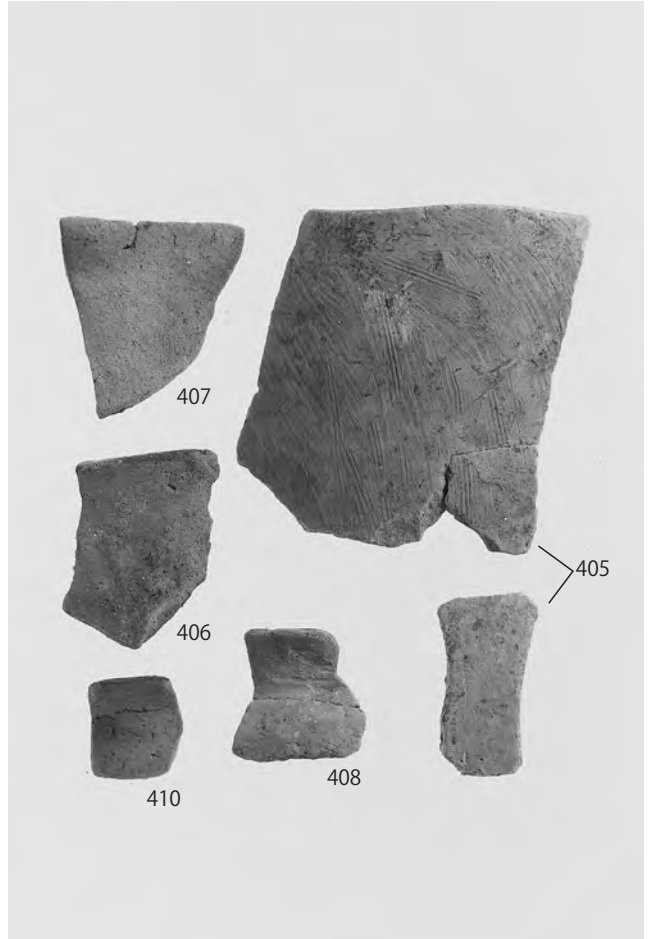
10-SX2(167)

10-SP15(355) 出土遺物

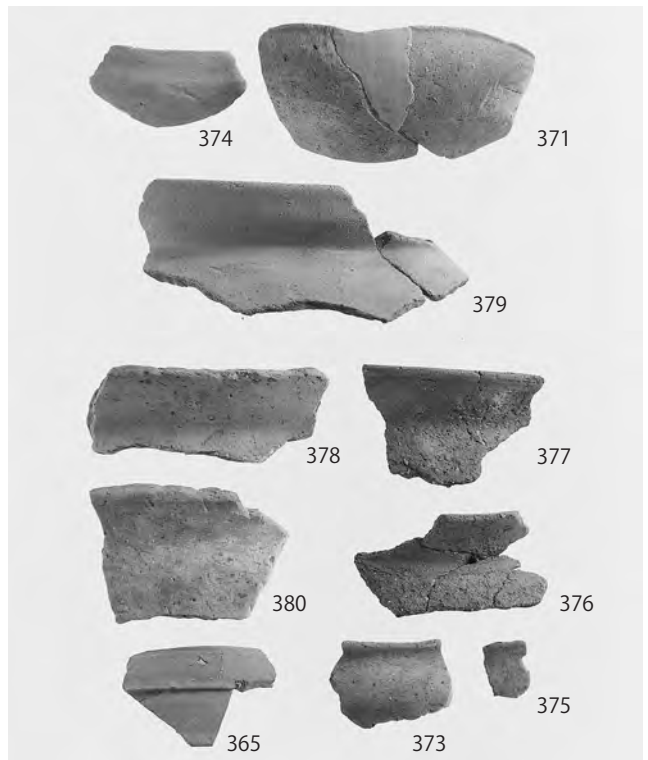
10- 竪穴 210(210 ~ 213) ・ 10- 竪穴 201(129 ~ 137) 他 出土遺物

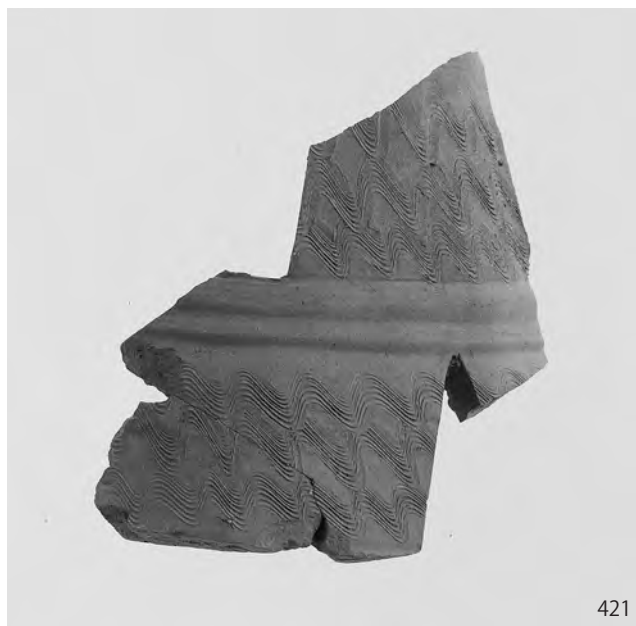






14- 豎穴 4 出土遺物





14- 豎穴 25(412 ~ 421) ・ 14- 豎穴 40(423 ・ 424) ・ 14-SK469(558) ・ 14- 豎穴 28(411) 出土遺物



426



432



427



431



429



436

433

434

435



428



445

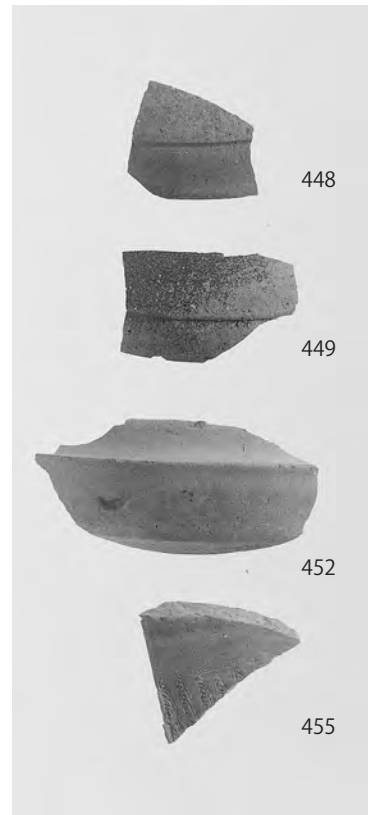
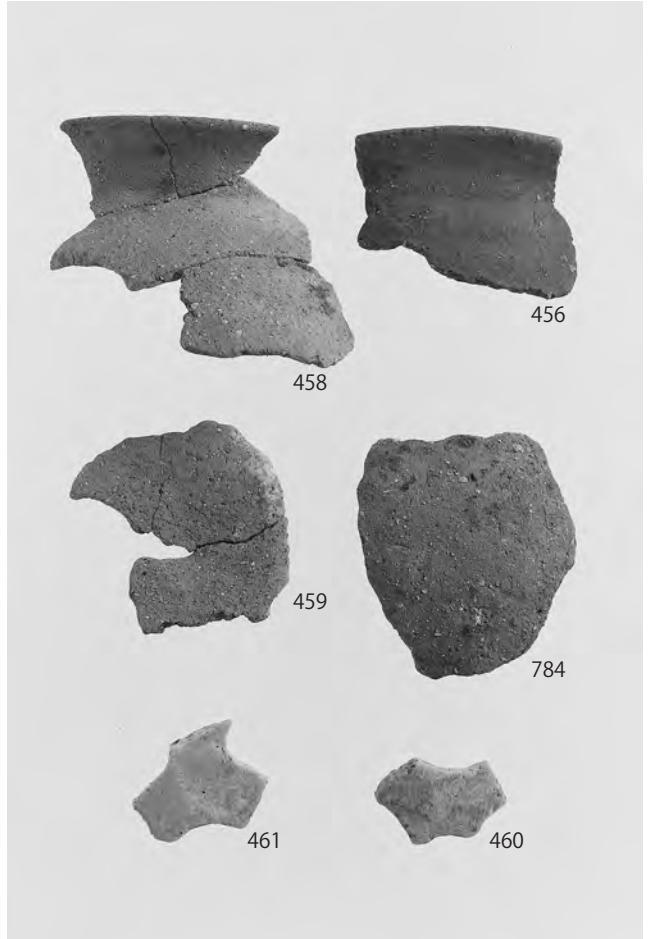


430



446

27- 豎穴 1(426 ~ 430) ・ 14- 豎穴 5(431 ~ 436) ・ 14- 豎穴 21(445) ・ 14- 豎穴 2(446) 出土遺物





465



466



467



468



470



469



491

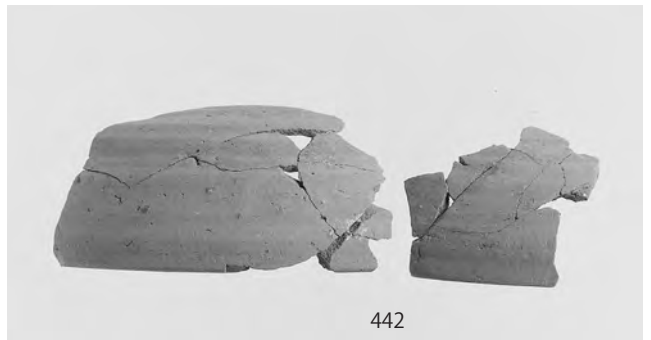


490

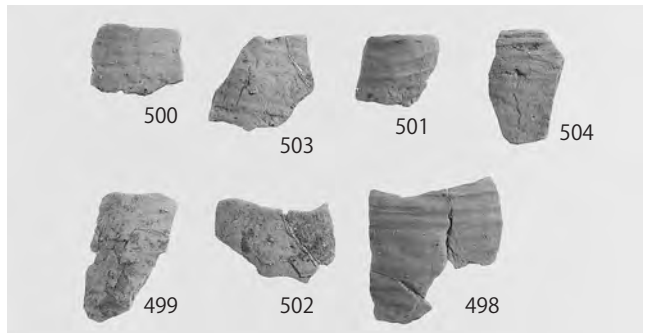
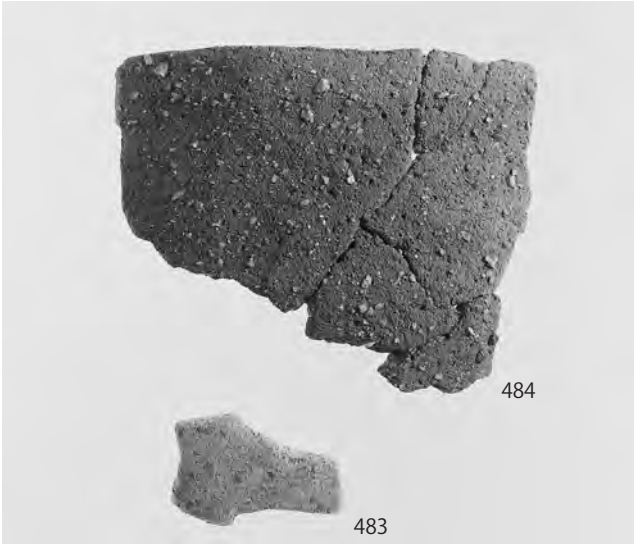


475

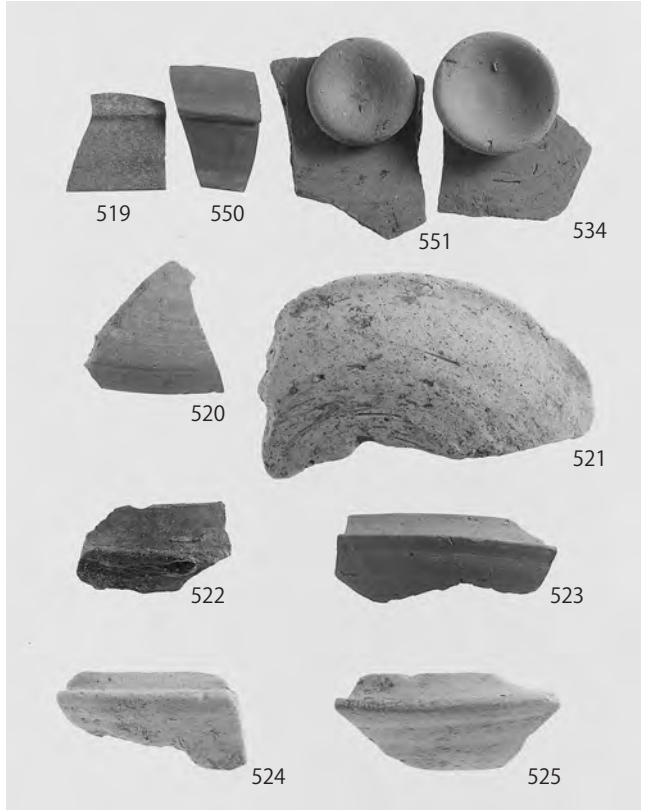
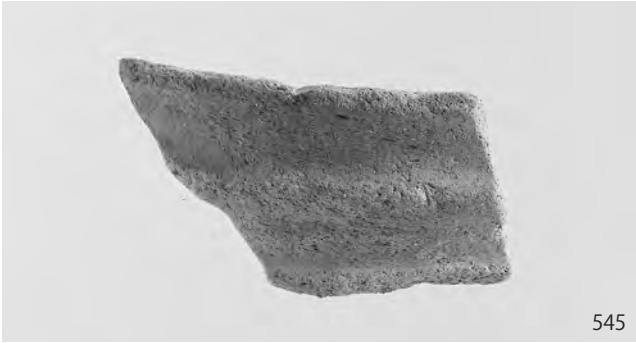
27- 豎穴 2(465 ~ 470)・14- 豎穴 29(490・491)・14- 豎穴 18(475) 出土遺物



14- 豎穴 23(462)・14- 豎穴 20(384)・14- 豎穴 26(425)・
 14- 豎穴 16(439・441)・14- 豎穴 15(442・444)・27- 豎穴 3(389) 出土遺物



14- 竪穴 12 (480・481・483・484)・14- 掘立 14 (506)・14- 掘立 11 (494～505) 出土遺物

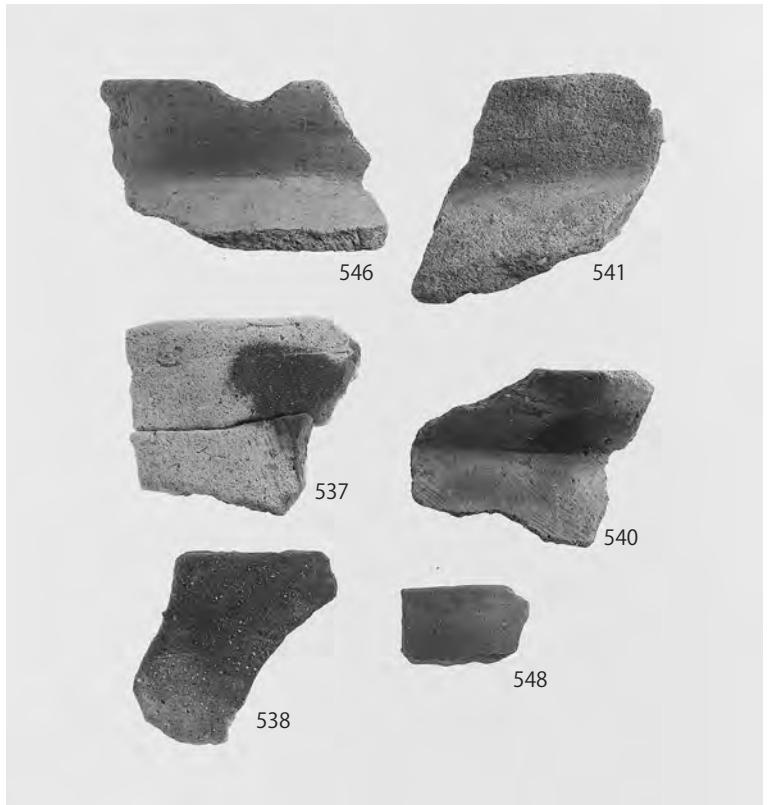




539



547



554



553



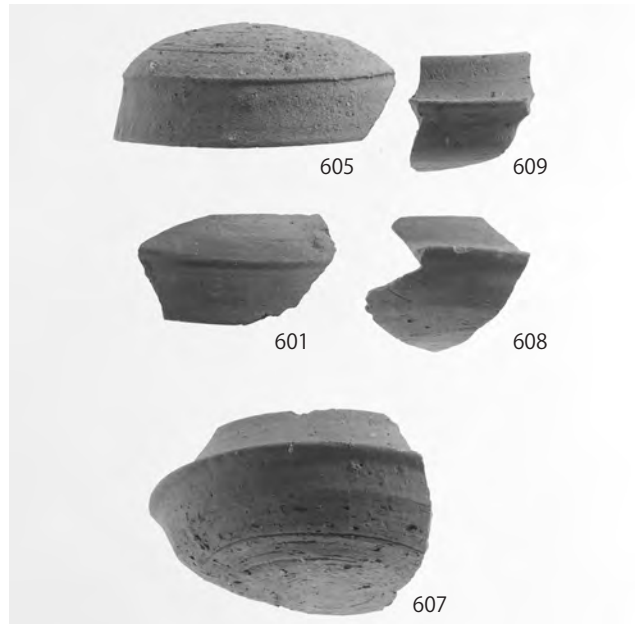
556



28- 竪穴 1(560 ~ 562) ・ 28- 竪穴 30(595) ・ 28-SK5(706) ・ 28- 竪穴 3(581 ~ 584 ・ 587 ・ 588) 出土遺物



605



605

609

601

608

607



603



604



570



599



571



602



572



606

29- 豎穴 45 (599・601～609)・29- 豎穴 80 (570・571・572) 出土遺物



710



711



708



709



712



717



613



579

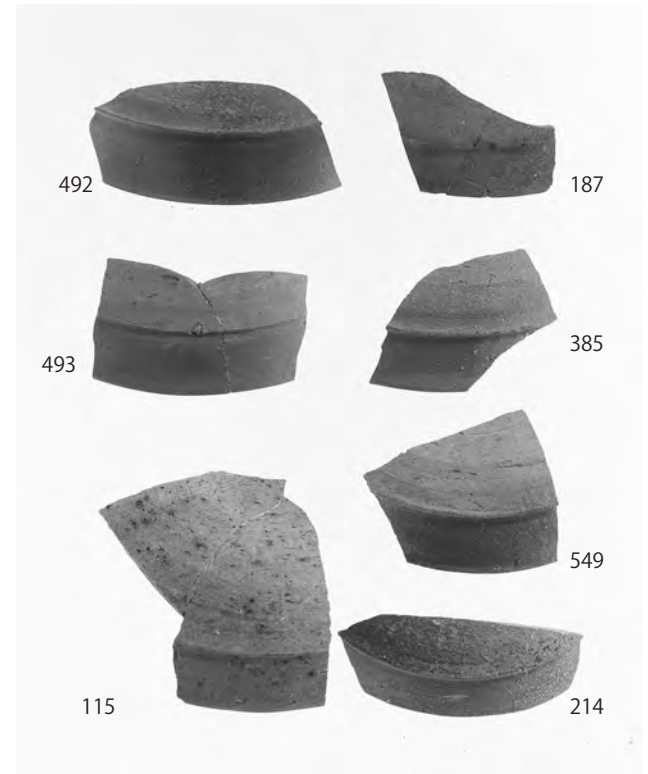
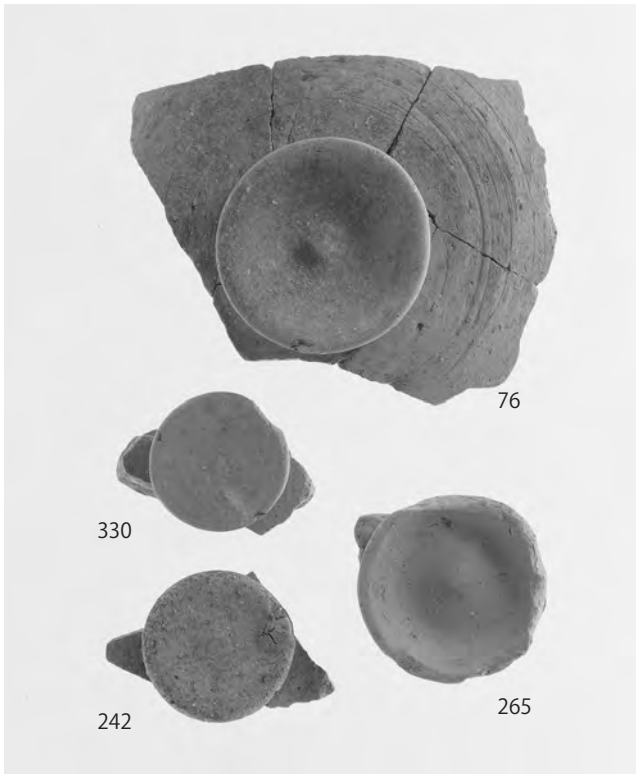
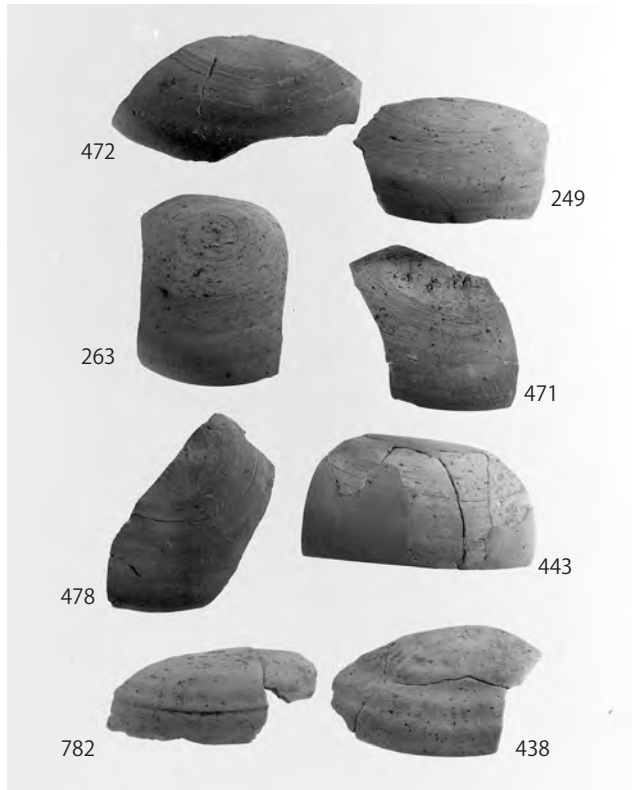
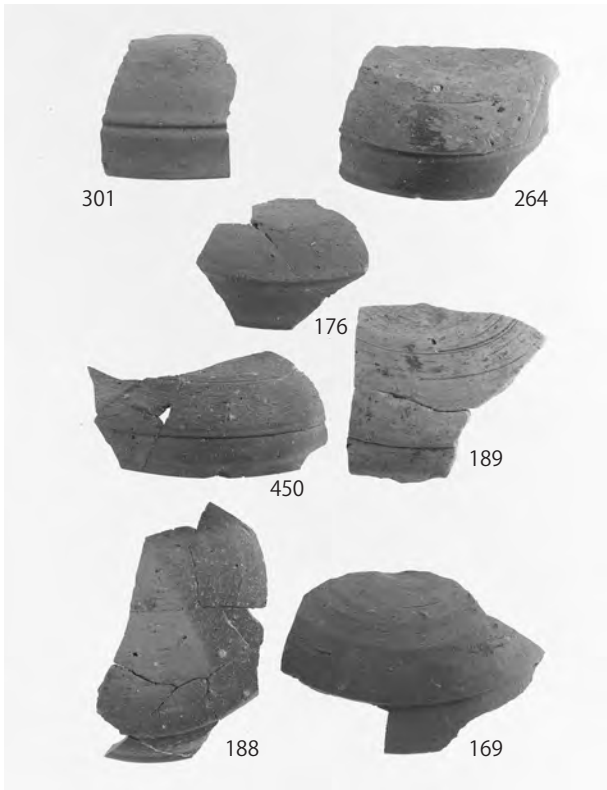


611



610

29-SX60 (717) ・ 29-SD64 (613) ・ 29-SD62 (611) ・ 29-SK12 (707) ・ 41- 竪穴 3 (579) ・ 30-SD7 (610) 出土遺物



4- 竪穴 30(188・189)
 3- 竪穴 108(169・176)
 3- 竪穴 50(264)
 3-SD1(301)
 14- 竪穴 30(450)
 出土遺物

6- 竪穴 2(76)
 3- 竪穴 110(242)
 3- 竪穴 108(330)
 3- 竪穴 50(265)
 出土遺物

3- 竪穴 50(263)
 10- 竪穴 301(249)
 14- 竪穴 12(478)
 14- 竪穴 18(471・472)
 14- 竪穴 16(438)
 14- 竪穴 15(443)
 6- 竪穴 2(782)
 出土遺物

14- 竪穴 30(187)
 3- 竪穴 40(214)
 10- 竪穴 110(115)
 14- 掘立 11(492・493)
 14-SD70(549)
 14- 竪穴 19(385)
 出土遺物



9-SD205 出土遺物



312



311



313



32-SD20 出土遺物



D8



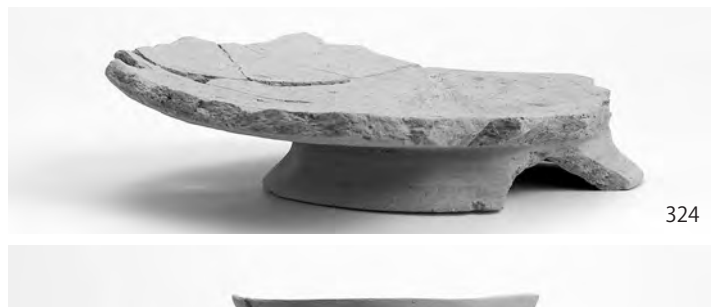
36-SD10 出土遺物



660



658・659







662



664



661



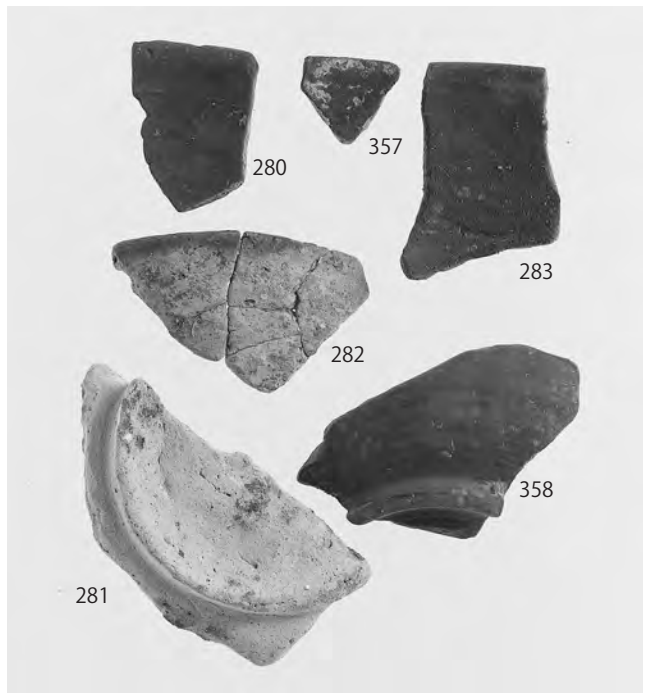
679



34-SX3 出土遺物



33-SD2 出土遺物

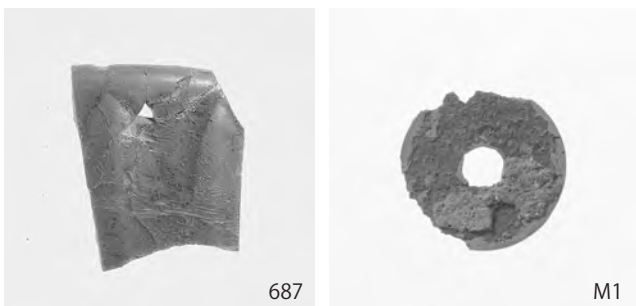
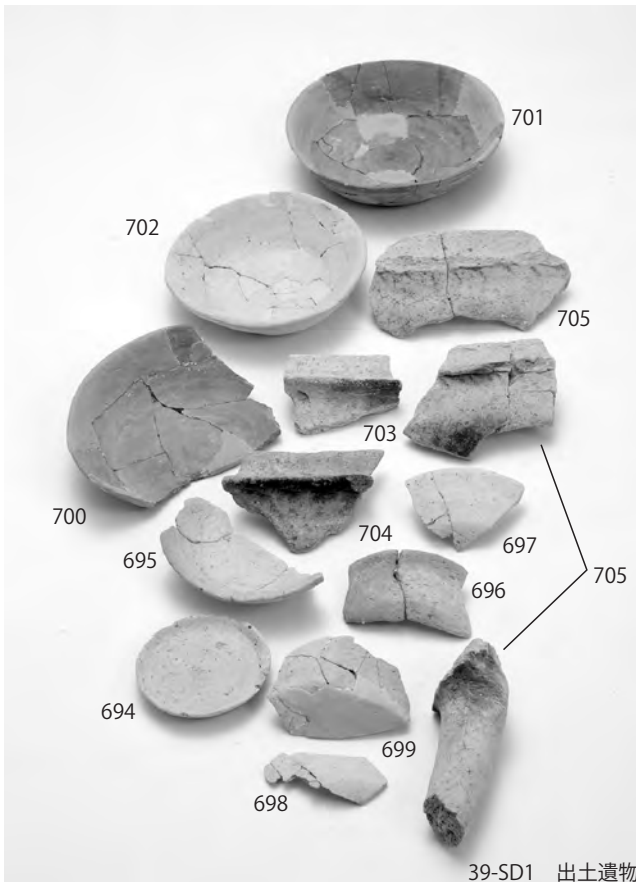
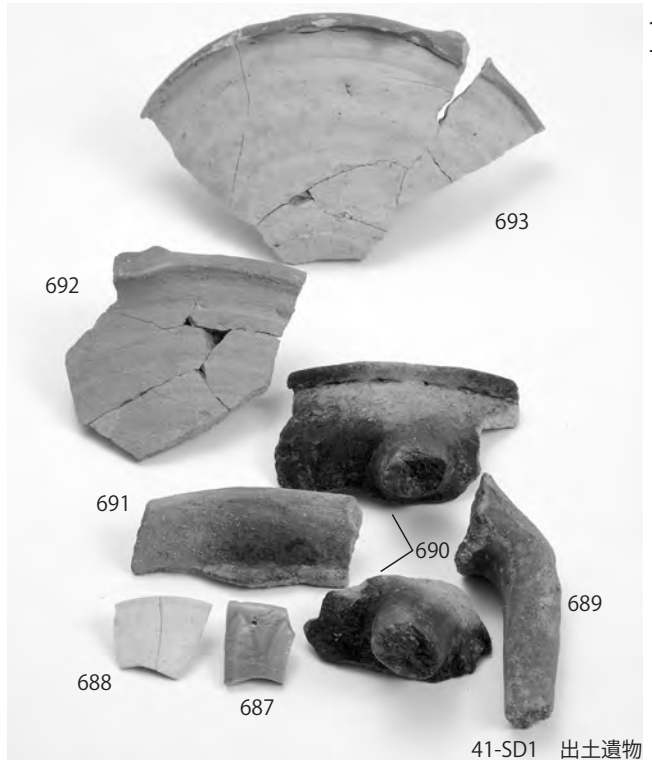
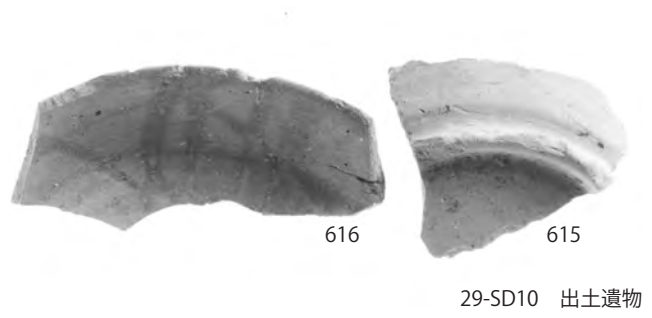


10-掘立 3(281 ~ 283)

10-SP144(357)

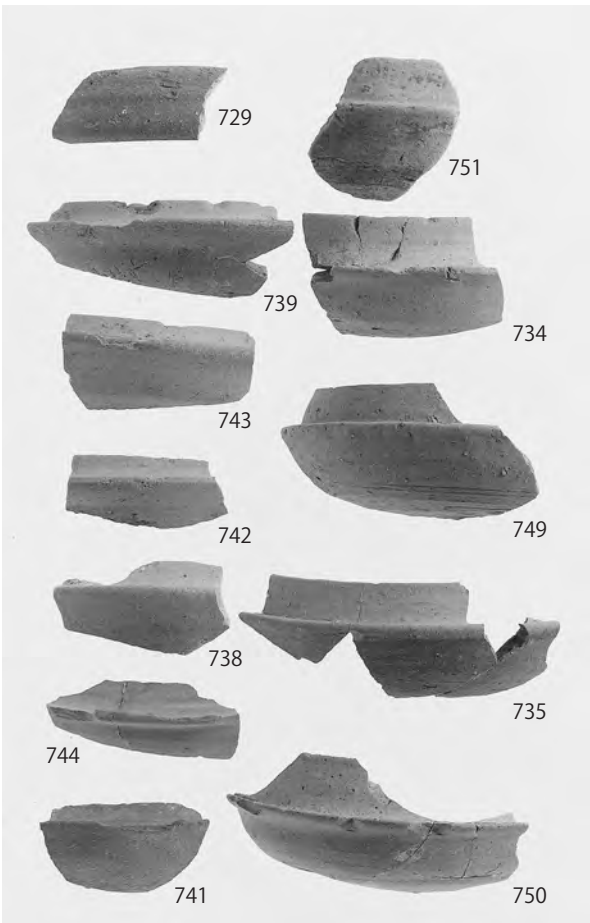
9-掘立 2(280)

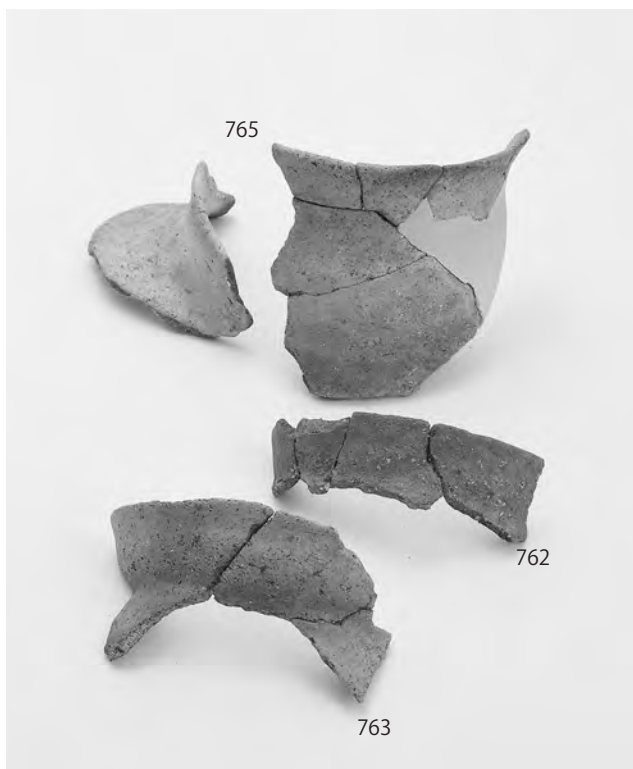
9-SP42(358) 出土遺物



10-掘立 3 SP47 (286) 10-掘立 3 SP44 (284) 13-SK6 (342)
 10-掘立 3 SP44 (285) 12-SX31 (349) 出土遺物

古代以降の出土遺物





報 告 書 抄 録

ふりがな	はぎのまえ・いっぽんぎいせき I							
書名	萩前・一本木遺跡 I							
副書名	新病院整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	第1冊							
シリーズ名	高松市埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第177集							
編著者名	船築 紀子、森原 奈々							
編集機関	高松市教育委員会							
所在地	〒760-8571 香川県高松市番町一丁目8番15号 TEL087-839-2660							
発行年月日	平成29年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° / ' / "	東経 ° / ' / "	整備期間	整備 面積	発掘 原因
		市町村	遺跡番号					
はぎのまえ・いっぽんぎいせき 萩前・一本木遺跡	かがわけん 香川県 たかまつし 高松市 がっしょうざんちょう 仏生山町	37201		34° 16' 58"	134° 2' 26"	第1次調査 2011.7.4～ 2012.3.22	8,413㎡	新病院 整備事業
				34° 16' 57"	134° 2' 20"	第2次調査 2012.3.26～ 2012.10.29	3,028㎡	
				34° 16' 55"	134° 2' 25"	第3次調査 2015.2.23～ 3.17 2015.4.3～ 8.24 2015.11.16～ 12.17	553㎡ 1,407㎡ 531㎡	
所収遺跡名	種別	おもな時代	おもな遺構	おもな遺物		特記事項		
萩前・一本木遺跡	集落遺跡	古墳時代中期 古墳時代後期 飛鳥時代 古代 中世	竪穴建物 土坑 溝 掘立柱建物 柵 方形区画溝 水路	土師器（古墳時代） 須恵器（古墳時代・ 飛鳥時代） 鉄器 石器など		古墳時代中期後葉から古墳時代後期の竪穴建物約94棟掘立柱建物34棟を検出した。 その他、飛鳥時代の基幹水路及び中世の溝を検出した。		
要約	高松市仏生山町に所在する、古墳時代中期から飛鳥時代を中心とする集落遺跡である。今回の調査では、古墳時代中期後葉から古墳時代後期の竪穴建物約94棟を検出しており、特に古墳時代中期から後期のカマドに関する良好な資料が得られた。また、古墳時代の居住域を圍繞する方形区画溝、飛鳥時代の基幹水路を検出した。							

2017年3月17日 印刷

2017年3月31日 発行

高松市埋蔵文化財調査報告第177集
新病院整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告書

萩前・一本木遺跡 I

—第3分冊—

著作権所有 高松市番町一丁目8番15号

発行者 高松市教育委員会

印刷者 株式会社 美巧社